

1	まちづくり矢吹事業	総合計画・復興計画関連事業	企画総務課
---	------------------	---------------	--------------

事業の概要・ 実施方針	<p>事業計画に基づき各種事業を推進することで民間委託の受け皿づくりを進めるほか、働き方改革や新型コロナウイルスへの対応としてテレワーク等を活用した雇用の創出を行います。</p> <p>また、本事業は特別委員会の審議案件であるため、事業の点検を行い、事業に対する十分な説明と理解を得るための取り組みを進めます。</p>
------------------------	---

進行管理	実施方法・手段・スケジュール等		前期の実施状況(いつ・何を行ったか)
	前期	<ul style="list-style-type: none"> ・総合窓口、児童クラブ、学校支援員の民間委託の開始(4月～) ・上記委託業務の検証、点検 	<ul style="list-style-type: none"> ・総合窓口、児童クラブ、学校支援員の民間委託の開始(4月～) ・上記委託業務の検証、点検 <p>※後期基本計画における施策の位置づけを重点プロジェクトから「行政サービスの向上」へ変更</p>
	後期	<ul style="list-style-type: none"> ・総合窓口、児童クラブ、学校支援員の民間委託の検証 ・特別委員会を踏まえた検証結果の協議 	<ul style="list-style-type: none"> ・総合窓口、児童クラブ、学校支援員の民間委託 ・特別委員会を踏まえた協議検討

目標管理	成果目標・数値目標等	
	<ul style="list-style-type: none"> ・テレワーク等登録者数 100名 ・テレワーク受託事業 1,000件 ・点検結果の報告 	
	目標に対する前期までの成果	達成率(中間)
	<ul style="list-style-type: none"> ・テレワーク等 登録者数9名 (R2.9.30時点) ・テレワーク受託事業 0件 	45%
	目標に対する最終成果	達成率(最終)
	<ul style="list-style-type: none"> ・テレワーク等 登録者数 14名 (R3.3.24時点) ・テレワーク受託事業 0件 	100%
残った課題・来年度の取り組み		
<ul style="list-style-type: none"> ・当初予算が修正動議により半年分の予算計上となったため、来年度前半で今後の方針を関係機関と協議のうえ決定する必要があります。 		

事業の概要・実施方針

「公用車管理の基本方針」に基づいた取り組みにより、公用車の集中管理による適正な台数配置と維持管理を実施します。
また、進捗管理と検証を行いながら、安全で効率的かつ効果的な車両管理を行います。

実施方法・手段・スケジュール等

前期の実施状況(いつ・何をを行ったか)

前期

随時 車検及び法定点検等の実施
随時 安全運転の意識啓発
4月 職員の運転免許証の取得状況調査
5月 車両保険の一斉更新
リース車両導入(1台)
9月 安全運転管理者講習の受講

随時 車検及び法定点検等の実施
随時 安全運転の意識啓発
4月 職員の運転免許証の取得状況調査
5月 車両保険の一斉更新
白河ナンバー取得(1台)
不用決定車両の移管(1台)
7月 不用決定車両の移管(1台)
8月 不用決定車両の移管(1台)
9月 リース車両導入(1台)
白河ナンバー取得(4台)

進行管理

後期

随時 車検及び法定点検等の実施
随時 安全運転の意識啓発
11月 計画の検証及び見直し車両の検討
12月 次年度の管理経費試算

随時 車検及び法定点検等の実施
随時 安全運転の意識啓発
10月 不用決定車両の売却(2台)
12月 次年度の管理経費試算
1月 17号車ドライブレコーダ設置
18号車ドライブレコーダ設置
不用決定車両の売却(1台)

成果目標・数値目標等

- ・管理車両の適正台数と配置による管理台数及び経費の削減(前年比)
- ・安全運転管理による公用車両の事故件数の削減(前年比)

参考)	台数	燃料	事故件数
平成29年度	18台	32,552ℓ	13件
平成30年度	15台	32,310ℓ	18件
令和元年度	15台	29,149ℓ	12件

目標に対する前期までの成果

達成率(中間)

- ・管理車両構成の見直し
車両台数(企画総務課所管)
R1末 15台 → R2.9末現在 16台
- ・燃料使用量
R2.8末現在 5,535ℓ
(前年同期 13,584ℓ)
- ・事故件数 R2.8末現在 1件
(前年同期 3件)

50%

目標管理

目標に対する最終成果

達成率(最終)

- ・管理車両構成の見直し
車両台数(企画総務課所管)
R1末 15台 → R2末 16台
- ・燃料使用量(見込)
R2末 15,660ℓ(前年 29,149ℓ)
- ・公用車両の事故件数(見込)
R2末 4件(前年 12件)

100%

残った課題・来年度の取り組み

- ・基本方針に基づき、用途や使用状況を十分考慮したうえで、公用車両の適正台数及び配置等を引き続き検討します。
- ・私有車借上げの活用を図り、効率的な運用に取り組みます。
- ・職員の安全運転の意識を高め、事故件数の削減に取り組みます。

事業の概要・
実施方針

人材育成考課制度を柱とした人材育成を行い、町民ニーズの多様化と職員構成の変化（若手職員割合の増加）に対応するため、職員に自学を促すとともに様々な能力開発、専門性向上の機会と選択肢を提供し、実効性のある人材育成に取り組むことで、職員の能力と意欲の向上を図り、組織強化を目指します。

また、昇任試験制度については、人材育成考課制度、職員研修等と有機的に連動させ、さらに昇任試験の意義についての理解促進を図り、自らが学び成長する組織風土の醸成を図ります。その上で、その職に求められる適格性を有するか否かを判断し、適格性に欠けるものについては、人材育成考課により「気づき」を与え、自学を基礎とした研修により、その能力を補う機会を提供し、職員全体の質の向上を図る仕組みを構築します。

今年度の各種研修については、新型コロナウイルス拡大防止のため、県外の派遣研修を当面自粛し、県内については状況を踏まえ実施の可否を判断します。

実施方法・手段・スケジュール等

前期の実施状況(いつ・何をを行ったか)

前期

・人材育成考課
5月 当初目標設定、シート提出
※課の運営と目標決定次第
6月 振り返り実施（各課）
8月 面談実施、シート提出

・職員研修
随時 各研修所への派遣研修
5月 マネージャー研修（延期）
6月 ハラスメント防止研修
8月 ストレスマネジメント研修

<人材育成考課>
6月振り返りについては、当初目標設定から日が浅く、8月振り返りを実施するため省略しました。それ以外は、計画どおり実施しました。

<職員研修>
新型コロナウイルス拡大防止の観点から実施を見送りました。

進行管理

後期

・人材育成考課
10月 振り返り実施（各課）
1月 面談実施、シート提出
2月 考課記録書の提出

・職員研修
随時 各研修所への派遣研修
10月 事務ミス防止研修
1月 監督職研修

・昇任候補者育成試験
12月 昇任試験実施
1月 昇任試験結果公表・新年度人事案反映

<人材育成考課>
考課記録書の提出が3月となり、遅れがありました。それ以外は、計画どおり実施しました。

<職員研修>
・管理監督研修（2月26日 矢吹町）
・派遣研修（ふくしま自治研修センター 8名）
・希望研修（支援機構：8名、その他：5名）

成果目標・数値目標等

- ・昇任試験と人材育成考課の連動（考課結果に基づく受験資格）
- ・職員への理解促進（人材育成考課制度及び昇任試験説明会の実施）
- ・昇任試験受験率増
- ・新型コロナウイルスの状況を考慮した研修の実施

目標に対する前期までの成果

達成率(中間)

- ・新型コロナウイルス感染拡大防止に努めながら、適正な執務を遂行できるよう専門研修へ派遣しています。

50%

目標管理

目標に対する最終成果

達成率(最終)

- ・人材育成考課は当初の計画どおりに、実施しました。
- ・職員研修については、新型コロナウイルス感染拡大防止に注意し、派遣しました。年間を通して、希望研修の受講者数は13名、ふくしま自治研修センターへは8名派遣しました。

100%

残った課題・来年度の取り組み

- ・人材育成考課結果を分限処分等に反映する仕組みづくりを令和3年度に進めていきます。

事業の概要・
実施方針

ICTを活用した行政サービスの向上や行政事務の効率化をはじめ、住民との情報共有、交流によるまちづくりを目的とした情報機器の導入、運用、維持管理に関する事業を実施し、電子自治体を推進します。

実施方法・手段・スケジュール等

前期の実施状況(いつ・何をを行ったか)

前期

- ・情報化リーダー会議
- ・ホームページ研修(6月～8月)
- ・パソコン更新(7月)
- ・自治体クラウド導入に向けた関係機関との協議(通年)

- ・情報化リーダー会議(4月に書面開催)
- ・自治体情報クラウド導入に向けた関係機関との協議(5月)
- ・ホームページ研修(7月)
- ・パソコン更新(7月)

進行管理

後期

- ・情報化リーダー会議
- ・自治体クラウド導入に向けた関係機関との協議(通年)

- ・情報化リーダー会議(2月、3月)
- ・グループウェア再構築(1月～3月)
- ・ファイルサーバ構築(12月～3月)
- ・ホームページ(トップページ)レイアウト改訂(3月)

成果目標・数値目標等

- ・電子記録媒体、特にUSBメモリについては、紛失や不正使用による情報漏えいやウイルス感染を防止する等、情報セキュリティの確保を徹底します。
- ・情報化リーダー会議、ホームページ研修を通じ、職員の情報リテラシー、事務効率及び情報発信能力の向上を図ります。
- ・パソコンの更新を通じ、事務効率の向上ひいては行政サービスの向上を図ります。
- ・内部ネットワークの機器更新を通じ、セキュリティや通信速度の面で安定した環境を継続することで、事務効率の向上ひいては行政サービスの向上を図ります。

目標に対する前期までの成果

達成率(中間)

- ・前期までの進行管理がおおむね予定通りに進み、各成果目標についても予定通り達成できました。

50%

目標管理

目標に対する最終成果

達成率(最終)

- ・進行管理がおおむね予定通りに進み、各成果目標についても予定通り達成できました。

95%

残った課題・来年度の取り組み

- ・グループウェア再構築に伴い事務の効率化が期待される一方、セキュリティ面に留意する必要があることから、矢吹町セキュリティポリシーに従って適正な利用者管理を行います。
- ・国が示す基幹業務システム標準化の動向について、町としての事務手続に遅れが生じないように、情報収集を図ります。

事業の概要・実施方針

「矢吹町公共施設等総合管理計画」及び平成30年9月に決定した「庁舎施設管理計画」に基づく取り組みにより、経年による老朽化を踏まえながら適正な維持管理と適時更新を図り、管理経費の削減と快適な庁舎環境の整備に努めます。

成果目標・数値目標等

- ・来庁者及び職員の快適な庁舎環境の整備
- ・維持管理経費の削減（前年比）

参考)	平成29年度実績	平成30年度実績	令和元年度実績
燃料	29,571ℓ	42,411ℓ	28,483ℓ
電気	159,573kwh	163,130kwh	151,908kwh
水道	1,901㎡	2,053㎡	1,739㎡
電話	2,021千円	1,948千円	2,136千円
ガス	492㎡	357㎡	335㎡

目標に対する前期までの成果

達成率(中間)

- ・R2.8末現在の使用量(料)実績
- 電気 61,529kwh 1,379,647円
(前年 63,072kwh 1,479,431円)
- 水道 473㎡ 264,891円
(前年 587㎡ 312,689円)
- ガス 128㎡ 84,282円
(前年 157㎡ 99,662円)
- 燃料 18,378ℓ 1,374,727円
(前年 12,800ℓ 1,162,080円)
- 電話 936千円(前年885千円)

50%

目標に対する最終成果

達成率(最終)

- ・使用量及び料金(見込)
- 電気 153,700kwh 3,247,000円
(前年 151,908kwh 3,414,933円)
- 水道 1,605㎡ 884,045円
(前年 1,739㎡ 926,775円)
- ガス 320㎡ 210,000円
(前年 335㎡ 216,366円)
- 燃料 26,998ℓ 3,053,490円
(前年 28,483ℓ 2,914,935円)
- 電話 2,150,311円
(前年2,085,698円)

90%

残った課題・来年度の取り組み

- ・光熱水費等の管理経費の削減に引き続き取り組みます。
- ・地震の影響により庁舎壁面のクラックが増えていることから、全体の状況確認を行い計画的に修繕等を行います。
- ・庁舎環境の整備として、多目的トイレの設置及び外壁内壁の改修について、調査及び設計を進めます。

目標管理

実施方法・手段・スケジュール等

前期の実施状況(いつ・何をを行ったか)

前期

随時 予防保全型維持管理による点検と修繕等の実施
4月 庁舎維持管理業務(警備・清掃・ボイラー等)の契約締結
6月 庁舎電話交換機器の更新
7~9月 節電対策の強化(使用電力のデマンド管理)
9月 資機材倉庫等の整理

随時 予防保全型維持管理による点検と修繕等の実施
4月 庁舎維持管理業務(警備・清掃・ボイラー等)の契約締結
6~9月 節電対策の強化(使用電力のデマンド管理)
9月 庁舎電話交換機器の更新

進行管理

後期

随時 予防保全型維持管理による点検と修繕等の実施
10月 2.3階トイレのバリアフリー化改修工事(洋式化)
11月 次年度に向けた取組みの検討
12月 次年度の管理経費試算

随時 予防保全型維持管理による点検と修繕等の実施
12月 次年度の管理経費試算
1~2月 3階トイレのバリアフリー化改修工事(洋式化)
3月~ 2階トイレのバリアフリー化改修工事(洋式化)

事業の概要・
実施方針

情報提供ネットワークシステムの適切な運用により、住民サービスの向上を図ります。
また、特定個人情報等を適切に取り扱うことで、情報漏えいを徹底的に防ぎます。
さらに、マイナンバーカードの利活用策を各課と検討し、さらなる情報化の推進と利便性の向上・効率化を図ります。

実施方法・手段・スケジュール等

前期の実施状況(いつ・何をを行ったか)

前期

- ・マイナンバーカードの利活用策検討(通年)
- ・情報提供ネットワークシステムのレイアウト改版対応(必要が生じ次第対応)
- ・特定個人情報等の取り扱いに係る研修(可能であれば前期、後期各1回)
- ・特定個人情報保護評価書の再評価(4月～6月)

- ・情報提供ネットワークシステムのレイアウト改版対応(5月～6月)
- ・特定個人情報保護評価書の再評価(5月)

進行管理

後期

- ・マイナンバーカードの利活用策検討(通年)
- ・情報提供ネットワークシステムのレイアウト改版対応(必要が生じ次第対応)
- ・特定個人情報等の取り扱いに係る研修(可能であれば前期、後期各1回)

特定個人情報保護評価書の実施(12月)

- ・マイナポイント申込に関する問い合わせ対応(随時)

成果目標・数値目標等

- ・情報提供ネットワークシステムを通じた情報連携事務を円滑に実施します。
- ・特定個人情報等の取り扱いに係り、組織的な安全管理措置を講じるために、知識の醸成を図ります。

目標に対する前期までの成果

達成率(中間)

- ・特定個人情報の取り扱いに留意しながら、成果目標についておおむね達成することができました。

50%

目標に対する最終成果

達成率(最終)

- ・特定個人情報の取り扱いに留意しながら、成果目標についておおむね達成することができました。

90%

目標管理

残った課題・来年度の取り組み

- ・マイナンバーカードの利用範囲が順次拡大される見込みであることから、法改正に伴う情報提供ネットワークシステムのレイアウト改版については、漏れがないよう対応を図ります。

事業の概要・ 実施方針	町の政策・施策・事務事業等の話題を、広報誌・ホームページ・新聞等をはじめとする様々なメディアを活用し、積極的に情報発信します。
----------------	---

	実施方法・手段・スケジュール等	前期の実施状況(いつ・何を行ったか)
進行管理	前期	<p>新聞紙面の確認(毎日)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・マスコミへの情報発信(毎週、随時) ・ホームページ、フェイスブックの更新(毎月、随時)
	後期	<p>新聞紙面の確認(毎日)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・マスコミへの情報発信(毎週、随時) ・ホームページ、フェイスブックの更新(毎月、随時)

目標管理	成果目標・数値目標等	
	<ul style="list-style-type: none"> ・積極的にマスコミに情報提供します。 ・矢吹町ホームページ、フェイスブックを毎月更新します。 	
	目標に対する前期までの成果	達成率(中間)
	<ul style="list-style-type: none"> ・「広報やぶき」を、矢吹町ホームページや電子書籍サイト、広報誌アプリ等を用い、毎月発信しました。 ・各課事業においても、随時マスコミへ情報発信を行いました。 	50%
	目標に対する最終成果	達成率(最終)
<ul style="list-style-type: none"> ・「広報やぶき」を、矢吹町ホームページや電子書籍サイト、広報誌アプリ等を用い、毎月発信しました。 ・各課事業においても、随時マスコミへ情報発信を行いました。 	100%	
残った課題・来年度の取り組み		
<ul style="list-style-type: none"> ・現行どおり、積極的な情報発信を行います。 		

事業の概要・
実施方針

行財政改革を推進し、限られた職員数、資源で新規事業や既存の事務事業に効率的に取り組むため、事務処理のマニュアル化を進めます。
また、マニュアル化によって業務のチェック体制の強化を図り、事務処理ミスの未然防止策を検討し、全庁的なリスク管理に努めます。

実施方法・手段・スケジュール等

前期の実施状況(いつ・何を行ったか)

前期

5月～
・令和元年度までに作成されたマニュアルの確認と修正の依頼
・全庁フォルダへの保存
(いつでも誰でもマニュアルが見られる環境づくり)
・令和2年度作成予定分についての作成依頼

7月～
マニュアル作成を各課に依頼

進行管理

後期

11月～
各課から提出されたマニュアルの確認と修正

11月～3月
マニュアルの内容を確認後、PDFで全庁共有フォルダへ保存

成果目標・数値目標等

マニュアル化を推進することにより、不合理なルールや業務の無駄を見直し、効率的でミスのない事務処理を行い、質の高いサービスの提供と信頼される役場の実現を目指します。
令和3年度をマニュアル整備完了の目標と定め、計画的に進められるよう各課へ作成を促します。
また、作成されたマニュアルの管理(見直しや更新の依頼)を確実にを行い、有効的かつ有意義なものとなります。

目標に対する前期までの成果

達成率(中間)

・前年度までに作成されたマニュアルの見直し等を依頼し、更新を行いました。
・全庁共有フォルダへ保存し、「見える化」を図ります。

50%

目標管理

目標に対する最終成果

達成率(最終)

今年度に作成予定としていたマニュアルについて、概ね提出がなされました。

95%

残った課題・来年度の取り組み

・マニュアルを作成する「意義」について、全庁的に理解していただけるような説明等を継続して行います。
・随時、マニュアルの見直しや更新等を各課に働きかけます。
・マニュアルの効果的かつ有効的な活用方法を検討します。

事業の概要・
実施方針

少子高齢化や人口現象といった社会問題を克服するため、国の交付金等の有利な財源を活用しながら子育て支援の充実や就労機会の拡充を推進し、高齢者にも子育て世代にも優しいまちづくりを行います。

実施方法・手段・スケジュール等

前期

4～5月 新型コロナウイルス感染症の拡大を受け、地方創生推進交付金（2020年度第1回）実施計画書の変更申請に向けた検討を行います。

前期の実施状況(いつ・何をを行ったか)

新型コロナウイルス感染症の影響により、一部事業（テスト店舗の運営など）は中止を決定しました。
また、中止に伴い、福島県の地方創生推進交付金担当者へ申請手続きの相談を行いました。

進行管理

後期

12～1月 地方創生推進交付金（2021年度第1回）実施計画書の提出に向けた調査検討を行います。

前期と同様に、コロナ禍における事業実施に向けての可能性を検討してまいりました。その結果、研修会の開催・新商品の開発等、全ての事業を中止しました。
また、中止に伴い、福島県の地方創生推進交付金担当者へ申請手続きの相談を行いました。

成果目標・数値目標等

- ・地方創生各種交付金の採択率100%
- ・事業の取組状況を適宜発信しながら、地方創生推進交付金実施計画書に基づき、事業の確実な推進に努めます。
- ①産業サポート白河を核としたローカルイノベーション創造事業
- ②矢吹型働き方改革による就労支援プロジェクト
- ③観光・交流人口の増加促進事業～全町民が来店する矢吹百貨店化計画～

目標に対する前期までの成果

達成率(中間)

・県の地方創生推進交付金担当者へ相談を行い、事業を中止や縮小した場合の適正な変更手続き等を確認いたしました。（年度末の実績報告の際に中止した旨などを報告予定）

50%

目標管理

目標に対する最終成果

達成率(最終)

・県の地方創生推進交付金担当者への相談や、内閣府主催の地方創生推進交付金事前相談会へ出席し、令和2年度は「観光・交流人口の増加促進事業」について中止を決定しました。（その他2事業は予定通り実施しました。）

90%

残った課題・来年度の取り組み

- ・令和2年度で3つの地方創生推進交付金事業が終了するため、新たな施策を検討する必要があります。
- ・今後は、新型コロナウイルス感染症の拡大による地域経済の落ち込みを解決するため、地方創生各種交付金等の財源を活用した地方創生施策の検討を行います。

事業の概要・実施方針

限りある財政状況を踏まえ、職員一人ひとりが常に意識しながら、光熱水費の節減、さらには事務経費（事務用品、コピー等）の節減に努めます。
また、施設ごとの取り組み項目、具体的な行動及び実績等の情報共有を図り、今後の新たな対策について検討を進めます。

実施方法・手段・スケジュール等

前期の実施状況(いつ・何をを行ったか)

前期

随時 課内会議及び係内会議において意識の共有
随時 新電力導入の推進
毎月 使用実績の周知と過年度比較の検証
7~9月 節電対策の強化（使用電力のデマンド管理）
9月 資機材倉庫等の整理

随時 課内会議及び係内会議において意識の共有
随時 新電力導入の推進
毎月 使用実績の周知と過年度比較の検証
6~9月 節電対策の強化（使用電力のデマンド管理）

進行管理

後期

随時 課内会議及び係内会議において意識の共有
随時 新電力導入の推進
毎月 使用実績の周知と過年度比較の検証

随時 係内会議等において意識の共有
毎月 使用実績の各課周知
1月 事務経費（消耗品・高速道路料金）の一括管理の検討
2月 燃料費の単価変更（増額）
2月 事務経費（消耗品・高速道路料金）の一括管理の実施決定（R3.4~施行）
3月 燃料費の単価変更（増額）
3月 次年度燃料単価契約準備

成果目標・数値目標等

光熱水量及び事務経費の削減（前年比）

参考)	平成29年度実績	平成30年度実績	令和元年度実績
燃料	29,571円	42,411円	28,483円
電気	159,573kwh	163,130kwh	151,908kwh
水道	1,901㎡	2,053㎡	1,739㎡
電話	2,021千円	1,948千円	2,136千円
ガス	492㎡	357㎡	335㎡

目標に対する前期までの成果

達成率(中間)

・R1.8末現在の使用量(料)実績
電気 61,529kwh 1,379,647円
(前年 63,072kwh 1,479,431円)
水道 473㎡ 264,891円
(前年 587㎡ 312,689円)
ガス 128㎡ 84,282円
(前年 157㎡ 99,662円)
燃料 18,378円 1,374,727円
(前年 12,800円 1,162,080円)
電話 936千円(前年885千円)

50%

目標管理

目標に対する最終成果

達成率(最終)

・使用量及び料金(見込)
電気 153,700kwh 3,247,000円
(前年 151,908kwh 3,414,933円)
水道 1,605㎡ 884,045円
(前年 1,739㎡ 926,775円)
ガス 320㎡ 210,000円
(前年 335㎡ 216,366円)
燃料 26,998円 3,053,490円
(前年 28,483円 2,914,935円)
電話 2,150,311円(前年2,085,698円)

90%

残った課題・来年度の取り組み

・新電力導入の検証とともに供給契約先の検討を行います。
・デマンド管理における冷暖房や照明の使用基準等について見直しの検討を行います。

事業の概要・
実施方針

「第6次矢吹町まちづくり総合計画」及び「矢吹町復興計画」に基づく事業を確実に進めるにあたり、持続可能な安定した財政基盤の確立を図ります。
また、健全化判断比率（実質公債費比率及び将来負担比率）の維持による健全な財政運営を図ります。

実施方法・手段・スケジュール等

前期の実施状況(いつ・何をを行ったか)

前期

随時 予算執行状況の確認
4月 予算担当者会議（書面）の開催
6月 令和元年度決算統計及び健全化判断比率の算定
7月 財政基本計画の素案作成
8月 令和元年度決算分析
9月 財政基本計画の策定

随時 予算執行状況の確認
4月 予算担当者会議（書面開催）
6月～7月 令和元年度決算統計及び健全化判断比率の算定
8月 決算書の作成と分析
8月 財政基本計画の素案作成

進行管理

後期

随時 予算執行状況の確認
11月 政策大綱及び予算編成方針の決定
12月～2月 当初予算の編成
3月 当初予算の決定
 予算執行方針の決定

随時 予算執行状況の確認
12月 政策大綱及び予算編成方針の決定
12月～2月 当初予算の編成
3月 当初予算の決定

目標管理

成果目標・数値目標等

健全化判断比率（実質公債費比率及び将来負担比率）の維持

参考)	実質公債費比率	将来負担比率
平成28年度	12.5%	112.9%
平成29年度	12.5%	100.7%
平成30年度	12.5%	109.2%

※数値は低いのが望ましい

目標に対する前期までの成果

達成率(中間)

- ・令和元年度決算統計及び決算書の作成
- ・令和元年度健全化判断比率の算定
 実質公債費比率 12.0% (前年比△0.5%)
 将来負担比率 103.7% (前年比△5.5%)
- ・財政基本計画の素案作成

50%

目標に対する最終成果

達成率(最終)

- ・令和元年度決算統計及び決算書の作成
- ・令和元年度健全化判断比率の算定
 実質公債費比率 12.0% (前年比△0.5%)
 将来負担比率 103.7% (前年比△5.5%)

100%

残った課題・来年度の取り組み

- ・引き続き、財政健全化判断比率の維持による健全な財政運営に努めます。

事業の概要・ 実施方針	<p>「第6次矢吹町行財政改革大綱」及び「実行計画」に基づき、近隣市町村の状況等を踏まえながら、使用料及び受益者負担の適正化を図ります。</p> <p>また、現在の使用料等の適正性を含め全庁的に調査を行いながら、必要により見直しを行います。</p>
----------------	--

実施方法・手段・スケジュール等		前期の実施状況(いつ・何をを行ったか)
進行管理	前期	<p>随時 適正性の確認と見直しの検討</p> <p>随時 適正性の確認</p>
	後期	<p>随時 適正性の確認と見直しの検討</p> <p>随時 適正性の確認</p>

目標管理	成果目標・数値目標等	
	<ul style="list-style-type: none"> ・受益者負担の原則に立った負担の公平性の確保 ・適正な歳入、自主財源の確保 	
	目標に対する前期までの成果	達成率(中間)
	<ul style="list-style-type: none"> ・適正性の確保 	50%
	目標に対する最終成果	達成率(最終)
	<ul style="list-style-type: none"> ・適正性の確保 	100%
残った課題・来年度の取り組み		
<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、適正な料金設定による負担の公平性及び財源の確保に努めます。 		

事業の概要・
実施方針

町が保有する公共施設の老朽化等に伴う施設の更新、維持、長寿命化、施設のあり方等については、今後のまちづくり、財政等に大きな影響を及ぼすことが見込まれるため、その対策として「矢吹町公共施設等総合管理計画」を平成27年度に決定しました。

また、本管理計画の基本方針等を踏まえた施設類型ごとの「個別施設計画」について、国で示す令和2年度までを目標に順次策定を進め、効果的な施設配置と将来的な負担軽減等の推進を図ります。

あわせて、長寿命化及び統廃合に係る財源措置の調査を行います。

実施方法・手段・スケジュール等

前期の実施状況(いつ・何をを行ったか)

前期

通年 施設類型ごとの個別施設計画策定に向けた庁内調整及び検討
随時 先進自治体及び近隣市町村の取組の情報収集及び調査研究
随時 研修会及び説明会への参加

通年 施設類型ごとの個別施設計画策定に向けた庁内調整
随時 先進自治体及び近隣市町村の取組の情報収集及び調査研究
9月 決算剰余金を活用した公共施設等整備基金への原資積立

進行管理

後期

通年 施設類型ごとの個別施設計画策定に向けた庁内調整及び検討
随時 先進自治体及び近隣市町村の取組の情報収集及び調査研究
随時 研修会及び説明会への参加

通年 施設類型ごとの個別施設計画策定に向けた庁内調整
随時 先進自治体及び近隣市町村の取組の情報収集及び調査研究
随時 長寿命化及び統廃合に係る財源措置(起債等)の調査検討

成果目標・数値目標等

公共施設の老朽化等に伴う施設の更新、維持、長寿命化、施設のあり方等について、「矢吹町公共施設等総合管理計画」基本方針に基づく「個別施設計画」の計画的策定に向けた庁内調整と方策の検討を引き続き実施します。

目標に対する前期までの成果

達成率(中間)

- 施設類型ごとの個別施設計画策定に向けた庁内調整
- 予防保全型維持管理の取り組み
- 公共施設等整備基金への原資積立による財源確保

50%

目標管理

目標に対する最終成果

達成率(最終)

- 施設類型ごとの個別施設計画策定に向けた庁内調整
- 予防保全型維持管理の取り組み
- 公共施設等整備基金への原資積立による財源確保

100%

残った課題・来年度の取り組み

- 計画に基づく取り組みにより、効果的な施設配置と将来的な負担軽減を図ります。
- また、各種個別施設計画の策定を踏まえ、「矢吹町公共施設等総合管理計画」の改定に取り組みます。

事業の概要・
実施方針

公有財産について売却の可能性を調査し、法定外公共物の払い下げを含めた普通財産の売却及び貸付等による有効活用により、自主財源の確保に努めます。

実施方法・手段・スケジュール等

前期

4月～ 売却等に向けた調査・手法の検討（公有財産売却支援業務委託の検討）
随時 公有財産の維持管理
随時 法定外公共物の払い下げによる普通財産の売却

前期の実施状況（いつ・何をを行ったか）

4月 公有財産貸付等の実施
土地：858,534円
建物：69,051円
8月 法定外公共物の払い下げによる普通財産の売却
陣ヶ岡地内：105,300円
普通財産売却に向けた不動産鑑定
弥栄10-2（328.23㎡）

進行管理

後期

4月～ 売却等に向けた調査・手法の検討（公有財産売却支援業務委託の検討）
随時 公有財産の維持管理
随時 法定外公共物の払い下げによる普通財産の売却

10月 不用決定車両の売却（2台）
1月 法定外公共物の払い下げによる普通財産の売却
（陣ヶ岡地内：1,232円）
2月 不用決定車両の売却（1台）
3月 普通財産売り払い公告
（弥栄地内）

成果目標・数値目標等

公有財産の適正な維持管理に努めながら、有効活用としての売却及び貸付等、効果的な手法により自主財源の確保を目指します。

目標に対する前期までの成果

達成率(中間)

・ 公有財産貸付等の実施
土地：858,534円
建物：69,051円
・ 法定外公共物の払い下げによる普通財産の売却
陣ヶ岡地内：105,300円

50%

目標管理

目標に対する最終成果

達成率(最終)

・ 公有財産貸付等の実施
土地：858,534円
建物：69,051円
・ 法定外公共物の払い下げによる普通財産の売却
土地（陣ヶ岡地内3筆）：106,532円
・ 不用とした財産の売却
車両（3台）：350,000円

90%

残った課題・来年度の取り組み

・ 年度内に売却を完了できなかった普通財産を含めて、継続的に売却を進めます。
・ 公有財産の有効活用として売却及び貸付等、効果的な手法により自主財源の確保に努めます。

事業の概要・ 実施方針	近年の限りある財政状況等を踏まえ、行財政運営の効率化を図り、質の高いサービスを持続的に提供するため、包括委託導入の効果検証を進めるなど、民間委託の課題等を整理しながら、新たな委託の可能性について調査・検討を進めます。
----------------	--

実施方法・手段・スケジュール等		前期の実施状況(いつ・何を行ったか)
進行管理	前期	<p>随時 先進自治体及び近隣自治体での事例研究と調査、検討</p> <p>随時 包括委託（窓口業務及び児童クラブ等）の効果検証</p>
	後期	<p>随時 先進自治体及び近隣自治体での事例研究と調査、検討</p> <p>随時 包括委託（窓口業務及び児童クラブ等）の効果検証</p>

目標管理	成果目標・数値目標等	
	<ul style="list-style-type: none"> 対象事業等の調査研究と案件抽出を行い、課題等を整理しながら民間委託を推進します。 包括委託（窓口業務及び児童クラブ等）の検証を進め、運営の効率化を図ります。 	
	目標に対する前期までの成果	達成率(中間)
	<ul style="list-style-type: none"> 先進自治体及び近隣自治体での事例研究と調査、検討 包括的業務委託（窓口業務及び児童クラブ等）の検証 	50%
	目標に対する最終成果	達成率(最終)
	<ul style="list-style-type: none"> 先進自治体及び近隣自治体での事例研究と調査、検討 包括的業務委託（窓口業務及び児童クラブ等）の検証 	100%
	残った課題・来年度の取り組み	
	<ul style="list-style-type: none"> 包括的業務委託の効果検証を進め、運営の効率化を図ります。 また、引き続き新たな委託の可能性について、調査・検討を進めます。 	

事業の概要・ 実施方針	民間の資金、経営能力、技術的能力を活用することにより、国や地方公共団体等が直接実施するよりも効果的かつ効率的に公共サービスを提供できる事業について、PFI手法等の検討を進めます。
----------------	---

		実施方法・手段・スケジュール等	前期の実施状況(いつ・何を行ったか)
進行管理	前期	通年 先進事例等の情報収集と調査研究及び各事業の現状把握 随時 セミナー等への参加	随時 ・最新動向及び導入事例等の情報収集 ・包括的民間委託等の手法検討(施設維持管理)
	後期	通年 先進事例等の情報収集と調査研究及び各事業の現状把握 随時 セミナー等への参加	随時 ・最新動向及び導入事例等の情報収集 ・包括的民間委託等の手法検討(施設維持管理)

目標管理	成果目標・数値目標等	
	民間の資金、ノウハウを活用したPPP/PFIへの転換等により、事業コストの削減、より質の高いサービスの提供を図るため、財政健全化等に資する方策の検討を進めます。	
	目標に対する前期までの成果	達成率(中間)
	・官民連携による事業の検討を深めるため、最新動向、先進事例、他市町村の動向等、情報収集に努めました。	50%
	目標に対する最終成果	達成率(最終)
・官民連携による事業の検討を深めるため、最新動向、先進事例、他市町村の動向等、情報収集に努めました。	90%	
残った課題・来年度の取り組み		
・事務事業の現状把握及び課題等を整理し、各事業への活用について調査・検討を進めます。 ・また、セミナー及び研修会等に参加し、最新動向や先進事例等の情報収集を行います。		

事業の概要・
実施方針

上司と部下による年4回の振り返り作業では、職位ごとの「求められる職員像」と現実の乖離を把握し、年2回の育成面談で「気づき」を与えることで職員の成長を促します。

また、期首に設定した年間業務目標の進捗を確認するプロセスにおいて、自らが工夫し達成させることで「自律」した職員の育成に努めます。

これらを踏まえ適正に考課した考課結果を処遇へ反映することで、職員のやる気を高めます。

実施方法・手段・スケジュール等

前期

5月【期首】目標設定
目標達成マネジメントシート・年間業務スケジュール表提出
※例年4月（課の運営方針と目標が5月決定のため）
5月 マネージャー研修（課長職考課者訓練）
（延期）
6月 第1回振り返り（各課実施）
8月 【中間】前期振り返り・面談実施

前期の実施状況（いつ・何をを行ったか）

5月 マネージャー研修については、開催の目途がついていません。それ以外は、当初の計画どおり実施しました。

6月 第1回振り返りについては、目標設定から日が浅く実施しませんでした。

進行管理

後期

10月 第3回振り返り（各課実施）
12月 勤労手当への考課結果反映
1月 管理監督職（考課者訓練）
2月 考課実施
3月
・考課結果取りまとめ
・考課結果全体調整
・フィードバック面談実施

10月から3月 当初の計画どおり実施をしました。

12月 令和元年度考課結果より勤労手当への処遇反映を実施しました。

2月 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、考課者訓練が計画より実施時期が遅れましたが、実施することができました。

成果目標・数値目標等

- ・本制度の定着と、各課実施及び期限内のシート提出100%を目指します。
- ・令和元年度考課結果を本年12月期勤労手当へ反映します。
- ・考課結果の定期昇給への反映方法を検討します。
- ・考課結果の人事任用制度への活用手段を構築します。
- ・考課スキル向上のため、考課者訓練を実施します。（課長職1回、その他管理監督職1回、新型コロナウイルス拡大状況を考慮し実施）
- ・考課結果が良好でない職員に対し、改善の機会や気づきの場を提供するため、個々の課題に応じた研修へ参加させる等のフォローアップシステムを構築します。

目標に対する前期までの成果

達成率(中間)

- ・本制度については施行期間を含め約5年が経過し、概ね職員にも定着しております。勤労手当への反映開始から約2年経過し、自身事と捉えて真剣に取り組んで椅子状況が見受けられる反面、期限内のシート提出100%に至っておりません。

50%

目標管理

目標に対する最終成果

達成率(最終)

- ・新型コロナウイルス感染症拡大防止のためマネージャー研修の実施は見送りましたが、継続した考課者訓練を開催し、考課者の目揃え、制度定着化を図りました。
- ・令和元年度の実施結果を基に12月期の勤労手当への処遇反映を行いました。

100%

残った課題・来年度の取り組み

- ・定期昇給については、人材育成考課結果による能力実証に基づく人事制度としていきます。
- ・人材育成考課結果による成績不良者の能力・意欲向上を図るための仕組みについて検討します。

事業の概要・
実施方針

恒常的・長時間の時間外勤務が心身の健康に与える影響に鑑み、職員一人ひとりが勤務時間を意識し能率的な仕事の進め方を身につけるとともに、ワークライフバランス（仕事と生活の調和）の実現を目指します。昨年に引き続き職員の意識改革を行い、不要不急の時間外勤務をしないほか、改正労基法を遵守し、所属長による適正な時間外勤務の管理徹底により、時間外勤務手当の縮減を図ります。

実施方法・手段・スケジュール等

前期の実施状況(いつ・何をを行ったか)

前期

- ①ゆう活（朝型勤務）（6月から9月実施）
- ②火曜・木曜ノー残業デー（通年）
- ③毎月第3週目をノー残業ウィーク（7月から9月実施）
- ④フレックスタイム制度試行を継続、本格実施に向けて整備
 - ・ノー残業デーの取り組み実績、時間外勤務の状況を課別に見える化
 - ・タイムレコーダー管理の徹底（自己管理・所属長管理）

- 5月「矢吹町はたらきかた改革2020」の実施要領を庁議決定
- ①ゆう活の実施（5月から9月）
 - ②火曜・木曜ノー残業デー
 - ③毎月第3週をノー残業ウィーク（7月から9月）
 - ④四半期ごとに時間外勤務状況、年次有給休暇取得状況を課長連絡会議にて報告

進行管理

後期

- ①ゆう活（朝型勤務）（6月から9月実施）
- ②火曜・木曜ノー残業デー（通年）
- ③毎月第3週目をノー残業ウィーク（7月から9月実施）
- ④フレックスタイム制度試行を継続、本格実施に向けて整備
 - ・ノー残業デーの取り組み実績、時間外勤務の状況を課別に見える化
 - ・タイムレコーダー管理の徹底（自己管理・所属長管理）

- ①火曜・木曜ノー残業デー
- ②四半期ごとに時間外勤務状況、年次有給休暇取得状況を課長連絡会議にて報告
- ③フレックスタイム制度試行を継続
 - ・ノー残業デーの取り組み実績、時間外勤務の状況を課別に見える化
 - ・タイムレコーダー管理の徹底（自己管理・所属長管理）

成果目標・数値目標等

- ・時間外勤務手当前年度比10%縮減
- ・ノー残業デーの完全退庁（時間外勤務禁止の徹底 ただし、やむを得ない緊急的・他律的事務を除く）
- ・ノー残業ウィークの完全退庁（時間外勤務禁止の徹底 ただし、やむを得ない緊急的・他律的事務を除く）

目標に対する前期までの成果

達成率(中間)

- ・「矢吹町はたらきかた改革2020」実施要領どおりに進んでいます。
- ・昨年度よりノー残業デー・ウィークに時間外勤務を行った場合は成果報告提出を義務付け、企画総務課長が確認していますが、今年度からは自身でノー残業デーの振替日を設定し、週2回は定時退庁するよう意識付けをしています。

50%

目標管理

目標に対する最終成果

達成率(最終)

時間外勤務手当実績（2月分まで）
令和元年度 26,852,255円
令和2年度 22,824,114円 15.0%減

90%

残った課題・来年度の取り組み

- ・引き続き「矢吹町はたらきかた改革」を実行し、公務能率に資する働き方を継続します。

事業の概要・ 実施方針	<p>姉妹都市である三鷹市、日本三大開拓地である青森県十和田市、宮崎県川南町との交流発展を目指し、フロンティア祭り等において本町と三鷹市・十和田市・川南町のPRを行います。</p>
----------------	--

実施方法・手段・スケジュール等		前期の実施状況(いつ・何をを行ったか)
進行管理	<p>前期</p> <p>7～8月 フロンティア祭りに関する関係市町との協議、調整 9月 フロンティア祭りでの姉妹・友好市町物産ブースの開設及び市町のPR 9月 目黒区民まつりでの日本三大開拓地のPR</p>	<p>随時 川南町との大雨、台風等災害状況の情報共有 ※新型コロナウイルス感染症の影響に伴うフロンティア祭り及び目黒区民まつりの中止</p>
	<p>後期</p> <p>11月 姉妹・友好市町に関する広報掲載 随時 姉妹・友好市町の紹介のためのホームページ等の更新</p>	<p>随時 姉妹・友好市町の紹介のためのホームページ等の更新</p>

目標管理	成果目標・数値目標等	
	<p>姉妹・友好市町の交流、進展につながるよう様々な機会に市町の情報提供を行います。</p>	
	目標に対する前期までの成果	達成率(中間)
	<p>新型コロナウイルス感染症の影響に伴いフロンティア祭りや目黒区民祭りが中止となったため、現在公開している姉妹、友好市町の紹介ホームページの更新に向けた検討を行いました。</p>	50%
	目標に対する最終成果	達成率(最終)
	<p>新型コロナウイルス感染症の影響に伴いフロンティア祭りや目黒区民祭りが中止となったため、現在公開している姉妹、友好市町の紹介ホームページの更新を行いました。</p>	100%
残った課題・来年度の取り組み		
<p>コロナ禍の状況を見ながら、姉妹・友好都市の交流、進展に繋がるよう、様々な機会に市町の情報提供を行います。</p>		

事業の概要・
実施方針

人、もの、自然を大切にす「遺魂（いだま）し運動」を展開し、廃棄物の排出抑制についての理念が町内に浸透することを目指します。
住民、町内企業と連携し、全町クリーン作戦やごみのポイ捨て防止運動を実施し、「ごみゼロのまち」を築きます。
家庭用生ごみ処理機購入補助及び資源物回収団体奨励金交付を充実するとともに、新たな制度創出によりごみ減量化・リサイクルの推進を図ります。
家庭系ごみの排出抑制に効果的な取組について調査・研究します。

実施方法・手段・スケジュール等

前期

随時
・家庭用生ごみ処理機購入補助及び資源物回収団体奨励金交付のPR
・資源物回収ステーション事業及び資源物回収コンテナ事業の推進
・ごみ回収ボックス貸出事業の推進
・ごみ減量化に関する情報収集
・ポイ捨て禁止看板設置
毎月：不法投棄防止パトロールの実施

前期の実施状況(いつ・何をを行ったか)

6月
・ごみ回収ボックス及び資源回収コンテナ設置
7月
・資源物回収団体奨励金の広報周知
随時
・資源物回収ステーション事業及びコンテナ貸出事業実施行政区との連携
・ごみ減量化に関する情報収集
・ポイ捨て禁止看板設置
・不法投棄パトロールの実施

進行管理

後期

随時
・家庭用生ごみ処理機購入補助及び資源物回収団体奨励金交付のPR
・資源物回収ステーション事業及び資源物回収コンテナ事業の推進
・ごみ減量化情報の住民周知
・ポイ捨て禁止看板の設置
毎月：不法投棄防止パトロールの実施

11月
・ごみ減量化情報の広報周知
12月
・資源回収コンテナ事業等の次年度意向調査実施
随時
・ごみ回収ボックス設置
随時
・ポイ捨て禁止看板の配布及び設置
・不法投棄防止パトロールの実施

成果目標・数値目標等

矢吹町ごみ減量化推進計画に基づき、目標年度（R2年度）までに一般廃棄物排出量の10%（484t）削減に向けて取組みます。
（矢吹町ごみ減量化推進計画の更新に向けて検討します。）
・家庭用生ごみ処理機購入補助を実施します。
（H31年度実績2件→R2年度目標4件）
・資源物回収団体奨励金交付について、回収実施団体及び実施行政区と連携し回収量の対前年比50%増加を目指します。
（H31年度対象回収量：114t→R2年度目標回収量171t）
・資源物回収コンテナ貸出事業を推進し、資源物の積極的な地域回収を行います。
（H31年度設置数5行政区→R2年度目標6行政区）
・不法投棄防止パトロールを月2回程度実施します。
・一般廃棄物の排出抑制に効果的な取組みについて調査・研究し、住民へ発信します。

目標に対する前期までの成果

達成率(中間)

・資源物回収団体奨励金交付（43件）
・資源物回収ステーション事業回収実績（9月末：28t）
・資源物回収コンテナ貸出事業回収実績（9月末：19t）
・資源物回収コンテナ貸出事業コンテナ設置（4行政区）
・ポイ捨て禁止看板設置（7箇所）
・不法投棄防止パトロールの実施（毎月）

50%

目標管理

目標に対する最終成果

達成率(最終)

・家庭用生ごみ処理機購入補助(3件)
・資源物回収団体奨励金交付(83件 208.8t)
・資源物回収ステーション事業回収実績(2月末 51.2t)
・資源物回収コンテナ貸出事業回収実績(2月末 36.7t)
・資源物回収コンテナ設置(4行政区)
・ポイ捨て禁止看板設置(15箇所)
・不法投棄防止パトロールの実施(毎月)
・ごみ減量化推進計画の更新

100%

残った課題・来年度の取り組み

・家庭用生ごみ処理機購入補助についてPRします。
・資源回収団体奨励金交付事業についてPRします。
・資源物回収コンテナ貸出事業の浸透により、各行政区が主体となり地域の積極的な資源化活動を推進するとともに、さらなるごみの減量化への意識醸成を図ります。
・ごみの減量化、資源化に関する情報発信を行います。

事業の概要・実施方針

世界的にみて、気候変動や食料不足による飢饉の増加等、環境に起因した問題が悪化の一途をたどっています。そのような中、地球温暖化対策の国際的枠組みを定めた「パリ協定」に日本が批准したことで、限りある自然を守ろうとする住民感情が更なる高まりを見せつつあります。今後、次世代に自然の恩恵を残すため、住民一人ひとりが自然環境保全について意識し、更なる機運の醸成を図る必要があります。平成31年3月に策定しました「矢吹町地球温暖化対策実行計画（事務事業編）」に基づき、職員が率先して温室効果ガス削減に向けた取り組みを実施します。また、住宅用太陽光発電システム設置補助を継続し、再生可能エネルギー促進を図ります。

実施方法・手段・スケジュール等		前期の実施状況(いつ・何をを行ったか)
前期	随時 ・ 矢吹町地球温暖化対策実行計画に基づく取組の実施 ・ 環境保全、地球温暖化防止のPR ・ 住宅用太陽光発電システム導入促進事業のPR ・ 阿武隈川源流探検事業の実施	随時 ・ 環境保全、地球温暖化防止のPR ・ 住宅用太陽光発電システム導入促進事業のPR
後期	随時 ・ 矢吹町地球温暖化対策実行計画に基づく取組の実施 ・ 環境保全、地球温暖化防止のPR ・ 住宅用太陽光発電システム導入促進事業のPR 2~3月 ・ 矢吹町地球温暖化対策実行計画に基づく取組の検証	随時 ・ 矢吹町地球温暖化対策実行計画に基づく取組の実施 ・ 環境保全、地球温暖化防止のPR ・ 住宅用太陽光発電システム導入促進事業のPR 3月 ・ 矢吹町地球温暖化対策実行計画に基づく取組の検証

進行管理

目標管理

成果目標・数値目標等	
・ 住宅用太陽光発電システム導入促進事業による補助を実施します。 15件 1,800,000円（1件あたり上限4kW×30,000円） （過去の補助実績） ・ H28年度：29件（3,315千円） ・ H29年度：18件（2,140千円） ・ H30年度：20件（2,252千円） ・ R1年度：20件（2,258千円） ・ 矢吹町地球温暖化対策実行計画（事務事業編）に基づき、PR及び検証を行いながら、温室効果ガスの排出抑制に取組みます。 ・ 子供たちを対象とした自然環境保全事業を実施します。（阿武隈川源流探検への参加）	
目標に対する前期までの成果	達成率(中間)
・ 住宅用太陽光発電システム導入促進事業補助（18件）2,040,000円	<h1>50%</h1>
目標に対する最終成果	達成率(最終)
・ 住宅用太陽光発電システム導入促進事業補助（28件） ・ 矢吹町地球温暖化対策実行計画に基づく庁的な取組み及び検証の実施	<h1>100%</h1>
残った課題・来年度の取り組み	
・ 矢吹町地球温暖化対策実行計画（事務事業編）に基づき、庁内の事務・事業で発生する温室効果ガスの削減に取り組めます。 ・ 町内の児童を対象とした自然環境保全事業に取り組めます。	

事業の概要・実施方針

動物に優しいまちづくりを目指すために、福島県動物愛護センターと連携し、情報メール配信サービスを活用しながら、里親探し等の保護活動を推進するとともに、野良猫の引取り及び殺処分数の減少へ向け、適正飼養についての周知徹底を図ります。
 飼い犬及び飼い猫の不妊去勢手術費に対し助成金を交付し、動物愛護の精神を育成します。

実施方法・手段・スケジュール等

前期の実施状況(いつ・何をを行ったか)

前期

4月
 ・広報による「不妊去勢手術費助成金交付事業」の周知
 9月
 ・広報による動物愛護特集記事掲載
 随時
 ・犬猫メール配信サービスの活用による迷い犬や迷い猫等の情報配信
 ・ホームページでの保護収容動物の情報発信による里親探し等の推進
 ・不妊去勢手術費助成金の交付

4月
 ・広報による「不妊去勢手術費助成金交付事業」及び「犬猫メール配信サービス」の周知
 5月
 ・広報による「犬猫メール配信サービス」の周知
 随時
 ・犬猫メール配信サービスの活用による迷い犬や迷い猫等の情報配信
 ・ホームページでの保護収容動物の情報発信による里親探し等の推進
 ・不妊去勢手術費助成金の交付

進行管理

後期

1月
 ・広報による「不妊去勢手術費助成金交付事業」の周知
 随時
 ・犬猫メール配信サービスの活用による迷い犬及び迷い猫等の情報配信
 ・ホームページでの保護収容動物の情報発信による里親探し等の推進
 ・不妊去勢手術費助成金の交付

10月末 狂犬病予防集合注射の実施
 随時
 ・犬猫メール配信サービスの活用による迷い犬及び迷い猫等の情報配信
 ・ホームページでの保護収容動物の情報発信
 ・不妊去勢手術費助成金の交付

成果目標・数値目標等

動物愛護センターと連携し、里親探し等保護活動を推進します。
 飼い犬及び飼い猫の不妊去勢手術費に対し助成金を交付します。
 【令和2年度目標】
 ・犬猫情報メール配信サービスの向上（登録者数75件（3割増）を目指します。）
 ・不妊去勢手術費助成金交付 90頭
 ・狂犬病予防注射接種率の向上
 （H31年度接種率82%→R2年度接種率85%以上を目指します。）
 ※集合予防注射を5月に予定していましたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため延期いたしました。（実施時期については未定です。）
 【令和元年度実績】
 ・犬猫情報メール配信サービス登録者件数 57件
 不妊去勢手術費助成金交付 犬14頭、猫70匹 計84頭

目標に対する前期までの成果

達成率(中間)

・犬猫情報メール配信サービスの実施（今年度登録者：15件、メール配信：1件）
 ・不妊去勢手術費助成金交付（犬：11頭、猫：38匹 計49件）
 ・町ホームページを活用した動物愛護センター収容動物情報のPR

50%

目標管理

目標に対する最終成果

達成率(最終)

・犬猫情報メール配信サービスの実施（今年度登録者：21件、メール配信：7件）
 ・不妊去勢手術費助成金交付（犬：14頭、猫：77匹 計91件）
 ・狂犬病予防注射の実施（集合注射：178頭、個別注射：485頭 計663頭）
 ・町ホームページを活用した動物愛護センター収容動物情報のPR

100%

残った課題・来年度の取り組み

・動物愛護の観点から動物の望まない妊娠及び捕獲犬猫の殺処分を減少させるため、不妊去勢手術費助成金を継続するとともに、適正飼養の意識向上のための周知徹底を図ります。
 ・犬猫メール情報配信サービスの登録者数増加のため、HPや広報等により周知を図ります。
 ・狂犬病予防注射接種について、飼い主へ周知徹底を図り、接種率の更なる向上を目指します。また、犬の登録等の管理を徹底します。
 ・動物愛護センター等関係機関と連携し、「譲渡会」や「飼い犬のしつけ教室」等、県の事業への参加者数増加のための情報発信を行います。

事業の概要・
実施方針

国連サミットで採択され、気候変動や自然災害等の問題も包括する大きな枠組みである国際目標「持続可能な開発目標(SDGs)」について、誰一人として取り残さず、町民一人ひとりが環境の保全に対し意識的、また主体的に取り組めるための事業実施を行います。

キックオフイベントの開催や協議会の設立等を通じ、「SDGs」を町内へ認知させるとともに、子供たちに自然環境の大切さを認識させる取り組みを行います。

進行管理

実施方法・手段・スケジュール等		前期の実施状況(いつ・何を行ったか)
前期	7~8月 ・キックオフイベントの実施 8~9月 ・推進協議会設立の準備 随時 ・SDGsに係る情報の発信(ホームページによる)	9月 ・推進協議会設立の準備
後期	1月 ・推進協議会の設立、開催 随時 ・SDGsに係る情報の発信(ホームページによる)	1月 ・推進協議会設置規約制定に係る準備

成果目標・数値目標等

- ・町内において、SDGsの推進を図る事業者等と、「SDGs推進協定(仮称)」の締結を図ります。
- ・町民の全ての方が参加可能なイベントを開催し、カードゲーム等を通じ、SDGsへの取り組みの楽しさを知っていただく取り組みを行います。
- ・協議会を設立し、本事業を推進していくことにより、国際目標である「SDGs取り組み」への先駆けを図ります。

目標に対する前期までの成果

達成率(中間)

- ・関係各課と協議を重ね、推進協議会設立の準備に取り組みました。

35%

目標管理

目標に対する最終成果

達成率(最終)

- ・関係課と協議を重ね、推進協議会設立の準備に取り組みました。

75%

残った課題・来年度の取り組み

【所管課変更】

- ・推進協議会を設立し、本事業を推進していくことにより、町内的なSDGs取り組みへの先駆けを図ります。
- ・新型コロナウイルス感染状況を考慮しながら、町民の全ての方が参加可能なイベントを開催するなど、SDGsへの取り組みの楽しさを知っていただく事業を展開していきます。

事業の概要・
実施方針

交通安全活動団体及び防犯活動団体それぞれの活動枠を越えて協力連携を図り、一体となった幅広い活動展開により「安全・安心のまちづくり」の推進に取り組みます。

実施方法・手段・スケジュール等

前期の実施状況(いつ・何をを行ったか)

前期

・各交通安全運動期間に伴う交通安全テント村(4月：春の全国交通安全運動、7月：夏の交通事故防止県民総ぐるみ運動)
・毎月第3金曜日 合同防犯パトロール
・通年 交通教育専門員活動(交通教室、危険交差点への立哨、町主催行事の交通教室、シートベルト着用調査)

・各交通安全運動期間中(4月：春の全国交通安全運動、7月：夏の交通事故防止県民総ぐるみ運動)における交通安全テント村及び(毎月第3金曜日)：合同防犯パトロール【新型コロナにより中止】
・4～9月：交通教育専門員活動(交通教室、危険交差点での立哨、シートベルト調査)の実施

進行管理

後期

・各交通安全運動期間に伴う交通安全テント村(9月：秋の全国交通安全運動、12月～1月：年末年始の交通事故防止県民総ぐるみ運動)
・毎月第3金曜日 合同防犯パトロール
・通年 交通教育専門員活動(交通教室、危険交差点への立哨、町主催行事の交通教室、シートベルト着用調査)

各交通安全運動期間中(9月：秋の交通安全運動、12-1月：年末年始の交通事故防止県民総ぐるみ運動)における交通安全テント村及び合同防犯パトロール【新型コロナにより中止】
10-3月 交通教育専門員活動(交通教室、危険交差点での立哨、シートベルト調査)の実施

成果目標・数値目標等

- ・令和2年度における交通死亡事故件数ゼロを目指します。
- ・令和元年中の交通事故発生件数26件・犯罪発生件数92件から、それぞれ前年比5%以上(交通事故2件、犯罪5件)の件数減少を目指します。

目標に対する前期までの成果

達成率(中間)

1月から9月末までの交通事故及び犯罪発生状況(対前年同期比較)

- ・交通事故発生件数：10件(△6件)
- ・死亡事故発生件数：0件(△2件)
- ・犯罪発生件数：44件(△22件)

50%

目標管理

目標に対する最終成果

達成率(最終)

1月から12月末までの交通事故及び犯罪発生状況(対前年同期比較)

- ・交通事故発生件数：16件(△10件)
- ・死亡事故発生件数：0件(△2件)
- ・犯罪発生件数：62件(△30件)

100%

残った課題・来年度の取り組み

- ①関係団体と連携し定期的な活動を継続して実施します。
- ②各団体活動を積極的に支援し、事故防止及び防犯に努めます。
- ③交通事故の更なる減少を目指し、安全対策を推進します。

事業の概要・
実施方針

大規模な災害を想定した場合、常備消防が対応できることには限度があり、補う組織として矢吹町消防団が、火災防御訓練等を通して実際の災害出動に備えます。
また、消防団の技術向上のため、消防団の資機材の充実を図ります。

実施方法・手段・スケジュール等

前期の実施状況(いつ・何をを行ったか)

前期

4/1 消防団辞令交付式(中止)
4/19 消防協会白河支部連合検閲(中止)
6/6 福島県消防大会(中止)
7/12 消防協会白河支部幹部大会(中止)
7/26 消防操法白河支部大会(中止)
8月 福島県総合防災訓練
9月 県南地方総合防災訓練

前期各行事について
【新型コロナにより中止】
7・9月：消防団幹部会議

進行管理

後期

11/1 秋季連合検閲
11/1 秋季火災防御訓練
1/10 消防団出初式
3/7 春季火災防御訓練

後期各行事について
【新型コロナにより中止】
10-3月：消防団幹部会議3回
2月：幹部、部長合同会議

成果目標・数値目標等

- ・消防団員の技能向上を図り、また、啓発活動を行い火災・災害での死者ゼロを目指します。
- ・消防団装備資機材の充実を図ります。
- ・消防団活動に際して団員の安全確保を図ります。
- ・平成30年度より導入した機能別消防団員制度について運用方法を検証し、消防団全体のより効果的な運用方法を協議しながら消防力向上に努めます。

目標に対する前期までの成果

達成率(中間)

- ・消防団装備資機材の充実を図りました。
- ・消防団幹部会を定期的開催し、消防力向上について協議しました。

50%

目標管理

目標に対する最終成果

達成率(最終)

- ・消防団装備資機材の充実を図りました。
- ・消防団幹部会を定期的開催し、消防力向上について協議しました。

100%

残った課題・来年度の取り組み

令和3年度のポンプ操法大会に向け、団員の消防技術の底上げを図ります。
機能別消防団員制度運用について、改善点を検証します。

事業の概要・ 実施方針	消防施設の整備を図り、火災や自然災害等発生時に迅速に対応できる体制を構築し、安全・安心なまちづくりを推進します。
----------------	--

		実施方法・手段・スケジュール等	前期の実施状況(いつ・何をを行ったか)
進行管理	前期	5月 三鷹市ポンプ車譲渡式 6月 消火栓新設位置の検討 9月 消火栓適正配置計画作成	5月:三鷹市ポンプ車譲渡式 6月:消火栓新設箇所の決定
	後期	10月 消火栓新設工事 11月 消防ホースポール設置	10月 消火栓新設工事 11月 消防ホースポール設置 2月 消防タンク車購入

目標管理	成果目標・数値目標等	
	<ul style="list-style-type: none"> 年間を通し、消防ポンプ置場、消防水利(水利看板含む)の維持管理を実施します。 消防水利不足地域の解消として、令和2年度は八幡町地内で消火栓新設を実施します。また、消火栓適正配置計画を作成します。 三鷹市より譲渡を受けたポンプ車1台を配備します。(5月8日、第3分団第1部へ配備) 	
	目標に対する前期までの成果	達成率(中間)
	<ul style="list-style-type: none"> 三鷹市より消防ポンプ車の譲渡を受け、第3分団第1部へ配備しました。 消火栓新設箇所について、八幡町地内への設置を決定しました。 消防タンク車を発注しました(1-1配備用) 	50%
	目標に対する最終成果	達成率(最終)
<ul style="list-style-type: none"> 消火栓1基を八幡町地内に設置しました。 消防ホースポール1基を新設しました。 消防タンク車を更新し、1-1へ配備しました。 	100%	
残った課題・来年度の取り組み		
消火栓を必要箇所に適正配置し、町内消防水利の有効活用に努めます。		

事業の概要・
実施方針

災害に対する円滑な活動を行うため、災害発生時に迅速に対応できるようマニュアルを作成し災害時に備える体制を構築します。

- ・活動資機材の備蓄、整備を行います。
- ・町に必要な災害協定についての締結を目指します。
- ・災害に強いまちづくりを実現していくため、矢吹町国土強靱化地域計画を作成します。

実施方法・手段・スケジュール等

前期の実施状況(いつ・何をを行ったか)

前期

- ・避難行動要支援者個別計画作成協議
- ・防災マニュアル・業務継続計画の策定
- ・国土強靱化地域計画作成協議

5～9月：避難行動要支援者個別計画、防災マニュアル及び業務継続計画の策定に関する情報収集
9月：国土強靱化地域計画（案）の策定

進行管理

後期

11月 避難行動要支援者個別計画(原案)作成
11月 防災マニュアルの完成
12月 防災マニュアル・業務継続計画の完成
3月 矢吹町国土強靱化地域計画の完成

10～3月：避難行動要支援者個別計画、防災マニュアル及び業務継続計画の策定に関する情報収集
3月：国土強靱化地域計画の策定

成果目標・数値目標等

- ・備蓄資機材の適切な管理を行います。
- ・避難行動要支援者個別計画、防災マニュアルを作成します。
- ・災害時に資源（人、物、情報等）が制約を受けた場合でも、一定の業務を的確に行えるよう業務継続計画を作成します。
- ・災害に強いまちづくりを実現していくため、矢吹町国土強靱化地域計画を作成します。

目標に対する前期までの成果

達成率(中間)

- ・避難行動要支援者個別計画、防災マニュアル及び業務継続計画策定に向け、情報収集を行いました。
- ・矢吹町国土強靱化地域計画について素案を作成しました。
- ・新型コロナウイルス対策を施した職員による避難所開設訓練を実施しました。
- ・各種災害協定を締結しました。（4件）

50%

目標管理

目標に対する最終成果

達成率(最終)

- ・避難行動要支援者個別計画、防災マニュアル及び業務継続計画策定に向け、情報収集を行いました。
- ・矢吹町国土強靱化地域計画を策定しました。

90%

残った課題・来年度の取り組み

避難行動要支援者個別計画、防災マニュアル及び業務継続計画を作成し、災害発生時に活用を図ります。
矢吹町国土強靱化地域計画を基に、災害に強い町づくりを実践します。

事業の概要・
実施方針

町の緊急情報を防災無線から配信し武力攻撃等の有事に備えるほか、自然災害、犯罪抑止の啓蒙広報活動を適時運用します。
また、防災無線の難聴対策として戸別受信機（防災ラジオ）及び防災メール配信サービスの普及推進を図ります。

進行管理

実施方法・手段・スケジュール等		前期の実施状況(いつ・何をを行ったか)
前期	<ul style="list-style-type: none"> ・280MHz防災無線運用基準による稼働状況の調査・運用方法の検討 5月 Jアラート全国一斉情報伝達訓練(1回目) ・随時 防災ラジオの広報 	5月：Jアラート全国一斉情報伝達訓練(1回目)の実施 随時：防災ラジオの広報周知
後期	<ul style="list-style-type: none"> ・280MHz防災無線運用基準の見直し 10月 Jアラート全国一斉情報伝達訓練(2回目) 2月 Jアラート全国一斉情報伝達訓練(3回目) 3月 防災ラジオ及び防災無線放送内容確認、メール配信に関する広報掲載 ・随時 防災ラジオの広報 	10月 Jアラート全国一斉情報伝達訓練(2回目) 2月 Jアラート全国一斉情報伝達訓練(3回目) 3月 防災ラジオ及び防災無線放送内容確認、メール配信に関する広報掲載

成果目標・数値目標等

- ・280MHz防災無線運用基準による防災無線の稼働状況について調査・検討の上、改善を図ります。
- ・防災無線の難聴対策として戸別受信機（防災ラジオ）の普及推進を図ります。
- ・防災メール配信サービスについて広報、ホームページを利用したの普及推進を図ります。

目標に対する前期までの成果

達成率(中間)

- ・防災無線難聴対策として、個別受信機（防災ラジオ）の普及促進を図りました。
- ・防災メール配信サービスの運用に向け、各種手続きを行いました。

50%

目標に対する最終成果

達成率(最終)

- ・防災無線難聴対策として、個別受信機（防災ラジオ）の普及促進を図りました。
- ・防災情報入手に係る各種手段について、広報周知を行い、町民の防災力向上を図りました。

100%

残った課題・来年度の取り組み

防災ラジオの普及拡大を図ります。
防災メール配信サービス等、有効手段の周知に努めます。

事業の概要・実施方針	<p>東京電力福島第一原子力発電所事故発生による放射性物質については、「矢吹町除染実施計画」に基づき適正に管理し、国の「中間貯蔵施設への除去土壌等の輸送に係る基本計画」に基づき、町内に保管していた全ての汚染土壌等を仮置場等より搬出完了いたしました。</p> <p>今後、仮置場等用地であった土地の原状回復工事を実施し、地権者への用地返還を図り、一刻も早い安全で安心な生活環境の復元を実現させます。</p>
------------	--

実施方法・手段・スケジュール等		前期の実施状況(いつ・何をを行ったか)
進行管理	<p>前期</p> <p>5月 ・仮置場等の原状回復工事発注(柿之内、堰の上、矢吹テクノパーク) 随時 ・現場管理</p>	<p>7月 ・仮置場等の原状回復工事発注(柿之内、堰の上、矢吹テクノパーク) 随時 ・現場管理</p>
	<p>後期</p> <p>11月 ・仮置場等の原状回復完了(柿之内、矢吹テクノパーク) 3月 ・堰の上仮置場の原状回復完了 随時 ・原状回復完了用地の返還</p>	<p>12月 ・仮置場等の原状回復完了(柿之内、矢吹テクノパーク) 3月 ・堰の上仮置場の原状回復完了 随時 ・原状回復完了用地の返還</p>

目標管理	成果目標・数値目標等	
	<p>柿之内地区仮置場、堰の上仮置場及び矢吹テクノパーク保管場について、順次原状回復工事を実施し、早期の地権者への用地返還を行います。</p>	
	目標に対する前期までの成果	達成率(中間)
	<p>・豪雨や防風等による災害発生防止の観点から、適切に仮置場等の管理を実施しました。 ・柿之内地区仮置場、堰の上仮置場及び矢吹テクノパーク保管場における原状回復工事を発注し、適切な現場監理を実施しました。</p>	50%
	目標に対する最終成果	達成率(最終)
	<p>・町内に設置した全ての仮置場について、適切な現場監理のもと、原状回復を完了させ、地権者への用地返還を行いました。</p>	100%
	残った課題・来年度の取り組み	
	<p>・町民の更なる安心へ向け、町内における空間放射線量を把握し、「汚染状況重点調査地域」の解除へ向け、関係機関との協議調整を行います。</p>	

事業の概要・
実施方針

町民の墓地確保のための墓地区画貸付けや、維持管理及び整備を行い、公衆衛生その他公共の福祉向上に寄与することを目的とし、利用者の観点から適正な墓園管理を行います。
また、今後の墓地整備計画について検討を行います。

進行管理

実施方法・手段・スケジュール等		前期の実施状況(いつ・何をを行ったか)
前期	随時 ・ 広報等による墓地区画の貸付募集 ・ 墓園の清掃及び維持管理の実施 ・ 今後の墓地整備計画の協議、検討	随時 ・ 広報等による墓地区画の貸付募集 ・ 墓園の清掃及び維持管理の実施 ・ 今後の墓地整備計画の協議、検討
後期	随時 ・ 広報等による墓地区画の貸付募集 ・ 墓園の清掃及び維持管理の実施 ・ 今後の墓地整備計画の協議、検討	随時 ・ 広報等による墓地区画の貸付募集 ・ 墓園の清掃及び維持管理の実施 ・ 今後の墓地整備計画の協議、検討

成果目標・数値目標等

墓地空区画（28区画）について、広報等により募集PRを行い貸付区画の増加を図ります。（貸付目標：12区画）
 ・ スケジュール管理により墓園の清掃及び維持管理を行います。
 ・ 今後の墓地整備計画について協議、検討を行います。

目標に対する前期までの成果

達成率(中間)

・ 広報等により墓地空き区画の貸付募集を行いました。
 ・ 墓地の新規貸付を決定しました。（9区画・残り19区画）

50%

目標管理

目標に対する最終成果

達成率(最終)

・ 広報等により墓地空き区画の貸付募集を行いました。
 ・ 墓地の新規貸付を決定しました。（18区画・残り10区画）

100%

残った課題・来年度の取り組み

現在、貸付可能な墓地区画数が残り10区画と少ないため、令和4年度に測量及び設計積算、令和5年度に墓地拡張工事（予定109区画）を実施します。

事業の概要・実施方針	<p>高齢者をはじめとする交通手段を持たない町民の利便性の向上と健康増進を図るため、町に最適な公共交通施策を検討します。</p> <p>また、令和元年8月に供用開始した「矢吹泉崎バスストップ」の利用促進に向けた更なる周知を行います。</p>
------------	--

実施方法・手段・スケジュール等		前期の実施状況(いつ・何をを行ったか)
進行管理	<p>前期</p> <p>4月 バスストップ施設の維持管理及び行き活きタクシーの業務委託に関する契約の締結 6月 バスストップ・行き活きタクシー利用促進PR方法の検討 7月～9月 バスストップ・行き活きタクシー利用促進活動 随時 行き活きタクシーに関する業者との協議</p>	<p>4月 行き活きタクシー本格実施広報掲載 4月 バスストップ及び行き活きタクシーに関する契約の締結 4月 バスストップへの新型コロナウイルスに関する各種ポスター掲示及び対策実施 6月 公共交通施策に関するPR方法の検討 8月 バスストップ駐車場の除草作業 9月 バスストップ案内看板の補強作業 随時 行き活きタクシーに関する業者との協議</p>
	<p>後期</p> <p>10～11月 バスストップ・行き活きタクシー利用促進PR方法の検討 12月～2月 バスストップ・行き活きタクシー利用促進PR 随時 行き活きタクシーに関する業者との協議</p>	<p>11月 バスストップ利用促進PRチラシ作成 11月～12月 高齢者参加行事(いきいきサロン、ことぶき大学)での行き活きタクシーのPR活動 12月 チラシ配布方法の協議 1月 高齢者公共交通アンケート調査 2月 行き活きタクシー制度の拡充の検討 3月 行き活きタクシー制度の改正 随時 行き活きタクシーに関する業者との協議</p>

目標管理	成果目標・数値目標等	
	<p>行き活きタクシーの本格実施及びバスストップ供用開始1年目として、多くの町民又は来訪者が利用できるよう、様々な機会に周知活動を行います。</p>	
	目標に対する前期までの成果	達成率(中間)
	<p>行き活きタクシーの本格実施に伴い、広報及びホームページでの周知活動を行いました。 また、バスストップ施設の維持管理作業やコロナ対策を行い、利用しやすい施設に努めました。</p>	50%
	目標に対する最終成果	達成率(最終)
	<p>高齢者で運転免許を持たない方を対象としたタクシーの利用料金の助成を行い、高齢者の買い物支援等の仕組みを構築しました。 また、高齢者を対象として、公共交通に関するアンケート調査を行い、公共交通に関するニーズ把握を行い、行き活きタクシー制度の見直しを行いました。</p>	100%
	残った課題・来年度の取り組み	
	<p>助成内容を拡充した行き活きタクシー制度の運用と合わせて、巡回バス等の運用について、協議、検討を行うなど更なる公共交通制度の構築に向けて取り組みます。</p>	

事業の概要・
実施方針

様々なボランティア活動のネットワークを構築し、人材登録、派遣管理、活動報告、情報提供等の活動を総合的に展開するボランティアセンターについて、運営主体である社会福祉協議会とともに、ボランティア活動参加者の増加を図るため、ボランティア募集や活動の情報を積極的に周知し、あらゆるボランティアを一括管理するボランティアの「総合窓口」を目指した活動を行います。

実施方法・手段・スケジュール等

前期の実施状況(いつ・何をを行ったか)

前期

7月～9月 社会福祉協議会まつりにおける町内ボランティア活動の周知
随時 ボランティアに関する社会福祉協議会との定例打合せ

4月 コロナ禍におけるボランティア事業の検討
4月～8月 布マスク作製事業の実施
5月 布マスク贈呈式
随時 ボランティアに関する社会福祉協議会との定例打合せの実施
※社会福祉協議会まつりは、ボランティアまつりとともに中止となりました。

進行管理

後期

随時
・ボランティアに関する社会福祉協議会との定例打合せ
・広報、ホームページ等によるボランティア活動等の周知

2月～3月 2/13地震に伴う災害時ボランティアセンターの設置
随時
・ボランティアに関する社会福祉協議会との定例打合せ
・広報、ホームページ等によるボランティア活動等の周知

成果目標・数値目標等

- ・ボランティア活動参加者が増加するよう取り組みます。
(R1年度実績・・・延759名、R2年度目標・・・延1,100名)
- ・町民へのボランティア意識を浸透させるよう取り組みます。
- ・ボランティア活動をもっと身近に感じてもらうため、社会福祉協議会まつりにおいてボランティア活動を周知します。

目標に対する前期までの成果

達成率(中間)

コロナ禍におけるボランティア事業を検討し、新規事業として「布マスク作製事業」を立ち上げました。
新規事業で作製した布マスクは、町に贈呈し、妊婦・子供など必要とされる方に配布しました。

50%

目標管理

目標に対する最終成果

達成率(最終)

・2/13福島県沖地震により設置した災害時ボランティアセンターの早期開設により、被害のあった世帯の片付け等のボランティアを積極的に行うことができました。
・コロナ禍ではありましたが、様々な研修会等を開催し、ボランティア活動参加者を増やすための活動を行いました。

100%

残った課題・来年度の取り組み

ボランティア活動の参加者を増やすための広報活動を継続します。

事業の概要・
実施方針

協働のまちづくり推進ビジョンに基づき、自分たちの地域に関心を持ち、その特色を活かした自主的な事業に要する経費に対して交付金を交付します。
交付対象団体を行政区又は行政区の連合体として、一事業あたり30万円を限度に年1回交付し、行政区の自主的な活動を支援します。
平成22年度からスタートし、これまでに49行政区で149事業が取り組まれました。行政区活動の活性化を促進し、更なる事業の推進を目指します。
また、年度当初から行政区活動が円滑に進められるよう行政区長及び行政区を支援します。

実施方法・手段・スケジュール等

前期の実施状況(いつ・何をを行ったか)

5月末 2次申請締切
6月 審査会
7月末 3次申請締切
8月 審査会
随時 行政区活動に関する情報提供(かわら版)の発行

5月末 2次申請締切
6月 審査会
7月末 3次申請締切
8月 審査会
7月 行政区活動支援事業(かわら版)の発行

前期

進行管理

10月～2月 次年度1次申請受付
随時 行政区活動に関する情報提供(かわら版)の発行

10月～2月 次年度1次申請受付
随時 行政区活動に関する情報提供

後期

成果目標・数値目標等

・未実施の行政区に対し、事業の周知を図りながら、更なる事業推進を図ります。
・更なる協働のまちづくりの推進を目指して、様々な地域活動の事例を行政区へ情報を提供します。

目標に対する前期までの成果

達成率(中間)

・15行政区に対し助成を行い、地域協働によるまちづくりが行われました。(助成総額1,911,000円)
・行政区活動(かわら版)を1回発行し、広く行政区活動の紹介を行いました。

50%

目標管理

目標に対する最終成果

達成率(最終)

・今年度は昨年度を大きく上回る15行政区が行う地域活動をサポートしました。
・行政区活動(かわら版)を発行し、広く地域活動のPRを行いました。

100%

残った課題・来年度の取り組み

これまでの地域活動で少なかったソフト事業について、特に防災などの分野で活用できる事例などを各行政区に情報提供します。

事業の概要・
実施方針

第6次矢吹町まちづくり総合計画に掲げる「協働のまちづくり」の推進を図るため、「自助・共助・公助の考え方」のうち、共助における協働範囲を拡充するため、町民・職員の意識の醸成を図り、多文化に向けた体制づくりを行います。
また、各分野で活躍するまちづくり団体等が連携し、更なる地域づくりが行えるようサポートの強化を行います。

実施方法・手段・スケジュール等

前期の実施状況(いつ・何をを行ったか)

前期

随時
・まちづくり団体登録制度の運用による官民の各種助成制度等の情報提供
・広報、ホームページ等によるまちづくり団体の活動内容の周知
・民間企業との協働のあり方の検討

随時
・まちづくり団体登録制度の運用による官民の各種助成制度等の情報提供

進行管理

後期

随時
・まちづくり団体登録制度の運用による官民の各種助成制度等の情報提供
・広報、ホームページ等によるまちづくり団体の活動内容の周知
・民間企業との協働のあり方の検討

随時
・まちづくり団体登録制度の運用による官民の各種助成制度等の情報提供
・広報、ホームページ等によるまちづくり団体の活動内容の周知
・民間企業との協働のあり方の検討

成果目標・数値目標等

・行政区、まちづくり団体、事業者及び行政等の地域活動実施主体がそれぞれの特色を活かしながら、連携・協力する体制づくりに向けて取り組みます。
・行政区、まちづくり団体による活動を町民に周知し、意識の醸成を行います。

目標に対する前期までの成果

達成率(中間)

・まちづくり団体登録制度をホームページで紹介しました。

50%

目標管理

目標に対する最終成果

達成率(最終)

団体への情報提供及び団体からのイベント等の活動内容の周知を行いました。(まちづくり団体登録数 8件)

100%

残った課題・来年度の取り組み

・まちづくり団体登録制度の住民周知(広報、ホームページなど)
・まちづくり団体との積極的な情報共有(町からの情報提供など)

事業の概要・ 実施方針	行政区長相互の円滑な連絡調整、町民意思の行政への反映、行政・地域・町民との連絡調整を目的として組織する区長会の運営に関する事務を行い、区長会総会、研修会等の各種主催事業に対する支援と協働のまちづくりを推進します。
----------------	--

実施方法・手段・スケジュール等		前期の実施状況(いつ・何をを行ったか)
進行管理	前期 4月 行政区長スタートアップ会議 // 区長会総会(書面表決) 6月 役員会 // 花の里やぶき桃源郷づくりツツジロード草刈り 7月 区長全体研修 9月 行政区長意見交換会	4月 行政区長スタートアップ会議(中畑・三神地区) 4月 区長会総会(書面表決) 4月 コロナ対策の情報提供 4月 集会所ハンドソープ設置 5月 役員会 6月 集会所アルコール消毒液設置 6月 非接触式体温計の貸与開始 8月 役員会 8月 つつじロード草刈り作業 9月 役員会 9月 行政区長研修会(全7回)
	後期 10月 役員会 11月 役員研修 2月 役員会	2月 役員会 // コロナ禍での地区総会開催方法の情報提供

目標管理	成果目標・数値目標等	
	協働のまちづくりを推進するため、地域の中心的な役割を担って活動を推進している区長会の組織強化を図ります。	
	目標に対する前期までの成果	達成率(中間)
	<ul style="list-style-type: none"> ・行政区長スタートアップ会議、役員会、行政区長研修会の開催により、区長会の組織強化を図ることができました。 ・つつじロードの維持管理活動を区長会主導で行い、協働のまちづくりに寄与しました。 ・行政区長研修会を開催し、コロナ禍で地域活動を行ううえでの判断基準や注意点を共有 	50%
	目標に対する最終成果	達成率(最終)
	<ul style="list-style-type: none"> ・役員会を開催し、各種事業について合意形成を図ることができました。 ・行政区長研修会を開催し、コロナ禍での地域活動の進め方、地域防災のあり方を説明しました。 	100%
	残った課題・来年度の取り組み	
	行政区長の7割近くが「任期1年」であることから、区長業務が円滑に進められるよう、地域別による会議等を開催するほか、行政区長マニュアルの再編に向けて、区長会役員会での協議を進めます。	

事業の概要・ 実施方針	協働のまちづくりを推進するための地域活動の拠点となる地域集会所について、矢吹町公共施設等総合計画及び個別施設計画に基づき、集会所の適正な維持管理、長寿命化に向けた取組み、誰にでもやさしい施設を目指して、指定管理者である行政区とともに整備します。
----------------	--

実施方法・手段・スケジュール等		前期の実施状況(いつ・何をを行ったか)
進行管理	<p>前期</p> 5月～10月 寺内集会所建築工事 7月～9月 集会所スロープ工事 6月～10月 集会所トイレ洋式化工事 随時 集会所の簡易修繕	4月 コロナ策周知ポスターの設置 6月 須乗本田集会所漏水修繕 7月 修繕箇所アンケート調査 9月～ 寺内集会所建築工事 随時 集会所の簡易修繕
	<p>後期</p> 11月～2月 寺内集会所解体工事 随時 集会所の簡易修繕	～2月 寺内集会所建築工事 3月 集会所隣接公園の遊具点検 " 旧寺内集会所解体工事 2月～3月 福島県沖地震による集会所被害の確認、修繕の実施

目標管理	成果目標・数値目標等	
	寺内集会所建設事業については、地域住民と十分な合意形成を図りながら事業を推進します。	
	目標に対する前期までの成果	達成率(中間)
	<ul style="list-style-type: none"> 指定管理者である行政区長にアンケート調査を実施しながら集会所の修繕箇所の把握に努めました。 地域住民との合意形成、情報提供を行いながら、寺内集会所建築工事を進めました。 	50%
目標に対する最終成果	達成率(最終)	
<ul style="list-style-type: none"> コロナ禍での地域活動のサポートとして、各集会所に消毒液、ハンドソープ、ポスターを設置しました。 寺内集会所が完成し、地域活動の拠点として整備することが出来ました。 集会所に隣接する公園の遊具を点検し、利用者の安全確保に努めました。 	100%	
残った課題・来年度の取り組み		
集会所施設長寿命化計画に基づき、地域活動、地域防災の拠点施設となる集会所の管理、運営等を行政区とともに進めます。		

事業の概要・ 実施方針	<p>協働のまちづくりの推進の基盤となるまちづくり団体等の活動を支援するため、財政的な支援を行い、団体の自立を推進します。</p> <p>また、新たな団体の立ち上げや既存団体による新規事業への支援について、きめ細やかなサポートを行い、協働によるまちづくりを推進します。</p>
----------------	--

実施方法・手段・スケジュール等		前期の実施状況(いつ・何をを行ったか)
進行管理	<p>5月末 2次申請期限(1次申請期限2月末)</p> <p>6月 団体ヒアリング(審査会)</p> <p>随時 各団体の活動状況等の広報・ホームページ等への掲載</p>	<p>4月 ホームページによるコロナ対策の掲載</p> <p>5月末 2次申請期限(1次申請期限2月末)</p> <p>6月 団体ヒアリングの開催(審査会)</p>
	<p>～2月末 次年度1次申請期間</p> <p>3月 各団体の事業実施・収支決算の確認</p> <p>随時 各団体の活動状況等の広報・ホームページ等への掲載</p>	<p>～2月末 次年度1次申請期間</p> <p>3月 各団体の事業実施・収支決算の確認</p> <p>随時 各団体の活動状況等の広報・ホームページ等への掲載</p>
	後期	

目標管理	成果目標・数値目標等	
	まちづくり団体の支援団体数が5団体以上になるように取り組みます。	
	目標に対する前期までの成果	達成率(中間)
	<p>・提案があった3団体に対し、助成金を交付し、団体による協働のまちづくりが行われました。(助成金額630,000円)</p> <p>・まちづくり団体の活動に関するコロナ対策について、ホームページにより周知しました。</p>	50%
目標に対する最終成果	達成率(最終)	
	<p>今年度は、3団体が事業を実施しました。うち1団体は、新規の団体による活動で、今後の地域づくりに繋がる活動となりました。</p>	100%
	残った課題・来年度の取り組み	
	<p>・町民が協働の視点を持ち、各種事業に参加していただけるよう各団体が行う事業のサポートを行います。</p> <p>・本事業をさらに活用していただき、公益性の高い事業が展開できるよう制度を周知します。</p>	

事業の概要・
実施方針

東京やぶき会は、首都圏在住の矢吹町出身者又は矢吹町に興味のある方による様々な情報交換や親睦を目的として、昭和57年10月に設立しました。総会及び親睦会の開催、広報やぶき等の発送により、ふるさとの情報提供等の活動を行っています。

様々なPR活動により会員数は少しずつ増えてきておりますが、更に会員数の増加につながるよう会員相互の交流活動等を検討します。

実施方法・手段・スケジュール等

前期の実施状況(いつ・何をを行ったか)

前期

5月 総会(書面表決)
6月 目黒区民まつり出店説明会
8月 役員会
9月 目黒区民まつり出店
毎月 会報誌作成、広報誌送付
随時 会員勧誘

5月 総会(書面表決)
6月 コロナ禍での本会活動の検討
7月 役員会(書面表決)
8月 産品PR事業
毎月 会報誌作成、広報誌送付
随時 会員勧誘
※コロナの影響により、目黒区民まつりは中止。

進行管理

後期

10月 役員会
11月 産品PR事業
2月 役員会
随時 会員勧誘

3月 産品PR事業
// 電話による役員会
随時 会員勧誘

成果目標・数値目標等

- ・会員相互交流活動を支援します。
- ・矢吹町のPR活動を行います。
- ・会員数が70名以上になるようPR活動、勧誘を行います。
(R2.3月末会員数 55名)

目標に対する前期までの成果

達成率(中間)

- ・総会及び役員会は、書面での開催となりましたが、コロナ禍での本会の活動方法の検討を行いました。
- ・矢吹町の農産品を会員に配布したことにより、町の魅力を伝えることができました。

50%

目標管理

目標に対する最終成果

達成率(最終)

- ・新型コロナウイルス感染症のため、目黒区民まつりが中止されたこと、首都圏における緊急事態宣言の発令などで、本会の活動は大幅に制限されたところではあったが、電話による役員会の開催、更なる町産品PR事業の実施により、ふるさとの情報を共有することができました。

100%

残った課題・来年度の取り組み

コロナ禍での新たな本会活動の検討として、効果的なふるさと矢吹町への貢献事業などを検討します。

事業の概要・実施方針	<p>まちづくりの理念である「自助・共助・公助の考え方」のうち、共助における協働範囲を拡充させるため、まちづくりの大きな担い手となる行政区の活動を町職員がサポートする体制を構築し、行政区と町がともにまちづくり活動を実践します。</p>
------------	---

実施方法・手段・スケジュール等		前期の実施状況(いつ・何をを行ったか)
進行管理	<p>前期</p> <p>5月 サポーター職員の選定 " 行政区長への通知 9月 行政区長意見交換会での意見聴取 随時 サポーター職員による区長への連絡(相談の有無の確認) 随時 行政区サポート会議への参加</p>	<p>5月 サポーター職員の選定 " 行政区長への通知 6月 行政区サポーター制度の実施 毎月 サポーター職員による区長への連絡(相談の有無の確認)</p>
	<p>後期</p> <p>10月 年度後半の連絡体制の確認 随時 サポーター職員による区長への連絡(相談の有無の確認) 随時 行政区サポート会議への参加</p>	<p>10月 年度後半の連絡体制の確認 随時 サポーター職員による区長への連絡(相談の有無の確認)</p>

目標管理	成果目標・数値目標等	
	行政区サポーター制度について、区長及び職員等の理解を向上させるよう取り組みます。	
	目標に対する前期までの成果	達成率(中間)
	<ul style="list-style-type: none"> 全ての行政区を対象に職員を配置し、6月1日から行政区長のサポートを行いました。 区長業務で悩んでいる事などを確認するため、サポーター職員から区長へ連絡を行いました。 	50%
	目標に対する最終成果	達成率(最終)
	33の行政区を対象に52名のサポーター職員を配置し、行政区長及び行政区のサポートを行いました。	100%
	残った課題・来年度の取り組み	
	行政区長を中心とした地域活動をサポートするための手法を引き続き、検討及び実施します。	

事業の概要・
実施方針

第6次矢吹町まちづくり総合計画（基本構想）に示されている「情報共有・情報発信のまちづくり」に基づく情報発信を行います。特に「協働のまちづくり」を町民に対し積極的に発信していくため、ホームページ・広報等にて、まちづくりの取り組みやイベントを周知し、情報共有を図り、町民の町政への関心を高めます。

実施方法・手段・スケジュール等

前期の実施状況(いつ・何をを行ったか)

前期

随時
 ・課の定例的な情報の周知
 ・まちづくり関係の情報発信
 ・まちづくり推進課の各種事業の特集記事や補助金等の情報発信

随時
 ・地域活動などにおける新型コロナウイルス関連の情報発信
 ・課の定例的な情報の周知
 ・まちづくり関係の情報発信
 ・まちづくり推進課の各種事業の特集記事や補助金等の情報発信

進行管理

後期

随時
 ・課の定例的な情報の周知
 ・まちづくり関係の情報発信
 ・まちづくり推進課の各種事業の特集記事や補助金等の情報発信

随時
 ・課の定期的な情報の周知
 ・まちづくりに関する情報の発信
 ・災害時の臨時的な情報の発信

成果目標・数値目標等

町民に必要とされるまちづくり関係情報や各種事業、補助金等の積極的な情報発信を行います。

目標に対する前期までの成果

達成率(中間)

・ホームページに新型コロナウイルス関連情報を含め各種最新情報の掲載を行いました。
 ・その他、各種事業の情報や成果を広報に掲載しました。

50%

目標管理

目標に対する最終成果

達成率(最終)

・ホームページに新型コロナウイルス関連情報、地震等の災害情報を含め各種情報の掲載を行いました。
 ・その他、各種事業の情報や成果を広報に掲載しました。

100%

残った課題・来年度の取り組み

今後も、積極的なまちづくりに関する情報提供を行います。

事業の概要・
実施方針

事務処理の効率的かつ確実な執行を図るため、マニュアル化の必要な事業を選定し、必要に応じ「事務処理マニュアル」を作成します。
また、申請等を必要とする事務事業については、別途チェックリストを作成し、確認漏れや審査等の判断を明確にすることにより、誤判断等を防止し、住民サービスの向上へ努めていきます。

		実施方法・手段・スケジュール等	前期の実施状況(いつ・何をを行ったか)
進行管理	前期	随時 ・マニュアル化業務の選定 ・マニュアルと事務執行とのすり合わせ及び検証 ・マニュアルの見直し及び改善 ・総合窓口課との協議	随時 ・マニュアル化業務の選定 ・マニュアルと事務執行とのすり合わせ及び検証 ・マニュアルの見直し及び改善 ・総合窓口課との協議
	後期	随時 ・マニュアル化業務の選定 ・マニュアルと事務執行とのすり合わせ及び検証 ・マニュアルの見直し及び改善 ・総合窓口課との協議	随時 ・マニュアル化業務の選定 ・マニュアルと事務執行とのすり合わせ及び検証 ・マニュアルの見直し及び改善 ・総合窓口課との協議

目標管理

成果目標・数値目標等

チェックミスの防止、事務処理の共有化及び効率化を図り、事務執行の迅速化等実施することで、住民サービスの向上、更には信頼される役場の実現を目指します。

目標に対する前期までの成果

達成率(中間)

・マニュアル内容の精査、確認作業を行いました。
・総合窓口課との協議を行いました。

50%

目標に対する最終成果

達成率(最終)

・マニュアル内容の精査、確認を行いました。
・総合窓口課との協議を行いました。

100%

残った課題・来年度の取り組み

・業務マニュアルについて、都度確認し、必要に応じ改善を行い事務処理の共有化及び効率化を図ります。

事業の概要・ 実施方針	<ul style="list-style-type: none"> ・事務事業を計画的、効率的に執行し、事業にかかる歳出削減を図ります。 ・矢吹町地球温暖化対策実行計画（事務事業編）の取り組み内容を意識し、燃料費・光熱水費等の内部管理経費の節減を推進します。
----------------	--

		実施方法・手段・スケジュール等	前期の実施状況(いつ・何をを行ったか)
進行管理	前期	随時 <ul style="list-style-type: none"> ・事務用品等の有効活用 ・電機機器等の節電の徹底 ・印刷用紙の裏面活用 ・公用車の適正運転 	<ul style="list-style-type: none"> ・事務用品等の有効活用 ・電機機器等の節電の徹底 ・印刷用紙の裏面活用 ・公用車の適正運転
	後期	随時 <ul style="list-style-type: none"> ・事務用品等の有効活用 ・電機機器等の節電の徹底 ・印刷用紙の裏面活用 ・公用車の適正運転 	<ul style="list-style-type: none"> ・事務用品等の有効活用 ・電機機器等の節電の徹底 ・印刷用紙の裏面活用 ・公用車の適正運転

目標管理	成果目標・数値目標等	
	<ul style="list-style-type: none"> ・事務事業を計画的・効率的に実施し、内部管理経費等の削減を図ります。 	
	目標に対する前期までの成果	達成率(中間)
	<ul style="list-style-type: none"> ・消耗品当の有効活用や電気機器等の節電、両面印刷等、積極的に取り組みました。 	50%
	目標に対する最終成果	達成率(最終)
<ul style="list-style-type: none"> ・消耗品等の有効活用や電気機器等の節電、両面印刷等、積極的に取り組みました。 	100%	
残った課題・来年度の取り組み		
<ul style="list-style-type: none"> ・内部管理経費の節減に向けて、積極的に取り組みます。 ・矢吹町地球温暖化対策実行計画（事務事業編）に基づき、内部管理経費の更なる節減を推進します。 		

事業の概要・
実施方針

地域集会施設及び消防団詰所等について、公共施設の管理運営調書を基に、適切な維持管理、更新を実施します。
また、施設の利用、運用状況に応じ、地域住民の意向を得ながら、施設の統廃合について、調査、検討を行います。
地区集会施設 34施設
消防団詰所等 28施設

実施方法・手段・スケジュール等

前期の実施状況(いつ・何をを行ったか)

前期

7月 集会施設に関するアンケート調査
" 集会施設に関する長寿命化計画の策定
随時 集会施設の簡易修繕

4月～ 集会施設に関する長寿命化計画の策定のための現地調査
7月 集会施設に関するアンケート調査
随時 集会施設の簡易修繕

進行管理

後期

随時 集会施設の簡易修繕

3月 集会施設長寿命化計画の策定
随時 集会施設の簡易修繕

成果目標・数値目標等

集会施設に関する長寿命化計画を策定し、既存施設の長寿命化のための方針を決定します。

目標に対する前期までの成果

達成率(中間)

・集会施設に関する長寿命化計画の策定のための現地調査を行いました。
・集会施設の維持管理に関するアンケートを実施し、不具合箇所の確認を行いました。

45%

目標管理

目標に対する最終成果

達成率(最終)

・集会施設長寿命化計画を策定し、長寿命化のための方針を決定しました。

100%

残った課題・来年度の取り組み

・集会所の老朽化などの定期点検を行います。
・集会施設長寿命化計画に基づき、必要に応じて、修繕箇所の確認、バリアフリー化の工事等を進めます。

事業の概要・ 実施方針	<p>指定管理者制度を活用した地区集会施設について、行政区と相互理解を深めながら効率的、効果的に管理運営を行います。</p> <p>また、民間委託できるものは民間に委ねることを基本とした「民間委託に関する基本方針」に基づき、事務事業の委託化を推進し、検証を行い、新たな委託化の可能性について調査・検討を行います。</p>
----------------	--

実施方法・手段・スケジュール等		前期の実施状況(いつ・何をを行ったか)
進行管理	<p>前期</p> <p>4月 指定管理協定内容の再確認 4月～9月 適正な維持管理、指定管理者との協議</p>	<p>4月 集会所の指定管理協定内容の再確認 7月 集会所の指定管理者管理運営状況検証</p>
	<p>後期</p> <p>10月～3月 適正な維持管理、指定管理者との協議</p>	<p>10月 集会所における指定管理制度に関するアンケート調査の実施 11月 指定管理制度の検証 12月 集会所における指定管理者の今後の方向性の確認</p>

目標管理	成果目標・数値目標等	
	内容の充実、拡大の必要性の有無等を検証し、新たな委託化の可能性について調査・検討を行います。	
	目標に対する前期までの成果	達成率(中間)
	<p>集会所の指定管理者の管理運営状況を検証し、適正な維持管理が行われていることを確認しました。</p>	50%
	目標に対する最終成果	達成率(最終)
	<p>集会施設の維持管理において、行政区と町の修繕対応を明確にした維持管理区分表を活用し維持管理を行いました。</p>	100%
残った課題・来年度の取り組み		
集会施設における行政区への維持管理の手法について、検討・運用します。		

事業の概要・ 実施方針	事務事業の年間スケジュールについて、業務集中時期を発生させないよう都度調整を行い、時間外勤務の抑制を図ります。
----------------	---

	実施方法・手段・スケジュール等	前期の実施状況(いつ・何をを行ったか)
進行管理	随時 ・課内、係内会議でのスケジュール確認及び調整 ・計画的、効率的な事務事業の実施 ・ノー残業デーの確実な実施	随時 ・課内、係内会議でのスケジュール確認及び調整 ・計画的、効率的な事務事業の実施 ・ノー残業デーの確実な実施
	随時 ・課内、係内会議でのスケジュール確認及び調整 ・計画的、効率的な事務事業の実施 ・ノー残業デーの確実な実施	随時 ・課内、係内会議でのスケジュール確認及び調整 ・計画的、効率的な事務事業の実施 ・ノー残業デーの確実な実施

目標管理	成果目標・数値目標等	
	計画的、効率的な事務事業を実施し、時間外勤務の抑制を図ります。	
	目標に対する前期までの成果	達成率(中間)
	・計画的、効率的な事務執行を図るとともに、課全体において事業のスケジュール確認及び調整を行い、時間外勤務の抑制を図りました。	50%
	目標に対する最終成果	達成率(最終)
・計画的、効率的に事務執行を図るとともに、課全体において事業のスケジュール確認及び調整を行い、時間外勤務の抑制を図りました。	100%	
残った課題・来年度の取り組み		
・引き続き業務の進行管理を徹底し、退庁時間を遵守し、時間外勤務の抑制を図ります。		

事業の概要・実施方針

収納率向上のため、文書催告及び納税相談の充実により納税意識の向上を図ります。
 また、徴税及び公課に係る未収金の徴収事務の一元化により、効率的かつ効果的に徴収し、法に基づき適正に滞納処分を執行して公平な徴収の実現を図り、収納率向上に努めます。
 さらに、白河地方広域市町村圏整備組合滞納整理課への悪質滞納者等の徴収事務の移管及び地方税法第48条による個人県民税に係る徴収を滞納処分の特例により福島県に引き継ぐことにより、未収金の縮減に努めます。
 なお、当町の滞納処分方法及び滞納処分を行うまでの過程について、滞納処分を先進的に行っている機関と連携を図り、滞納処分事務の改善及び効果的、効率的な滞納整理に努め、さらなる収納率の向上を図ります。

	実施方法・手段・スケジュール等	前期の実施状況(いつ・何をを行ったか)
進行管理	<p>前期</p> <p>4月 催告書送付(令和元年度分)、広域圏移管事案引継依頼 5月 滞納処分(令和元年度分)、執行停止事務 6月 催告書送付(滞納繰越分)、地方税法第48条徴収引継 7月 催告書送付(現年分)、滞納処分開始(滞納繰越分)、町外滞納者実態調査 8月 催告書送付(現年分)、滞納処分開始(現年分)、執行停止事務 9月 催告書送付(現年分)、高額滞納者搜索実施者選定 4~9月 ・県税還付金・農業委員会議案債権及び森林再生事業債権調査 ・滞納処分手段、文書催告手段等について先進的機関の調査</p>	<p>4月 催告書送付(R1未納分)、広域圏移管事案引継依頼 5月 執行停止事務 6月 地方税法第48条徴収引継 7月 催告書送付(滞納繰越分) 8月 催告書送付(現年分)、執行停止事務 9月 催告書送付(現年分)、高額滞納者搜索実施者選定 4~9月 ・滞納処分 ・県税還付金債権調査 【コロナウイルス感染症関連】 ・4~9月 徴収猶予の申請受付及び許可事務 ・5~7月 コロナウイルス感染症に関連した新規滞納処分の中止</p>
	<p>後期</p> <p>10月 催告書送付(現年分)、高額滞納者家宅搜索、令和3年度広域圏移管者選定開始 11月 催告書送付(現年分)、令和3年度広域圏移管者選定課内決定、執行停止事務、高額滞納者家宅搜索 12月 催告書送付(現年分)、令和3年度広域圏移管案件首脳部協議 1月 催告書送付(現年分)、令和3年度広域圏移管者選定ヒアリング及び事前移管通知発送 2月 催告書送付(現年分)、不納欠損実態調査及び事務処理、執行停止事務、国税還付金の差押及び換価 3月 催告書送付(現年分)、国税還付金の差押及び換価、不納欠損事案首脳部協議 10~3月 ・県税還付金・農業委員会議案債権及び森林再生事業債権調査 ・滞納処分手段、文書催告手段等の検討内容を反映した次年度年間行動計画案の作成</p>	<p>10月 令和3年度広域圏移管者選定開始 11月 令和3年度広域圏移管者選定課内決定及び事前移管通知発送、執行停止事務 12月 令和3年度広域圏移管案件首脳部協議 1月 令和3年度広域圏移管者選定ヒアリング 2月~3月 執行停止事務、国税還付金の差押及び換価 3月 不納欠損事案首脳部協議 10月~3月 催告書送付(現年分)、県税還付金調査 【コロナウイルス感染症関連】 ・10~3月 徴収猶予の申請受付及び許可事務 徴収猶予合計件数 34件 徴収猶予合計金額 15,873千円</p>

	成果目標・数値目標等	
目標管理	<p>成果目標・数値目標等</p> <p>・現年度課税分は、過去3年の最高徴収率を目標とします。うち、町民税・固定資産税は、基準財政収入額の算定に用いる徴収率とします。 町民税 現年度課税徴収率 98.60% 固定税 現年度課税徴収率 98.60% 軽自税 現年度課税徴収率 98.09% (令和元年度) 国保税 現年度課税徴収率 93.79% (令和元年度) 介護料 現年度課税徴収率 99.52% (令和元年度) 後期料 現年度課税徴収率 99.92% (令和元年度) ・滞納繰越分は、過去3年間の平均収納率を目標とします。 町民税25.84% 固定税21.56% 軽自税22.83% 国保税20.98% 後期料35.45% 介護料32.84%</p>	
	<p>目標に対する前期までの成果</p> <p>・現年課税分 9月末日 R2 R1 H30 町民税 36.94% 36.51% 36.01% 固定税 68.88% 68.37% 70.11% 軽自税 96.64% 95.24% 93.96% 国保税 37.50% 34.14% 34.72% 後期料 45.59% 41.16% 46.47% 介護料 50.95% 48.16% 49.82% ・滞納繰越分 9月末日収入額 3,813万円 (R2) 5,549万円 (R1)</p>	達成率(中間)
	<p>目標に対する最終成果</p> <p>・現年度 2月末 過去3年 達成率 町民税 77.18% 77.42% 99.69% 固定税 88.33% 89.87% 98.29% 軽自税 97.80% 97.48% 100.33% 国保税 83.74% 82.56% 106.27% 滞納繰越、延滞金2月末収入額 (単位万円) R2 R1 H30 H29 滞繰分 6,394 7,181 5,962 6,109 延滞金 1,060 1,010 1,123 827</p>	100%
	<p>残った課題・来年度の取り組み</p> <p>現年度収納率向上のため、催告書の送付及び財産調査の徹底を図ります。 なお、今年度に新型コロナウイルスの影響により実施できなかった悪質滞納者への搜索の実施について、感染状況を見て実施します。 また、今年度同様毎月時効管理会議を開き、漫然とした時効による不納欠損の減少に努め、財産が無い滞納者については財産調査を行ったうえで適正に執行停止を図ります。</p>	

事業の概要・
実施方針

課税通知書やリーフレットに「課税根拠」・「納付方法」及び「各種減免等の申請等」を記載し、情報発信を行います。

さらに、当初課税通知書発送時に滞納することによる「行政サービスの制限」「健康保険証の有効期限の短縮」等のペナルティが課せられることについて周知を行い、納期限内の納付を啓発します。

また、矢吹町ホームページ、行政アプリ、SNS及び広報やぶき等により、町税はもとより国税や県税等についても情報発信を行います。

実施方法・手段・スケジュール等

前期の実施状況(いつ・何を行ったか)

前期

税目毎に課税通知書の送付に併せてリーフレット等情報提供

- ・5月 軽自動車税、固定資産税
- ・6月 町県民税
- ・7月 国民健康保険税、介護保険料
- ・8月 後期高齢者医療保険料
- ・毎月 異動処理分

広報掲載・街頭啓発

- ・5月 令和2年度納税ごよみ広報掲載
- ・5月 三神小学校において「租税教室」の開催
- ・9月 「税を考える週間」啓発活動の実施

随時

- ・矢吹町ホームページ、SNS、行政アプリ、広報やぶきでの情報提供

・税目毎に課税通知書の送付に併せ情報提供

- ・令和2年度納税ごよみ全戸配布及びホームページ掲載
- ・ホームページの情報更新及び新規登録
- ・租税教室(三神小学校)実施
- 【コロナウイルス感染症関連】
- ・ホームページ及び広報やぶきへ地方税法改正・減免・徴収猶予等の情報掲載
- ・課税通知書を送付する封筒へ減免情報掲載

進行管理

後期

広報掲載

- ・1月 町税等の納税啓発
- ・1～2月 所得税、住民税申告
- ・3月 軽自動車の移転・抹消手続き

随時

- ・矢吹町ホームページ、SNS、行政アプリ、広報やぶきでの情報提供

・広報やぶき・ホームページによる税関連の情報提供実施。(コロナウイルス感染症及び令和3年福島県沖地震関連)

- ・毎月の滞納処分状況をHP掲載及び広報やぶき1月号へ記事掲載

10月13日 職場体験受入

1～3月 所得税、住民税申告に関する情報提供

成果目標・数値目標等

矢吹町ホームページ、広報やぶき及びリーフレット等より税に関する情報を発信します。

矢吹町ホームページ掲載総数に対する前年比5%増の新規ページ登録を行います。※参考:記事掲載71件(うち前年の新規掲載22件、更新21件)

目標に対する前期までの成果

達成率(中間)

・税目毎に課税通知書の送付時にリーフレットで情報提供を行いました。

・ホームページの既存内容の更新(7件)及び新規ページ登録(13件)を行いました。

・コロナウイルス感染症関連に関して、

- ①広報やぶきへ記事掲載(6月号～)
- ②ホームページへ税制改正内容や減免・徴収猶予等の新規ページ登録及び
- ③税務課が発送する通知に制度説明資料や封筒へラベルシールを貼り周知を図りました。

60%

目標管理

目標に対する最終成果

達成率(最終)

・光南高校生の職場体験受入を実施しました。

・矢吹町ホームページにより随時情報提供を実施しました。また、ホームページの既存内容の更新(8件)及び新規ページ登録(16件)を行いました。

・新型コロナウイルス感染症・令和3年福島県沖地震関連について、広報やぶき及び矢吹町ホームページにて情報発信しました。

100%

残った課題・来年度の取り組み

・引き続き情報発信に取り組みます。

事業の概要・ 実施方針	各システムの操作方法及び定型的な事務処理の方法をマニュアル化、または既にマニュアル化されているものについて適宜見直しを行い、一層の事務の標準化と効率化を図ります。
----------------	---

		実施方法・手段・スケジュール等	前期の実施状況(いつ・何を行ったか)
進行管理	前期	4～9月 ・既存マニュアルの見直し ・システム事業者との情報共有 ・統一様式でのマニュアル作成 ・リスク管理シートによるモニタリング・対応策の改善	・既存マニュアルの随時修正 ・システム事業者との情報共有 ・統一様式でのマニュアル作成 ・リスク管理シートによるモニタリング・対応策の改善
	後期	10～3月 ・既存マニュアルの見直し ・システム事業者との情報共有 ・統一様式でのマニュアル作成 ・リスク管理シートによるモニタリング・対応策の改善	10～3月 ・既存マニュアルの随時修正 ・システム事業者との情報共有 ・統一様式でのマニュアル作成 ・リスク管理シートによるモニタリング・対応策の改善

目標管理	成果目標・数値目標等	
	担当職員の不在時や人事異動による事務引継において行政サービスの低下とならないよう、システムの操作方法を含めた各業務の事務処理マニュアルの充実に努めます。	
	目標に対する前期までの成果	達成率(中間)
	・既存マニュアル(税務課独自)について随時修正を行いました。 ・システム事業と連携を図りシステム操作手順及び対応マニュアルの修正を行いました。	50%
目標に対する最終成果	達成率(最終)	
・既存マニュアル等について、税改正の対応や運用方法の変更があった箇所を修正しました。 ・毎週開催した係内会議で事務処理(改善含む)や担当者不在時の対応方法について確認しました。	100%	
残った課題・来年度の取り組み		
マニュアル等は作成又は修正後も、随時見直し・更新が行う必要があります。		

事業の概要・実施方針	<p>課員一人ひとりがコスト削減の意識を持って業務にあたり、事務経費（消耗品、事務用品、コピー等）の節減に努めます。</p> <p>また、税務課執務室内に省エネPRポスターを掲示しコスト意識の啓発と共有を図ります</p>
-------------------	--

進行管理	実施方法・手段・スケジュール等		前期の実施状況(いつ・何をを行ったか)
	前期	<ul style="list-style-type: none"> ・ 随時 ・ 事務用品の共有と再利用 ・ 両面印刷及び集約印刷 ・ プリンターのトナーセーブ設定の実施 ・ 書類印刷前のプレビュー画面での記載内容確認 ・ 退席時の照明及び電子機器の電源OFF ・ 公用車のアイドリングストップ ・ 執務室内使用水道の節水の徹底 ・ 課内・係内会議での意識啓発 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 事務用品の共有と再利用 ・ 両面印刷及び集約印刷 ・ プリンターのトナーセーブ設定の実施 ・ 書類印刷前のプレビュー画面での記載内容確認 ・ 退席時の照明及び電子機器の電源OFF ・ 公用車のアイドリングストップ ・ 執務室内使用水道の節水の徹底 ・ 課内・係内会議での意識啓発
	後期	<ul style="list-style-type: none"> ・ 随時 ・ 事務用品の共有と再利用 ・ 両面印刷及び集約印刷 ・ プリンターのトナーセーブ設定の実施 ・ 書類印刷前のプレビュー画面での記載内容確認 ・ 退席時の照明及び電子機器の電源OFF ・ 公用車のアイドリングストップ ・ 執務室内使用水道の節水の徹底 ・ 課内・係内会議での意識啓発 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 随時 ・ 事務用品の共有と再利用 ・ 両面印刷及び集約印刷 ・ プリンターのトナーセーブ設定の実施 ・ 書類印刷前のプレビュー画面での記載内容確認 ・ 退席時の照明及び電子機器の電源OFF ・ 公用車のアイドリングストップ ・ 執務室内使用水道の節水の徹底 ・ 係内会議での意識啓発

目標管理	成果目標・数値目標等	
	事務経費の節減に努めます。（前年比3%削減）	
	目標に対する前期までの成果	達成率(中間)
	職員一人ひとりがコスト削減意識を持ち積極的に取り組みました。	50%
	目標に対する最終成果	達成率(最終)
係内会議を通して内部管理経費の節減を啓発しました。 職員一人ひとりがコスト削減意識を持ち、積極的に取り組みました。	100%	
残った課題・来年度の取り組み		
内部経費の更なる節減に向けて積極的に取り組みます。		

事業の概要・
実施方針

公債権については、滞納者との折衝等により複雑な事象等が発生した場合には情報共有を行い、職員への徴収管理能力を育てることで、町税等の収納率向上に努めます。

また、債権回収等については、公的研修機関等での使用料等回収にかかる研修に参加し、私債権の法的性格、債権のあり方、強制執行や裁判所を利用した債権確保の法的手続き等の講義・演習を行い、効果的な回収の仕組みづくりができる能力の向上を図ります。さらに、収納確保委員会を通して所管課職員が理解を深める機会とします。

なお、債権管理については、債権の管理体制及び手法の整備を図るため、債権管理条例を整備します。

実施方法・手段・スケジュール等

前期の実施状況(いつ・何をを行ったか)

前期

4～9月

- ・ 収納確保委員会（幹事会・担当者会議含む）の開催
- ・ 債権管理条例（案）の協議
- ・ 債権管理計画（案）の協議
- ・ 関連する例規（案）の作成
- ・ 一元化に向けた組織機構見直しの協議

・ 9月 徴収事務専門研修会（福島県主催・福島市）へ参加
【債権管理条例関連】

- ・ 各課債権の調査・システム事業者との協議
- ・ 議会全員協議会での条例概要を説明
- ・ 債権管理条例・計画・例規・資料の作成
- ・ 一元化に向けた組織機構のあり方を検討・協議

進行管理

後期

10～3月

- ・ 収納確保委員会（幹事会・担当者会議含む）の開催
- ・ 債権管理条例（案）の決定
- ・ 債権管理計画（案）の決定
- ・ 関連する例規（案）の決定
- ・ 一元化に向けた組織機構見直しの決定
- ・ 債権管理条例の議案上程

10～3月

- ・ 収納確保委員会（幹事会・担当者会議含む）の開催
- ・ 債権管理条例（案）の決定
- ・ 債権管理計画（案）の決定
- ・ 関連する例規（案）の決定
- ・ 債権管理条例の議案上程【取り下げ】

成果目標・数値目標等

- ・ 債権管理条例の制定
- ・ 債権管理計画の策定
- ・ 関連する例規の整備

目標に対する前期までの成果

達成率(中間)

- ・ 徴収事務研修に参加し、徴収スキルの向上に努めました。
- ・ 債権管理条例制定に向けた各課債権の調査、議会への議案上程に向けた説明を実施しました。

50%

目標管理

目標に対する最終成果

達成率(最終)

- ・ 徴収事務研修に参加し、徴収スキルの向上に努めました。
- ・ 収納確保委員会を通して強制徴収公債権について研修会を開催しました。
- ・ 債権管理条例を12月議会へ上程しましたが、議案を取り下げました。

100%

残った課題・来年度の取り組み

公的研修機関に参加し、徴収スキルの向上に努めてまいります。

収納確保委員会を通して強制徴収公債権を扱う各課を対象に研修会を開催し徴収スキルの向上に取り組みます。

事業の概要・ 実施方針	「第6次矢吹町行財政改革大綱」に基づき、財政の健全化・効率化に取り組むため、税務課としてこれまで実施してきた事務事業の民間委託に加え、定型的業務や庶務業務を含めたさらなる可能性について検討します。
----------------	--

実施方法・手段・スケジュール等		前期の実施状況(いつ・何をを行ったか)
進行管理	前期	<p>4～9月</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事例調査・検討(課税業務・債権回収等) ・対象業務の洗い出し・検討 ・既存業務委託事業者と協議 ・係内会議で調査・検討 <p>・民間委託及びRPA導入可能な既存事務の抽出・検討</p> <p>・新しい生活様式に即した事務の見直しに合わせた業務抽出</p> <p>・既存業務委託事業者と協議</p>
	後期	<p>10～12月</p> <ul style="list-style-type: none"> ・係内会議で次年度に取組む内容を精査 ・アウトソーシング等の検討結果の取りまとめ、見積書徴収、関係課と協議 ・次年度の当初予算計上 <p>・アウトソーシング等の取りまとめ、見積書徴収、関係課と協議</p> <p>・既存業務委託事業者との協議</p>

目標管理	成果目標・数値目標等	
	対象事業の調査・検討と案件抽出を行い、課題等を整理しながら民間委託を推進します。	
	目標に対する前期までの成果	達成率(中間)
	民間委託可能な既存事務の抽出及び検討を行い、既存業務委託事業者と協議を行いました。	50%
	目標に対する最終成果	達成率(最終)
	<ul style="list-style-type: none"> ・既業務委託内容を見直し、来年度から追加する項目を決定しました。 ・預貯金照会の電子化について既存業務委託事業者と連携し事務の効率化を図りました。 	100%
	残った課題・来年度の取り組み	
	既にアウトソーシングされている業務が多い状況(他市町村との比較)のため、今年度作成した調書等を利用し更なるアウトソーシングの可能性について検討する必要があります。	

事業の概要・
実施方針

年間スケジュールを管理することにより、突発的な業務や業務の集中する期間は係間の協力、連携により時間外勤務時間の縮減に取り組みます。
係内会議を通して職員の業務量、進捗状況を把握し、業務分担を適宜行うことにより、時間外勤務の抑制に努めます。
また、ゆう活及びフレックス制度等を活用し、ワークライフバランス（仕事と生活の調和）の実現を目指します

実施方法・手段・スケジュール等

前期の実施状況(いつ・何をを行ったか)

前期

4～9月 ノー残業デーの周知及び実施（毎週火曜、木曜日）
6～9月 ゆう活
7～9月 ノー残業ウィーク（毎月第3週）
随時
・ 所属長命令に基づく適正な運用の徹底
・ フレックス制度の活用
・ 繁忙期における係間での連携
毎週 係内会議でのスケジュール確認と調整

・ ノー残業デーの周知及び実施
・ ゆう活
・ ノー残業ウィーク
・ 所属長命令に基づく適正な運用の徹底
・ 係内会議でのスケジュール確認と調整

進行管理

後期

10～3月 ノー残業デーの周知及び実施（毎週火曜、木曜日）
随時
・ 所属長命令に基づく適正な運用の徹底
・ フレックス制度の活用
2～3月 繁忙期における係間での連携
毎週 係内会議でのスケジュール確認と調整

・ ノー残業デーの周知及び実施
・ ゆう活
・ ノー残業ウィーク
・ 所属長命令に基づく適正な運用の徹底
2～3月 繁忙期における係間での連携
・ 係内会議でのスケジュール確認と調整

成果目標・数値目標等

時間外勤務時間の前年度と同程度に抑制します。

目標に対する前期までの成果

達成率(中間)

所属長命令に基づく適正な運用の徹底、矢吹町はたらきかた改革2020に基づくノー残業デー等に取り組みました。
また前年度比で職員数減となったため課内での事務分担の変更を行い事務の平準化を図り時間外の抑制を図りました。
・ 4～9月全体
R2 : 501h (1ヶ月83.5h)
R1 : 643.8h (1ヶ月107.3h)
・ 4～9月1人当たり平均時間数
R2 : 45.5h (1ヶ月7.6h)
R1 : 58.4h (1ヶ月9.7h)

50%

目標管理

目標に対する最終成果

達成率(最終)

所属長命令に基づく適正な運用の徹底、矢吹町はたらきかた改革2020に基づくノー残業デー等に取り組みました。
前年度比で課内での事務分担の変更を行い事務の平準化を図り時間外の抑制を図りました。
4～2月の時間外勤務は前年と比較し、減少しました。
R2 1,204h
R1 1,490h

100%

残った課題・来年度の取り組み

・ 例年、申告事務（1～3月）にかけて事務量が増加するので、業務スケジュールを把握し進捗管理を行いながら係間の協力と事務の効率化を図り時間外勤務の抑制に努めます。
・ コロナウイルス感染症に関する町税等の減免のほか、令和3年福島県沖地震によるり災証明事務・町税等の減免事務等への対応が課題となります。

事業の概要・
実施方針

社会全体の情報化が進む中で、町民の生活スタイルの変化によって行政に求められるニーズも多様化しております。本町においても、情報化の推進を図り、行政サービスの質を向上させる必要があることから、マイナンバーカードを活用した、コンビニエンスストア等で各種証明書が取得できるサービスの周知をします。

各課との業務の連携を確認し、スムーズにお客様に対応できるように調整を図ります。

実施方法・手段・スケジュール等

前期の実施状況(いつ・何をを行ったか)

前期

随時 コンビニエンスストア等で各種証明書が取得できるマイナンバーカードの普及促進を広報、ホームページで周知
随時 各課との協議、総合窓口会議

7月 マイナンバーカードについて広報掲載

随時 各課との協議

進行管理

後期

随時 コンビニエンスストア等で各種証明書が取得できるマイナンバーカードの普及促進を広報、ホームページで周知
随時 各課との協議、総合窓口会議

11月、2月、3月 マイナンバーについて広報掲載
11月、1月 マイナンバー申請についてホームページで周知

随時 各課との協議

成果目標・数値目標等

コンビニ交付サービス利用促進のため、チラシの配布、広報やぶき、ホームページ等でマイナンバーカードの普及促進を実施します。

各課との協議や総合窓口会議実施し、各課の連携を強化し、申請受付のミスの軽減を図ります。

目標に対する前期までの成果

達成率(中間)

マイナンバーカードについて広報に掲載しました。また窓口や電話での問い合わせの際に、丁寧に説明し申請を勧めました。8月末現在501枚交付し、昨年の交付枚数482枚を上回っています。

【カード交付率】

- 令和元年度 11.4%
- 令和2年8月現在 14.3%

窓口業務を委託している「まちづくり矢吹」と定期的に打ち合わせを行いました。また各課と協議をし、研修等を実施し改善を図りました。

50%

目標管理

目標に対する最終成果

達成率(最終)

マイナンバーカードについて広報及びホームページに掲載しました。また転入者、来庁者や電話での問い合わせの際に申請を勧めました。今年度は2月末現在 1,428枚交付し、交付率は19.7%になりました。

100%

残った課題・来年度の取り組み

新型コロナウイルスの影響で企業訪問等を控えることとなったため、来年度は状況を見て実施していきます。

また、引き続きマイナンバーの活用等の周知をし、取得率向上に努めます。

事業の概要・ 実施方針	<p>必要な情報を定期的に発信し、来庁者が利用しやすい窓口となるよう努めます。特にコンビニ交付サービスをより効果的なものとするため、コンビニ交付サービス及びマイナンバーカードの取得に関する情報について積極的に発信していきます。</p>
----------------	---

進行管理	実施方法・手段・スケジュール等	前期の実施状況(いつ・何をを行ったか)
前期	6月 広報やぶき掲載 9月 広報やぶき掲載 随時 来庁者への定期的な情報発信 ホームページの定期的見直し	7月 広報やぶき掲載 随時 来庁者、電話での問い合わせ等での広報
後期	12月 広報やぶき掲載 3月 広報やぶき掲載 随時 来庁者への定期的な情報発信 ホームページの定期的見直し	11月 広報やぶき掲載 ホームページ情報発信 2月 広報やぶき掲載 1月 ホームページ情報発信 3月 広報やぶき掲載 随時 来庁者、電話での問い合わせ等での広報 コンビニ交付のメンテナンス等のお知らせ

目標管理	成果目標・数値目標等	
	<p>町民が利用しやすい窓口となるよう、積極的な情報発信に努めます。マイナンバーカードの普及促進及び申請手続きのサポートについて広報やホームページを活用し、広く周知します。</p>	
	目標に対する前期までの成果	達成率(中間)
	<p>マイナンバーカード取得率向上のため広報し、来庁者及び電話での問い合わせについて申請を推進しました。</p>	50%
目標管理	目標に対する最終成果	達成率(最終)
	<p>広報やぶき及びホームページにてマイナンバーカード取得に関する情報を提供し、引き続き来庁者や電話での問い合わせについて申請を推進しました。</p>	100%
	残った課題・来年度の取り組み	
<p>マイナンバーカード取得向上のため、状況を見ながら企業や各種団体へ訪問申請について広報します。また、広報やぶきやホームページ等で周知します。</p>		

事業の概要・
実施方針

持続的かつ安定的に窓口サービスを提供するため、既存の事務処理マニュアルについて必要に応じて見直しを実施するほか、業務委託の事務処理マニュアルの精査を実施します。

実施方法・手段・スケジュール等		前期の実施状況(いつ・何をを行ったか)
前期	随時 既存のマニュアルについて、まちづくり矢吹及び各課との協議および打合せ会	随時 まちづくり矢吹との打ち合わせ 各課との協議 研修会の実施
後期	随時 既存のマニュアルについて、まちづくり矢吹及び各課との協議および打合せ会	随時 まちづくり矢吹との打ち合わせ

進行管理

成果目標・数値目標等

法改正や窓口での苦情や要望に迅速に対応するため、関係各課との連携強化を図り、既存事務処理マニュアルの見直し、窓口業務の対応について認識の共有化を徹底します。

目標に対する前期までの成果

達成率(中間)

各課からの受託された104業務のマニュアルと窓口業務との差異を確認し、各課と協議をし業務理解のための研修会を実施しました。
窓口係の委託73業務中55業務のマニュアルについて作成されています。

50%

目標管理

目標に対する最終成果

達成率(最終)

マニュアル化されている業務について各課とまちづくり矢吹との連絡調整をし、より業務が円滑に進められるようにしました。

100%

残った課題・来年度の取り組み

必要に応じてマニュアルの見直しを実施し、各課と連絡調整をします。

事業の概要・ 実施方針	職員一人ひとりがコスト意識を持つことにより、事務費削減に努めます。 また、伝票に関する添付資料の削減を推進します。
----------------	--

実施方法・手段・スケジュール等		前期の実施状況(いつ・何をを行ったか)
進行管理	<p>職員研修時を利用し、伝票の添付資料削減の説明を行います。</p> <p>随時 印刷用紙の裏面活用 両面印刷及び集約印刷 電気情報機器の節電</p>	<p>随時 印刷用紙の裏面活用 両面印刷及び集約印刷 電気情報機器の節電 付箋による添付資料削減指 導</p>
	<p>職員研修時を利用し、伝票の添付資料削減の説明を行います。</p> <p>随時 印刷用紙の裏面活用 両面印刷及び集約印刷 電気情報機器の節電</p>	<p>随時 印刷用紙の裏面活用 両面印刷及び集約印刷 電気情報機器の節電 付箋による添付資料削減指 導</p>
	<p>職員研修時を利用し、伝票の添付資料削減の説明を行います。</p> <p>随時 印刷用紙の裏面活用 両面印刷及び集約印刷 電気情報機器の節電</p>	<p>随時 印刷用紙の裏面活用 両面印刷及び集約印刷 電気情報機器の節電 付箋による添付資料削減指 導</p>

目標管理	成果目標・数値目標等	
	計画的、効率的な事務事業の実施により、内部管理経費の削減を図ります。	
	目標に対する前期までの成果	達成率(中間)
	<p>事務用品の共同利用や再利用に取り組みました。両面印刷や節電に努めました。 伝票に関する添付書類の削減を推進するため、写しでなく原本添付を会計管理者から指導しました。</p>	50%
	目標に対する最終成果	達成率(最終)
	<p>事務用品の共同利用や再利用に取り組みました。両面印刷や節電に努めました。</p>	100%
	残った課題・来年度の取り組み	
	今後も事務用品の共同利用や再利用、また両面印刷や節電に努めます。	

事業の概要・ 実施方針	行財政運営の効率化を図り、質の高いサービスを持続的に提供するため、委託業者との委託業務について協議をし、推進を図ります。
----------------	--

進行管理	実施方法・手段・スケジュール等		前期の実施状況(いつ・何をを行ったか)
	前期	随時 委託業者との協議 各課との協議	随時 委託業者との協議(3回) 各課との協議(3回)
	後期	随時 委託業者との協議 各課との協議	随時 委託業者との協議(1回)

目標管理	成果目標・数値目標等	
	業務をする上での不具合や不明点の解消、また職員と委託業者の共通認識を図り、来庁者が求めている業務の対応をスムーズにし、丁寧に時間短縮になるよう協議を進めます。	
	目標に対する前期までの成果	達成率(中間)
	委託業者と協議をし、業務上の不明な点の解消をしました。また、マニュアルと現状の業務との相違点がないか再確認し、不明確な業務については各課の協力を得て、研修会を実施しました。	50%
	目標に対する最終成果	達成率(最終)
	委託業者と業務上の疑問等の解消のため協議を実施しました。また、随時業務に関する小さい疑問点等を各課に確認し、円滑に業務が実施できるよう調整を図りました。	100%
残った課題・来年度の取り組み		
制度の変更等が生じた際に研修会を実施し、円滑に業務が遂行できるように調整します。 また、委託業者や各課との協議を実施し、疑問等の解消に取り組めます。		

事業の概要・ 実施方針	<p>受付業務の比重が多いため、突発的に業務が集中する日や時間があります。係内の連携やフォローアップを強化し、時間外勤務時間の縮減に取り組みます。</p>
----------------	---

実施方法・手段・スケジュール等		前期の実施状況(いつ・何をを行ったか)
進行管理	<p>前期</p> <p>随時 ノー残業デーの実施 朝の会での業務確認 課内・係内会議における 状況確認</p>	<p>随時 ノー残業デーの実施 朝の会での業務確認 課内会議におけるの状況確 認 係内での業務確認</p>
	<p>後期</p> <p>随時 前期の見直し ノー残業デーの実施 朝の会での業務確認 課内・係内会議におけるの 状況確認</p>	<p>随時 ノー残業デーの実施 朝の会での業務確認 係内での業務確認</p>

目標管理	成果目標・数値目標等	
	計画的、効率的な事務事業の実施により、時間外勤務の抑制を図ります。	
	目標に対する前期までの成果	達成率(中間)
	係内で協力及び連携したことにより、時間外勤務がなくなりました。	50%
	目標に対する最終成果	達成率(最終)
	係内で協力及び連携したことにより、時間外勤務の減少につながりました。	100%
残った課題・来年度の取り組み		
来年度も継続してノー残業デーを実施し、また課内、係内の連携及び情報交換をさらに密にし、時間外勤務時間の抑制に努めます。		

事業の概要・実施方針

町民のライフステージに沿った健康の保持増進、生活習慣病の発症予防及び重症化予防のための事業を展開し、町民が地域で安心して生活できることを目指します。具体的な内容として、①ヘルスアップ教室（健康の保持増進・生活習慣病予防の運動教室）参加促進を図り、楽しく運動が継続できるよう取り組みます。②自殺予防対策として「いのちの大切さ」について若い年齢層に関わり、正しい知識の普及啓発に取り組みます。

	実施方法・手段・スケジュール等	前期の実施状況(いつ・何をを行ったか)	
進行管理	前期	<p>4月・ヘルスアップ教室開始 4月～5月・町内企業や店舗等へポスター 掲示依頼しPR強化 5月・教室生に対し栄養指導 7月・ウォーキング教室 8月・町内企業に対し再度PR 8月～9月・町民検診時に参加者勧誘 9月8日：やぶきフロンティア祭り時の自殺予防街頭キャンペーンの実施 * 町内の小中学校及び光南高校での「いのちの教育事業」の実施</p>	<p>6月・ヘルスアップ教室開始</p>
	後期	<p>10月・ヘルスアップ教室開始 11月・教室生に対し栄養指導 2月・町内企業に対し再度PR ・健康づくり講演会（新規参加者勧奨） * 町内の小中学校での「いのちの教育事業」の実施</p>	<p>10月・ヘルスアップ教室開始 10～11月・教室生に対し栄養指導 2月・町内企業に対し再度PR * 町内の小中学校での「いのちの教育事業」の実施</p>

	成果目標・数値目標等	
目標管理	<p>①ヘルスアップ教室 ・教室参加継続者を維持できるよう魅力ある教室にするために栄養講座等イベントを盛り込みながら実施します。 ・新規参加者を増やすために健康づくり講演会の開催、町内企業や店舗へのポスターの掲示等あらゆる機会を通してPR活動に取り組んでいきます。 ・令和2年度ヘルスアップ教室目標参加者数：115人【H30年度109人】 ②自殺予防対策事業 ・「いのちの教育事業」を実施します。（町内の小学校・中学校・高校） ・街頭キャンペーンを実施します。（やぶきフロンティア祭り）</p>	
	目標に対する前期までの成果	達成率(中間)
	<p>①ヘルスアップ教室【 】内前年同期 ・9月末日参加者数 93名【108名】 ②自殺予防対策事業：未実施 ※10～11月に実施予定</p>	50%
	目標に対する最終成果	達成率(最終)
	<p>①ヘルスアップ教室【 】内前年同期 ・参加者数 96名【108名】 ・栄養教室 33名【34名】 ②自殺予防対策事業 ・町内の小中学校及び光南高校での「いのちの教育事業」の実施 913名【1,043名】 ・町内企業へのキャンペーン</p>	100%
	残った課題・来年度の取り組み	
	<p>・ヘルスアップ教室については、新規参加者促進のために、引き続きポスター掲示や各種検診、広報誌を通じてPR活動を行っていきます。 ・自殺予防対策については、引き続き町内の小中学校及び光南高校での「いのちの教育事業」や町内企業へのPR等を実施していきます。 ・新型コロナウイルス感染拡大防止対策を講じながら事業を実施してまいります。</p>	

事業の概要・
実施方針

健康センター（あゆり温泉・温水プール）は住民の健康増進を図るための施設であり、民間活力による施設の効果的かつ効率的な管理運営を促進するため、平成18年度より指定管理者制度を導入しています。指定管理者の年度計画に基づき事業を実施いたしますが、新型コロナウイルス感染拡大防止等、利用者の安全を第一に考えた施設運営を行います。

また、敷地内擁壁の改修のための調査・設計を行います。

【新型コロナウイルス感染予防のため臨時休館】
令和2年3月10日から当面の間

- ・あゆり温泉
- ・老人福祉センター
- ・温水プール
- ・屋内ゲートボール場

実施方法・手段・スケジュール等

前期の実施状況(いつ・何をを行ったか)

前期

毎月 ・指定管理者との定期打合せ
7月 ・擁壁改修基本設計業務委託締結
9月 ・敬老会招待者 約2,700名へあゆり温泉無料入浴券(3回分)の送付

毎月 ・指定管理者との定期打合せ
新型コロナウイルス感染拡大防止のため休館(3/10～5/31)
6月 ・営業再開(新型コロナウイルス感染防止のため一部利用制限)
9月 ・敬老会招待者 約2,635名へあゆり温泉無料入浴券(3回分)の送付

進行管理

後期

毎月 ・指定管理者との定期打合せ
10月 ・パーベキュー祭りの開催

毎月 ・指定管理者との定期打合せ
12月 ・次期指定管理者の募集
2月 ・次期指定管理者の再募集

成果目標・数値目標等

・目標利用者数 対前年度比110%増目標 【 】内は前年度実績値
あゆり温泉 99,300人【90,340人】
温水プール 68,400人【62,184人】
屋内ゲートボール場 482回【439回】
温泉スタンド 1,260,200回【1,145,700回】

目標に対する前期までの成果

達成率(中間)

・利用者数(8月末現在) 【 】内は前年度同期値
あゆり温泉 11,020人【39,791人】
温水プール 15,441人【28,013人】
屋内ゲートボール場 119回【165回】
温泉スタンド 677,700回【444,900回】

50%

目標管理

目標に対する最終成果

達成率(最終)

【 】内は前年度同期値(1月末現在)
あゆり温泉 34,811人【79,859人】
温水プール 37,466人【55,098人】
屋内ゲートボール場 335回【360回】
温泉スタンド 1,447,600回【896,500回】

100%

残った課題・来年度の取り組み

指定管理者候補者の選定を行い、新たな指定管理者と協力し利用者の安全、安心を早期に確立します。
老朽化設備の保全・維持に努めます。

事業の概要・実施方針

『特定健診』は、40歳から74歳までの国民健康保険加入者を対象としたメタボリックシンドロームに着眼した健診で、生活習慣病の早期発見・早期治療を目標とします。また、魅力ある健診にするため心電図・眼底・貧血検査・腎臓検査を実施し病気の重症化予防を図ります。
 なお、未受診者に対しては保健事業訪問員家庭訪問及びダイレクトメールを利用した受診勧奨を実施し、受診率向上を目指します。
 『特定保健指導』は、生活習慣病のリスクの高い方に対し、生活指導を行い健康的な生活が維持できるように支援します。
 さらに、人間ドック検診の結果を活用し、特定保健指導につないでいきます。多くの方が健診及び保健指導を受け、生活改善を図り、心身ともに健康で豊かな生活が送れるよう受診者数の増加を図ります。また、生活習慣病に関する知識と健康意識の高揚を図るため、特定健診の有効性や効果等について広く周知します。
 生活習慣病重症化予防対象者に対しては、個別の保健指導を実施し、受診勧奨及び生活習慣の改善を図ります。

	実施方法・手段・スケジュール等	前期の実施状況(いつ・何をを行ったか)
進行管理	前期	<p>5月～：糖尿病性腎症重症化予防プログラム対象者への個別指導の実施 6月：町広報紙「健診特集」掲載（人間ドックとPETがんドック健診とのタイアップ記事） 7月：健診未受診者へ保健事業訪問員による家庭訪問 7月：個別通知発送 年代別ダイレクトメール 8月～9月：特定健診の実施（健診時に特定保健指導の勧誘）</p>
	後期	<p>10月～11月：検診結果説明会を3地区に分けての開催（メタボ該当者に対し特定保健指導参加勧奨及び面談の実施） 11月～：特定保健指導の実施</p>

目標管理	成果目標・数値目標等	
	<p>令和2年度目標 ※【 】内は前年度実績 ■特定健診受診率・・・昨年度より2%上昇（54%）を目指します。【暫定値51.7%】 ■特定保健指導率・・・昨年度より3%上昇（50%）を目指します。【暫定値47.0%】</p>	
	目標に対する前期までの成果	達成率(中間)
	<p>【 】内は前年同期 ①人間ドックにおける特定健診受診予定者：128名【169名】 ②保健事業訪問員による戸別訪問の実施 ※新型コロナウイルス感染拡大防止対策のため中止 訪問者数0名【803名】 ③特定健診受診率：36.8% ・受診者数1,125名/対象者数3,053名 【53.2% 受診者数1,560名/対象者数2,933名（法定報告確定値）】</p>	50%
目標に対する最終成果	達成率(最終)	
<p>①人間ドックにおける特定健診受診者：128名【169名】 ②保健事業訪問員による戸別訪問の実施 ※新型コロナウイルス感染拡大防止対策のため中止 訪問者数0名【803名】 ③特定健診受診率：40.8%・受診者数 1,246名/対象者数3,053名 【53.2% 受診者数1,560名/対象者数2,933名（法定報告確定値）】 ④重症化予防事業対象者への医療機関受診勧奨：259名【206名】 ⑤特定保健指導実施状況：71名【85名】（41.7%）</p>	100%	
残った課題・来年度の取り組み		
<ul style="list-style-type: none"> ・ 特定保健指導実施者（積極的支援者）に対し、4～5月に個別に最終評価を実施します。 ・ 重症化予防対象者に対し、引き続き受診状況の確認及び未受診者に対し受診勧奨を実施していきます。 ・ 新型コロナウイルス感染拡大防止対策を講じながら事業を実施していきます。 		

事業の概要・
実施方針

生活習慣病及びがん等の疾病の早期発見・早期治療を図るために、特定健診とがん検診を同時に「集団検診」として実施します。
また、特定健診の項目に心電図・眼底・貧血・腎臓検査を追加し、より充実した検診として受診率の向上を目指します。
さらに、集団検診を受診できない方に対して指定医療機関で行う「個別検診」を実施し、受診しやすい体制を整えます。
後期高齢者医療保険の方に、健康診査項目に心電図・眼底・貧血・腎臓検査を追加して実施します。
＜がん検診等対象者＞※以下の年齢に該当する町民
①胃・肺・大腸：40歳以上の男女②前立腺：50歳以上の偶数年齢の男性③子宮：20歳以上の偶数年齢の女性④乳：40歳以上の偶数年齢の女性⑤骨粗鬆症：40歳から70歳の5歳刻みの女性⑥結核：65歳以上の男女⑦肝炎ウイルス：40歳になる方及び41歳以上で一度も検査を受けたことがない方⑧PETがんドック検診：50歳から75歳の5歳刻みの男女

実施方法・手段・スケジュール等

前期の実施状況(いつ・何をを行ったか)

前期

6月：PETがんドック検診個別通知
胃・肺・大腸・子宮・乳がんの施設検診実施を全戸配布チラシにより周知
*女性がん検診受診率向上事業（無料クーポン券の配布）
7月：広報誌に受診勧奨PRを掲載
7月：検診対象者に個別通知
8月～9月の検診期間中：広報車による受診勧奨PR（1日2回実施）
9月：女性がん検診広報紙掲載
子宮がん検診個別通知

6月：PETがんドック検診個別通知
胃・肺・大腸・子宮・乳がんの個別検診実施を新聞折込・全戸配布により周知
*女性がん検診受診率向上事業（無料クーポン券の配布）
7月：検診対象者に個別通知
申し込み受付・決定通知
個別検診実施
8月：検診実施（9月まで）
女性がん検診等個別通知
申し込み受付・決定通知
10月～：女性がん検診実施

進行管理

後期

10月：乳がん検診申込み受付
11月～1月：乳がん検診申込者に検診日の通知をし受診勧奨
10月～2月：各種がん検診結果、要精検者へ受診勧奨
12月～3月：各種がん検診の要精検者の未受診者への受診勧奨

10月から3月：各種がん検診結果通知、要精密検査未受診者への受診勧奨

成果目標・数値目標等

検診を受けやすい体制に改善し、受診率向上に努めます。
《令和2年目標受診率【 】内は前年度（令和元年度）実績》
■肺がん検診：22.0%【21.4%】 ■胃がん検診：12.0%【11.3%】
■大腸がん検診：17.0%【15.9%】 ■前立腺がん検診：1.5%【1.4%】
■乳がん検診：13.0%【12.5%】 ■子宮がん検診：10.0%【9.7%】
■骨粗鬆症検診：24.0%【23.4%】
■PETがんドック検診：80人【76人：南東北病院53人白河厚生病院23人】

目標に対する前期までの成果

達成率(中間)

9月末現在受診者数及び受診率
(受診者/受診率)【 】内は前年同期
■肺がん検診：1,752人/16.3%【2,220人/20.6%】
■胃がん検診：950人/8.8%【1,156人/10.8%】
■大腸がん検診：1,389人/12.9%【1,635人/15.2%】
■前立腺がん検診：53人/2.6%【29人1.4%】
■PETがんドック検診：72人/4.7%【70人/4.7%】

50%

目標管理

目標に対する最終成果

達成率(最終)

(受診者/受診率)【 】内は前年同期
■肺がん検診：1,761人/16.4%【21.4%】
■胃がん検診：975人/9.1%【11.3%】
■大腸がん検診：1,452人/13.5%【15.9%】
■前立腺がん検診：53人/2.7%【1.4%】
■乳がん検診：722人/12.9%【12.5%】
■子宮がん検診：744人/10.4%【9.7%】
■骨粗鬆症検診：218人/26.6%【23.4%】
■PETがん検診：66人/4.4%【5.0%】

100%

残った課題・来年度の取り組み

受診勧奨、検診内容や運営方法など検討し、各種がん検診を実施していきます。また、要精密検査未受診者に対する受診勧奨も引き続き実施していきます。

事業の概要・実施方針

乳幼児、児童・生徒及び高齢者に対し定期・任意接種を実施し、疾病の予防や感染症のまん延を防止します。
 乳幼児が早期から予防接種を受けられるよう、乳児全戸訪問時に予防接種券の交付・説明を行い、受診率の向上を図ります。また、各乳幼児健診・健康相談時にも各予防接種の接種勧奨を行います。
 現在任意接種である乳幼児対象のおたふくかぜ、ロタウイルス、妊娠を希望している女性とその夫、及び妊娠中の女性がいる家族が対象の風しん抗体検査、麻しん風しんの予防接種について助成を行い、感染症のまん延防止ができるよう周知します。
 平成31年度より3年間にわたり、風しんのまん延予防のために、40歳～56歳の男性に対し、風しん抗体検査及び予防接種を行います。

実施方法・手段・スケジュール等		前期の実施状況(いつ・何をを行ったか)
前期	4月・広報・チラシ等にて周知、個別通知 通年・乳児全戸訪問時に接種券の交付と個別指導の実施 ・乳幼児健診・健康相談時に個別指導の実施 8月・未接種者に対し個別通知の実施	4月～・広報・チラシ等にて周知、個別通知 通年・乳児全戸訪問時に接種券の交付と個別指導の実施 ・乳幼児健診・健康相談時に個別指導の実施 7月・未接種者に対し個別通知の実施
後期	10月・広報等での高齢者のインフルエンザ予防接種勧奨 10月～・就学前健康診査時にチラシ等での予防接種勧奨 12、3月・麻しん風しん、二種混合未接種者への接種勧奨	10月・広報等での高齢者のインフルエンザ接種勧奨 10月～・就学前健康診査時にチラシ等での予防接種勧奨 12月～新型コロナワクチン接種体制の整備を開始 2月・麻しん風しん、二種混合、高齢者肺炎球菌未接種者への接種勧奨

進行管理

成果目標・数値目標等

令和2年目標接種率 ※【 】内は前年度実績
 ■麻しん風しん 97%【97%】
 ■日本脳炎 45%【41%】
 ■BCG 80%【77%】
 ■ヒブ 95%【91%】
 ■肺炎球菌 98%【98%】
 ■四種混合 90%【87%】
 ■二種混合 90%【86%】
 ■水痘 65%【64%】
 ■B型肝炎 95%【90%】
 ■高齢者肺炎球菌 60%【56%】
 ■風しん抗体検査 25%【21%】
 ■風しん第5期 70%【68%】

目標に対する前期までの成果

達成率(中間)

8月末現在 接種者/接種率【 】前年同期
 ■麻しん風しん 161名/64%【62%】 ■日本脳炎 286名/22%【22%】 ■BCG 41名/35%【38%】 ■ヒブ 227名/54%【51%】 ■肺炎球菌 203名/52%【57%】 ■四種混合181名/40%【43%】 ■二種混合73名/45%【41%】 ■水痘114名/36%【33%】 ■B型肝炎 131名/46%【45%】 ■高齢者肺炎球菌 140名/26%【23%】 ■風しん第5期 20名/51%【64%】

50%

目標管理

目標に対する最終成果

達成率(最終)

2月末現在 接種者/接種率【 】前年同期
 ■麻しん風しん 263名/94%【90%】
 ■日本脳炎 622名/41%【36%】
 ■BCG 99名/62%【69%】
 ■ヒブ 496名/81%【81%】
 ■肺炎球菌 458名/80%【89%】
 ■四種混合423名/65%【76%】
 ■二種混合119名/74%【68%】
 ■水痘249名/61%【56%】
 ■B型肝炎 307名/72%【79%】
 ■高齢者肺炎球菌 240名/45%【40%】
 ■風しん第5期 43名/56%【45%】

90%

残った課題・来年度の取り組み

疾病の予防及び感染症のまん延防止のために、広報や健診等で各予防接種の接種勧奨を行っていきます。
 特別接種として実施される新型コロナウイルスワクチン接種が円滑に進むよう、体制整備を行い、また、対象者への接種勧奨を行っていきます。

事業の概要・
実施方針

圏域管内市町村の休日、夜間における入院治療を必要とする重症患者の救急医療を確保し、救急医療体制の円滑な運営を図るとともに、第二次救急医療に参加する輪番病院の体制整備を図り、事故や急病時に安心して受診できるよう救急医療の確保に努めます。公的医療機関である白河厚生総合病院の周産期救急医療、感染症医療体制の充実に努めます。

また、休日救急医療当番医事業は、休日の救急に対応するため、小児科、内科、歯科の診療を行います。第二次救急医療は、白河厚生総合病院、塙厚生病院、白河病院、会田病院が輪番で休日に対応します。小児平日夜間救急医療事業は、白河厚生総合病院において平日夜間に地域の小児科医が中心となり交代で診療にあたり、小児の救急医療に対応します。

さらに、会田病院に対し公的救急病院運営費を補助し、救急医療体制の充実に努めます。

実施方法・手段・スケジュール等

前期の実施状況(いつ・何をを行ったか)

前期

- ・休日救急診療当番医事業実績確認(小児科、内科、歯科)
- ・小児平日夜間救急医療実績確認(白河厚生総合病院)
- *小児平日夜間救急外来の実施について広報等に掲載し町民に周知する。
- ・救急医療に関する記事広報紙掲載

毎月：小児平日夜間救急外来について広報に掲載し周知する。

9月下旬：

- ・休日救急診療当番医事業実績確認(小児科、内科、歯科)
- ・小児平日夜間救急医療実績確認(白河厚生総合病院)

進行管理

後期

- ・休日救急診療当番医事業実績確認(小児科、内科、歯科)
- ・小児平日夜間救急医療実績確認(白河厚生総合病院)
- *小児平日夜間救急外来の実施について広報等に掲載し町民に周知する。
- ・救急医療に関する記事広報紙掲載

毎月：小児平日夜間救急外来の実施について広報等に掲載し町民に周知する。

3月：

- ・休日救急診療当番医事業実績確認(小児科、内科、歯科)
- ・小児平日夜間救急医療実績確認
- ・会田病院救急診療応需実績確認

成果目標・数値目標等

前年度より少しでも多く救急診療応需率の向上に努めます。

	【前年度実績】
・小児科	【576件】
・内科	【231件】
・歯科	【45件】
・小児平日夜間	【53件】
・会田病院応需率	【総計 68.4% 応需件数540件/要請件数790件】
	【西白河計 72.9% 応需件数427件/要請件数586件】
	【矢吹計 80.1% 応需件数193件/要請件数241件】

目標に対する前期までの成果

達成率(中間)

毎月：小児平日夜間救急外来広報に掲載

○休日救急診療当番医事業

4～9月までの実績【 】内は前年同期

- ・小児科 141件【284件】
- ・内科 48件【94件】
- ・歯科 19件【24件】
- ・小児平日夜間 14件【34件】

○公的救急病院運営事業(会田病院)

1～8月までの実績【 】内は前年同期

- ・応需率 71.6%【66.1%】

50%

目標管理

目標に対する最終成果

達成率(最終)

4～2月までの実績【 】内は前年同期

○休日救急診療当番医事業

- ・小児科 255件【562件】
- ・内科 89件【224件】
- ・歯科 32件【44件】

○小児平日夜間救急医療 26件【50件】

○会田病院救急診療応需率(1月～12月実績)

応需件数532件/要請件数728件 73.1%

【応需件数540件/要請件数790件 68.4%】

100%

残った課題・来年度の取り組み

- ・事故等緊急時に安心して受診できる救急医療体制の確保に努めます。
- ・入院治療が必要な重症患者の医療体制確保に努めます。
- ・休日、夜間における救急医療体制の円滑な運営を図ります。

事業の概要・
実施方針

障がいのある方が、地域で自立した日常生活を営むことができるよう、障害者総合支援法に基づく障害福祉サービスや児童福祉法に基づく障害児通所支援等の必要なサービスを提供します。
また、地域自立支援協議会において、地域における障害福祉の関係者による連携及び支援体制に関する協議を行います。

【サービス内容】

- ・障害福祉サービス（居宅介護、短期入所、就労移行支援、就労継続支援、共同生活援助グループホーム等）
- ・障害児通所支援（児童発達支援、放課後等デイサービス、保育所等訪問支援等）
- ・障がい者医療費給付（更生医療、精神通院、育成医療等）
- ・補装具費給付（義肢、装具、電動車いす等）
- ・地域生活支援事業（日常生活用具の給付、相談支援、移動支援等）

実施方法・手段・スケジュール等

前期の実施状況(いつ・何をを行ったか)

前期

- 随時申請受付・支給決定等
 - ・障がい福祉サービス・障害児通所支援
 - ・障がい者医療費
 - ・補装具費
 - ・地域生活支援事業
- 6月
・更新による受給者証の発送

随時申請受付・支給決定等

- ・障害福祉サービス、障害児通所支援
- ・障害者医療費
- ・補装具費
- ・地域生活支援事業

6月
障害福祉サービス、障害児通所支援、地域生活支援事業の利用者負担上限月額一斉更新申請受付、受給者証の発送
6月 第6期障がい福祉計画及び第2期障がい児福祉計画策定業務委託締結

進行管理

後期

- 随時申請受付・支給決定等
- ・障がい福祉サービス・障害児通所支援
- ・障がい者医療費
- ・補装具費
- ・地域生活支援事業

随時申請受付・支給決定等

- ・障害福祉サービス、障害児通所支援
- ・障害者医療費
- ・補装具費
- ・地域生活支援事業

3月 第6期障がい福祉計画及び第2期障がい児福祉計画策定

成果目標・数値目標等

障がいのある方が自立して、住み慣れた地域で安心して生活できるように必要とする各種サービスの提供、医療費等の支給または相談業務を進めていきます。

○利用見込人数【 】内は前年度末利用人数

- ・障害者福祉サービス・障害児通所支援 182名（者148名・児34名）【182名】
- ・障害者医療費給付 12名（療養介護4名・更生医療8名・育成医療0名）【12名】
- ・精神通院医療 365名【365名】
- ・補装具費給付 21名【21名】
- ・地域生活支援事業 91名（移動支援16名・日中一時支援33名・日常生活用具39名・手話通訳2名・訪問入浴2名）【91名】

目標に対する前期までの成果

達成率(中間)

○9月末現在利用者数【 】内は前年同期

- ・障害者福祉サービス・障害児通所支援 185名（者146名・児39名）【171名】
- ・障害者医療費給付 12名（療養介護医療4名・更生医療8名）【12名】
- ・精神通院医療 398名【358名】
- ・補装具費給付 18名【19名】
- ・地域生活支援事業 91名（移動支援19名・日中一時支援36名・日常生活用具 32名・手話通訳2名・訪問入浴2名）【75名】

50%

目標管理

目標に対する最終成果

達成率(最終)

○2月末現在利用者数【 】内は前年同期

- ・障害者福祉サービス・障害児通所支援 190名（者149名・児41名）【180名】
- ・障害者医療費給付 12名（療養介護医療4名・更生医療8名）【12名】
- ・精神通院医療 385名【372名】
- ・補装具費給付 14名【12名】
- ・地域生活支援事業 94名（移動支援19名・日中一時支援36名・日常生活用具 35名・手話通訳2名・訪問入浴2名）【89名】

100%

残った課題・来年度の取り組み

第4次障がい者計画・第6期障がい福祉計画・第2期障がい児福祉計画に基づき、障がいのある方一人ひとりのニーズに応じた各種サービスを提供します。

事業の概要・
実施方針

重度の心身障がい者に対し医療費等の助成を行うことにより経済的、精神的な負担軽減を図ります。
【事業内容】
 ・重度心身障がい者医療費助成事業
 重度心身障がい者が医療機関等を受診した際の医療費の一部を給付いたします。
 ・人工透析通院交通費助成事業
 じん臓機能障がい者等及びその家族の経済的負担の軽減を図るため、じん臓機能障がい者等の通院に要する交通費の一部を助成します。
 ・在宅重度障がい者給付事業
 在宅の重度障がい者に対し、治療・衛生材料等の給付を行います。

実施方法・手段・スケジュール等

前期の実施状況(いつ・何をを行ったか)

前期

通年 ・新規受付、医療費・給付費支払等
 4月 ・在宅重度障がい者給付事業上半期給付券発送・検認等
 6月 ・更新による「重度医療受給者証」発送

通年 ・新規受付、医療費・給付費支払等
 7月 ・更新による「重度医療受給者証」発送

進行管理

後期

通年 ・新規受付、医療費・給付費支払等
 10月 ・在宅重度障がい者給付事業下半期給付券発送

通年 ・新規受付、医療費・給付費支払等
 9月 ・在宅重度障がい者給付事業下半期給付券発送

成果目標・数値目標等

重度の障がいがある方へ各種サービスの提供、医療費等の支給または相談業務を随時行うことにより、経済的、精神的な負担軽減を図ります。

○給付見込人数 【 】内は前年度給付人数
 ・重度心身障がい者医療費助成事業 330名 【324名】
 ・人工透析通院交通費助成事業 4名 【4名】
 ・在宅重度障がい者給付事業 11名 【11名】

目標に対する前期までの成果

達成率(中間)

○9月末現在 利用者数
 ・重度心身障がい者医療費助成事業 317名
 ・人工透析通院交通費助成事業 3名
 ・在宅重度障がい者給付事業 12名

50%

目標管理

目標に対する最終成果

達成率(最終)

○2月末現在 利用者数
 ・重度心身障がい者医療費助成事業 317名
 ・人工透析通院交通費助成事業 4名
 ・在宅重度障がい者給付事業 12名

100%

残った課題・来年度の取り組み

【重度心身障がい者医療費助成事業 来年度の取り組み】
 西白河地域市町村の動向を鑑みながら、医療費の現物給付について検討する。

事業の概要・実施方針

国民健康保険制度は、被用者保険等の対象とならない全ての住人を対象としているため、高齢者や低所得者の加入者割合が高く構造的な課題を抱えていましたが、平成30年度からの新国保制度では、広域化に伴い県が新たに共同保険者として財政運営の責任主体となり、町は引き続き資格管理、保険給付、保険税の賦課・収納及び保健事業等地域のきめ細やかな事業を担う役割分担により国保事業を実施します。また、保健・介護・福祉の各分野との施策の連携を図るとともに、矢吹町第2期データヘルス計画に基づいた各保健事業を実施することで、生活習慣病対策をはじめとする被保険者の健康増進により医療費の適正化及び健全な財政運営に努めます。

実施方法・手段・スケジュール等

前期の実施状況(いつ・何をを行ったか)

前期

毎月・資格異動処理
 ・国民年金資格喪失者へ国保資格喪失届の勧奨
 5月・特定健診・人間ドック事業
 ・標準保険料率の算定
 6月・国保連協開催(税率等)
 7月・国保税制度案内書発送
 8月～11月
 ・人間ドック検診実施
 8月～10月
 ・特定健診実施(集団・施設検診)
 9月・保険証一斉更新発送

5月・国保運営協議会
 7月・保険料納付書一斉発送
 ・限度額認定証等・高齢受給者証発送
 8月～10月・特定健診実施(集団・施設)
 8月～2月・人間ドック検診実施
 9月・保険証一斉更新発送

進行管理

後期

8月～11月
 ・人間ドック検診実施
 8月～10月
 ・特定健診実施(集団・施設検診)
 10月～12月
 ・健康教室の実施

8月～12月
 ・人間ドック検診実施
 8月～10月
 ・特定健診実施(集団・施設検診)
 10月～12月
 ・健康教室(中止)

目標管理

成果目標・数値目標等

・保健・介護・福祉の各分野における施策との連携を図りながら、保健事業を実施し、被保険者の健康の保持増進を図りながら医療費の抑制に努めます。
 ・生活習慣病の早期発見・早期治療を目的とし特定健康診査を実施します。
 特定健診受診率向上 昨年より2%上昇 令和2年度目標値54%
 【暫定値51.7%】
 特定保健指導率向上 昨年より3%上昇 令和2年度目標値50%
 【暫定値47.0%】
 ・人間ドックの受診者数【令和1年度134人】
 【会田病院75人・白河厚生病院38人・南東北病院21人・白河病院0人】

目標に対する前期までの成果

達成率(中間)

・特定健診受診率(速報値)【】前年同期
 特定健診受診率36.8%【44.5%】
 受診者1,125人/対象者3,053人
 【1,427人/3,208人】
 ・人間ドック検診【】前年度
 対象者840人/申込者128人
 【受診者169人のうち国保受診者134人】

50%

目標に対する最終成果

達成率(最終)

・特定健診受診率【前年】
 受診者1,139人 受診率37.3%
 【R1年度 受診者1,560人 受診率53.2% 法定報告】
 ・人間ドック健診
 受診者124人のうち国保受診者102人
 【R1年度受診者169人のうち国保受診者134人】

100%

残った課題・来年度の取り組み

特定健診の必要性を周知し受診率の向上に努めます。
 保健事業の充実に取り組み健康増進を図ります。

事業の概要・実施方針	<p>寄附講座は、学校法人東京医科大学と寄附講座設置事業構成市町村（白河市・西郷村・泉崎村・中島村・代表矢吹町）が協定を締結し、白河地域の医療に関する研究・教育を行い、その研究成果の普及と人材育成により、適正な医療体制の構築を図ります。この事業は、会田病院を拠点病院として実施します。</p> <p>具体的内容としては、白河地域医療ネットワークの構築に関する研究、ER型救急システムの構築に関する研究、救急医・総合医などの地域医療を担う医師等の養成及び研究プログラムの開発を目的とします。</p>
------------	--

	実施方法・手段・スケジュール等	前期の実施状況(いつ・何をを行ったか)
進行管理	前期 5月 ・ 県担当課と補助金等の協議 ・ 補助金の申請 6月 ・ 寄附講座事業の進捗状況確認 9月 ・ 前期実績状況の確認	5月 ・ 県担当課と補助金等の協議 ・ 補助金の申請 6月 ・ 寄附講座事業の進捗状況確認 9月 ・ 前期実績状況の確認
	後期 12月 ・ 後期の進捗状況確認 1月 ・ 会田病院と寄附講座に関する協議 ・ 東京医科大学から会田病院への派遣医師の確認 2月 ・ 東京医科大学に寄附申込み依頼 3月 ・ 実績等確認し県補助金実績報告	10月：下記①・②の確認 ①6月寄附講座に係る寄附申込み ②9月寄附講座設置に関する協定書の締結 12月：東京医科大学と寄附金入金時期の確認 3月： ・ 会田病院へ救急診療応需状況（1月～12月）実績確認 ・ 県補助金実績報告準備

目標管理	成果目標・数値目標等 会田病院の救急搬送患者応需率の向上に努めます。 ・ 令和2年度目標値 応需率70% 【前年度実績 応需率68.4%】	
	目標に対する前期までの成果	達成率(中間)
	1～8月までの応需実績【 】内前年同期 総計：応需率71.6%【66.1%】 応需件数325件/要請件数454件 【応需件数364件/要請件数551件】 西白河計：応需率76.3%【71.0%】 応需件数255件/要請件数334件 【応需件数289件/要請件数407件】 矢吹町計：応需率90.3%【80.2%】 応需件数65件/要請件数72件 【応需件数138件/要請件数172件】	50%
	目標に対する最終成果	達成率(最終)
	1～12月までの応需実績【 】内前年同期 総計：応需率73.1%【68.4%】 応需件数5320件/要請件数728件 【応需件数540件/要請件数790件】 西白河計：応需率77.5%【72.9%】 応需件数420件/要請件数542件 【応需件数427件/要請件数586件】 矢吹町計：応需率84.2%【80.1%】 応需件数186件/要請件数221件 【応需件数193件/要請件数241件】	100%
	残った課題・来年度の取り組み ・ 医師の派遣が継続されるよう東京医科大学及び公益財団法人会田病院と引き続き連携を図ってまいります。 ・ 県に対しても、「福島県地域医療復興事業補助金」交付が受けられるよう連携を図り、情報共有してまいります。	

事業の概要・実施方針

高齢者が生きがいを持ち快適な生活を送ることができるように民生児童委員や社会福祉協議会等の連携、協力により高齢者等福祉サービスを提供します。各事業を通して、誰もが地域で安心して暮らせるように身近な地域での声かけや見守り等、地域の支えあいを推進し、高齢者等が自立した生活を送れる地域社会づくりを目指します。
 今年度より、はり、きゅう、マッサージ施術費助成事業の対象者として、満70歳以上の方を追加し事業の拡大を行い、高齢者等の健康増進を強化します。
 実施事業は次のとおりです。
 ①配食サービス事業 ②はり、きゅう、マッサージ施術費助成事業 ③寝具乾燥消毒事業 ④訪問理美容サービス事業 ⑤緊急通報システム事業 ⑥さわやか訪問収集事業

実施方法・手段・スケジュール等

前期の実施状況(いつ・何をを行ったか)

前期

各事業による安否確認
 ・緊急通報システム事業(最大週1回)
 ・配食サービス事業(週1回)
 ・さわやか訪問収集事業(週1回)
 毎月・事業受託先である社会福祉協議会との定例協議
 7月・寝具乾燥消毒事業実施(1回目)
 8月・緊急通報システム事業利用者負担金見直し

各事業による安否確認実施
 ・緊急通報システム事業(月2回)
 ・配食サービス事業(週1回)
 ・さわやか訪問収集事業(週1回)
 毎月・事業受託先である社会福祉協議会との定例協議
 4月・はり、きゅう、マッサージ助成券、訪問理美容サービス利用券送付
 8月・寝具乾燥消毒事業実施(1回目)
 ・緊急通報システム事業利用者負担金見直し

進行管理

後期

各事業による安否確認
 ・緊急通報システム事業(最大週1回)
 ・配食サービス事業(週1回)
 ・さわやか訪問収集事業(週1回)
 毎月・事業受託先である社会福祉協議会との定例協議
 12月・各事業における実施状況の検証
 ・各事業実績確認及び委託先との次年度協議
 2月・寝具乾燥消毒事業実施(2回目)
 3月・はり、きゅう、マッサージ助成券、訪問理美容サービス利用券送付

各事業による安否確認実施
 ・緊急通報システム事業(最大週1回)
 ・配食サービス事業(週1回)
 11月・配食サービス事業打合せ(第2回)配達業者の報告会
 ・さわやか訪問収集事業(週1回)
 1月・町広報誌に事業内容掲載
 2月・寝具乾燥消毒事業実施(2回目)
 毎月・事業受託先である社会福祉協議会との定例協議

成果目標・数値目標等

今年度利用者数目標 【 】内は前年度実績
 ①配食サービス 月平均 100名 4,000食【月平均 96名 3,876食】
 ②はり、きゅう、マッサージ 200名【20名】
 ③寝具乾燥消毒 35名【33名】
 ④訪問理美容サービス 20名【18名】
 ⑤緊急通報システム 62件【60件】
 ⑥さわやか訪問収集 30件【27件】

目標に対する前期までの成果

達成率(中間)

9月末現在利用者数 【 】内は前年同期値
 ①配食サービス 月平均103名 2,040食【月平均96名 1,856食】
 ②はり、きゅう、マッサージ 68名【7名】
 ③寝具類乾燥消毒 22名【19名】
 ④訪問理美容サービス 11名【5名】
 ⑤緊急通報システム 53名【60名】
 ⑥さわやか訪問収集 25名【27名】

50%

目標管理

目標に対する最終成果

達成率(最終)

2月末現在利用者数 【 】内は前年同期値
 ①配食サービス 月平均 95名 3,723食【月平均96名 3,531食】
 ②はり、きゅう、マッサージ 132名【20名】
 ③寝具類乾燥消毒 11名【29名】
 ④訪問理美容サービス 21名【15名】
 ⑤緊急通報システム 51名【57名】
 ⑥さわやか訪問収集 29名【27名】

100%

残った課題・来年度の取り組み

町広報誌によりサービスについて周知します。
 民生児童委員を通して、各種サービスの利用拡大に向けてPRを行います。

事業の概要・
実施方針

高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らせるため、心身の健康及び生活の安定を図り、包括的な支援を行います。
平成29年度から「認知症地域支援推進員」と「生活支援コーディネーター」を配置し、高齢者への対応強化を図っています。

実施方法・手段・スケジュール等

前期

通年
・要支援認定者に対するケアマネジメント
・要援護高齢者の相談受付や訪問などによる実態把握
・虐待防止等高齢者の権利擁護
・認知症対策事業の推進
・高齢者のニーズの把握とその受け皿となるボランティア等の発掘
・その他、高齢者に対しての包括的な支援

前期の実施状況(いつ・何をを行ったか)

通年
・要支援認定者に対するケアマネジメント
・要援護高齢者の相談受付や訪問などによる実態把握
・虐待防止等高齢者の権利擁護
・認知症対策事業の推進
・高齢者のニーズの把握とその受け皿となるボランティア等の発掘
・5、7、9月「協議体」定例会

進行管理

後期

通年
・要支援認定者に対するケアマネジメント
・要援護高齢者の相談受付や訪問などによる実態把握
・虐待防止等高齢者の権利擁護
・認知症対策事業の推進
・高齢者のニーズの把握とその受け皿となるボランティア等の発掘
・その他、高齢者に対しての包括的な支援

通年
・要支援認定者に対するケアマネジメント
・要援護高齢者の相談受付や訪問などによる実態把握
・虐待防止等高齢者の権利擁護
・認知症対策事業の推進
・高齢者のニーズ把握とその受け皿となるボランティア等の発掘
・その他、高齢者に対しての包括的な支援

成果目標・数値目標等

- ・要支援認定者個人に適したケアマネジメントを行う事で、重症化を予防し、自立した在宅生活がなるべく長く継続できるよう、支援します。
 - ・増加する認知症高齢者の家族等からの相談対応に加え、認知症に対する地域住民の理解を深める活動を行います。
 - ・高齢者虐待等の早期発見・早期対応により、人権擁護に努めます。
- 【前年度実績件数】
- ・介護予防ケアマネジメント事業 8,096件
 - ・総合相談支援事業 2,396件 ・権利擁護事業 608件
 - ・包括的・継続的ケアマネジメント支援事業 385件
 - ・認知症対策総合支援事業 351件
 - ・生活支援体制整備事業 362件

目標に対する前期までの成果

達成率(中間)

4月 1,145件 【929件】
5月 913件 【925件】
6月 1,131件 【901件】
7月 1,084件 【1,122件】
8月 1,041件 【1,009件】
9月 1,234件 【998件】
計 6,548件 【5,884件】

50%

目標管理

目標に対する最終成果

達成率(最終)

10月 1,313件 【1,232件】
11月 1,125件 【1,083件】
12月 1,277件 【1,096件】
1月 1,284件 【906件】
2月 1,610件 【976件】
3月 1,441件 【1,021件】
合計 8,050件 【6,314件】

100%

残った課題・来年度の取り組み

今年度の包括支援センターの対応件数が、2月時点で昨年度の合計を上回っており、中でも「高齢者の実態把握」、「成年後見制度」、「虐待への対応」等の増加が目立ちます。身寄りがなく、経済的な問題を抱えた高齢者への対応が喫緊の課題となっています。保健福祉課としては、包括支援センター、ケアマネージャー、福祉関連部門などと連携し、速やかに状況を把握し、適切に対処してまいります。

事業の概要・実施方針

65歳以上の一般高齢者を対象に、予防事業を実施し、要支援・要介護状態になることを防ぐとともに、外出の機会を増やすことで閉じこもりを防止し、より活動的で生き生きとした生活が送れるよう支援します。
 (一般介護予防事業)
 ○活動的な高齢者を対象に、生活機能維持のための取組として、社会福祉協議会への委託により、介護予防教室として開催するサロンに対し作業療法士等を講師として派遣します。
 ○広報等を通して住民主体の介護予防事業の普及に取り組みます。

実施方法・手段・スケジュール等

○コロナの影響により2事業とも4、5月は活動自粛中です。6月からの活動開始を検討、準備中です。
 ・サロン事業
 通年 サロンに作業療法士等を講師として派遣します。
 ・住民主体の介護予防事業
 6月 関係者打合せ
 8月 広報に活動状況掲載

前期

前期の実施状況(いつ・何をを行ったか)

○新型コロナウイルス感染拡大予防のため、サロンは4～6月まで休止しました。
 ・サロン事業
 サロン再開後の講座開催は見合わせていたため、講師派遣も行いませんでした。

進行管理

・サロン事業
 通年 サロンに作業療法士等を講師として派遣します。
 ・住民主体の介護予防事業
 2月 広報で募集
 3月 事業振り返り

後期

○新型コロナウイルス感染予防のため、サロンは4～6月、自主グループは4～7月休止しました。
 ・サロン事業
 サロン再開後の講座開催は見合わせ、代わりに包括職員が訪問し介護予防啓発カレンダーを配付しながら、健康について話しました。6区、寺内は中止となったため、カレンダー配付のみしました。
 ・住民主体の介護予防事業
 1地区は人数が減少し活動中止、1地区は参加者高齢のため今年度活動休止しました。

成果目標・数値目標等

・地区のサロン活動及び住民主体の介護予防事業に対し、作業療法士等を講師として派遣を行い、機能低下を防ぎ、より活動的で生き生きとした生活が送れるよう支援します。
 ○サロン事業
 ・地区のサロンを巡回し、各1回を目標に実施します。【 】内は前年実績
 23か所 23回【23か所 23回】
 ○住民主体の介護予防事業
 ・ことぶき大学や老人クラブとの連携を推進します。
 ・矢吹・中畑・三神地区で各1か所の事業開始を目指します。
 ・9か所 9地区 【6か所 6地区】

目標に対する前期までの成果

達成率(中間)

○サロン事業
 ・地区のサロンを巡回して各1回を目標に実施します。【 】内は前年同期
 参加者延べ人数
 一般高齢者 0人 【333人】
 ボランティア 0人 【74人】
 その他 0人 【19人】
 ○住民主体の介護予防事業
 5地区【5地区】249人【48人】

50%

目標管理

目標に対する最終成果

達成率(最終)

○サロン事業※今年度は2月末の人数
 ・地区のサロンを巡回して各1回を目標に実施します。【 】内は前年度の数値
 参加者延べ人数
 一般高齢者 191人 【371人】
 ボランティア 31人 【84人】
 その他 0人 【19人】
 ○住民主体の介護予防事業
 5地区【6地区】995人【2,227人】
 【 】内は前年度の数値

100%

残った課題・来年度の取り組み

今年度は新型コロナウイルス感染拡大予防のため、事業も一時休止を強いられ、時間を短縮するなど、大幅に内容を変更して実施しました。来年度も新型コロナウイルスの感染状況を確認し、参加者の感染予防を図りつつ、事業を行ってまいります。

事業の概要・
実施方針

介護保険法により、40歳になると被保険者として介護保険に加入し、65歳以上の方は町が実施する要介護認定において介護が必要と認定された場合、いつでもサービスを受けることができます。

- ・要介護認定の流れ
- ①要介護認定の申請②調査員による認定調査③主治医意見書作成④介護認定審査会による審査・判定⑤要介護・要支援認定区分によるケアプラン作成⑦介護サービス利用

なお、新型コロナウイルスの感染拡大により、4月末から審査会が書面により行われるなど、要介護認定業務にも影響を来しておりますが、できる限り介護サービスがスムーズに利用できるよう努めて参ります。

- ・本年は3年に一度の介護保険事業計画の見直しの年にあたり、昨年度実施したアンケート調査で得られた町民の意向を踏まえた上で、高齢者人口、介護サービス供給量等を適切に推計し、次期介護保険料額を含めた介護保険事業計画を策定します。

実施方法・手段・スケジュール等		前期の実施状況(いつ・何をを行ったか)
進行管理	前期	通年 ・被保険者の資格管理 ・介護保険認定業務 ・介護保険給付管理業務 ・統計 ○第8期介護保険事業計画策定 9～12月 給付実績分析・計画目標量の設定 11月、2月 素案作成後、介護保険運営協議会開催 素案の補修正 3月 計画作成 次期保険料確定
	後期	通年 ・被保険者の資格管理 ・介護保険認定業務 ・介護保険給付管理業務 ・統計 ○第8期介護保険事業計画策定 9～12月 給付実績分析・計画目標量の設定 12月、2月 素案作成、介護保険運営協議会開催 3月 計画作成、次期保険料確定

目標管理

成果目標・数値目標等	
・適正な介護認定を行うため、調査員等との連携を図ります。 ・定期的な保険給付費通知を行い、適正な介護給付に努めます。 ・前年度のアンケート調査で得られた町民の意向を踏まえた上で、高齢者人口や介護サービス供給量を適切に推測し、次期介護保険料額を含めた介護保険事業計画を策定します。 【前年度実績】 ・要介護申請者 H30年度 567名(新規186名) R1年度 675名(新規173名) ・第1号被保険者数(65歳以上の高齢者) H30年度末 5,102名 R1年度末 5,177名 ・要介護・要支援認定者数 H30年度末 753名 R1年度末 779名	
目標に対する前期までの成果	達成率(中間)
調査員等関係者との連携を図り、適正な介護認定に努めます。 ・要介護申請者数245名【346名】(うち新規95名【89名】)	50%
目標に対する最終成果	達成率(最終)
調査員等関係者との連携を図り、適正な介護認定に努めます。 ・要介護申請者数503名【675名】(うち新規199名【173名】)	100%
残った課題・来年度の取り組み	
介護保険認定業務と合わせて、適切な介護サービス給付に取組み、定期的な周知を図ります。	

事業の概要・実施方針

高齢化に伴う医療費の増大が見込まれる中で、高齢者と若者世代の負担の明確化等を図るため、75歳以上の高齢者等を対象とした後期高齢者医療制度が平成20年4月に創設されました。これを受けて、後期高齢者医療制度の福島県における運営主体として、平成19年2月に県内すべての市町村で構成する「福島県後期高齢者医療広域連合」が設立され、運営されております。
本町では、保健・介護・福祉の各分野における施策との連携により、医療費の抑制に努めます。さらに、平成30年3月に策定されたデータヘルズ計画に基づき保健事業を実施し、被保険者の健康増進・健康意識の啓発・重症化予防を推進し医療費の抑制を図ります。

実施方法・手段・スケジュール等

前期の実施状況(いつ・何をを行ったか)

前期

毎月・資格異動処理
・高額療養費支給対象者口座登録勸奨
6月～11月・歯科口腔検診
7月・PETがんドック検診個別通知
7月・広報誌に受診勸奨PRを掲載
・保険証・限度額認定証一斉更新発送
8月～10月・高齢者健診の実施
8月～9月の検診期間中、広報車等による受診勸奨PR
8月～11月
・PETがん人間ドック検診

6月～11月・歯科口腔健診
7月・保険証・限度額証一斉更新発送
8月～10月高齢者健診実施(集団・施設)
8月～2月・人間ドック検診

進行管理

後期

毎月・資格異動処理
・高額療養費支給対象者口座登録勸奨
6月～11月・歯科口腔検診
8月～10月・高齢者健診の実施
8月～11月
・PETがん人間ドック検診

毎月
・資格異動処理
・高額療養費支給対象者口座登録勸奨
6月～11月
・歯科口腔健診
8月～10月
・高齢者健診実施(集団・施設検診)
8月～12月
・人間ドック健診実施

成果目標・数値目標等

- ・後期高齢者健診受診率の向上
令和2年度目標値26.5%【令和1実績値25.8%】
- ・人間ドックの対象者を80歳までに拡大したことで、被保険者の健康増進をより支援します。
- ・人間ドック受診者数【令和1年度35人】
【会田病院23人・白河厚生病院5人・南東北病院7人】

目標に対する前期までの成果

達成率(中間)

高齢者健診受診率(速報値)【前年同期】
受診率15.4%【23.5%】
受診者399人/対象者2,582人
【受診者558人/対象者2,378人】
人間ドック健診【】前年度
対象者840人/受診者128人
【受診者169人/うち後期35人】

50%

目標管理

目標に対する最終成果

達成率(最終)

・高齢者健診受診率【前年】
受診者406人 受診率15.7%
【受診者586人/受診率24.6%】
・人間ドック健診【】前年度
受診者124人のうち後期受診者22人
【受診者169のうち後期受診者33人】

100%

残った課題・来年度の取り組み

高齢者健診の必要性を周知し受診率の向上に取り組めます。

事業の概要・ 実施方針	<p>高齢者の積極的な地域活動を促進するため、地域の高齢者活動の中心となる老人クラブ事業に対し補助を行います。老人クラブ加入者が減少傾向にあることから、お年寄りが各地区において積極的に活動できる場や方法を協議し、活動が活発化するよう支援します。</p> <p>敬老会については、長年社会に貢献してきたお年寄りが楽しめる内容となるよう、老人クラブや婦人会等の関係機関と協議し実施します。また、中学生等ボランティアの協力を得ることにより高齢者と青少年の交流を図ります。</p>
----------------	--

	実施方法・手段・スケジュール等	前期の実施状況(いつ・何をを行ったか)
進行管理	前期 5月 ・老人クラブ連合会へ補助金交付(上半期分) 5月～7月 ・敬老会における金婚等の申込受付 6月～8月 ・敬老会実施打合せ (老人クラブ、婦人会等関係団体、社会福祉協議会、民生委員) 9月 ・敬老会招待券、あゆり温泉無料入浴券送付 9月12日・敬老会開催	5月・老人クラブへの補助金交付(上半期分) 5月～7月・敬老会における金婚等申込受付 6月～8月・敬老会打合せ (老人クラブ、社会福祉協議会、民生委員) 8月・敬老会招待状、案内ハガキ、あゆり温泉無料入浴券送付 9月 敬老会開催(金婚・ダイヤモンド婚表彰式、祝品等配布)
	後期 10月 ・老人クラブ連合会へ補助金交付(下半期分) ・老人クラブ活動状況報告会議 12月 ・次年度の老人クラブ活動協議 3月 ・老人クラブ活動状況報告会議	10月 ・老人クラブ連合会へ補助金交付(下半期分) 毎月 ・老人クラブ会長会(活動状況報告会議)

目標管理	成果目標・数値目標等	
	今年度目標 【 】内は前年度末現在 ・敬老会参加者数 約680人【約650人】 ・あゆり温泉無料入浴券利用 3,000枚【2,544枚】 ・老人クラブ会員数 7クラブ300名【7クラブ300名】	
	目標に対する前期までの成果	達成率(中間)
	9月末現在【 】内は前年度同期 ・敬老会参加者数 約100名【約650名】 (コロナ対策により金婚等表彰式のみ開催) ・あゆり温泉無料入浴券利用 318枚【562枚】 ・老人クラブ会員数 7クラブ 300名【7クラブ 300名】	50%
目標に対する最終成果	達成率(最終)	
2月末現在【 】内は前年度同期 ・敬老会参加者数 約100名【約650名】 (コロナ対策により金婚等表彰式のみ開催) ・あゆり温泉無料入浴券利用 1,254枚【2,462枚】 ・老人クラブ会員数 7クラブ 300名【7クラブ 300名】	100%	
残った課題・来年度の取り組み		
敬老会 ・新型コロナウイルス感染拡大防止対策を講じながら開催内容について検討を行います。 老人クラブ ・新型コロナウイルス感染拡大防止対策を講じながら各地サロンと連携し、活動を広げていきます。		

事業の概要・実施方針

4か月児、1歳児、1歳6か月児、2歳児、3歳児健診・健康相談を行い、疾病または異常の早期発見に努めるとともに、適切な支援を行い、乳幼児の健康の保持増進を図ります。
 1歳から各健診・相談を行い、3歳児の歯科クリニックにあわせ、集団でフッ素塗布を行い、幼児のむし歯予防を図ります。
 栄養士・歯科衛生士・臨床心理士などの専門職を配置し、専門的かつ適切な支援を行うことで、不安を解消し安心して子育てができるように支援します。
 健診・健康相談時に身体面、精神面で心配な乳幼児を適切な支援に繋ぐことで健やかな成長・発達を促します。

進行管理

実施方法・手段・スケジュール等		前期の実施状況(いつ・何をを行ったか)
前期	通年 ・健康診査、健康相談の実施 通年 ・健康診査、健康相談対象者に対し個別通知 随時 ・未受診者に対し個別通知 随時 ・個別フォロー、事後管理が必要な乳幼児に対して家庭訪問等の実施、発達の確認	通年 ・健康診査、健康相談の実施 通年 ・健康診査、健康相談対象者に対し個別通知 随時 ・未受診者に対し個別通知 随時 ・個別フォロー、事後管理が必要な乳幼児に対して家庭訪問等の実施、発達の確認
後期	通年 ・健康診査、健康相談の実施 通年 ・健康診査、健康相談対象者に対し個別通知 随時 ・未受診者に対し個別通知 随時 ・個別フォロー、事後管理が必要な乳幼児に対して家庭訪問等の実施、発達の確認	通年 ・健康診査、健康相談の実施 通年 ・健康診査、健康相談対象者に対し個別通知 随時 ・未受診者に対し個別通知 随時 ・個別フォロー、事後管理が必要な乳幼児に対して家庭訪問等の実施、発達の確認

目標管理

成果目標・数値目標等	
令和2年度目標値 【 】内は前年度実績 ・4か月児健診 100%【99%】 ・1歳児健康相談 100%【97%】 ・1歳6か月児健診 100%【96%】 ・2歳児健康相談 100%【93%】 ・3歳児歯科クリニック 75%【70%】 ・3歳児健診 100%【96%】	
目標に対する前期までの成果	達成率(中間)
各事業実績 受診者数/受診率 (9月末現在) 【 】内は前年同期受診率 ・4か月児健診 54名/100%【95%】 ・1歳児健康相談 50名/94%【86%】 ・1歳6か月児健診 51名/98%【99%】 ・2歳児健康相談 43名/90%【92%】 ・3歳児歯科クリニック 96名/70%【56%】 ・3歳児健診 56名/98%【92%】	<p>50%</p>
目標に対する最終成果	達成率(最終)
各事業実績 受診者数/受診率 【 】内は前年同期受診率 ・4か月児健診 110名/99%【99%】 ・1歳児健康相談 102名/98%【97%】 ・1歳6か月児健診 141名/96%【96%】 ・2歳児健康相談 104名/94%【93%】 ・3歳児歯科クリニック 303名/67%【70%】 ・3歳児健診 132名/95%【96%】	<p>100%</p>
残った課題・来年度の取り組み	
コロナウイルス感染拡大防止対策をとりながら、引き続き各健診・健康相談を行い、疾病や異常の早期発見に努め、さらに栄養士・歯科衛生士・臨床心理士等の専門職を配置し、専門的かつ適切な支援を行い、乳幼児の健康の保持増進を図っていきます。	

事業の概要・
実施方針

妊婦健康診査費用16回助成（うち1回は産後1ヶ月健康診査）及び新生児聴覚検査費用の一部助成を行い、安心して出産・育児が行えるよう支援します。また、必要に応じた妊産婦支援を行い、不安なく妊娠生活、出産を迎えられるよう支援します。

実施方法・手段・スケジュール等

前期の実施状況(いつ・何をを行ったか)

前期

通年
・母子手帳及び妊婦健康診査受診券の交付
・個別相談及び保健指導の実施

通年
・母子手帳及び妊婦健康診査受診券の交付
・個別相談及び保健指導の実施

進行管理

後期

通年
・母子手帳及び妊婦健康診査受診券の交付
・個別相談及び保健指導の実施

通年
・母子手帳及び妊婦健康診査受診券の交付
・個別相談及び保健指導の実施

成果目標・数値目標等

令和2年度目標値 【 】内は前年度実績
・妊婦健康診査受診率：100%【100%】
※妊婦健康診査未受診者：0人【0人】
・産後1ヶ月健康診査（1回）受診率：100%【100%】
・新生児聴覚検査受診率：100%【100%】

目標に対する前期までの成果

達成率(中間)

各種実績【 】内は前年度実績
・妊婦健診、産後1か月健診
妊婦健診 544件【577件】
産後1か月健診 42件【54件】
・新生児聴覚検査 43件【57件】
・医療機関未受診妊婦 0名【0名】

50%

目標管理

目標に対する最終成果

達成率(最終)

各種実績【 】内は前年度実績
・妊婦健診、産後1か月健診（4～1月）
妊婦健診 1,041件【1,073件】
産後1か月健診 8件【94件】
・新生児聴覚検査 85件【98件】
・医療機関未受診妊婦 0名【0名】

100%

残った課題・来年度の取り組み

妊婦健康診査費用助成による疾病の早期発見・早期治療及び、必要に応じた妊産婦支援を行い、安心して妊娠生活、出産を迎えられるよう支援をしていきます。

事業の概要・実施方針

助産師や母子推進員による乳児全戸訪問や、離乳食教室、親子あそびのひろば～すてっぷ～を実施し、母親の育児不安を解消し、楽しく安心して子育てができるように支援します。
産後ケア事業（宿泊・日帰りケア）を実施し、退院直後の母子に対し心身のケアや育児サポートを行い、産後も安心して子育てができる環境整備を図り、母体の保護、保健指導を行います。
フッ化物洗口事業では、町内の1保育園・4幼稚園・4小学校・中学校にて事業の実施を行い、子どものむし歯予防及び生涯に渡る歯の健康のために支援をしていきます。

実施方法・手段・スケジュール等

前期の実施状況(いつ・何をを行ったか)

前期

通年 ・乳児の全戸訪問の実施
・フッ化物洗口の実施
4月6月8月：離乳食教室の実施
5月～9月：親子あそびの広場
(月1回開催)
5月～9月：すくすく教室
(矢吹町・泉崎村・中島村・西郷村合同で開催。泉崎村保健福祉総合センターにて実施)
利用希望時 ・産後ケア事業の実施

通年 ・乳児の全戸訪問の実施
・フッ化物洗口の実施
8月：離乳食教室の実施
(4月6月コロナのため中止)
8、9月：親子あそびの広場(月1回開催)(5月～7月コロナのため中止)
8、9月：すくすく教室
(5月～7月コロナのため中止)
(矢吹町・泉崎村・中島村・西郷村合同で開催。泉崎村保健福祉総合センターにて実施)
利用希望時 ・産後ケア事業の実施

進行管理

後期

通年 ・乳児の全戸訪問の実施
・フッ化物洗口の実施
10月12月2月：離乳食教室の実施
10月～2月：親子あそびの広場
(月1回開催)
10月～2月：すくすく教室
(矢吹町・泉崎村・中島村・西郷村合同で開催。泉崎村保健福祉総合センターにて実施)
利用希望時：産後ケア事業の実施

通年 ・乳児の全戸訪問の実施
・フッ化物洗口の実施
10月12月2月：離乳食教室の実施
10月～2月：親子あそびの広場
(月1回開催)
10月～2月：すくすく教室
(矢吹町・泉崎村・中島村・西郷村合同で開催。泉崎村保健福祉総合センターにて実施)
利用希望時：産後ケア事業の実施

成果目標・数値目標等

「親子あそびのひろば～すてっぷ～」では、母親が孤立することなく楽しく子育てができるよう必要な情報を提供し、子どもの成長・発達につなげられるよう支援します。
すくすく教室では、対象者に具体的な支援ができるように、発達の様子・家族の状況を見極めながら、専門職と連携を取り支援します。

<令和2年度目標値> ※【 】内は前年度実績
■乳児全戸訪問 100%【100%】
■離乳食教室 65%【64%】
■親子あそびの広場 保護者 80人 子ども 80人
【保護者 55人 子ども 68人】
■フッ化物洗口事業 98%【97.3%】

目標に対する前期までの成果

達成率(中間)

各種事業実績 【 】内は前年同期
・乳児全戸訪問(4～9月)
訪問数 51名/100%【98%】
・離乳食教室(8月のみ)
受講者 11名/52%【58%】
・親子あそびのひろば(8・9月のみ)
参加者：子 14名、保護者 14名
【子 32名、保護者 27名】

50%

目標管理

目標に対する最終成果

達成率(最終)

各種事業実績 【 】内は前年同期
・乳児全戸訪問(4～2月)
訪問数 91名/100%【100人/100%】
・離乳食教室(8・10・12・2月)
受講者 56名/71%【59人/67%】
・親子あそびのひろば(8～2月)
参加者：子 58名、保護者 53名
【子 48名、保護者 37名】
・産後ケア事業(4～3月)
3件【宿泊：2件 日帰り：1件】

100%

残った課題・来年度の取り組み

事業の見直しを行い、引き続き母親の育児不安を解消し、楽しく安心して子育てができるよう支援していきます。
発達の遅れなどが見られる子どもに対しては、家族に寄り添い、関連機関と連携を図りながら早期療育に繋がるよう支援していきます。

事業の概要・ 実施方針	第6次矢吹町まちづくり総合計画に示されている「情報共有・情報発信の町づくり」に基づく情報発信を行います。町民に身近な当課で取り扱う業務について、時期を逸せず正確に適切な方法で積極的に情報を発信します。
----------------	--

実施方法・手段・スケジュール等		前期の実施状況(いつ・何をを行ったか)
進行管理	前期	<p>毎月：係長会議にて情報共有 随時：町広報紙への記事掲載 随時：町ホームページへの掲載 随時：マスコミ等への情報提供</p> <p><町広報紙への記事掲載数> 4月：健康3、国保1、福祉2 5月：健康4、国保1、福祉4、 6月：健康3、国保1、福祉1、 7月：健康6、国保5、福祉1、 8月：健康6、福祉4、介護1 9月：健康5、国保2、福祉2 <町ホームページ掲載> ・新型コロナ感染症関連記事 ・町民健診情報、敬老会情報 <チラシ配布等> 5回</p>
	後期	<p><町広報紙への記事掲載数> 10月：健康7、国保2、福祉2 11月：健康5、国保1、福祉3 12月：健康5、国保1、福祉3、介 護2 1月：健康5、国保2、福祉2 2月：健康7、国保1、福祉1 3月：健康9、国保1、福祉1</p>

目標管理	成果目標・数値目標等	
	毎月1回の係長会議にて係内の事業・イベント等を確認し、必要に応じてホームページ・広報誌及び全戸配布チラシや防災無線の活用・マスコミ等へタイムリーな情報提供など積極的な情報の発信を行います。	
	目標に対する前期までの成果	達成率(中間)
	ホームページの内容更新・点検：適宜 町広報紙への記事掲載：52回【46回】 防災無線の活用：適宜 ※【 】内は前年同期	50%
	目標に対する最終成果	達成率(最終)
	ホームページの内容更新・点検：適宜 後期町広報紙への記事掲載：60回【56回】 防災無線の活用：適宜 チラシの新聞折込：適宜 ※【 】内は前年同期	100%
残った課題・来年度の取り組み		
今後も適切な時期に適切な方法で、町の事業やイベント等について積極的に情報発信を行います。		

事業の概要・ 実施方針	<p>事務事業の効率的、確実な執行を図るため、事務処理マニュアルが必要な事業を選定し事務処理マニュアルを作成します。また、チェックリスト等により事務処理誤りや漏れを防ぐとともに、担当者不在による事務の停滞を防ぎます。随時マニュアルの見直し、修正を行い事務の効率化を図ります。</p>
----------------	---

		実施方法・手段・スケジュール等	前期の実施状況(いつ・何をを行ったか)
進行管理	前期	4月：総合窓口マニュアルの見直し 6月：マニュアル作成の業務の選定 7月：選定した業務のマニュアル作成	4月：総合窓口マニュアルの見直し、改善 6月：各係で選定した事務処理マニュアルの作成及び確認
	後期	10月：前期の実施状況の検証及びマニュアルの見直しや修正 2月：次年度に向けたマニュアルの見直し及び改善	10月：前期の実施状況の検証及びマニュアルの見直しや修正 2月：次年度に向けたマニュアルの見直し及び改善

目標管理	成果目標・数値目標等	
	<p>事務処理の共有化や効率化を図り、住民サービスの向上、迅速化に努めるとともに、効率的でミスのない事務処理を行い、質の高いサービスの提供と信頼される役場の実現を目指します。</p>	
	目標に対する前期までの成果	達成率(中間)
	<p>総合窓口課に移管した業務マニュアルについて随時修正や協議を行い、事務の効率化を図りました。</p>	50%
目標に対する最終成果	達成率(最終)	
<p>総合窓口課に移管した業務マニュアルについて随時修正や協議を行い、事務の効率化を図りました。さらに今後移管できる業務の見直しについても検討しました。</p>	100%	
残った課題・来年度の取り組み		
<p>移管業務マニュアルの随時見直しや更新、今後移管する業務マニュアルの作成を行い、事務の効率化を図り住民サービスの向上を目指します。</p>		

事業の概要・
実施方針

職員一人ひとりが、常に経費節減に向けた意識を持ち、最小の経費で最大の効果が得られるよう事務の効率化に取り組み、歳出の抑制を図ります。

実施方法・手段・スケジュール等		前期の実施状況(いつ・何を行ったか)
前期	随時 ・電機機器等の節電 ・用紙や封筒の再利用の徹底 ・消耗品費の有効活用 ・クールビズの実施 ・指定管理者との協議による経費節減意識の共有	随時 ・電機機器等の節電 ・用紙や封筒の再利用の徹底 ・消耗品費の有効活用 ・クールビズの実施 ・指定管理者との協議による経費節減意識の共有
後期	随時 ・電機機器等の節電 ・用紙や封筒の再利用の徹底 ・消耗品費の有効活用 ・ウォームビズの実施 ・指定管理者との協議による経費節減意識の共有	随時 ・電機機器等の節電 ・用紙や封筒の再利用の徹底 ・消耗品費の有効活用 ・ウォームビズの実施 ・指定管理者との協議による経費節減意識の共有

進行管理

成果目標・数値目標等

事務事業を効率的に推進することにより、内部経費の削減を図ります。

目標に対する前期までの成果

達成率(中間)

職員一人ひとりが経費節減意識を持ち、印刷用紙、節電行動、消耗品の共同利用等に積極的に取り組みました。

50%

目標に対する最終成果

達成率(最終)

係内会議による経費節減意識の共有を図りました。印刷用紙の裏面活用、節電行動、消耗品の共同利用等に積極的に取り組みました。

100%

目標管理

残った課題・来年度の取り組み

今後も経費節減に向けて、課員の共通認識のもと積極的に取り組みます。また、指定管理者との協議においても、経費削減意識の共有を図ります。

事業の概要・
実施方針

収納率向上のため、賦課徴収主管課の税務課と滞納者の状況について情報の共有を図りながら、短期証・資格証及び給付制限などの管理を連携して行い、滞納者の納税意識の向上につなげ未収納金の縮減に努めます。

実施方法・手段・スケジュール等		前期の実施状況(いつ・何をを行ったか)
前期	随時 ・滞納者の状況について情報共有 ・資格管理について連携	随時 ・滞納者の状況について情報共有 ・資格管理について連携
後期	随時 ・滞納者の状況について情報共有 ・資格管理について連携	随時 ・滞納者の状況について情報共有 ・資格管理について連携

進行管理

成果目標・数値目標等

- ・滞納者の状況について、情報の共有化を図ります。
- ・短期証・資格証及び給付制限等の適正管理に努めます。
- ・各制度内容の周知を図ります。

目標に対する前期までの成果

達成率(中間)

滞納状況により短期証・資格証を交付し、滞納者の納税意識の向上に努めるとともに、給付制限等の適正管理に努めました。

50%

目標管理

目標に対する最終成果

達成率(最終)

資格の取得や更新時の納税相談等に際しては、税務課と情報を交換し適正な資格管理に努めました。

100%

残った課題・来年度の取り組み

引き続き、納税の状況について情報共有を図りながら、資格の適正管理に努めます。
納税相談の充実に努め収納率の向上を図ります。

事業の概要・
実施方針

国民健康保険・介護保険・後期高齢者医療の特別会計については、社会情勢の変化等を踏まえ、事業の意義、提供しているサービスの必要性について公共性・公益性を考慮した事業実施に努めます。
また、相互扶助の側面が強いことなどから、事業の継続的な安定したサービスを提供できるよう、徴収対策の強化や事務事業の効率化などを実施し健全な事業運営を行います。

実施方法・手段・スケジュール等

前期の実施状況(いつ・何をを行ったか)

前期

通年・資格、認定、給付等の適正管理と各事業の実施。
5～6月・各審議会へ運営状況の報告
8月・前年度決算額から運営状況を分析

通年・資格、認定、給付等の適正管理と各事業の実施
5月・各審議会へ運営状況の報告
8月・前年度決算額から運営状況を分析

進行管理

後期

通年・資格、認定、給付等の適正管理と各事業の実施
3月・各協議会へ運営状況の報告

通年
・資格、認定、給付等の適正管理と各事業の実施
2月～3月
・各審議会へ運営状況の報告

成果目標・数値目標等

- ・資格、認定、給付等の適正な管理に努めます。
- ・前年度決算額から運営状況を分析し事務事業の効率化に努め、健全な事業運営を行います。

目標に対する前期までの成果

達成率(中間)

資格・認定・給付等の適正な管理に努め、特別会計の運営状況の分析を行い、事務の効率化を図りました。

50%

目標管理

目標に対する最終成果

達成率(最終)

資格、認定給付等の適正管理に努めながら、各事業に取り組みました。

100%

残った課題・来年度の取り組み

引き続き、公共性、公益性に考慮した保健事業を安定的に提供できるよう、事務事業の効率化を図りながら健全な事業運営に努めます。

事業の概要・実施方針

町が保有する公共施設の老朽化等に伴う施設の更新、維持、長寿命化、施設のあり方等については、今後のまちづくり、財政等に大きな影響を及ぼすことが見込まれるため、その対策として「矢吹町公共施設等総合管理計画」に基づき、令和元年度に「保健・福祉施設個別施設計画」を策定いたしました。
 今後は、町公共施設等総合管理計画及び保健・福祉施設個別施設計画、その他、町公共施設の個別施設計画を調整し、効果的な施設配置と将来的な負担軽減等の推進を図ります。

【保健福祉課所管施設】

- ・健康センター（あゆり温泉、老人福祉センター、温水プール、屋内ゲートボール場、温泉スタンド、ふれあい農園）
- ・保健福祉センター
- ・福祉会館

実施方法・手段・スケジュール等		前期の実施状況(いつ・何をを行ったか)
前期	通年 施設類型ごとの個別施設計画の庁内調整及び検討 随時 先進自治体及び近隣市町村の取組の情報収集及び調査研究 随時 研修会及び説明会の参加	5月 ・ あゆり温泉壁クロス貼替発注 6月 ・ 福祉会館網戸修繕発注 7月 ・ 老人福祉センター網戸修繕発注 9月 ・ 温水プールパネルヒーター修繕工事発注
後期	通年 施設類型ごとの個別施設計画の庁内調整及び検討 随時 先進自治体及び近隣市町村の取組の情報収集及び調査研究 随時 研修会及び説明会の参加	10月 ・ 温水プールエアークハンドリングユニット修繕工事発注 ・ 温水プール網戸・引違窓取付工事発注 ・ あゆり温泉玄関自動ドア取付工事 12月 ・ あゆり温泉ITV設備用レコーダー修繕

進行管理

目標管理

成果目標・数値目標等

公共施設の老朽化等に伴う施設の更新、維持、長寿命化、施設のあり方等について、「矢吹町公共施設等総合管理計画」基本方針及び「保健・福祉施設個別施設計画」、その他、公共施設等個別施設計画との庁内調整と方策の検討を実施します。

目標に対する前期までの成果

達成率(中間)

- 5月 ・ あゆり温泉壁クロス貼替 完了
- 6月 ・ 福祉会館網戸修繕 完了
- 7月 ・ 老人福祉センター網戸修繕 完了

50%

目標に対する最終成果

達成率(最終)

- 12月 ・ あゆり温泉玄関自動ドア取付工事 完了
- ・ 温水プールパネルヒーター修繕工事 完了
- ・ 温水プールエアークハンドリングユニット修繕工事 完了
- ・ 温水プール網戸・引違窓取付工事 完了
- 1月 ・ あゆり温泉ITV設備用レコーダー修繕 完了

100%

残った課題・来年度の取り組み

保健・福祉施設個別施設計画に則り、今後も施設の維持・修繕に努めます。

事業の概要・
実施方針

事務内容、費用対効果を考慮し、事務事業の民間委託を推進し行政サービスの向上を図ります。
また、すでに委託している業務についても費用対効果を検証します。

実施方法・手段・スケジュール等		前期の実施状況(いつ・何をを行ったか)
前期	7月：調査、情報 8月：係内会議や係長会議にて検討	7月：調査、情報 8月：係内会議や係長会議にて検討
後期	12月：委託事業の検証 2月：次年度委託業務等の検討	12月：委託事業の検証 2月：次年度委託業務等の検討

進行管理

成果目標・数値目標等

民間委託により効果が期待できるものは委託し、町民に対する行政サービスの向上を図ります。
対象事業等の調査研究と案件抽出を行い、課題等を整理しながら民間委託を推進します。

目標に対する前期までの成果

達成率(中間)

民間委託の推進を図り、次の業務契約を行いました。
・町民健診完全予約委託業務
・第6期障がい福祉計画及び第2期障がい児福祉計画策定業務委託(6月)

50%

目標管理

目標に対する最終成果

達成率(最終)

・第9次矢吹町高齢者保健福祉計画・第8期矢吹町介護保険計画策定業務委託
・カゴメ(株)と協働した健康づくり事業
「ベジライフセミナー」11月・12月・2月
・新型コロナウイルスワクチン接種体制確保事業業務委託(高齢者)

100%

残った課題・来年度の取り組み

民間委託事業の効果検証並びに検討を行い、新たに委託できる事業がないか調査し、民間活力の推進を図ります。

事業の概要・
実施方針

課内の年間スケジュールを把握し、係間で連携しながら協力体制を図ります。また、係別に時間外勤務の実態を検証し、状況に応じて係内の調整や事務分掌の見直しを行います。職員の健康にも影響することから、時間外勤務の適正な運営と縮減を図ります。

進行管理

実施方法・手段・スケジュール等		前期の実施状況(いつ・何をを行ったか)
前期	<ul style="list-style-type: none"> ・課内会議にて喚起 ・係長及び係内会議にて状況確認 ・ノー残業デー(火・木)及びノー残業ウィーク(6月～9月の第3週)について実施 ・7～9月 ゆう活の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・課内会議にて喚起 ・係長及び係内会議で状況確認 ・ノー残業デー(火・木)及びノー残業ウィーク(6月～9月の第3週)について実施 ・6～9月 ゆう活の実施
後期	随時 <ul style="list-style-type: none"> ・課内会議にて喚起 ・係長及び係内会議にて状況確認 ・ノー残業デー(火・木)の実施及び検証・分析 	随時 <ul style="list-style-type: none"> ・課内会議にて喚起 ・係長及び係内会議にて状況確認 ・ノー残業デー(火・木)の実施及び検証・分析

成果目標・数値目標等

職員の健康管理を図るためにも、時間外勤務の抑制に取り組みます。
ノー残業デーの徹底を図るため、課内及び係長会議等にて職員の意識改革に取り組みます。(ただし、やむを得ない緊急的・他律的事務を除く)

目標に対する前期までの成果

達成率(中間)

各係のイベントや事業(新型コロナウイルス関連事務、町民健診、敬老会、困難ケースの対応等)により、一時的な時間外勤務が見られましたが、土日の事業等については振替・代休制度を活用しました。また、ゆう活やノー残業デーにも取り組みました。

50%

目標に対する最終成果

達成率(最終)

土日の事業については、振替・代休制度の活用を図りました。障がい者や高齢者虐待等緊急的対応や新型コロナ感染症・地震による避難所対応については、超勤での対応となりました。

100%

残った課題・来年度の取り組み

事務の効率化を検討するとともに、矢吹町働き方改革に基づき、ノー残業デー・ゆう活の実施等の進捗管理を行いながら、時間外勤務の抑制を図ります。

目標管理

事業の概要・
実施方針

新型コロナウイルス感染症の影響により、首都圏に住む多くの人々が東京一極集中へのリスクを感じ、地方移住への関心が高まることが予想されます。そのため、まずは当町に関心に向けてもらえるよう、各所へのパンフレットの設置や移住相談会へ積極的に参加していきます。また、移住・定住を希望する相談者に対して、気兼ねなく移住の相談ができ、少しでも移住することへの不安を払拭できるように、各団体と連携し、相談体制の構築及び充実を図ります。

また、SDGsの観点を本事業にも取り入れ、実施していきます。具体的には、SDGsに関する地域おこし協力隊の募集や地域の課題・可能性をSDGsの視点から掘り下げ新しいビジネスや事業を創出していく「SDGsローカルベンチャー」の推進、また、SDGsローカルベンチャーに係る体験ツアー&勉強会や首都圏イベントを開催していきます。

あわせて、移住者のための支援策の1つとして、町教育機関等と連携し、リカレント教育の機会を提供する新規事業についても、今年度中に検討していきます。

実施方法・手段・スケジュール等

前期の実施状況(いつ・何をを行ったか)

前期

随時 移住者向けパンフレットの配布
随時 地域おこし協力隊の募集
随時 リカレント教育に関する教育機関等との協議
4月～7月 地域おこし協力隊募集に係るチラシ等制作に関する公募型プロポールの実施

随時 移住者向けパンフレットの配布
5月～6月 協力隊募集チラシ等制作に関するプロポータル
8月 SDGs地域おこし協力隊の募集開始

進行管理

後期

随時 移住者向けパンフレットの配布
随時 地域おこし協力隊の募集
随時 リカレント教育に関する教育機関等との協議
10月 体験ツアー&SDGs勉強会
移住相談会
12月 首都圏イベント
1月～2月 移住相談会

随時 移住者向けパンフレットの配布
随時 地域おこし協力隊の募集
11月 福島くらし&しごとフェア2020出展
11月 空き家バンク開設に向け、白河市視察
12月 移住体験ツアー&SDGs勉強会開催
1月 首都圏イベント開催
1月 地方創生テレワーク交付金事業事業計画書提出
2月 HAPPY NEW LIFE in FUKUSHIMA出展
3月 JOINイベント出展

成果目標・数値目標等

- ・移住定住に関する相談件数 30件
- ・地域おこし協力隊の応募 4件
- ・体験ツアー&SDGs勉強会参加者 20名
- ・首都圏イベント 30名
- ・SDGs関連移住者 5名

目標に対する前期までの成果

達成率(中間)

- ・移住定住に関する相談件数 2件
- ・地域おこし協力隊の応募 4件

50%

目標に対する最終成果

達成率(最終)

- ・移住定住に関する相談件数 6件
- ・地域おこし協力隊の応募 6件(内、2名採用)
- ・体験ツアー&SDGs勉強会参加者 6名
- ・首都圏イベント 19名
- ・SDGs関連移住者 3名

100%

目標管理

残った課題・来年度の取り組み

- ・新規移住施策であるリカレント教育支援事業や空き家バンクの開設等、移住者支援施策の強化
- ・SDGsローカルベンチャーの制度整備
- ・地方創生テレワーク交付金事業を活用したテレワーク施設整備

事業の概要・ 実施方針	地域経済の発展と産業活性化及び町民の雇用拡大のため、県企業立地課等関係機関と連携を図り誘致活動に努めます。
----------------	---

実施方法・手段・スケジュール等		前期の実施状況(いつ・何をを行ったか)
進行管理	前期	随時 県東京事務所及び大阪事務所への事業用地等の斡旋 7月 県企業立地課協議 9月 森林管理局白河支署協議
	後期	随時 県東京事務所及び大阪事務所への事業用地等の斡旋 適宜 県東京事務所及び大阪事務所への事業用地等の斡旋を実施しました。

目標管理	成果目標・数値目標等	
	・企業誘致委員会での認定企業 3社	
	目標に対する前期までの成果	達成率(中間)
	R2.9.2現在、企業誘致認定2社	50%
	目標に対する最終成果	達成率(最終)
R3.2月末現在 企業誘致認定6社	100%	
残った課題・来年度の取り組み		
福島県の東京事務所及び大阪事務所などの関係機関と連携を図りながら、また、テレワークやサテライトオフィスの推進もを行い、企業の進出しやすい環境づくりに努めます。		

事業の概要・ 実施方針	<p>国県及び関係機関等との協議を進め、埋蔵文化財に関する課題整理を行い、総合的な整備・利活用に向けた計画づくりに取り組みます。</p>
----------------	--

		実施方法・手段・スケジュール等	前期の実施状況(いつ・何をを行ったか)
進行管理	前期	<p>随時 県企業立地課と連携し関東森林管理局と具体的利活用方法の協議検討を行ないます。 随時 県文化財課と埋蔵文化財の課題整理についての協議を行います。</p>	<p>7月 県企業立地課、文化財課協議 9月 森林管理局白河支署協議</p>
	後期	<p>随時 県企業立地課と連携し関東森林管理局と具体的利活用方法の協議検討を行ないます。 随時 県文化財課と埋蔵文化財の課題整理についての協議を行います。</p>	<p>新型コロナウイルス感染症感染防止のため関東森林管理局、県企業立地課への訪問協議は実施を見送りました。</p>

目標管理	成果目標・数値目標等	
	<p>雇用機会の拡大、地域経済の発展を念頭に国県及び関係機関等との協議を進め、当該用地の有効活用に努めます。</p>	
	目標に対する前期までの成果	達成率(中間)
	<p>国営旧第二苗畑用地の利活用に関し、町・県で連携し国からの取得及び利活用についての協議検討を継続的に行う意思確認を行いました。</p>	50%
	目標に対する最終成果	達成率(最終)
<p>後期は新型コロナウイルス感染症感染防止のため関東森林管理局への訪問協議は実施を見送りましたが、福島県企業立地課及び文化財課、森林管理局白河支署とは当該用地の有効活用を行うことの意味確認を行いました。</p>		100%
残った課題・来年度の取り組み		
<p>新型コロナウイルス感染症の状況を注視しながら関東森林整備局、福島県企業立地課を訪問協議し、当該用地の有効活用の早期実現に努めます。</p>		

事業の概要・ 実施方針	<p>中心市街地及び地域経済の活性化を図るため、町の空き店舗対策事業補助金や創業支援事業の周知を行います。</p> <p>また、新型コロナウイルス感染症の発症に起因して、経営の安定に支障が生じる飲食業や小規模事業者等について、商工会と連携し事業継続支援給付金の支給を行います。</p>
----------------	--

実施方法・手段・スケジュール等		前期の実施状況(いつ・何をを行ったか)
進行管理	<p>前期</p> <p>4月～ 町内飲食店等の状況把握と支援策について、商工会等との協議 5月～ 支援制度・給付金の周知 随時 商工会と商業活性化対策検討協議</p>	<p>4月 金融機関、商工会と連絡会議 5月 町独自の経済支援策の実施 7月 経済支援策第2弾の検討 8月 暮らし応援商品券事業の検討・関係団体との協議</p>
	<p>後期</p> <p>随時 商工会と商業活性化対策検討協議</p>	<p>10月 店舗応援キャンペーン感染予防対策助成金の交付 11月 暮らし応援商品券事業の実施 2月 福島県沖地震に係る支援策の検討</p>

目標管理	成果目標・数値目標等	
	<ul style="list-style-type: none"> 空き店舗対策事業補助活用 3件 	
	目標に対する前期までの成果	達成率(中間)
	<ul style="list-style-type: none"> 空き店舗対策事業補助 3件(継続) 雇用維持助成金 4件 雇用調整助成金申請費用助成金 2件 事業継続支援金 205件 	50%
	目標に対する最終成果	達成率(最終)
	<ul style="list-style-type: none"> 空き店舗対策事業補助 4件 雇用維持助成金 6件 雇用調整助成金申請費用助成金 13件 事業継続支援金 234件 	100%
	残った課題・来年度の取り組み	
	<p>新型コロナウイルス及び令和3年福島県沖地震等を踏まえ、商工会と連携し経営安定を検討します。</p>	

事業の概要・ 実施方針	<p>町内最大級のイベントに成長し、町外からも多くの方が来場するほど、その知名度は高まっており、昨年度に引き続き、前夜祭を開催し、これまで取り込みの難しかった就業者や若者の参加を促進します。</p> <p>ただし、コロナウイルスの影響を考慮しながら、開催の可否を慎重に判断していきます。</p>
----------------	---

実施方法・手段・スケジュール等		前期の実施状況(いつ・何をを行ったか)
進行管理	<p>前期</p> <p>5月 実行委員会役員会（開催可否判断） 6月 実行委員会総会 6～7月 出展者募集 8月 報道各社へ情報提供 9月5日 やぶきフロンティア祭り前夜祭 9月6日 やぶきフロンティア祭り 9月 アンケート実施及び集計</p>	<p>5月 実行委員会役員会、総会の書面開催（開催中止を決定） 6月 関係機関、参加団体へ中止通知 9月 コロナ禍を見据えた開催に向け業者打合せ</p>
	<p>後期</p> <p>12月 実行委員会役員会</p>	<p>1月 やぶきフロンティア祭り実施に関する内部協議</p>

目標管理	成果目標・数値目標等	
	<ul style="list-style-type: none"> 来場者数 10,000人 出店者・出演者等 100団体 	
	目標に対する前期までの成果	達成率(中間)
	<ul style="list-style-type: none"> 実行委員会総会の書面開催により、今年度のやぶきフロンティア祭り2020の開催中止を決定しました 	50%
	目標に対する最終成果	達成率(最終)
<ul style="list-style-type: none"> 来年度の開催に関し、新型コロナウイルス感染防止や費用対効果の観点から協議を行いました。 	100%	
残った課題・来年度の取り組み		
<ul style="list-style-type: none"> 2021年の開催に関する可否を引き続き協議を行います。 		

事業の概要・ 実施方針	<p>令和元年度に策定した「矢吹百貨店化計画」に沿って、プロフェッショナル人材を招聘したセミナーや家庭料理をキーワードとした商品開発研修会の開催、町内の農産物や加工食品、手芸品等を販売するテスト店舗の運営を行います。また、1年間の活動の報告として事業に関わった方やテスト店舗の出荷者などを招き、成果発表会を開催します。</p> <p>ただし、テスト店舗の運営と成果発表会はコロナウイルスの影響を考慮しながら、開催の可否を慎重に判断していきます。</p>
----------------	--

実施方法・手段・スケジュール等		前期の実施状況(いつ・何をを行ったか)
進行管理	<p>前期</p> <p>6月 人材育成セミナーの開催 7月 商品開発研修会の開催</p>	<p>9月 矢吹ブランド認証制度の創設と農短大との連携強化を目的とした計画の立案</p>
	<p>後期</p> <p>2月 成果発表会の開催</p>	<p>新型コロナウイルス感染症感染防止のため全ての事業を取りやめました。</p>

目標管理	成果目標・数値目標等	
	地方創生推進交付金を活用した事業のKPI、成果目標	
	目標に対する前期までの成果	達成率(中間)
	<p>新型コロナウイルス感染拡大防止のため、テスト店舗運営と成果発表会開催を中止しました。また、同様に3密を避けるため、人が集まるセミナーを中止し、ブランド認証制度の創設に向けた計画の立案及び農短大との連携強化のための企画提案書の作成を行いました。</p>	50%
	目標に対する最終成果	達成率(最終)
	<p>新型コロナウイルス感染症感染防止のため全ての事業を取りやめました。</p>	85%
	残った課題・来年度の取り組み	
	<p>新型コロナウイルス感染症の状況を注視しながら、地域ブランドづくりに努めます。</p>	

事業の概要・ 実施方針	矢吹町産農産物等の販路拡大を図るため、姉妹都市の三鷹市をはじめ、全国で開催されるイベントに出展し、矢吹町産農産物や特産品をPRします。
----------------	---

実施方法・手段・スケジュール等		前期の実施状況(いつ・何を行ったか)
進行管理	前期	4月 総会(書面決議) 随時 イベントへの出展 随時 報道各社へ情報提供 4月 総会(書面開催) 9月 酒米稲刈り(規模縮小)
	後期	10月 三鷹市交流事業「酒米稲刈り」 12月 新酒発表会 随時 イベントへの出展 随時 報道各社へ情報提供 10月 阿武隈川治水対策整備市町村物販フェア(道の駅伊達りょうぜん)への町物産提供 10月 福島駅前軽トラ市への出店 11月 しらかわエリア観光PRイベント出店 11月 阿武隈川治水対策整備に係るレガレこおり(桑折町)へ町物産提供 12月 日本酒「開拓のうた」販売

成果目標・数値目標等	
目標管理	成果目標・数値目標等 ・イベントへの出展 2件 ・出店品数 50品
目標に対する前期までの成果	達成率(中間)
・新型コロナウイルスの影響によるイベントの中止を受け、出展を行いませんでした。 ・酒米づくりの稲刈りイベントは、三鷹市交流を行わず、神田行政区・子ども育成会にて開催しました。	50%
目標に対する最終成果	達成率(最終)
・イベントへの出展 2件 ・出店品数 12品	100%
残った課題・来年度の取り組み	
・日本酒「開拓のうた」の販路の拡大	

事業の概要・
実施方針

矢吹駅西口を中心とした地域において「大正ロマンの館」及び「中町ポケットパーク」「矢吹町複合施設（仮）」を核とした賑わいの創出について、指定管理者、商工会、商店会連合会等と連携を図ります。
また、中心市街地で開催されるイベントをホームページ等で発信することにより集客数のアップを図ります。

進行管理

実施方法・手段・スケジュール等		前期の実施状況(いつ・何をを行ったか)
前期	毎月 指定管理者との協議 随時 指定管理者及び商工関係団体と賑わい創出について協議	毎月 指定管理者との協議 随時 商工会との協議
後期	随時 指定管理者及び商工団体との協議	毎月 指定管理者との協議 随時 商工会との情報共有

成果目標・数値目標等

矢吹町複合施設（仮）のオープニングとタイアップして、大正ロマンの館建築100年イベントの実施

大正ロマンの館来場者数 5,000人
ポケットパークの利用者数 5,000人

目標に対する前期までの成果

達成率(中間)

大正ロマンの館来場者数 3,699人
新型コロナウイルスの感染状況を鑑み、商工会等の団体が中心市街地で実施する予定だったイベントは中止されました。

50%

目標に対する最終成果

達成率(最終)

大正ロマンの館来場者数 9,467人
新型コロナウイルスの感染症状況及び令和3年福島県沖地震による中町ポケットパークの施設被害等の影響で、イベントが中止となりました。

90%

残った課題・来年度の取り組み

新型コロナウイルス感染状況を踏まえ、感染防止対策を行いながら実施できる事業を検討していきます。

目標管理

事業の概要・
実施方針

町の基幹産業である農業の発展及び振興を図るため、地域農業の担い手である、認定農業者の掘り起こしや、それに伴う農業改善計画作成のフォローアップ、経営能力向上のための講演会の開催、農業生産法人化及び法人経営への設立支援を行います。
また、地域の担い手育成、新規就農者の確保に向けた取り組みを行います。

進行管理

実施方法・手段・スケジュール等	前期の実施状況(いつ・何をを行ったか)
前期 4月～ 地域連携推進員とともに認定農業者や新規就農者に係る農業経営改善計画作成のフォローアップを行います。 5月 連携推進員との打ち合わせ 6月 認定農業者更新者 42件 7月 連携推進員との打ち合わせ 8月 認定農業者更新者 7件	6月 認定農業者(更新) 39件 認定農業者(新規) 2件 認定新規就農者 2件 7月 家族経営協定締結
後期 10月 連携推進員との打ち合わせ 認定農業者更新者 8件 11月 先進地視察研修の開催 2月 新規就農者激励会の開催	10月 認定農業者(更新) 6件 認定農業者(新規) 1件 3月 認定農業者(更新) 3件 認定農業者(新規) 3件

目標管理

成果目標・数値目標等	達成率(中間)
<ul style="list-style-type: none"> 令和2年3月末現在の認定農業者数について4名の増加を目指します。(162名⇒166名) 新規就農者について新たに3名の確保を目指します。 農業生産法人化設立2件以上を目指します。 	70%
目標に対する前期までの成果	達成率(最終)
連携推進員とヒアリングを行い、認定農業者の更新を行いました。 新規就農者の掘り起こしを行い2件認定しました。	90%
目標に対する最終成果	
認定農業者に新規で6名認定しました。 新規就農者を3名認定しました。 認定農業者を48件更新しました。 新規就農希望者3名に対しヒアリングを行いました。	
残った課題・来年度の取り組み	
引き続き、地域農業の担い手として、認定農業者及び新規就農者の掘り起こしに努めます。	

事業の概要・ 実施方針	<p>国の施策である経営所得安定対策を推進し、農業所得安定及び向上を目指すため、主食用米の過剰作付けから米価下落が起きないように、県と連携した主食用米の生産数量の調整を図りながら、あわせて非主食用米の飼料用米やWCS用稲、振興作物である大豆の作付けの推進を図ります。</p>
----------------	---

実施方法・手段・スケジュール等		前期の実施状況(いつ・何をを行ったか)
進行管理	<p>前期</p> <p>4月 収入減少影響緩和対策(ナラシ対策)受付 5月～6月 経営所得安定対策受付 7月～8月 飼料用米、大豆等の作付け確認</p>	<p>4月30日まで 収入減少影響緩和対策(ナラシ対策)受付 6月30日まで 経営所得安定対策受付 加入者175名 7月～8月 作付けの現地確認 7月～9月 飼料用米への転換推進 転換実績1.3ha</p>
	<p>後期</p> <p>10月～ 国による交付金支払いの資料作成等 2月～ 農業政策及び制度の農業者向け説明会開催</p>	<p>10月～3月 国による交付金支払いに係る資料作成実施 3月 交付金制度の農業者向け資料の発送実施</p>

目標管理	成果目標・数値目標等	
	<p>経営所得安定対策加入者200名を目指します。 また、面積の目標として飼料用米15ha、WCS用稲10ha、大豆50ha、そば10haの作付けを目指します。</p>	
	目標に対する前期までの成果	達成率(中間)
	<p>経営所得安定対策の申請受付を行い、加入者は175名となりました。 非主食用米の作付面積は、飼料用米が6.4ha、WCS用稲が9.6ha、大豆が25.8ha、そばが2.2haとなりました。</p>	50%
	目標に対する最終成果	達成率(最終)
	<p>経営所得安定対策の申請受付を行い、加入者は175名となりました。 非主食用米の作付面積は、飼料用米が6.4ha、WCS用稲が9.6ha、大豆が25.8ha、そばが2.2haとなりました。</p>	90%
	残った課題・来年度の取り組み	
	<p>コロナ禍により米の需要が落ち込み、過年度産米の在庫が過剰な状態になっていることから、米価の下落が懸念されているため、飼料用米等の非主食用米や大豆などへの作付け転換を推進し、農業者の所得安定を図ります。</p>	

事業の概要・ 実施方針	<p>食の安心安全を推進するため、有機栽培や特別栽培について調査、実証を行い、農業の振興施策を推進します。</p> <p>また、東京農業大学の協力により、カブトエビを活用した有機農業の確立を目指します。</p>
----------------	---

実施方法・手段・スケジュール等		前期の実施状況(いつ・何をを行ったか)
進行管理	<p>前期</p> <p>4月 東京農業大学と業務委託契約締結 5月21日 善郷小、中畑小による大池ほ場での田植え 6月 カブトエビ調査</p>	<p>4月 ほ場管理者との調整 5月 ほ場管理者による田植え</p>
	<p>後期</p> <p>10月 稲刈り 2月 東京農業大学と次年度へ向けた検討会</p>	<p>10月 稲刈り</p>

目標管理	成果目標・数値目標等	
	<p>カブトエビがふ化しやすい時期での生育や、事前に小学校にカブトエビの卵を配布するなど、卵の数を増やす対策に取り組み、カブトエビの大量発生を目指します。</p> <p>また、カブトエビ農法以外の有効な有機農法についても、東京農業大学に協力を依頼しながら、検証を試みます。</p>	
	目標に対する前期までの成果	達成率(中間)
	<p>新型コロナウイルス感染拡大予防のため、小学生による大池ほ場の田植え体験を中止しましたが、秋の稲刈り体験のため、ほ場管理者による田植えを実施しました。カブトエビの調査については、上記の理由より小学校への調査を依頼できなかったこと、また、移動自粛により関東圏からの来町が困難となり、東京農業大学との共同調査が中止となったことから、前期の調査を実施できませんでした。</p>	
	目標に対する最終成果	達成率(最終)
<p>田植えについては実施を中止しましたが、稲刈りについては感染防止対策として密集を避けながら、児童らによる稲刈り体験のみ実施しました。</p>		80%
	残った課題・来年度の取り組み	
<p>新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、東京農業大学との業務委託及び田んぼの学校による交流を中止したため、今後は情勢を見極めながら、リモートによる調査内容の共有など、実現可能な方法を模索してきたいと考えます。</p>		

事業の概要・ 実施方針	<p>遊休農地や耕作放棄地面積の減少を目指すため、農地の貸し借りの仲介役である農地中間管理機構を活用し、円滑な農地の集積や集約を図ります。</p> <p>また、農地の出し手や借り手の掘り起こしを図るため、町広報誌等で制度のPRを実施します。</p>
----------------	--

実施方法・手段・スケジュール等		前期の実施状況(いつ・何をを行ったか)
進行管理	<p>前期</p> <p>4月 重点地区の策定(境町、南町、大町、館沢、白山、神田地区)</p> <p>5月 ほ場整備打ち合わせ 農地の貸し借りの推進</p> <p>6月 町広報誌等によるPR</p>	<p>4月～ ほ場整備に向けた関係機関との協議</p> <p>6月 ほ場整備勉強会</p> <p>9月 地形図作成業務委託</p> <p>9月 受益者説明会</p>
	<p>後期</p> <p>10月～農地の貸し借り推進</p> <p>12月 町広報誌等によるPR</p>	<p>10月 土地所有者へほ場整備事業計画について通知</p> <p>11月 ほ場整備推進委員会開催</p> <p>12月 ほ場整備推進委員会開催</p> <p>1月 土地所有者及び担い手へ推進委員会の役員決定について通知</p> <p>1月 ほ場整備推進委員会開催</p> <p>3月 ほ場整備推進委員会開催</p> <p>3月 土地所有者及び担い手へ現段階での計画平面図及び今後のスケジュールについて通知</p>

目標管理	成果目標・数値目標等	
	<ul style="list-style-type: none"> 農地中間管理機構による農地の貸し借りを推進します。 貸し借り成立件数10件を目指します。 	
	目標に対する前期までの成果	達成率(中間)
	ほ場整備に向けた受益者説明会を開催し、今後のスケジュール等の説明を行いました。	50%
	目標に対する最終成果	達成率(最終)
	<p>貸付成立件数 4件 2.87ha</p> <p>借入成立件数 4件 2.87ha</p>	80%
残った課題・来年度の取り組み		
<p>令和3年度については、農地の出し手、借り手の両者に協力金が交付されることをPRし、農地の担い手への集積を図ります。</p> <p>また、今後ほ場整備事業を進めていく館沢・大町地区については、土地所有者及び担い手を対象に事業説明会等を開催し、早期の事業実施に取り組んでいきます。</p>		

事業の概要・
実施方針

農作物へ被害を及ぼす有害鳥獣（カラス、カモ、カワウ等）に対し、有害鳥獣捕獲隊と駆除の委託契約を結び、適宜対策を実施し農作物の被害軽減を図ります。
また、イノシシの被害報告も増加しているため、電気柵による被害防止対策も行います。
なお、根宿地区のシラサギについて引き続き対応を検討します。

進行管理

実施方法・手段・スケジュール等		前期の実施状況(いつ・何をを行ったか)
前期	4月 有害鳥獣捕獲隊との委託契約締結・シラサギについての対応検討 6月 田植え後の有害鳥獣駆除(カラス、カモ類) 7月 電気柵設置場所検討会	4月 有害鳥獣捕獲隊と委託契約 6月 有害鳥獣捕獲出発式 有害捕獲の開始
後期	9月 稲刈り前の有害鳥獣捕獲(カラス、カモ類) 10月 電気柵設置 11月 狩猟期間開始見回り	9月 稲刈り前の有害鳥獣捕獲(カラス、カモ類) 11月 狩猟期間開始見回り 12月 電気柵設置

成果目標・数値目標等

農作物被害に係る有害鳥獣の捕獲を行います。
カラス 50羽 カモ50羽 カワウ20羽
シラサギの撃退 イノシシの電気柵対策総延長3,000m(柿の内、田内地区)

目標に対する前期までの成果

達成率(中間)

6月8日～7月16日のうち7日間農作物被害防止のための有害鳥獣の駆除を行いました。その中で、カモ31羽、カワウ3羽捕獲しました。

50%

目標に対する最終成果

達成率(最終)

後期の捕獲実績はカモ54羽、カラス6羽、カワウ1羽、イノシシ2頭です。
イノシシの電気柵対策については柿の内、田内地区において総延長4,000mで設置を行いました。

80%

残った課題・来年度の取り組み

引き続き農作物へ被害を及ぼす有害鳥獣に対し被害軽減を図り、電気柵によるイノシシの被害防止対策も継続して行います。

目標管理

事業の概要・ 実施方針	町の基幹産業である農業振興を図るため、国の経営所得安定対策と合わせ、新規需要米（飼料用米、WCS用稲、備考米）と地域振興作物（ハト麦）作付け者に対し、町上乗せ助成を行い、農業者の所得安定を図ります。
----------------	---

実施方法・手段・スケジュール等		前期の実施状況(いつ・何をを行ったか)
進行管理	前期	<p>4月～6月 経営所得安定対策受付 7月 現地確認</p> <p>4月～6月30日まで 経営所得安定対策受付 加入者175名 7月 現地確認実施 7月～9月 飼料用米への転換推進実績1.3ha</p>
	後期	<p>12月～出荷確認及び面積確認 12月 町単独助成金交付</p> <p>12月 取組実績確認 12月28日 町単独助成金交付実施</p>

目標管理	成果目標・数値目標等	
	国の施策である、経営所得安定対策加入者促進を図り、飼料用米15ha、WCS用稲10ha、備蓄米30ha、ハト麦5haの作付け推進を目指します。	
	目標に対する前期までの成果	達成率(中間)
	経営所得安定対策の加入者は175名となりました。 新規需要米の作付面積は、飼料用米が6.4ha、WCS用稲が9.6ha、備蓄米が72haで、ハト麦の作付は6.3haとなりました。	50%
	目標に対する最終成果	達成率(最終)
	経営所得安定対策の加入者は175名となりました。 新規需要米の作付面積は、飼料用米が6.4ha、WCS用稲が9.6ha、備蓄米が72haで、ハト麦の作付は6.3haとなりました。	90%
	残った課題・来年度の取り組み	
	主食用米の米価下落が懸念されるため、本事業の対象作物への作付け転換を推進し、さらなる面積拡大と農業者の所得安定を図ります。	

事業の概要・ 実施方針	<p>矢吹町西側地域（館池・柳池・二つ池下流）の圃場（約30ha）については、ほ場整備がされておらず農地区画が不整形であり、作付けに際しても生産効率が低い状況にあります。</p> <p>今後、農家の高齢化等による遊休農地の増加が懸念されていることから、ほ場整備を実施するための検討を行います。</p>
----------------	--

実施方法・手段・スケジュール等		前期の実施状況(いつ・何をを行ったか)
進行管理	<p>前期</p> <p>4月 調査地区採択決定 5月～実施計画作成（県営） 随時 県・受益者協議</p>	<p>4月 調査地区採択決定 5月～実施計画作成（県営） 6月～受益者調べ（登記事項証明書・公図・住民票等取得） 7月 耕作放棄地調べ 8月 地形図作成業務委託締結 9月 ほ場整備事業計画説明会開催</p>
	<p>後期</p> <p>10月～実施計画作成（県営） 随時 県・受益者協議</p>	<p>10月 土地所有者へほ場整備事業計画について通知 11月 ほ場整備推進委員会開催 12月 ほ場整備推進委員会開催 1月 土地所有者及び担い手へ推進委員会の役員決定について通知 1月 ほ場整備推進委員会開催 2月 地形図作成業務委託完成 3月 ほ場整備推進委員会開催 3月 土地所有者及び担い手へ現段階での計画平面図及び今後のスケジュールについて通知</p>

目標管理	成果目標・数値目標等	
	農地中間管理機構関連農地整備事業の調査地区の採択決定がされたため、ほ場整備へ向けた実施計画策定及び事業同意等の受益者との調整を行います。	
	目標に対する前期までの成果	達成率(中間)
	<ul style="list-style-type: none"> ・調査地区採択決定 ・受益者リスト作成 ・耕作放棄地調べ（現況写真・地図作成） ・地形図作成業務委託締結 ・ほ場整備事業計画説明会開催 	50%
	目標に対する最終成果	達成率(最終)
	<ul style="list-style-type: none"> ・ほ場整備事業推進委員会設立 ・ほ場整備事業各種委員会の役員決定 ・地形図作成業務委託完成 ・現段階での計画平面図完成 	90%
	残った課題・来年度の取り組み	
	今後ほ場整備事業を進めていく館沢・大町地区については、土地所有者及び担い手を対象に事業説明会等を開催し、早期の事業実施に取り組んでいきます。	

事業の概要・
実施方針

老朽化が進み堤体等の改修が必要とされる「ため池」について、農業用水安定確保及び地震、台風等の災害時の安全性を確保するために順次改修等に取り組めます。
平成29年度から県営事業の採択を受けた「釜池」（西長峰地区）について、引き続き改修工事の施工を行います。

実施方法・手段・スケジュール等

前期の実施状況(いつ・何をを行ったか)

前期

県営釜池整備事業
9月～工事施工準備（県営）
随時：県・受益者等協議

9月 今年度工事の調整（県・受益者・近隣住民等）

進行管理

後期

県営釜池整備事業
10月～工事施工（県営）
随時：県・受益者等協議

10月～ 工事施工（県営）
随時：県、受益者等協議

成果目標・数値目標等

県営事業により堤体等改修工事の実施し、今年度完了する予定です。

目標に対する前期までの成果

達成率(中間)

受益者、近隣住民、事業所等へ今年度工事内容（施工内容、交通規制等）を説明・周知しました。10月より県営事業による工事が開始されます。

50%

目標管理

目標に対する最終成果

達成率(最終)

ため池堤体、取水施設の改修は完了しましたが、安全施設工事、舗装復旧工事は次年度へ繰越しました。

80%

残った課題・来年度の取り組み

県営事業により工事施工（安全施設設置、舗装復旧）を引き続き実施し、令和3年度にすべて完了する予定です。

事業の概要・ 実施方針	日本型直接支払交付金事業における、多面的機能支払交付金については、農業者が共同で行う農地及び農業施設等の保全活動である農地維持支払いと、農業者を含めた地域の住民で景観形成や農業施設の長寿命化のための活動である資源向上支払いに対し支援を行います。
----------------	--

実施方法・手段・スケジュール等		前期の実施状況(いつ・何をを行ったか)
進行管理	前期 4月～ 実施状況報告の確認 事業計画の認定 交付申請 9月～ 補助金の交付	4月 事業計画の認定(27組織) 7月 補助申請 8～9月 補助金の交付
	後期 10月～ 説明会、研修会 1月～ 中間指導 3月～ 後期指導	1月 中間指導 3月 後期指導

目標管理	成果目標・数値目標等	
	令和元年度に引き続き新たな活動組織の掘り起こしを行うため、地域に伺い丁寧な説明を行います。 ・令和元年度末組織数 27組織 ・令和2年度目標組織 28組織	
	目標に対する前期までの成果	達成率(中間)
	補助金の事業計画認定、補助交付を計画どおり実施しました。	50%
	目標に対する最終成果	達成率(最終)
	多面的機能支払交付金事業に27事業が取り組み、そのうち長寿命化事業には6組織が取り組みました。 環境保全型直接支払交付金事業については1組織が取り組みました。	80%
	残った課題・来年度の取り組み	
	1組織、新規組織として設立の希望の相談を受けていたが、設立までは実現できなかったこと、また、来年度から1組織が役員の後継者不足を理由に活動を中止することを踏まえ、新たな組織の掘り起こしとともに、組織の継続化に向けた対策を検討していきたいと考えます。	

事業の概要・ 実施方針	<p>隈戸川揚水機場周辺の美しい水辺景観を地域の憩いの場として活用するべく、三十三観音史跡公園の管理等を行っている地域住民の活動と有機的連携を図り、揚水機場周辺の農業施設等の多面的機能の推進を図るとともに、地域住民、子どもたちや散策者への利便性向上や学習の場の提供を図ります。</p>
----------------	--

実施方法・手段・スケジュール等		前期の実施状況(いつ・何をを行ったか)
進行管理	前期	<p>4月～5月 四阿の整備検討・決定 随時：公園の環境整備及び来園者等への園内案内、環境学習の実施</p> <p>8月～四阿整備のための測量設計業務委託 9月 補助事業エントリー 随時～設計等協議</p>
	後期	<p>随時：公園の環境整備及び来園者等への園内案内、環境学習の実施</p> <p>10月～12月 四阿整備のための測量設計業務委託 11月 補助事業要望申請 3月 補助事業取り下げ</p>

目標管理	成果目標・数値目標等	
	<p>第二区自治会と連携し、三十三観音史跡公園の散策者等への利便性向上を図るとともに、環境整備として四阿の整備検討を行います。</p>	
	目標に対する前期までの成果	達成率(中間)
	<p>令和3年度の四阿整備に向け、測量設計を発注し、整備内容検討を行うとともに、補助事業を受けるためのエントリーを行いました。</p>	50%
	目標に対する最終成果	達成率(最終)
	<p>事業精査の結果、四阿の整備を見送ることとしました。</p>	100%
残った課題・来年度の取り組み		
<p>引き続き、三十三観音史跡公園やその周辺の環境整備に取り組めます。</p>		

事業の概要・ 実施方針	農用地の高度利用の促進及び優良農地を保全するため「農業振興地域整備計画」の見直しを行います。
----------------	--

実施方法・手段・スケジュール等		前期の実施状況(いつ・何をを行ったか)
進行管理	前期 4月～6月 住民説明会に向けた準備 7月～8月 住民説明会 9月 関係機関との事前協議	4月～資料作成 9月～住民説明会に向けた準備
	後期 10月～ 素案作成 12月 県との事前協議 3月 県との本協議	10月～ 素案作成

目標管理	成果目標・数値目標等	
	総合見直しを実施するため、住民説明会の開催及び関係各所との事前協議を実施し、県との本協議を行います。	
	目標に対する前期までの成果	達成率(中間)
	総合見直しに向けた課内での方針を決め、関係機関との調整を図り、住民への説明へ向けた準備を行いました。	40%
	目標に対する最終成果	達成率(最終)
	素案作成を進めるうえで、町としての方向性を決めることができました。	60%
	残った課題・来年度の取り組み	
	コロナ感染予防のため、住民説明会等が出来なかったことや、県との事前協議や、本協議までには至りませんでした。町としての方向性を概ね決めることができました。来年度については計画策定に向けて進めてまいります。	

事業の概要・
実施方針

原子力災害による放射性物質拡散の影響により、停滞している森林整備・林業生産活動を活性化させるため、間伐等の森林整備と放射性物質対策を一体的に実施し、低下しつつある森林の公益的機能・多面的機能を回復させながら、森林内の放射性物質の低減を図り「ふくしまの森林」を再生させるとともに、森林整備の促進を図ります。

実施方法・手段・スケジュール等

前期

4月～7月森林整備実施(三神地区(白山))
6月～森林整備実施(三神地区(白山ほか))
6月～同意取得等、年度別計画作成(三神地区)
随時：地権者協議

前期の実施状況(いつ・何をを行ったか)

6月 補助金交付決定(県)
8月～森林整備業務発注(三神地区)
9月～同意取得等業務、年度別計画作成業務発注(三神地区)

進行管理

後期

10月～森林整備実施(三神地区(白山ほか))
10月～同意取得等、年度別計画作成(三神地区)
随時：地権者協議

10月～森林整備実施(三神地区)の実施
10月～同意取得、年度別計画作成(三神地区)
随時 地権者協議

成果目標・数値目標等

- ・三神地区(120ha)森林整備等の完了
- ・三神地区(100ha)事業の同意取得等、年度別計画の策定

目標に対する前期までの成果

・森林整備
三神地区(白山、神田、三城目、天開、奉行塚)の森林整備に着手しました。
・同意取得等、年度別計画
三神地区(花の里、本城館、白山、中丸、丸の内、牡丹平、前田)の事業同意・測量・調査・設計に着手しました。

達成率(中間)

50%

目標管理

目標に対する最終成果

- ・森林整備
三神地区 50.31ha森林整備完了
69.59ha森林整備繰越
- ・年度別計画、同意取得
三神地区 129名の森林整備予定地区完了

達成率(最終)

80%

残った課題・来年度の取り組み

三神地区(天開ほか)の森林整備を引き続き実施します。

事業の概要・
実施方針

真夏の一大イベントとして、大池公園水上ステージを舞台に、町内外の太鼓団体の競演による祭りを開催します。迫力ある太鼓の競演や大池公園の水面を幻想的に彩る灯籠等の演出により、大池公園と矢吹町のPRを行います。また、来場者数の増加を図るための情報発信に積極的に取り組みます。ただし、コロナウイルスの影響を考慮しながら、開催の可否を慎重に判断していきます。

進行管理

実施方法・手段・スケジュール等		前期の実施状況(いつ・何をを行ったか)
前期	5月 総会、実行委員会の開催 6月 関係団体との調整 7月 実行委員会の開催 報道各社への情報提供 7月11日 開催当日の運営	4月 役員会の開催 5月 総会の開催(書面決議) ※新型コロナウイルスの感染拡大防止のため今年度の開催中止を決定
後期	11月 実行委員会の開催 12月 次年度へ向けた検証等	3月 新型コロナウイルス感染症対策の検討。

目標管理

成果目標・数値目標等	
<ul style="list-style-type: none"> 来場者 4,000人以上 (R1 4,000人) 太鼓団体 8団体以上 新たな媒体を利用したイベント告知の検討 	
目標に対する前期までの成果	達成率(中間)
新型コロナウイルスの感染拡大を防止するため、今年度の開催を中止しました。	50%
目標に対する最終成果	達成率(最終)
次年度の開催に向け、新型コロナウイルス感染症対策の検討を行いました。	100%
残った課題・来年度の取り組み	
令和3年度の開催方法や時期について、実行委員会を開催して決定する。	

事業の概要・
実施方針

「さわやかな田園のまち・やぶき」のふるさとづくりに賛同する人々の寄附金を財源として、多様な人々の参加による個性豊かな活力あるまちづくりを推進します。
矢吹町のPR、来町者の増加につながるような体験型の返礼品の検討、寄附者増加のための周知を行い、有効な自主財源となるよう事業の展開を図ります。
また、寄附者の方への情報発信も強化し、継続的に矢吹町に関心を持ち、交流が続くような取り組みを行っていきます。

実施方法・手段・スケジュール等

前期の実施状況(いつ・何をを行ったか)

前期

6月～ 返礼品の検討・決定、新カタログの作成
随時 ホームページ等による周知、PR、特集ページ等のツールの活用
随時 寄附者への情報発信

4月 附与ポイントの見直し
6月 ふるぽ担当者との打合せ
7月 新システム「ふるさと納税do」導入に伴う調整

進行管理

後期

随時 ホームページ等による周知、PR、特集ページ等のツールの活用
随時 寄附者への情報発信

10月 ポータルサイトの特集ページの編集
12月 特集ページにてオリジナル日本酒「開拓のうた」を掲載
1月 ワンストップ特例申請の事務処理
2月 福島県沖地震に係る寄附の受付開始

成果目標・数値目標等

- ・ 目標寄附件数 800件 (R1年 742件)
- ・ 目標寄附金額 24,000,000円 (R1年 21,610,000円)
- ・ 新規返礼品の導入
- ・ 返礼品情報の発信

目標に対する前期までの成果

達成率(中間)

9月末現在

- ・ 寄附件数 83件 (R1:137件)
- ・ 寄附金額 2,116,000円 (R1:3,512,000円)
- ・ 新規返礼品 3件追加

50%

目標管理

目標に対する最終成果

達成率(最終)

3月25日現在

- ・ 寄附件数 355件 (R1:742件)
- ・ 寄附金額 9,746,000円 (R1:21,610,000円)

80%

残った課題・来年度の取り組み

返礼品の数を増やすため、町内の事業者等に周知します。

事業の概要・
実施方針

タウンプロモーション計画に基づき、戦略的に矢吹町をPRします。また、SNSの有効活用を検討し、町内外への情報発信強化を図ります。

進行管理

実施方法・手段・スケジュール等		前期の実施状況(いつ・何をを行ったか)
前期	随時 SNSを活用した情報発信 随時 首都圏でのイベント参加によるPR活動 随時 報道各社へ情報提供	随時 観光案内所と連携し、SNSを活用した情報発信 7月 県事業「宿泊者特典クーポン」の配布 町内企業の鮫川運送(株)によるラッピングトラックの運行開始
後期	随時 SNSを活用した情報発信 随時 首都圏でのイベント参加によるPR活動 随時 報道各社へ情報提供	随時 SNSを活用した情報発信 随時 東北デスティネーションキャンペーンに向けた準備 1月 新たな情報誌「Travel in Yabuki MINI」を発行 3月 次期駅コミュニティプラザ及び矢吹町営駐車場の指定管理者決定

成果目標・数値目標等

- ・町フェイスブック「いいね！」 700件
- ・町インスタグラム更新頻度 月3回

目標に対する前期までの成果

達成率(中間)

- ・町フェイスブック「いいね！」 498件(40件増加)
- ・町インスタグラム更新 78回(平均月13回)
- ・県事業「宿泊者特典クーポン」の開始にあたり、昨年度作成した「やぶきめし」の積極的な配布を行い、町内でのクーポン使用を促した。

50%

目標管理

目標に対する最終成果

達成率(最終)

- ・町フェイスブック「いいね！」 509件(51件増加)
- ・町インスタグラム更新頻度 145回(平均月12回)
- ・新たな情報誌発行による情報発信

100%

残った課題・来年度の取り組み

- ・東北デスティネーションキャンペーンに関する取り組み強化

事業の概要・ 実施方針	町の政策・施策・事務事業、町の様々な話題を広報誌、ホームページ、新聞等をはじめとするメディアを活用し積極的に情報発信します。
----------------	--

実施方法・手段・スケジュール等		前期の実施状況(いつ・何をを行ったか)
進行管理	前期 ・新聞紙面の確認(毎日) ・マスコミへの情報発信(毎週、随時) ・ホームページ、フェイスブック、インスタグラムの更新(随時)	随時 新聞紙面の確認 随時 マスコミへの情報発信 随時 ホームページ、フェイスブックの更新
	後期 ・新聞紙面の確認(毎日) ・マスコミへの情報発信(毎週、随時) ・ホームページ、フェイスブック、インスタグラムの更新(随時)	随時 新聞紙面の確認 随時 マスコミへの情報発信 随時 ホームページ、フェイスブックの更新

目標管理	成果目標・数値目標等	
	<ul style="list-style-type: none"> ・フェイスブックページへ年間370件の記事投稿 ・「いいね！」数700件獲得 ・インスタグラムへ年回50件の記事投稿 	
	目標に対する前期までの成果	達成率(中間)
	<ul style="list-style-type: none"> ・町フェイスブック更新 145件 ・町フェイスブック「いいね！」 498件(40件増加) ・町インスタグラム更新 78回(平均月13回) 	50%
	目標に対する最終成果	達成率(最終)
	町の各種事業において、特に産業、観光、移住定住に関する情報の積極的な発信をし、町民をはじめ、町外者、県外者へのサービス向上を図りました。 <ul style="list-style-type: none"> ・町フェイスブック更新 251件 ・町インスタグラム更新 114件 	90%
	残った課題・来年度の取り組み	
	新型コロナウイルス感染症及び地震等災害の影響を考慮し、旬な情報を更に迅速かつ正確にお届けするため、関係機関と連携を図ってまいります。	

事業の概要・ 実施方針	<p>事務事業に効率的に取り組むため、事務処理のマニュアル化を進めます。また、マニュアル化により業務のチェック体制の強化を図り、事務処理ミスの未然防止策を検討し、住民サービスの向上とリスク管理に努めます。</p>
----------------	--

		実施方法・手段・スケジュール等	前期の実施状況(いつ・何をを行ったか)
進行管理	前期	<ul style="list-style-type: none"> ・所掌事務及び事業に関するマニュアル化検討及び策定 ・適宜 課内会議による進捗管理 	<p>課内会議にて、マニュアル化が可能な事務事業におけるマニュアル整備について協議を行い、チェック体制についても複数名で行うよう協議しました。</p>
	後期	<ul style="list-style-type: none"> ・マニュアル化の確認修正 ・適宜 課内会議による進捗管理 	<p>前期に引き続き、マニュアル化が可能な事務事業におけるマニュアル整備について協議を行い、チェック体制についても複数名で行うよう協議しました。</p>

目標管理	成果目標・数値目標等	
	効率的でミスのない事務処理を行い、質の高いサービスを提供します。	
	目標に対する前期までの成果	達成率(中間)
	事務処理誤りなどのミスは発生していません。	50%
	目標に対する最終成果	達成率(最終)
	事務処理誤りなどのミスは発生していません。	100%
残った課題・来年度の取り組み		
継続的にマニュアル整備とチェック体制を強化し、効率的かつ事務処理ミスなどの未然防止に努めます。		

事業の概要・ 実施方針	課員全員で、不要電力の削減と裏紙使用等について取り組み、経費削減を図ります。
----------------	--

進行管理	実施方法・手段・スケジュール等		前期の実施状況(いつ・何をを行ったか)
	前期	随時 課内会議及び係内会議時に意識の共有を図ります。	課内会議により経費削減についての意識共有を図りました。
	後期	随時 課内会議及び係内会議時に意識の共有を図ります。	課内会議により経費削減についての意識共有を図りました。

目標管理	成果目標・数値目標等	
	コピー及び消耗品等について前年比3%の削減を目指します。	
	目標に対する前期までの成果	達成率(中間)
	不要時の消灯、裏紙の再利用など経費削減に関する取り組みが定着しております。	50%
	目標に対する最終成果	達成率(最終)
	不要時の消灯、裏紙の再利用など経費削減に関する取り組みが徹底され、職員の意識改善が図られました。	100%
残った課題・来年度の取り組み		
継続的に経費削減に取り組みます。		

事業の概要・ 実施方針	事務事業の整理と課題整理を行い民間委託を進め、民間のノウハウを活用し住民サービスの向上と経費削減に努めます。
----------------	--

実施方法・手段・スケジュール等		前期の実施状況(いつ・何をを行ったか)
進行管理	前期	<p>随時 係内会議・課内会議において事務事業の整理と課題について協議検討し、民間委託する事務事業を選定します。</p> <p>課内会議において民間委託ができる事務事業について、課題整理及び選定について協議を行いました。</p>
	後期	<p>随時 係内会議・課内会議において事務事業の整理と課題について協議検討し、民間委託する事務事業を選定します。</p> <p>課内会議により民間委託ができる事務事業について課題整理を実施しました。</p>

目標管理	成果目標・数値目標等	
	課題等を整理しながら民間委託に取り組めます。	
	目標に対する前期までの成果	達成率(中間)
	・新型コロナ経済対策に関する一部業務委託実施	50%
	目標に対する最終成果	達成率(最終)
	前期に引き続き新型コロナ経済対策に関する業務委託を実施しました。	100%
残った課題・来年度の取り組み		
引き続き課内会議等による事務事業の見直しを行い、民間委託を推進します。		

事業の概要・実施方針

地域再生基盤強化交付金並びに社会資本整備交付金を活用し、計画的に下水道の整備を実施するほか、整備済みの下水道管について維持管理を行います。
また、新規接続の際、接続許可及び確認業務を行い生活環境の向上を図ります。

	実施方法・手段・スケジュール等	前期の実施状況(いつ・何をを行ったか)
進行管理	<p>前期</p> <p>■維持管理業務委託について ・4月 委託業務契約締結 ・4月 マンホールポンプ維持管理委託契約締結(長期継続契約) ・8月 公共下水道への接続について広報やぶきにて周知</p> <p>■整備事業 ・7月～9月 舗装本復旧工事(一本木) A=2,301㎡ ・5月～3月 公共下水道測量設計委託及び実施設計業務委託(北町・滝八幡地内、大和内、新町地内) ・6月～10月 公共下水道土質調査委託(北町・滝八幡地内、大和内、新町地内) ・随時 新規公共樹設置工事 3箇所 ・随時 既設公共樹取替工事 5箇所</p>	<p>前期の実施状況(いつ・何をを行ったか)</p> <p>■維持管理業務委託について ・4月 委託業務契約締結 ・4月 マンホールポンプ維持管理委託契約締結</p> <p>■整備事業 ・7月 公共下水道測量設計委託及び実施設計業務委託契約 ・9月 舗装本復旧工事(一本木) 契約 ・9月 汚水1026号下水道管改築更新工事契約 ・新規公共樹設置工事 6月 小松地内 2個 8月 曙町地内 3個 ・物件設置(民間開発) 6月 曙町地内(樹2個) 8月 善郷内地内(樹10個) 9月 小松地内(樹7個)</p>
	<p>後期</p> <p>■維持管理業務委託について ・10月 下水道管路清掃業務 ・12月 公共下水道への接続について広報やぶきにて周知</p> <p>■整備事業 ・汚水1026号下水道管改築更新工事 ・随時 新規公共樹設置工事 3箇所 ・随時 既設公共樹取替工事 5箇所</p>	<p>後期の実施状況(いつ・何をを行ったか)</p> <p>■整備事業 ・11月 舗装本復旧工事(一本木) 完了 ・1月 国3次補正に係る事業要望申請 ・2月 汚水1026号下水道管改築更新工事(中町・曙町ほか) 完了 ・3月 公共下水道測量設計委託及び実施設計業務委託 完成</p>

成果目標・数値目標等	
<p>①中町地内において改築更新工事等を行います。 ・汚水1026号下水道管改築更新工事 布設替え工事 L=63.2m ・修繕工事 L=32.8m ・マンホール設置 2基 ・マンホール蓋設置工事 N=20基</p> <p>②マンホールポンプの維持管理を実施いたします。 21箇所 ③流れが悪い水道管路について管洗浄により維持管理を実施します。 L=482m</p> <p>④広報やぶき6月号、8月号及び12月号にて公共下水道への接続について周知いたします。 ⑤一本木地内において、公共下水道埋設箇所の舗装本復旧を実施いたします。 A=2,301㎡ ⑥令和元年度に認可区域を拡張をした地区について、測量委託及び実施設計書を策定いたします。 ・北町、滝八幡地内 (県立矢吹病院・周辺施設) ・新町、大和久、北浦地内 (大和久地区農業集落排水区域)</p> <p>⑦随時 新規公共樹設置工事 6箇所 既設公共樹取替工事 10箇所</p>	
目標に対する前期までの成果	達成率(中間)
<p>・改築更新工事(中町地内)について契約しました。 ・マンホールポンプについて維持管理委託契約を締結しました。 ・広報やぶきにて下水道へ接続並びに維持管理について周知しました(6月、9月)</p> <p>・舗装本復旧工事(一本木)について契約しました。 ・北町・滝八幡地内及び新町、大和久・北浦地内の測量委託を契約したほか、同地区の実施設計委託について契約しました。 ・新規公共樹を5箇所設置しました。 ・民間宅地開発3地区実施。公共樹を19箇所設置しました。 ・接続率(9月末)80.5%(前年度末81.0%)</p>	50%
目標に対する最終成果	達成率(最終)
<p>・中町地内において改築更新工事を行いました。 ・マンホールポンプの維持管理を実施いたしました。21箇所 ・下水道管路について管洗浄を実施しました。 ・広報やぶきにて公共下水道への接続並びに維持管理について周知しました。(10月、12月、2月、3月)</p> <p>⑤一本木地内において、公共下水道埋設箇所の舗装本復旧を実施しました。 ⑥測量委託及び実施設計書を策定いたしました(滝八幡、大和内地内) ⑦新規公共樹設置工事 5箇所 既設公共樹取替工事 1箇所 物件設置による公共樹 19箇所</p>	100%
残った課題・来年度の取り組み	
<p>・マンホールポンプ(21箇所)及び下水道管(L=67.5)の維持管理を実施します。 ・県立矢吹病院周辺施設の下水道管渠整備を実施します。(L=1,002m) ・持続可能な下水道施設の実現をするため、管渠=190m(一本木地内)、下水道舗装本復旧A=500㎡(中町地内)の整備を実施します。</p>	

事業の概要・
実施方針

公共下水道認可区域及び農業集落排水区域を除く地域について合併処理浄化槽を設置することにより、水質の保全を図り生活環境の向上を推進するため、合併処理浄化槽を新設する方や汲み取り及び単独浄化槽から切替する方に補助金を交付するほか、保守点検及び法定検査等による適正な維持管理を行います。

補助金交付件数 12基

実施方法・手段・スケジュール等

前期

・4月～9月
随時 合併処理浄化槽新設・切替に係る補助金を交付（6基）
随時 浄化槽協会による法定検査（7条、11条検査）不適合者への改善指導通知を送付

前期の実施状況（いつ・何をを行ったか）

・4月～9月
随時 合併処理浄化槽新設・切替に係る補助金を交付（8基）
随時 浄化槽協会による法定検査（7条、11条検査）不適合者への改善指導通知を送付（2件）
・6月、9月 浄化槽の維持管理について広報やぶきにて周知
・当初予定していた補助件数を上回ることが想定されたことから追加の補助申請を県に行いました（8月）

進行管理

後期

・10月～3月
随時 合併処理浄化槽新設・切替に係る補助金を交付（6基）
随時 浄化槽協会による法定検査（7条、11条検査）不適合者への改善指導通知を送付

・10月～3月
随時 合併処理浄化槽新設・切替に係る補助金を交付（8基）
随時 浄化槽協会による法定検査（7条、11条検査）不適合者への改善指導通知を送付（7件）
・2月 浄化槽の維持管理について広報やぶきにて周知

成果目標・数値目標等

- ①合併処理浄化槽の新設・単独処理浄化槽及び汲取式便所からの切替12基に対して補助金を交付いたします。
- ②浄化槽協会による法定検査（7条、11条検査）を受験したが、不適合であった全世帯へ改善指導通知を送付します。
- ③浄化槽協会による法定検査（7条検査）未受験の全世帯へ受験勧奨通知を送付します。
- ④広報やぶき6月号、10月号及び町ホームページにて浄化槽の維持管理について周知いたします。

目標に対する前期までの成果

- ・合併処理浄化槽新設・切替に係る補助について12件申請を受け付け8件補助金を交付しました。
- ・浄化槽協会による法定検査（7条、11条検査）不適合者への改善指導通知を送付しました（2件）
- ・広報やぶきにて浄化槽の維持管理について周知しました（6月、9月）
- ・補助金の追加要望4基を県に申請しました。

達成率(中間)

50%

目標管理

目標に対する最終成果

- ・合併処理浄化槽新設・切替に係る補助金を交付（16件）しました。
- ・浄化槽協会による法定検査（7条、11条検査）不適合者への改善指導通知を送付（9件）しました。
- ・7条検査未受験世帯へ受験勧奨通知送付（13件）しました。
- ・浄化槽の維持管理について広報やぶきにて周知（3回）しました。

達成率(最終)

100%

残った課題・来年度の取り組み

- ・循環型社会形成推進地域計画に基づき、合併処理浄化槽設置者へ補助金を交付いたします。
- ・法定検査（7条、11条検査）について受験率向上に向けて広報やぶき、ホームページ等により周知を図ります。

事業の概要・実施方針

農業集落排水事業において整備された5処理区（大和久、本村、三城目、寺内、松倉地区）において、正常かつ安定した汚水処理を行うため業務委託による維持管理を実施するほか、未接続世帯へ接続促進に努め、生活環境の向上を図ります。なお、新規接続の際には、接続許可及び確認業務を適切に行います。

実施方法・手段・スケジュール等

前期の実施状況(いつ・何をを行ったか)

前期

- ・4月 処理施設維持管理業務委託契約締結（長期継続契約）
- ・4月 処理施設の汚泥採取契約締結（年間単価契約締結）
- ・4月 マンホールポンプ維持管理委託契約締結（長期継続契約）
- ・4月 本村処理場自家発電機保守点検委託契約締結（年間業務契約締結）
- ・6月 大和久処理区について公共下水道への取り込みについて調査の実地
- ・8月 公共下水道への接続について広報やぶきにて周知
- ・通年 年間を通じて未接続世帯へ接続促進
- ・新規接続4件

- ・4月 処理施設維持管理業務委託契約締結
- ・4月 処理施設の汚泥採取契約締結
- ・4月 マンホールポンプ維持管理委託契約締結
- ・4月 本村処理場自家発電機保守点検委託契約締結
- ・広報やぶきにて下水道（農集排）の適切な維持管理、新規接続について周知（6月、8月）
- ・8月 未接続世帯へ通知による接続促進（126件）
- ・物件設置（個人設置）
- ・9月 中沖地内（柵1個）
- ・新規接続3件
- ・本村処理場の放流水質悪化に伴い、設計者、施工業者、維持管理者と改善に向けて協議

進行管理

後期

- ・10月 下水管洗浄清掃委託（5処理区域内）
- ・12月 公共下水道への接続について広報やぶきにて周知
- ・通年 年間を通じて未接続世帯へ接続促進
- ・新規接続8件

- ・広報やぶきにて公共樹破損の破損に係る注意喚起を周知（2回）、下水道（農集排）の適切な維持管理、新規接続について周知（3回）
- ・新規接続6件
- ・下水道管路洗浄の実施
- ・本村処理場の放流水質悪化に伴い、設計者、施工業者、維持管理者と改善に向けて協議

成果目標・数値目標等

- ①処理施設の効率的な維持管理を実施します。
(各地区の水質を基準値内のBOD20ppm、SS50ppm以内で放流します。)
- ②処理場5地区内のマンホールポンプについて維持管理を実施いたします。 12箇所
- ③流れが悪い下水道管路について管洗浄を実施いたします。
L=890m
- ④広報やぶき6月号、8月号及び12月号、また町ホームページにて、農業集落排水事業について周知し、適切な利用を促します。
- ⑤未接続世帯への接続促進を実施します。
目標：12世帯新規接続 接続率80.5% ⇒ 82.1%

目標に対する前期までの成果

達成率(中間)

- ・維持管理者からの月報を確認し処理場の維持管理を行いました。
- ・マンホールポンプ（12ヶ所）について維持管理委託契約を締結しました。
- ・広報やぶきにて農業集落排水への接続並びに維持管理について周知しました。（6月、8月）
- ・未接続世帯へ通知により接続促進を図りました（126件）
- ・新規接続5件
- ・接続率（9月末）80.6%（前年度末80.5%）

50%

目標管理

目標に対する最終成果

達成率(最終)

- ・維持管理者からの月報を確認し処理場の維持管理を行いました。
- ・マンホールポンプ（12ヶ所）について維持管理を実施しました。
- ・広報やぶきにて農業集落排水への接続並びに維持管理について周知しました。（10月、12月、2月、3月）
- ・未接続世帯へ通知により接続促進を図りました（126件）
- ・新規接続11件（前年度7件）
- ・接続率80.7（前年度末80.5%）

90%

残った課題・来年度の取り組み

- ・処理場、下水管路、マンホールポンプ等の適切な維持管理により、農業集落における環境衛生の向上並びに農業用水の水質保全を図ります。
- ・広報やぶき、ホームページによる周知のほか、個別に未接続世帯へ通知し接続向上を図ります。
(目標：12世帯新規接続 接続率80.7%⇒81.5%)

事業の概要・実施方針

水道施設の円滑で安全な管理に努め、水道利用者に安心して利用できる安定供給を推進します。
 安定した給水を行うため給水需要を把握し、老朽化に伴う配水管の更新、他事業に伴う配水管の新設及び更新、バイパス化を図ります。(道路整備に伴う配水管の新設、更新等)

実施方法・手段・スケジュール等

前期の実施状況(いつ・何を行ったか)

前期

- 【施設整備】
 ・6月 町道松倉大池線配水管更新工事【線越】発注
 ・7月 町道一本木3号線配水管更新工事 発注
 ・7月 県道須賀川矢吹線水道管移設工事 発注
 ・8月 町道中畑南4号線配水管新設工事 発注
 ・9月 羽鳥幹線用水路敷配水管新設工事(3工区) 発注、県道須賀川矢吹線配水管新設工事発注
 【管理運営】
 ・4月 水道施設維持管理業務委託
 ・4月～9月 水質検査
 ・6月 水道週間について広報やぶきにて周知
 ・毎月2回 モニタリング調査
 ・6月、9月 水道施設草刈業務委託
 ・9月 水道技術管理者資格取得

- 【施設整備】
 ・8月 町道松倉大池線配水管更新工事契約
 ・8月 消火栓設置工事(八幡町地内)契約
 ・9月 町道一本木3号線配水管更新工事起工
 【管理運営】
 ・4月 水道施設維持管理業務委託
 ・4月～9月 水質検査実施
 ・6月 水道週間について広報やぶきにて周知
 ・毎月2回 モニタリング調査
 ・9月 給水工事事業者更新説明会
 ・6月、9月 水道施設草刈業務委託発注、完了

進行管理

後期

- 【施設整備】
 ・12月 町道松倉大池線配水管更新工事【線越】完了
 ・2月 町道中畑南4号線配水管新設工事 完了
 ・3月 町道一本木3号線配水管更新工事 完了
 ・3月 県道須賀川矢吹線水道管移設工事 完了
 ・3月 羽鳥幹線用水路敷配水管新設工事(3工区) 完了
 ・3月 県道須賀川矢吹線配水管新設工事 完了
 【管理運営】
 ・10月～3月 水質検査
 ・10月 配水池タンク清掃業務委託
 ・毎月2回 モニタリング調査
 ・随時 機器等の維持管理
 ・常時 残留塩素濃度調査

- 【施設整備】
 ・11月 消火栓設置工事(八幡町地内)
 ・3月 町道松倉大池線配水管更新工完了
 【管理運営】
 ・10月～3月 水質検査実施
 ・毎月2回 モニタリング調査
 ・随時 機器等の維持管理
 ・常時 残留塩素濃度調査

成果目標・数値目標等

- ①水質検査結果を町ホームページで公表します。
- ②広報やぶき6月号にて水道週間及び維持管理について周知いたします。
- ③水道技術管理者資格取得(1名)を目指します。
- ④震災に強い管路網を構築し、安定的に水道水を供給するため配水管施設整備工事を進め、配水管路のバイパス化を図るほか、施設の簡素化及び維持管理の軽減化に向け検証いたします。
- ⑤計画的で安定的に水道水を供給するため、配水管施設整備工事を実施します。
 - ・町道松倉大池線配水管更新工事【線越】(弥栄地内) L=400m
 - ・町道一本木3号線配水管更新工事(一本木地内) L=300m
 - ・県道須賀川矢吹線水道管移設工事(長峰地内) L=100m
 - ・町道中畑南4号線配水管新設工事(中畑南地内) L=360m
 - ・羽鳥幹線用水路敷配水管新設工事(3工区)(小松・曙町地内) L=300m
 - ・県道須賀川矢吹線配水管新設工事(陣ヶ岡地内) L=400m

目標に対する前期までの成果

達成率(中間)

- ・水質検査結果を町ホームページで公表しました。
- ・広報やぶき6月号にて水道週間及び維持管理について周知しました。
- ・町道松倉大池線配水管更新工事(弥栄地内)を契約しました。

50%

目標管理

目標に対する最終成果

達成率(最終)

- ・水道施設維持管理業務委託完成
- ・水質基準内による安定供給
- ・機器等の維持管理
- ・水道施設草刈業務委託
- ・毎月2回 モニタリング調査実施
- ・毎日 残留塩素調査実施

95%

残った課題・来年度の取り組み

- ・町民の皆様安心して安全な水道水を供給します。(日配水量4,800m³)
- ・水質検査結果をホームページで公表します。
- ・水道技術管理者資格取得について、R2年度はコロナウイルス感染予防の観点から受講が出来ませんでしたので来年度1名取得を目指します。
- ・震災に強い管路網を構築するためバイパス化を進めるほか、施設の簡素化及び維持管理を軽減し安定供給します。

事業の概要・実施方針

機能強化とは、農業集落排水施設が長期にわたり安定した汚水処理機能を維持させるため、処理施設の稼働状況や経年劣化に対応した施設の更新・改修工事を行う補助事業です。
当該事業は事前調査、改修計画策定、改修工事の順により実施され、各処理区において順次調査検討を実施し整備を推進いたします。

実施方法・手段・スケジュール等

前期の実施状況(いつ・何をを行ったか)

前期

【本村地区】
・7月 本村地区機能強化事業第9回工事（舗装本復旧）発注
・7月 本村地区機能強化事業第10回工事（ポンプ更新）発注
・7月 本村地区機能強化事業第11回工事（処理場内機器更新）発注
【三城目地区】
・6月 三城目地区機能強化事業第5回工事（管路更新）【繰越】発注
【寺内地区】
7月 寺内地区調査計画業務委託 発注

【三城目地区】
・6月 機能強化事業第5回工事（管路更新）契約完了
【本村地区】
・9月 機能強化事業第9回舗装本復旧、第10回（舗装本復旧）、第11回工事（処理場機器更新ほか）設計完了
【寺内地区】
・9月 調査計画業務設計協議

進行管理

後期

【本村地区】
・3月 本村地区機能強化事業第9回工事（舗装本復旧）完了
・3月 本村地区機能強化事業第10回工事（ポンプ更新）完了
・3月 本村地区機能強化事業第11回工事（処理場内機器更新）完了
【三城目地区】
・12月 三城目地区機能強化事業第5回工事（管路更新）【繰越】完了
【寺内地区】
・3月 寺内地区調査計画業務委託 完了

【三城目地区】
・10月 機能強化事業第5回工事（管路更新）工事完了
【本村地区】
・3月 機能強化事業第9回舗装本復旧、第10回（舗装本復旧）、第11回工事（処理場機器更新ほか）工事完了
【寺内地区】
・3月 調査計画業務設計（管路調査、処理場機器調査）完了。

成果目標・数値目標等

- ①本村地区機能強化事業【R2事業完了】
 - ・第9回工事（舗装本復旧）
 - ・第10回工事（ポンプ更新）
 - ・第11回工事（処理場内機器更新）
- ②三城目地区機能強化事業
 - ・第5回工事（管路施設更新）【繰越】【R2事業完了】
- ③寺内地区調査計画業務委託【R2事業着手】

目標に対する前期までの成果

達成率(中間)

【本村地区】
・機能強化事業第9回（舗装本復旧）、第10回（舗装本復旧）、第11回工事（処理場機器更新ほか）について設計が完了しました。
【三城目地区】
・機能強化事業第5回工事（管路更新）について契約しました。
【寺内地区】
・調査計画業務委託に向け協議を行いました。

50%

目標管理

目標に対する最終成果

達成率(最終)

【本村地区】
・機能強化事業第9回（舗装本復旧）、第10回（舗装本復旧）、第11回工事（処理場機器更新ほか）について工事が完了しました。
【三城目地区】
・機能強化事業第5回工事（管路更新）について工事が完了しました。
【寺内地区】
・調査計画業務委託（管路調査、処理場機器調査）について完了しました。

100%

残った課題・来年度の取り組み

・寺内処理区について概要書を作成し国庫補助を受けられるよう事務手続きを進めます。

事業の概要・ 実施方針	<p>夜間の歩行者・自転車等の交通安全を図る目的から、街路灯の適切な維持管理を白河地区電気工事協同組合と連携を図りながら実施します。</p> <p>また、街路灯新設要望箇所については、通学路を中心に計画的な設置を実施します。</p> <p>街路灯管理個数 2,270基</p>
----------------	--

実施方法・手段・スケジュール等		前期の実施状況(いつ・何をを行ったか)
進行管理	<p>前期</p> <p>白河地区電気工事協同組合と連携を図りながら、街路灯の適切な維持管理を行います。</p> <p>新設街路灯の要望について設置の可否について迅速な対応を行います。</p> <p>新設設置 10基</p>	<p>白河地区電気工事協同組合と連携を図りながら、不具合のあった街路灯について適切な対応を実施しました。</p> <p>新設街路灯の要望について現地調査を行いながら適宜設置を行いました。新設 26基</p>
	<p>後期</p> <p>白河地区電気工事協同組合と連携を図りながら、街路灯の適切な維持管理を行います。</p> <p>新設街路灯の要望について設置の可否について迅速な対応を行います。</p> <p>新設設置 10基</p>	<p>白河地区電気工事協同組合と連携を図りながら、不点灯対応等に対し、適切な維持管理ができました。</p> <p>新設街路灯の要望について現地を確認し、計画的に設置することができました。新設 19基</p>

目標管理	成果目標・数値目標等	
	<p>・随時：白河地区電気工事協同組合と連携を図りながら、街路灯の適切な維持管理を行います。</p> <p>・街路灯の新設については、各行政区及び教育委員会からの要望を受け、通学路を中心に計画的な設置を実施します。</p> <p>新設：20基</p>	
	目標に対する前期までの成果	達成率(中間)
	<p>各地区からの要望に対して、現地調査を実施し、新設街路灯を設置しました。</p> <p>新設設置 26基 街路灯管理個数 2,296基</p>	60%
	目標に対する最終成果	達成率(最終)
	<p>各地区からの要望に対して、現地調査を実施し、新設街路灯を設置しました。</p> <p>新設設置 45基 街路灯管理個数 2,315基</p>	100%
	残った課題・来年度の取り組み	
	<p>今後、更に要望のある箇所について現地調査を行い、適切な設置を実施していきます。また、道路パトロール等により夜間の交通や通学等、道路が暗く危険と思われる箇所については、適宜、新設を実施します。</p>	

事業の概要・ 実施方針	東京電力福島第1原子力発電所の事故後、放射線量が基準値以下で除染が実施できなかった道路側溝の堆積物について、撤去及び処理を実施し道路側溝の機能回復に努めます。 速やかに国に対する事業申請を行い、現地確認、撤去作業を行います。						
	撤去処理	<table border="0"> <tr> <td style="text-align: center;">前期</td> <td style="text-align: center;">後期</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">三神地区</td> <td style="text-align: center;">最終処分場へ運搬</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">最終処分場へ運搬</td> <td></td> </tr> </table>	前期	後期	三神地区	最終処分場へ運搬	最終処分場へ運搬
前期	後期						
三神地区	最終処分場へ運搬						
最終処分場へ運搬							

進行管理	実施方法・手段・スケジュール等		前期の実施状況(いつ・何をを行ったか)
	前期	<ul style="list-style-type: none"> 撤去作業 三神地区(4月～8月) 運搬作業(4月～9月) 	<ul style="list-style-type: none"> 撤去作業 三神地区完了 運搬作業 矢吹第2、中畑地区完了
	後期	<ul style="list-style-type: none"> 運搬作業(10月～1月) 	<ul style="list-style-type: none"> 1月 運搬作業完了 <p>全ての作業が終了し、事業が完了しました。</p>

目標管理	成果目標・数値目標等							
	速やかに国に対する事業申請を行い、現地確認、撤去作業を行います。							
	撤去処理	<table border="0"> <tr> <td style="text-align: center;">前期</td> <td style="text-align: center;">後期</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">三神地区</td> <td style="text-align: center;">最終処分場へ運搬</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">最終処分場へ運搬</td> <td></td> </tr> </table>	前期	後期	三神地区	最終処分場へ運搬	最終処分場へ運搬	
	前期	後期						
	三神地区	最終処分場へ運搬						
最終処分場へ運搬								
目標に対する前期までの成果	達成率(中間)							
<ul style="list-style-type: none"> 撤去作業 三神地区完了 堰の上仮置場から最終処分場への運搬作業 矢吹第2、中畑地区完了 	70%							
目標に対する最終成果	達成率(最終)							
<ul style="list-style-type: none"> 撤去作業 三神地区完了 堰の上仮置場から最終処分場への運搬作業 三神地区完了 	100%							
残った課題・来年度の取り組み								
道路等側溝堆積物撤去処理事業の完了								

事業の概要・
実施方針

町が管理する阿由里川の維持管理及び河川愛護団体による美化作業、また、県が管理する河川（阿武隈川、隈戸川、泉川）の美化作業について、河川愛護団体の活動を支援します。

- ・阿由里川の流下能力低下の原因となっている河川内堆積土砂の浚渫を行います。
- ・阿由里川の水門を適正に管理します。
- ・阿武隈川、隈戸川の水門を適正に管理します。
- ・泉川に土砂が堆積しており、川の流れを妨げているため、堆積土砂の撤去作業について、管理者である福島県へ要望します。

実施方法・手段・スケジュール等

前期の実施状況(いつ・何を行ったか)

前期

- ・河川愛護団体による河川美化作業の活動支援。 5月から7月
- ・河川パトロール実施 4月から9月
- ・水門管理 4月から9月
- ・緊急浚渫推進事業計画の作成 4月から5月

- ・7月：河川愛護団体による美化作業(実施団体4団体 400人)
- ・随時：パトロール実施
- ・毎月：水門定期点検実施
- ・8月：阿由里川緊急浚渫推進事業計画について承認されました。

後期

- ・河川パトロール実施 10月から3月
- ・水門管理 10月から3月
- ・阿由里川浚渫工事の実施 11月から1月

- ・河川パトロール実施 10月から3月随時実施
- ・水門管理 10月から3月毎月定期的に実施
- ・阿由里川浚渫工事の実施 11月から3月

進行管理

成果目標・数値目標等

- ・河川愛護団体による河川美化作業を実施します。参加人数 約500人
参加団体：三城目地区河川愛護団体、1区自治会、田内行政区、須兼本地区道路河川愛護団体、矢吹町建設協力会、こうすつべ西側イメージアップ作戦、やぶき遊・ゆうライフクラブ、道路河川愛護団体等の活動支援を行い、河川の環境美化に努めます。
- ・定期的に水門の管理を行います。
- ・阿由里川の流下能力低下の原因となっている河川内堆積土砂の浚渫を行います。

目標に対する前期までの成果

達成率(中間)

- ・河川愛護団体による美化作業
実施団体 4団体 400人
- ・随時パトロール実施
- ・水門毎月定期点検実施による災害発生時の対応確認がされました。
- ・阿由里川緊急浚渫推進事業計画が承認され、実施に向けた作業に着手しました。

50%

目標管理

目標に対する最終成果

達成率(最終)

- ・河川愛護団体による美化作業
実施団体 1団体 40人
- ・随時河川パトロール実施
- ・水門定期点検実施(毎月)
- ・阿由里川の河川内堆積土砂の浚渫を行いました。

100%

残った課題・来年度の取り組み

- ・河川パトロール実施 通年
- ・水門管理 通年
- ・阿由里川浚渫工事の実施 別工区

事業の概要・ 実施方針	<p>平均年齢40歳以下の若年夫婦世帯及びひとり親世帯が町内に住宅を取得した場合、条件により15万円～50万円の助成金を交付し、若者の定住支援を行います。</p> <p>また、町ホームページ、広報誌等を活用し、町内外の対象者へ周知、PRを行うとともに、不動産業者及び金融機関等の住宅関連業者に対しても本制度のPR、周知を行い活用推進を図ります。</p>
----------------	--

実施方法・手段・スケジュール等		前期の実施状況(いつ・何をを行ったか)
進行管理	<p>前期</p> <p>4月～9月</p> <ul style="list-style-type: none"> 町ホームページ、広報誌等でPRします。 金融機関や不動産業者、ハウスメーカーなどに制度を周知するためのチラシを配布します。 	<p>5月 町ホームページ及び広報やぶきにより助成事業の広報活動をおこないました。</p>
	<p>後期</p> <p>2月</p> <ul style="list-style-type: none"> 制度の効果を検証し、補助要綱等の見直しの検討を行います。 	<p>2月</p> <ul style="list-style-type: none"> 補助要綱等の見直しを行い、今後の要綱の修正等について検討を行いました。

目標管理	成果目標・数値目標等	
	<p>次世代を担う若者が、町内に住まいを持ち、定住を支援することで活力あるまちづくり、地域づくりの推進を図ります。</p> <p>新規助成目標 60件 (令和元年度実績：54件)</p> <p>うち町内世帯 30件 (令和元年度実績：30件)</p> <p>うち町外転入世帯 30件 (令和元年度実績：24件)</p>	
	目標に対する前期までの成果	達成率(中間)
	<p>助成件数 26件 8,200千円</p> <p>うち町内世帯 15件 3,900千円</p> <p>うち町外転入世帯 11件 4,300千円</p>	50%
	目標に対する最終成果	達成率(最終)
	<p>助成件数 17件 4,550千円</p> <p>うち町内世帯 13件 3,100千円</p> <p>うち町外転入世帯 4件 1,450千円</p>	80%
	残った課題・来年度の取り組み	
	<p>町ホームページや町有施設への掲載やパンフレット設置等を活用し、町内外の対象者へ更なる周知を行うとともに、不動産業者、金融機関及び住宅関連業者に対しても本制度のPR、周知を行い、目標達成に向けた活用推進を図ります。</p>	

事業の概要・
実施方針

町営住宅長寿命化計画に基づき、適切な維持管理を行います。
町営住宅等総合整備計画（町営住宅、定住化促進住宅、災害公営住宅）を策定し、計画的な維持管理、修繕、改修、改築を行います。

	町営住宅	定住化促進住宅
管理戸数	291戸	60戸
入居戸数	209戸	32戸
住宅使用料	現年度徴収率 84.5%	過年度徴収率 6.4%

進行管理

実施方法・手段・スケジュール等		前期の実施状況(いつ・何をを行ったか)
前期	5月 大林住宅平屋解体工事（繰越）完了 5～7月 小池住宅外壁改修工事設計業務委託 随時 適正かつ迅速な町営住宅の入退去を行います。 随時 適正な維持管理に努めます。	6月 大林住宅平屋解体工事（繰越）完了 6月～ 小池住宅外壁改修工事設計業務委託 随時 入退去管理、躯体の維持管理
後期	8～3月 小池住宅外壁改修工事 随時 適正かつ迅速な町営住宅の入退去を行います。 随時 適正な維持管理に努めます。	11月～3月 小池住宅外壁改修工事 繰越 随時 入退去管理、躯体の維持管理

成果目標・数値目標等

- ・町営住宅の適正な維持管理と迅速な入退去管理を行います。
 - ・老朽化住宅の用途廃止を行います。（用途廃止 1棟4戸）
 - ・町営住宅長寿命化計画に基づき、小池住宅の外壁改修工事を行います。
- | 目標収納率 | 現年度収納率 | 85.0% |
|-------|--------|-------|
| | 過年度収納率 | 10.0% |

目標に対する前期までの成果

達成率(中間)

- ・各住宅を定期的に巡回し、除草等を実施し、また、入居者からの修繕箇所要望に迅速対応するなど、入居者及び周辺住民が安全で安心して居住できる環境づくりが図られました。
- ・町営住宅長寿命化計画に基づき、小池住宅の外壁改修工事設計業務を委託しました。
- ・予定していた老朽化住宅の解体が完了し、周辺住環境の改善が図られました。

50%

目標管理

目標に対する最終成果

達成率(最終)

- ・各住宅を定期的に巡回し、除草等の維持管路を行いました。また、入居者からの修繕箇所要望に迅速対応するなど、入居者及び周辺住民が安全で安心して居住できる環境づくりが図られました。
 - ・町営住宅長寿命化計画に基づき、小池住宅の外壁改修工事を行いました。
 - ・大林住宅1棟4戸の用途廃止を行いました。
- | |
|----------------|
| 現年度分収納率: 84.5% |
| 過年度分収納率: 3.5% |

90%

残った課題・来年度の取り組み

- ・計画的な維持管理、修繕、改修、改築を行います。
- ・繰越事務となる小池住宅外壁改修工事を完了します。

事業の概要・
実施方針

町営住宅長寿命化計画に基づき、適切な維持管理を行います。
また、中町地区については、平成29年7月に計3団地で新たな自治会を組織し、1区総区の下部組織として位置づけられており、地域との協働、連携が図れるよう支援を行います。
管理戸数 52戸
入居戸数 35戸

進行管理

実施方法・手段・スケジュール等		前期の実施状況(いつ・何をを行ったか)
前期	4月～10月 災害公営住宅の一般入居者の受付を開始するため、方針を決定し、事務手続きを進めます。 随時 自治会組織の運営において、地元地区との連携、支援を図るためのバックアップを行います。 随時 適切な入退去管理、施設の維持管理、使用料徴収を行います	6月～9月 災害公営住宅の一般入居者の受付を開始するために、県の方針に基づいた手続きを進めました。 9月 矢吹町町営住宅等条例の改正を行い、町外の方も入居対象となる特例を設けました。
後期	9月～11月 中町第一災害公営住宅外壁塗装工事 随時 適切な入退去管理、施設の維持管理、使用料徴収を行います。	10月～1月 災害公営住宅の募集拡大として避難区域、避難解除区域の方を募集しました。 2月～3月 令和3年福島県沖地震により被災した方の一時入居を行いました。

成果目標・数値目標等

- ・適切な入退去管理、施設の維持管理、使用料徴収を行います。
- ・自治会組織のバックアップを行い、行政区との連携を図れるようにします。
- ・令和2年度中の一般入居受付を開始するため、事務手続きを進めます。

目標に対する前期までの成果

達成率(中間)

災害公営住宅の一般入居者の受付を開始するため、スケジュールや条例改正の整備を行いました。
自治会との連携を図り、住民への支援を行うとともに、適切な入退去管理、施設維持管理、使用料徴収に努めました。

50%

目標管理

目標に対する最終成果

達成率(最終)

災害公営住宅の一般入居者の受付を開始するため、募集拡大を行いました。
令和3年福島県沖地震被災者の一時入居を行いました。(2件)
現年度分収納率:88.6%
過年度分収納率:11.6%

90%

残った課題・来年度の取り組み

- ・災害公営住宅の一般入居者の受付を開始するため、更なる募集拡大を行い、一般公募を開始します。
- ・令和3年福島県沖地震の被災者の住宅支援を引き続き行います。
- ・繰越事業である中町第一災害公営住宅の外壁塗装を完了させます。

事業の概要・
実施方針

西側地域の自然の豊かさと人々の暮らしを調和させた空間を里山として守り、人と自然との共生を推し進めながら「第二区行政区」や「こうすっぺ西側イメージアップ作戦」等の活動と協働し、三十三観音史跡公園や、袖ヶ館跡地として寄付を受けた町有地を活動の場として提供し里山づくりの事業を行い、環境の整備に努めます。
また、対象地域を利用する町民の増加を図るとともに、ホームページ等広報手段を活用し、里山の魅力を発信します。

進行管理

実施方法・手段・スケジュール等		前期の実施状況(いつ・何をを行ったか)
前期	<ul style="list-style-type: none"> ・三十三観音史跡公園や袖ヶ館跡地について引き続き現地調査を行います。 ・三十三観音史跡公園や袖ヶ館跡地について四季を通じた情報発信を行います。 	7月：三十三観音史跡公園のヤマユリの開花に係る記事等をホームページを活用してPRすることができました。 (ホームページへの掲載数2回)
後期	<ul style="list-style-type: none"> ・三十三観音史跡公園や袖ヶ館跡地について引き続き現地調査を行い、整備方針について検討を行います。 ・三十三観音史跡公園や袖ヶ館跡地について四季を通じた情報発信を行います。 	3月 西側里山に関する記事を、ホームページを活用してPRすることができました。 (ホームページへの掲載数1回)

成果目標・数値目標等

各団体の活動や里山の魅力についてホームページ等を活用してPRします。

目標に対する前期までの成果

達成率(中間)

里山の魅力をホームページを活用してPRすることができました。
(ホームページへの掲載数2回)

50%

目標管理

目標に対する最終成果

達成率(最終)

・協働活動による植栽等が行われ、里山の魅力を、ホームページを活用してPRすることができました。

100%

残った課題・来年度の取り組み

・三十三観音史跡公園や袖ヶ館跡地について引き続き現地調査を行います。
・対象地域を利用する町民の増加を図るとともに、ホームページ等広報手段を活用し、里山の魅力を発信します。

事業の概要・ 実施方針	道路等へ植栽を行い、景観の形成を推進します。県が実施するフラワーロード事業のほか、町独自の取り組みとして花いっぱい運動を推進し、自治会や企業への働きかけを行いながら、町内の道路愛護団体やサークル等に対して、美化活動への支援を行います。
----------------	---

実施方法・手段・スケジュール等		前期の実施状況(いつ・何をを行ったか)
進行管理	<p>前期</p> <p>4月 区長会総会で、新型コロナウイルス感染防止のため、事業実施の延期について周知を行いました。 9月～10月 道路の美化活動を行う団体に対し、花苗の提供などの支援を行います。</p>	<p>4月 区長会総会で、新型コロナウイルス感染防止のため、事業実施の延期について周知を行いました。 9月 美化活動実施団体への事業実施の意向調査により、花苗等の数量集計を行いました。 (実施団体：14団体)</p>
	<p>後期</p> <p>11月～12月 事業実施後、広報等に掲載し、広く町民へ周知を図ります。また、次年度の取り組み方法について検討します。</p>	<p>12月～1月 事業実施後、広報等に掲載し、広く町民へ周知を図りました。また、次年度の取り組み方法や実施の可否についてアンケートを実施しました。</p>

目標管理	成果目標・数値目標等	
	<ul style="list-style-type: none"> 事業実施団体の活動支援を行い、道路沿線の環境美化に努めます。 (令和元年度実績：20団体 12,165本) 	
	目標に対する前期までの成果	達成率(中間)
	<p>4月 コロナウイルス感染防止のため、昨年度実施した団体に延期の周知を行いました。 9月 後期に実施する事業に向けて実施団体の花苗等の数量調整を行いました。 実施団体：14団体(うち新規1団体) 花苗数：4,350苗</p>	50%
目標に対する最終成果	達成率(最終)	
	<p>10月～11月 前期で実施を予定していた14団体の他、1団体を加えた全15団体により花植を実施しました。 最終実施団体：15団体(うち新規1団体) 最終花苗数：5,450苗</p>	80%
	残った課題・来年度の取り組み	
	<ul style="list-style-type: none"> 次年度実施についてコロナウイルス感染拡大防止に配慮した実施ができるよう注意喚起を行います。 事業実施後、広報等への掲載を行い、広く町民等へ周知することで実施団体の増加を図ります。 	

事業の概要・
実施方針

市街地のまちなみを保存及び形成していくうえで、県と協議、同意を得て、景観法に基づく景観行政団体となることを目指します。景観行政団体となることで、景観計画を独自に作成でき、景観計画区域で行われる一定の規模を超える建築物の建築等や工作物の建設等については、景観計画に定める景観形成基準への適合が求められ、歴史と景観を活かしたまちづくりを積極的に進めます。

また、屋外広告物に違反広告、福島県屋外広告物条例に基づき屋外広告物を掲出する物件の表示若しくは設置・更新・変更等の許可及び除却の適正管理等の事務を適正に行います。

実施方法・手段・スケジュール等

前期の実施状況(いつ・何をを行ったか)

前期

・景観計画素案の策定に向けた情報収集を行います。
随時
・屋外広告物に関する新規及び更新申請・許可業務を行います。

随時：屋外広告物に関する新規及び更新の許可申請について適切な指導を行いました。

進行管理

後期

随時
・屋外広告物に関する新規及び更新申請・許可業務を行います。

随時：屋外広告物に関する新規及び更新の許可申請について適切な指導を行いました。
屋外広告物許可及び除却等件数
(新規：4件、更新：26件、除却：5件)

成果目標・数値目標等

- ・景観計画の策定に向けた調査、情報収集を行います。
- ・未申請屋外広告物設置者及び除却された広告物設置者への届出の指導を行います。
- ・屋外広告物申請手続きのマニュアルについて内容の修正を行い、より活用しやすいものへ更新します。

目標に対する前期までの成果

達成率(中間)

- ・屋外広告物許可申請について届出の指導を実施しました。
- ・屋外広告物許可及び除却等件数
(新規：1件、更新13件、除却10件)

50%

目標管理

目標に対する最終成果

達成率(最終)

- ・屋外広告物許可申請について適切な処理について指導を実施することができました。
- ・屋外広告物許可及び除却等件数
(新規：5件、更新：39件、除却：15件)
- ・未更新の屋外広告物の指導を実施しました。

100%

残った課題・来年度の取り組み

- ・景観計画の素案策定に向け、先進地視察等、調査・情報収集を引き続き行います。
- ・屋外広告物申請手続きのマニュアル等を活用しやすいものへ更新します。

事業の概要・ 実施方針	都市公園、その他管理している公園について、矢吹町公園施設長寿命化計画並びに公園整備計画に基づいた公園整備、施設の更新を行い、町民へ安全で安心する、ふれあい、憩いの場を提供します。
----------------	---

実施方法・手段・スケジュール等		前期の実施状況(いつ・何をを行ったか)
進行管理	前期 大林公園遊具更新工事発注(7月)	8月：大林公園遊具更新について、プロポーザル方式により各業者に企画提案の依頼(合計8業者)を行いました。 9月：提案のあった企画提案(6業者より提出)の提案書の取りまとめを行い、製品決定のためのアンケート調査の準備を行いました。
	後期 ・大池公園護岸更新工事測量設計業務委託(10月) ・大池公園護岸更新工事(11月～3月)	10月：大池公園護岸更新工事測量設計業務委託発注 11月～2月：大池公園護岸更新工事完了(L=30m)

目標管理	成果目標・数値目標等	
	<ul style="list-style-type: none"> ・工期内で工事完了を目標、安全管理、施工管理、工程管理を徹底します。 ・大池公園護岸更新工事 L=40m ・大林公園遊具更新工事 	
	目標に対する前期までの成果	達成率(中間)
	各種関係機関等との協議に時間を要し、当初スケジュールより若干遅れてはいるものの、県内外の6業者より企画提案を受け、各町立幼稚園で実施予定の製品決定に係るアンケート調査の準備が完了しました。	
		50%
	目標に対する最終成果	達成率(最終)
大池公園護岸更新工事(L=30m)が完了しました。		
		100%
残った課題・来年度の取り組み		
大林児童公園遊具等更新工事については、材料の一部が海外からの輸入品であり、新型コロナウイルスの影響による船便の減少により、入荷待ちの状態であるため、事業を次年度に繰り越して適切な工程管理のもと工事完了を目指します。 今後も、矢吹町公園施設長寿命化計画に基づいた計画的な都市公園の整備を実施します。		

事業の概要・
実施方針

都市公園・その他の公園等に施設、遊具等を安全な状態に保ち、町民の方に安心して利用いただけるよう継続的な維持管理を行うとともに、花木の維持管理を充実させ、各公園の魅力を発信していきます。
また、町・行政区・各種団体等が一体となって、町内24箇所ある公園等の管理体制の充実を図ります。
・都市公園10箇所
・その他公園14箇所
指定管理者との3カ年の基本協定により1年目となる本年度、管理運営業務内容について指定管理者へのアンケート調査や協議により検証を行い、今後の指定管理業務のあり方について検討します。

実施方法・手段・スケジュール等		前期の実施状況(いつ・何をを行ったか)
前期	<ul style="list-style-type: none"> 指定管理者との協定締結(4月) 大賀ハス再生に関する維持管理(5月~9月) 公園の魅力発信(ホームページ) 随時 	<ul style="list-style-type: none"> 4月: 指定管理者との協定締結(12公園) 6~7月: 大賀ハスの開花状況について、ホームページに掲載。(2回) 4月~9月: 大池公園の睡蓮や三十三観音史跡公園のヤマユリ等の開花状況をホームページに掲載。(3回)
後期	<ul style="list-style-type: none"> 各公園指定管理者との打合せ(10月) 公園の魅力発信(ホームページ) 随時 	<ul style="list-style-type: none"> 各公園指定管理者との打合せ(随時) 公園の魅力発信(ホームページ) 随時

進行管理

成果目標・数値目標等

- 各公園における景観等の魅力を発信します。(ホームページ(年4回以上)、広報)
- 公園の維持管理について来園者が安全に利用できるような管理を行います。
- 大賀ハスの開花について前年度開花数の維持・向上に努めます。

目標に対する前期までの成果

達成率(中間)

- 大賀ハスの開花数約100輪(前年度約100輪)
- 大池公園の睡蓮や三十三観音史跡公園のヤマユリ等の開花状況をホームページに掲載。(3回)
- 公園施設の適切な維持管理の実施のため、各指定管理者と連携をとりながら各種対応を実施しました。

50%

目標管理

目標に対する最終成果

達成率(最終)

- ホームページ及び広報等により各公園の魅力を発信しました。
- 各指定管理者と協力し、来園者が安全・安心に利用できる公園の維持管理を実施しました。
- 大賀ハスの開花数約100輪

100%

残った課題・来年度の取り組み

- 引き続き各公園の魅力をホームページ等を活用しながら発信します。
- 引き続き各公園の来園者が安全・安心に利用できるような維持管理を実施します。
- 引き続き大賀ハスの開花数の維持・向上に努めます。

事業の概要・
実施方針

道路整備事業における地方公共団体向けの交付金を活用し、地域の活性化及び通勤通学者、地域住民の安全で安心な通行を確保することを目的に主要町道の整備を実施します。

成果目標・数値目標等

主要町道の整備を実施し、安全で安心な通行を確保するため、事業を推進します。当該年度の状況をHP、広報でお知らせします。

・神田西線	L=50m W=5.5(9.0)m	用地測量
・一本木29号線	L=400m W=6.0(9.5)m	物件補償、用地補償
・館沢田内線	L=264m W=6.0(9.25)m	用地補償、改良工事
・八幡町善郷内線	L=1,520m W=4.0(7.25)m	改良工事
・東郷小松線	L=100m W=6.0(10.5)m	調査、測量設計
・大和内井戸尻線	L=300m W=5.5(6.5)m	調査、測量設計
・中畑南4号線	L=260m W=5.5(6.5)m	測量設計、用地補償
・東郷牡丹平線線	L=1,675m W=5.5(7.0)m	舗装補修

目標に対する前期までの成果

達成率(中間)

・神田西線
住民説明会(2工区)の開催
・八幡町善郷内線
修正設計完了(L=123.0m)
・中畑南4号線
用地買収 5件、5筆買収

50%

目標に対する最終成果

達成率(最終)

・八幡町善郷内線
用地補償完了(2筆)
・中畑南4号線
用地補償完了(2筆)
道路改良工事完了 L=230m
・一本木29号線
用地補償 3筆、物件補償 2件
道路改良工事 L=173m
・神田西線
住民説明会(2工区)の実施

100%

残った課題・来年度の取り組み

・八幡町善郷内線
引き続き用地補償及び改良工事を行います。
・中畑南4号線
引き続き改良工事を行います。
・一本木29号線
継続して、用地買収、物件補償を推進します。
・館沢田内線
用地及び物件補償を推進します。
・神田西線
用地及び物件補償を推進します。

目標管理

実施方法・手段・スケジュール等

前期の実施状況(いつ・何をを行ったか)

前期

・神田西線
用地測量(7月~9月)
・館沢田内線
用地補償(7月~10月)
・八幡町善郷内線
修正設計(6月~7月)
・東郷小松線
調査・測量設計(6月~9月)
・一本木29号線
物件調査(5~9月)
・東郷牡丹平線舗装補修工事(7月~9月)
・中畑南4号線用地買収(5月~7月)

・神田西線
住民説明会2工区(7月)
・八幡町善郷内線
修正設計(6月~9月)
・館沢田内線
用地境界立会い(7月)
・一本木29号線
不動産鑑定、境界立会い(8月~10月)
・中畑南4号線
用地買収(5月~10月)

進行管理

後期

・神田西線
改良舗装工事(10月~2月)
・館沢田内線
改良工事(11月~3月)
・八幡町善郷内線
改良工事(10月~3月)
・一本木29号線
用地補償(10月~3月)
・中畑南4号線
改良工事(10月~3月)

・八幡町善郷内線
用地補償2筆(3月)
・中畑南4号線
道路改良工事(10月~3月)
・一本木29号線
用地補償(11月~3月)
物件補償(11月~3月)
改良工事(11月~3月)
・神田西線
住民説明会2工区(12月)

事業の概要・
実施方針

矢吹町都市計画道路網について、国道4号4車化に伴う都市計画道路6路線の見直しを進めます。
【見直し対象となる都市計画道路】

- ・国道4号
- ・矢吹停車場線
- ・矢吹棚倉線
- ・西浦古宿線
- ・八幡前北善郷内線
- ・矢吹石川線

実施方法・手段・スケジュール等

前期の実施状況(いつ・何をを行ったか)

前期

5月 素案作成
5月～ 県との下協議
7月 都市計画審議会
8月 住民説明会
9月 公聴会

5月 素案作成
7月～ 県との下協議
9月 都市計画審議会
9月 住民説明会(25、29、30日)

進行管理

後期

10月 公告及び原案の縦覧
11月 都市計画審議会(諮問・答申)
12月 県との協議
2月 都市計画の決定告示

10月 公告及び原案の縦覧
10月 公聴会の開催
12月、1月 都市計画審議会(諮問・答申)
1月 県知事との協議
2月 都市計画決定の告示(福島県決定)
3月 都市計画決定の告示(矢吹町決定)

成果目標・数値目標等

年度内の都市計画決定を目指します。

目標に対する前期までの成果

達成率(中間)

都市計画道路変更の素案を作成し、県との下協議を行い、矢吹町都市計画審議会へ報告後、9月25日、29日、30日の3日間に渡り住民説明会を開催し、合わせて227名が参加しました。

50%

目標管理

目標に対する最終成果

達成率(最終)

都市計画決定の手続として必要な公聴会や都市計画審議会への諮問、答申を受けて県知事との協議を行ない町内6路線の都市計画道路を変更しました。
2月12日都市計画決定の告示(福島県決定)
3月1日都市計画決定の告示(矢吹町決定)

100%

残った課題・来年度の取り組み

国の整備スケジュールに合わせ、国道4号及び国道4号に接続する都市計画道路の見直しについて協議・検討します。

事業の概要・
実施方針

地域の特性や交通量等地域性に配慮し、現道を利用した簡易舗装を行い、日常生活道路の砂利道を解消し生活環境の向上を図ります。

要望路線171路線
うち完了路線117路線 残路線54路線（残延長約16.8km）

実施方法・手段・スケジュール等

前期の実施状況(いつ・何をを行ったか)

前期

各地区の特性や地域性等に配慮し、簡易舗装を実施します。
簡易舗装 2路線(うち繰越1路線)

・明新中1号線現道舗装工事(3月～5月※繰越)
・本城館3号線現道舗装工事近隣住民承諾済、工事発注済(9月)
・明新中1号線現道舗装工事近隣住民説明済(9月)

進行管理

後期

各地区の特性や地域性等に配慮し、簡易舗装を実施します。
簡易舗装 1路線

・本城館3号線現道舗装工事(10月～11月)
・明新中1号線現道舗装工事(11月～1月)

成果目標・数値目標等

各地区(矢吹・中畑・三神)の地域性に配慮し、計2路線の簡易舗装を実施します。
当該年度の状況をホームページ、広報でお知らせします。

目標に対する前期までの成果

達成率(中間)

・明新中1号線現道舗装工事完了(L=120m)
・本城館3号線現道舗装工事近隣住民承諾済、工事発注完了
・明新中1号線現道舗装工事近隣住民説明済

50%

目標管理

目標に対する最終成果

達成率(最終)

・本城館3号線現道舗装工事完了(L=100m)
・明新中1号線現道舗装工事完了(L=90m)

100%

残った課題・来年度の取り組み

生活道路の砂利道を解消するため、来年度も引き続き事業を推進します。

事業の概要・
実施方針

比較的建物が建ち並ぶ道路や幹線道路において、幅員狭小の道路や砂利道、改良を必要とする道路の整備を行い、生活環境の向上と利用者の安全確保を目的とした生活道路の整備を推進します。

実施方法・手段・スケジュール等

前期の実施状況(いつ・何をを行ったか)

前期

・八幡町11号線
修正設計(6月～8月)
・曙町長峰線
修正設計(6月～8月)
・田町大池線
物件移転(7月～9月)
改良工事(7月～10月)

・八幡町11号線
修正設計(7月～9月)
・曙町長峰線
修正設計(6月)

進行管理

後期

・八幡町11号線
道路改良工事(10月～3月)
・曙町長峰線
道路改良工事(10月～3月)

・田町大池線
物件移転(9月～10月)
改良工事(12月～3月)
・八幡町11号線
道路改良工事(10月～3月)
・曙町長峰線
道路改良工事(8月～1月)

成果目標・数値目標等

本年度計画している生活道路の整備を進めるため、設計、用地補償及び工事の発注を行い事業を推進します。
当該年度の状況をホームページ、広報でお知らせします。

目標に対する前期までの成果

達成率(中間)

・八幡町11号線
修正設計完了
・曙町長峰線
修正設計完了

50%

目標管理

目標に対する最終成果

達成率(最終)

・田町大池線
物件移転完了
道路整備工事完了 L=28.0m
・八幡町11号線
道路改良工事完了 L=75.5m
・曙町長峰線
道路改良工事完了 L=91.0m

100%

残った課題・来年度の取り組み

・八幡町11号線
道路幅員が狭小な本路線について、来年度は舗装工事を行い、整備を完了します。
・曙町長峰線
道路幅員が狭小な本路線について、引き続き改良工事を行います。

事業の概要・
実施方針

町が管理している68橋を安全に通行できるように全橋梁の点検を実施し、橋梁の保全、修繕及び架け替えを計画的に行い、緊急時や災害時の輸送路を確保するとともに、計画的な管理を図ります。

実施方法・手段・スケジュール等		前期の実施状況(いつ・何をを行ったか)
前期	<ul style="list-style-type: none"> ・橋梁修繕設計 設計業務委託1橋(5月～9月) 修繕工事1橋(繰越) 	<ul style="list-style-type: none"> ・設計業務委託 田内2号橋(9月～1月) ・修繕工事 50号橋(6月～3月)
後期	<ul style="list-style-type: none"> ・橋梁修繕工事 修繕工事1橋(10月～3月) 	<ul style="list-style-type: none"> ・設計業務委託 田内2号橋(9月～1月) ・修繕工事 50号橋(6月～3月)

進行管理

成果目標・数値目標等

橋梁長寿命化修繕計画に基づき、計画的に事業を推進し、安全で安心して通行できる橋梁の点検・修繕を進めます。
当該年度の状況をホームページ、広報でお知らせします。

目標に対する前期までの成果

達成率(中間)

- ・設計業務委託発注済み
- ・修繕工事発注済み

50%

目標管理

目標に対する最終成果

達成率(最終)

- ・設計業務委託完了(田内2号橋)
- ・修繕工事完了(50号橋)

100%

残った課題・来年度の取り組み

橋梁長寿命化修繕計画に基づき、橋梁の補修設計・補修工事を行います。

事業の概要・
実施方針

用途地域内で、みなし道路として後退した土地について用地を買い取り、緊急車両が通行できるように整備することで、緊急時の通路を確保し、安全で安心な住環境の向上を図ります。
また、地区計画に指定された道路についても計画的、先行的に用地の協力を求めます。（道路幅員4m未満の場合はその道路の中心線より2m後退した用地）

実施方法・手段・スケジュール等

前期の実施状況(いつ・何をを行ったか)

前期

八幡町11号線
・修正設計 5月～6月
・改良舗装工事 7月着手
L=100m W=6.0m

八幡町11号線
・修正設計 7月～9月
・改良舗装工事 9月起工
L=100m W=6.0m

進行管理

後期

八幡町11号線
改良舗装工事 12月完了
L=100.0m W=6.0m

八幡町11号線
改良舗装工事 1月完了
L=109m W=6.0m

成果目標・数値目標等

道路利用者の安全な通行を確保するため、狭あい道路の整備を進めます。

目標に対する前期までの成果

達成率(中間)

八幡町11号線の修正設計が完了し、工事を発注しました。

50%

目標管理

目標に対する最終成果

達成率(最終)

八幡町11号線の改良舗装工事が完了し、道路利用者の安全性、利便性の向上が図られました。

100%

残った課題・来年度の取り組み

町内にある狭あい道路の中から整備路線の選定し、次年度以降の計画路線を抽出します。

事業の概要・ 実施方針	町内排水路で雨天時に生活の支障となる箇所の整備、改築を行い生活環境基盤の改善を図ります。
----------------	--

実施方法・手段・スケジュール等		前期の実施状況(いつ・何をを行ったか)
進行管理	前期 ・善郷内排水路整備事業 修正設計(7月～9月)	・善郷内排水路整備事業修正設計 (8月～9月)
	後期 ・善郷内排水路整備事業 排水路整備工事(10月～12月)	・善郷内排水路整備事業 排水路整備工事(1月～3月) ・八幡町排水路整備事業 八幡町地内排水調査業務委託 (11月～3月)

目標管理	成果目標・数値目標等	
	年度内に排水路整備工事を完了し、生活環境の改善を図ります。 当該年度の状況をホームページ、広報でお知らせします。	
	目標に対する前期までの成果	達成率(中間)
	・善郷内排水路整備事業修正設計完了	50%
	目標に対する最終成果	達成率(最終)
	・善郷内排水路整備工事完了 L=14.0m ・八幡町地内排水調査業務委託完了	100%
	残った課題・来年度の取り組み	
	・善郷内排水路整備 生活環境基盤の改善のため、引き続き排水路整備工事を行い、整備を完了します。 ・八幡町地内排水路整備 生活環境基盤の改善のため、整備方法を検討します。	

事業の概要・
実施方針

古くから町の中心市街地としての役割を担ってきた地区であるJR矢吹駅周辺を区域とし、人口減少と少子高齢化の進行、近接する国道4号沿線や矢吹中央10周辺などへの大型店舗の進出などにより、近年は賑わいや活力が低下しており、さらに、平成23年の東日本大震災によって大きな被害を受け、現在は空地なども多くなっている地区を東日本大震災からの復旧・復興と、これにあわせて多様な都市機能が集積するコンパクトな歩いて暮らせるまちづくりを進め、魅力と賑わいのある中心市街地として再生します。

- 社会資本整備総合交付金（都市再生整備事業）
 区域面積：42ha 事業年度：平成27年度～令和2年度
 ・矢吹町複合施設整備工事
 鉄骨造 一部木造2階建て、建築面積2,229㎡、延べ面積3,004㎡
 ・中町ポケットパーク整備事業

実施方法・手段・スケジュール等

前期の実施状況(いつ・何をを行ったか)

前期

- ・矢吹町複合施設整備事業
建設工事（4月～7月）
月2回の工程会議を実施し、工事の安全・品質・工程管理を行います。進捗に合わせ、広報、HP等で情報発信を行います。
- ・道路整備事業
本町7号線道路改良工事を完了させます。

- ・矢吹町複合施設整備事業
建設工事（4月～7月）
月2回の工程会議で、工事の安全・品質・工程管理を行いながら進めました。毎月広報誌にて進捗を情報発信しました。
- ・道路整備事業
本町7号線道路改良工事に着工しました。

後期

- ・事業効果分析
平成27年度からの都市再生整備計画事業で設定した指標の達成状況など、事後評価を行います。

- ・道路整備事業
本町7号線道路改良舗装工事が完了しました。
- ・事業効果分析
都市再生整備計画事業の事後評価を実施しました。

進行管理

成果目標・数値目標等

- ・7月末の矢吹町複合施設工事完了を目指します。
- ・工事における事故ゼロを目指します。
- ・本町7号線道路改良工事を完了させます。
- ・本年度、都市再生整備計画事業の完了を目指します。

目標に対する前期までの成果

達成率(中間)

- ・7月に矢吹町複合施設建築工事が目標どおり無事故で完成しました。
- ・7月に本町7号線道路改良舗装工事に着工しました。

80%

目標管理

目標に対する最終成果

達成率(最終)

- ・矢吹町複合施設建築工事が目標どおり無事故で工事完了しました。
- ・本町7号線道路改良舗装工事が完了しました。
- ・事業の事後評価を行い、都市再生整備計画事業が完了しました。

100%

残った課題・来年度の取り組み

今年度で平成27年度からの都市再生整備計画事業が完了しました。

事業の概要・
実施方針

町の政策・施策・事務事業等の話題を、広報誌・ホームページ・新聞等をはじめとする様々なメディアを活用し、積極的に情報発信します。

実施方法・手段・スケジュール等		前期の実施状況(いつ・何をを行ったか)
前期	<ul style="list-style-type: none"> ・新聞紙面の確認(毎日) ・マスコミへの情報発信(毎週、随時) ・ホームページ、フェイスブックの更新(毎月、随時) 	<p>随時：道路、公園、上下水道、浄化槽等維持管理、危険回避に関するお知らせを広報、ホームページ等により周知しました。 また、道路や複合施設の工事状況、完成についても広報しました。</p>
後期	<ul style="list-style-type: none"> ・新聞紙面の確認(毎日) ・マスコミへの情報発信(毎週、随時) ・ホームページ、フェイスブックの更新(毎月、随時) 	<p>随時：工事進捗状況や漏水、使い方等所管する業務について広報やぶきでお知らせしました。 また、そのほかに大池公園や三十三観音史跡公園の花鳥風月をホームページやfacebookで情報発信しました。</p>

進行管理

目標管理

成果目標・数値目標等

随時 定期的な情報発信
随時 都市整備全般に関する情報や事業実施結果についてホームページ、広報等に掲載。

目標に対する前期までの成果

達成率(中間)

定期的な情報の発信により町民、利用者へ周知が図られました。

50%

目標に対する最終成果

達成率(最終)

定期的な情報の発信により町民、利用者へ周知が図られました。

100%

残った課題・来年度の取り組み

見る側にたった「ほしい情報」の発信について、検討します。

事業の概要・
実施方針

行財政改革を推進し、限られた職員数、資源で新規事業や既存の事務事業に効率的に取り組むため、事務処理のマニュアル化を進めます。
また、マニュアル化により業務のチェック体制の強化を図り、事務処理ミスの未然防止策を検討し、全庁的なリスク管理に努めます。

実施方法・手段・スケジュール等

前期の実施状況(いつ・何をを行ったか)

前期

随時
マニュアルの見直し、更新を行います。

随時：係長会議のたびにマニュアル作成の意義を確認し、些細な事務処理でもマニュアル化を促しました。
また、今年度作成予定のマニュアルについても作成状況を確認しました。
9月：マニュアル新規作成1件

進行管理

後期

随時
マニュアルの見直し、更新を行います。

随時：作成したマニュアルによる事業の遂行及び係長会議等における推進を図りました。

成果目標・数値目標等

住民サービスの向上、迅速化等を図るため、チェック機能高めるとともに、事務処理の共有化及び効率化を図り、ミスのない、効率的な事務処理を行います。
事務処理不備件数：0件

目標に対する前期までの成果

達成率(中間)

ヒューマンエラーのあった事務処理についてマニュアルを作成し、それに基づいた運用を開始しました。

50%

目標管理

目標に対する最終成果

達成率(最終)

事務処理不備件数：2件
発生原因、再発防止について協議しました

80%

残った課題・来年度の取り組み

発生したヒューマンエラーの再発防止策の徹底を図ります。

事業の概要・
実施方針

限りある財政状況を踏まえ、職員一人ひとりが常に意識しながら、光熱水費の節減、さらには無駄なカラーコピーの抑制等、事務経費の節減に努めます。
また、施設ごとの取り組み項目、具体的行動及び実績等の情報共有を図り、今後の新たな対策について検討を進めます。

実施方法・手段・スケジュール等

前期の実施状況(いつ・何をを行ったか)

前期

随時 課内会議及び係内会議において意識の共有
随時 新電力導入の推進
毎月 使用実績の周知と過年度比較の検証
6月 資機材倉庫等の整理
7～9月 節電対策の強化(使用電力のデマンド管理)

随時：係長会議、係内会議において事務経費削減の意識共有を図りました。

進行管理

後期

随時 課内会議及び係内会議において意識の共有
随時 新電力導入の推進
毎月 使用実績の周知と過年度比較の検証

随時：係長会議、係内会議において事務経費削減の意識共有を図りました。

成果目標・数値目標等

係長会議等において課員への周知を図り、全体事業費に対する内部経費を前年度比3%削減を目標に取り組みます。
特に今年度は新電力への導入について検討を行い、効果が見込まれる場合には新電力への移行を進めます。

目標に対する前期までの成果

達成率(中間)

上半期コピー料金の前年比▲16%達成しました。
(R2/R1:434,958円/517,522円=
84.0%・▲16.0%)

50%

目標管理

目標に対する最終成果

達成率(最終)

2月末現在前年比(R2/R1)
コピー料金 78%、▲21.8%達成しました。(934,371円
/1,196,284円)
庁舎管理電気料金 93.8%、▲6.2%達成しました。(684,224円
/728,82円)

100%

残った課題・来年度の取り組み

管理施設についても電気料の抑制を図るための検討を行います。

事業の概要・
実施方針

水道使用料、下水道使用料等については、収納率の向上に努め、徴収業務委託先との連携を図り、滞納者への徴収強化、訪問徴収、滞納処分等を実施します。また、住宅使用料については、滞納者に対して早期に催告と納入指導を行い、納入が困難な場合は分納を促すなど納入相談を行い、併せて連帯保証人へ催告を行うなど適正かつ公平に収納確保に努め、また滞納の抑制を図ります。

実施方法・手段・スケジュール等

前期の実施状況(いつ・何をを行ったか)

6月 滞納状況の実態調査
7月 徴収計画の策定
8月 連帯保証人への協力等の要請
随時 督促、催告、臨戸訪問
納入相談(分納誓約書)

8月 滞納状況の実態調査
随時 督促 催告 臨戸訪問
収納相談(分納誓約書)

前期

進行管理

10月 臨戸徴収
11月～12月
連帯保証人への催告(電話・文書)
随時 督促、催告、臨戸訪問
納入相談(分納誓約書)

10月～12月 臨戸徴収
随時 納入相談 分納誓約書徴収
督促 臨戸訪問

後期

成果目標・数値目標等

- ・債権管理、回収の実務知識を習得します。
- ・私債権の適正な管理手続きを理解します。(私債権を通じて公債権との違いを理解します。)
- ・徴収方法として法的措置を理解します。
- ・適正な免除、債権放棄を理解します。
- ・債権管理条例制定に向けた方針の策定と管理体制の構築を図ります。
- ・未収金管理回収業務委託を行い、徴収率の向上を図ります。
- ・水道料金
現年度分徴収率：R1実績(98.5%)⇒R2(98.7%)
過年度分徴収率：R1実績(12.9%)⇒R2(20.0%)
- ・下水道料金(農業集落排水使用料も含む)
現年度分徴収率：R1実績(98.1%)⇒R2(98.5%)
過年度分徴収率：R1実績(31.3%)⇒R1(35.0%)
- ・住宅使用料
現年度分収納率：R1実績(84.5%)⇒85.0%
過年度分収納率：R1実績(6.4%)⇒10.0%

目標に対する前期までの成果

達成率(中間)

9月末現在収納率(括弧内はR1、9月末実績)
水道料金について
現年度分徴収率：(97.95%)⇒97.48
過年度分徴収率：(9.22%)⇒9.56
下水道料金について
現年度分徴収率：(96.5%)⇒97.2
過年度分徴収率：(24.7%)⇒26.4
住宅使用料について
現年度分徴収率：(89.8%)⇒85.1%
佳年度分徴収率：(5.4%)⇒2.0%

40%

目標管理

目標に対する最終成果

達成率(最終)

3月15日現在徴収率(括弧内はR1、3月末実績)
水道料金について
現年度分徴収率：(98.2%)⇒98.17%
過年度分徴収率：(14.3%)⇒11.59%
下水道料金について
現年度分徴収率：(98.1%)⇒98.1%
過年度分徴収率：(31.3%)⇒31.1%
住宅使用料について
現年度分徴収率：(84.5%)⇒86.8%
過年度分徴収率：(6.4%)⇒4.7%

90%

残った課題・来年度の取り組み

業務委託者との連携を図り、更なる収納率の向上に努めます。また、臨戸訪問、納入催告の強化及び給水停止措置を定期的実施し滞納縮減に努めます。

事業の概要・ 実施方針	<p>平成28年度に策定した「上下水道事業経営戦略」の進捗管理を行うとともに、計画的かつ合理的な経営を行うことにより収支の改善等を通じた経営基盤の強化に努めます。</p> <p>また、上下水道使用料の改定についても検討を進めるほか、令和4年度からの公共下水道事業の公営企業法適用実施に向け準備を進めます。</p>
----------------	--

		実施方法・手段・スケジュール等	前期の実施状況(いつ・何をを行ったか)
進行管理	前期	4~7月 料金改正に関する情報収集 4~9月 公営企業法適用化に向けての契約及び基本計画書に基づき作業をおこないます。 8月 経営戦略に前年度決算額を反映、経営状況を分析 9月 上下水道経営審議会に経営状況の報告	7月 公営企業適用移行支援業務委託契約締結 9月 近隣市町村との公営企業適用化について勉強会実施
	後期	10月~3月公営企業法適用化移行に向けて基礎計画書に基づき作業を行います。 10月~3月 経営戦略の予測数値の修正	10月~3月 基本計画書に基づき公営企業法適用移行事務を行いました。 11月 下水道事業の法適用に係る研修会を開催しました。 10月~12月 公営企業会計システムの選定を行いました。 10月~3月 経営戦略の予測数値の修正や進捗管理を行いました。

目標管理	成果目標・数値目標等	
	<ul style="list-style-type: none"> 適正な上下水道使用料の算出方法について情報を収集し、改正を検討します。 公共下水道事業の公営企業法適用化について、基本計画書に基づき移行作業を実施します。 経営戦略に前年度決算額を反映し、経営状況を分析して、予測数値を修正します。 	
	目標に対する前期までの成果	達成率(中間)
	<ul style="list-style-type: none"> 公営企業適用移行に向けた移行支援業務契約を締結しました。 公営企業適用実施の市町村との勉強会を行い、適用の留意点やスケジュール等について確認しました。 	50%
目標に対する最終成果	達成率(最終)	
<ul style="list-style-type: none"> 下水道事業の公営企業法適用化について、「地方公営企業法適用基本計画書」に基づいて移行作業を行いました。 「上下水道事業経営戦略」の修正や進捗管理を行いました。 	100%	
残った課題・来年度の取り組み		
<ul style="list-style-type: none"> 下水道事業の公営企業法適用化に関して、令和4年度の移行を目指して、基本計画書に基づき移行作業を実施します。 「上下水道事業経営戦略」の進捗管理を行うとともに、計画的かつ合理的な経営を行うことにより収支の改善等を通じた経営基盤の強化に努めます。 		

事業の概要・
実施方針

町が保有する公共施設の老朽化等に伴う施設の更新、維持、長寿命化、施設のあり方等については、今後のまちづくり、財政等に大きな影響を及ぼすことが見込まれるため、その対策として「矢吹町公共施設等総合管理計画」を平成27年度に決定しました。

今後は、本管理計画の基本方針等を踏まえた施設類型ごとの「個別施設計画」について、令和2年度までに策定を完了し、効果的な施設配置と将来的な負担軽減等の推進を図ります。

あわせて、長寿命化及び統廃合等に係る財源措置の調査を行います。

【公共下水道】年次計画に基づき、改築・更新工事の実施
 【農業集落排水】年次計画に基づき、機能強化事業の実施
 【橋梁】年次計画に基づき、橋梁の修繕を実施
 【町道】R2 町道長寿命化計画の策定

実施方法・手段・スケジュール等

前期の実施状況(いつ・何をを行ったか)

前期

4月
・長寿命化計画に基づく実施計画の確認、スケジュールの調整、関連事業との調整を行います。

6月
・必要な施設について計画の策定、見直しを行います。
・町道長寿命化計画の着手

4月
・長寿命化計画に基づく実施計画の確認、スケジュールの調整、関連事業との調整を行いました。

6月
・必要な施設について計画の策定、見直しを行いました。

9月
・町道長寿命化計画作成業務委託の発注を行いました。

進行管理

後期

10月
・実施状況の進捗管理を行います。

12月
・次年度の計画策定、予算計画を策定します。

3月
・町道長寿命化計画の策定完了

12月
・水道施設に関する長寿命化計画策定業務を委託発注しました。

随時：計画策定に向けた業者との協議を行いました。

成果目標・数値目標等

- ①長寿命化計画策定済みの施設については、実施計画に基づく計画的な改修更新を行います。また、施設の廃止等についても、施設の利用、運用状況に応じて検討を行います。未策定、見直し予定の施設については、必要により計画策定までの年次スケジュールを決定します。
- ②町道長寿命化計画を策定します。

目標に対する前期までの成果

達成率(中間)

- ・長寿命化計画に基いた実施計画の確認、スケジュールの調整、関連事業との調整を行いました。
- ・町道長寿命化計画策定業務委託の発注を行いました。

40%

目標管理

目標に対する最終成果

達成率(最終)

道路及び水道施設の長寿命化計画の策定が完了しました。

100%

残った課題・来年度の取り組み

計画に基づいた長寿命化の推進に努めます。

事業の概要・
実施方針

耐用年数を経過している老朽住宅は、建物の耐震性、耐火性、維持管理等を勘案すると快適な住まいとされる住環境を維持するには相当の改修費・修繕費が発生するうえ、高齢化社会が深刻な情勢では段差解消や車いす対応などの福祉機能の整備が求められることから、さらに経費が加算する懸念があります。
このため、耐用年数が超過した老朽住宅については、新規入居者を募集せず政策空き家としながら、計画的に用途廃止・除却を進めます。
なお、用途廃止が決定した住戸の入居者には老朽住宅の現状を十分に説明し、理解を得たうえで、別の住戸への移転や退去を促します。

進行管理

実施方法・手段・スケジュール等		前期の実施状況(いつ・何をを行ったか)
前期	5月 大林住宅平屋建1棟4戸の解体工事完了 6月～ 用途廃止住戸の調査検討 解体工事の準備 7月～ 移転交渉の実施	6月 大林住宅平屋建解体工事(繰越)完了 1棟4戸 7月 用途廃止住戸の調査検討
後期	10月～ 移転先住居の修繕 解体工事 11月～ 移転補償契約の締結 2月～ 国への用途廃止申請	・1棟4戸の用途廃止手続き完了10月～3月 用途廃止すべき住宅の調査検討

成果目標・数値目標等

入居者の実態を考慮しつつ、丁寧に説明をしながら、入居者の集約化を図っていきます。
用途廃止目標 1棟4戸

目標に対する前期までの成果

達成率(中間)

大林住宅平屋建の解体工事(1棟4戸)を行いました。
今後、用途廃止すべき住宅の調査検討を行いました。

50%

目標に対する最終成果

達成率(最終)

1棟4戸の用途廃止が完了し、その他の住宅についても調査検討を行いました。

100%

目標管理

残った課題・来年度の取り組み

老朽化住宅の用途廃止に向けた入居者との転居の協議を行います。

事業の概要・ 実施方針	近年の財政状況等を踏まえ、行財政運営の効率化を図り、質の高いサービスを持続的に提供するため、民間委託のための課題等を整理しながら、新たな委託の可能性について検討を進めます。
----------------	--

実施方法・手段・スケジュール等		前期の実施状況(いつ・何をを行ったか)
進行管理	前期	随時 先進自治体及び近隣自治体での事例研究と調査、検討 8・9月：上下水道料金徴収等業務委託に関する聞き取り調査を実施しました（白河市、須賀川市、西郷村） 9月：駅周辺管理の指定管理者制度に基づいた公募の準備を開始しました
	後期	随時 先進自治体及び近隣自治体での事例研究と調査、検討 12月 駅指定管理者選定手続きを行い、選定しました。

目標管理	成果目標・数値目標等	
	指定管理者制度、民間委託の適否及び制度継続の是非、委託内容の充実、拡大等の必要性の有無等を検証します。	
	目標に対する前期までの成果	達成率(中間)
	・近隣自治体の業務委託の実態を把握しとでも参考となり、今後の充実、拡大の検討ができました。	50%
	目標に対する最終成果	達成率(最終)
	駅指定管理者を選定し議会での承認を得ました。その他業務についても他市町村への聞き取り等を行いました。	100%
残った課題・来年度の取り組み		
業務の効率化を図るため更なる民間への委託を検討します。		

事業の概要・
実施方針

恒常的・長時間の時間外勤務が心身の健康に与える影響に鑑み、職員一人ひとりが勤務時間を意識し能率的な仕事の進め方を身につけるとともに、ワークライフバランス（仕事と生活の調和）の実現を目指します。昨年に引き続き職員の意識改革を行い、不要不急の時間外勤務をしないほか、改正労基法を遵守し、所属長による適正な時間外勤務の管理徹底により、時間外勤務手当の縮減を図ります。

実施方法・手段・スケジュール等

前期の実施状況(いつ・何をを行ったか)

前期

- ①ゆう活（朝型勤務）の実施（6月から9月実施）
- ②火曜・木曜ノー残業デー（通年）
- ③毎月第3週目をノー残業ウィーク（7月から9月実施）
- ④フレックスタイム制度試行
 - ・ノー残業デーの取り組み実績、出退勤時間の状況、時間外勤務の状況を課別に見える化
 - ・タイムレコーダー管理の徹底（自己管理・所属長管理）

随時：係長会議において、各種取り組み徹底の依頼及び進捗管理を実施しました。
また、適宜、ゆう活、休暇取得に努めました。

進行管理

後期

- ①火曜・木曜ノー残業デー（通年）
- ②フレックスタイム制度試行
 - ・ノー残業デーの取り組み実績、出退勤時間の状況、時間外勤務の状況を課別に見える化

随時：係長会議において、各種取り組み徹底の依頼及び進捗管理を実施しました。
また、適宜、ゆう活、休暇取得に努めました。

成果目標・数値目標等

随時

- ・課内各会議での喚起（月2回以上実施）
- ・効率的な事務の実施（計画的な事務執行）
- ・ノー残業デーの推奨
- ・ゆう活、休暇等の効果的な活用
- ・ゆう活実施回数5回/人
- ・年間時間外勤務時間：R1 2,927時間 ⇒ R2 2,780時間（5%減）

目標に対する前期までの成果

達成率(中間)

超過勤務時間が前年比▲22%を達成しました。
R1：1,208h R2：950h（▲258h、▲22%）
ノー残業デー、ノー残業ウィークを推進し、メリハリのある業務進捗が行われました。

50%

目標管理

目標に対する最終成果

達成率(最終)

超過勤務時間が前年比▲16%を達成しました。
R1：2,430h R2：2,040h（▲390h、▲16%）
ノー残業デー、ノー残業ウィークを推進し、メリハリのある業務進捗が行われました。

100%

残った課題・来年度の取り組み

優先順位を明確化し、効率的な業務による更なる抑制を図ります。

事業の概要・
実施方針

町民に開かれた議会を目指し、審議内容や議会活動等に関する町民の理解と関心を高めるため、積極的に議会情報の公開に取り組みます。
具体的には、本会議のホームページ上での配信や、より魅力的な「議会だより」の編集に取り組みます。

実施方法・手段・スケジュール等

前期の実施状況(いつ・何をを行ったか)

前期

5月 「議会だより」発行、ホームページ掲載
5月 議会広報研修会参加(議会広報編集委員会)
6月 定例会日程等ホームページ掲載、本会議録画配信
8月 「議会だより」発行、ホームページ掲載
9月 定例会日程等ホームページ掲載、本会議録画配信

5月 「議会だより」発行、ホームページ掲載
6月 定例会日程等ホームページ掲載、本会議録画配信
8月 「議会だより」発行、ホームページ掲載
9月 定例会日程等ホームページ掲載、本会議録画配信

進行管理

後期

12月 定例会日程等のホームページ掲載、本会議録画配信
2月 「議会だより」発行、ホームページ掲載
3月 定例会日程等のホームページ掲載、本会議録画配信

12月 定例会日程等のホームページ掲載、本会議録画配信
2月 「議会だより」発行、ホームページ掲載
3月 定例会日程等のホームページ掲載、本会議録画配信

成果目標・数値目標等

議会傍聴者数 対前年度比110% : 110名 (R元 : 98名)

目標に対する前期までの成果

達成率(中間)

「議会だより」については、読者本位で見やすく分かりやすい企画・編集を心がけ、特に、第188号からは「議会だよりモニター」を募集し、一般町民のモニターの皆様から評価・検証をしていただいています。
また、ホームページについても、日程や結果等を速やかに掲載しています。
議会傍聴者数 : 50名 対前年度比111% (R元:45名)

50%

目標管理

目標に対する最終成果

達成率(最終)

議会傍聴者数 104名 (対前年度比+6名)

100%

残った課題・来年度の取り組み

引き続き町民の方の理解と関心を深めるよう、積極的な情報の発信を行ってまいります。

事業の概要・
実施方針

円滑な議会運営のため、議会全員協議会をはじめ本会議、各種委員会を的確に運営するとともに、議員の議会活動を適切にサポートします。
また、議会は町民を代表し、行政の監視や町民の意思を代弁する合議制の機関であります。住民福祉の向上と豊かなまちづくりの実現に向け公正・透明で開かれた議会を目指します。

実施方法・手段・スケジュール等

前期の実施状況(いつ・何をを行ったか)

前期

随時 議会運営委員会、議会全員協議会の開催
随時 執行機関との協議・調整・資料収集
随時 関係機関との調整、他自治体・関連団体の事例研究・先進地視察研修
7月 ことぶき大学本講座における議会懇談会の開催

随時 議会運営委員会、議会全員協議会の開催
随時 執行機関との協議・調整・資料収集
随時 関係機関との調整、他自治体・関連団体の事例研究
9月 茨城県守谷市視察(議会運営委員会)

進行管理

後期

随時 議会運営委員会、議会全員協議会の開催
随時 執行機関との協議・調整・資料収集
随時 関係機関との調整、他自治体・関連団体の事例研究・先進地視察研修

随時 議会運営委員会、議会全員協議会の開催
随時 執行機関との協議・調整・資料収集
随時 関係機関との調整、他自治体・関連団体の事例研究・先進地視察研修

成果目標・数値目標等

- ・定例会、臨時会の円滑な運営と議会活性化の充実
- ・議会懇談会の参加者の増員
- ・常任委員会等による審査、調査の充実

目標に対する前期までの成果

達成率(中間)

議会運営委員会や全員協議会の実施により、円滑な議会運営を図っています。
特に9月定例会より、一般質問について、制限時間を「質問時間30分」に試行として変更するなど、よりよい議会運営の形を模索しています。
なお、新型コロナウイルス感染症拡大中の情勢の中、例年実施していることぶき大学本講座における議会懇談会は中止せざるを得ませんでした。

50%

目標管理

目標に対する最終成果

達成率(最終)

特別委員会が設置され、業務量及び範囲が拡大しましたが、その運営をしながら通常の議会運営も滞りなく遂行することができました。

100%

残った課題・来年度の取り組み

新年度はタブレットの導入を予定しており、スムーズな配備を心掛けます。

事業の概要・
実施方針

町民に開かれた議会を目指し、審議内容や議会活動等に関する町民の理解と関心を高めるため、積極的に議会情報の公開に取り組みます。
具体的には、本会議のホームページ上での配信やより魅力的な「議会だより」の編集手法の研究に取り組みます。

実施方法・手段・スケジュール等

前期の実施状況(いつ・何をを行ったか)

前期

5月・8月 「議会だより」発行
定例会・臨時会開催時 日程等の
ホームページ掲載、本会議の録画
配信

5月・8月 「議会だより」発行
定例会・臨時会開催時 日程等の
ホームページ掲載、本会議の録画
配信

進行管理

後期

11月・2月 「議会だより」発行
定例会・臨時会開催時 日程等の
ホームページ掲載、本会議の録画
配信

11月・2月 「議会だより」発行
定例会・臨時会開催時 日程等の
ホームページ掲載、本会議の録画
配信

成果目標・数値目標等

議会傍聴者数 対前年度比110% : 110名 (R元 : 98名)

目標に対する前期までの成果

達成率(中間)

「議会だより」については、読者本位で見やすく分かりやすい企画・編集を心がけ、特に、第188号からは「議会だよりモニター」を募集し、一般町民のモニターの皆様から評価・検証をしていただいています。
また、ホームページについても、日程や結果等を速やかに掲載しています。
議会傍聴者数 : 50名 対前年度比111% (R元:45名)

50%

目標管理

目標に対する最終成果

達成率(最終)

議会だよりのモニター制度を導入し、皆さまからのご意見を参考に紙面づくりに取り組むことができました。

100%

残った課題・来年度の取り組み

引き続き町民の理解と関心を高めるよう、積極的な情報発信を行ってまいります。

事業の概要・ 実施方針	限られた職員で事務事業に効果的に取り組むため、事務処理のマニュアル化を推進しており、昨年度は定例会における事務処理マニュアル（フロー図）を作成したところですが、それを検証・修正し、業務のチェック体制の強化を図ります。
----------------	--

		実施方法・手段・スケジュール等	前期の実施状況(いつ・何をを行ったか)
進行管理	前期	～9月 事務処理マニュアルの検証・修正	～9月 事務処理マニュアルの検証・修正
	後期	～3月 事務処理マニュアルの検証・修正	～3月 事務処理マニュアルの検証・修正

目標管理	成果目標・数値目標等	
	作成したマニュアルの検証・修正を実施し、業務のチェック体制の強化を図ります。	
	目標に対する前期までの成果	達成率(中間)
	本会議・共済・共済事務に関するマニュアルについて、随時不十分な点や改善すべき点等を追記・変更しています。	50%
	目標に対する最終成果	達成率(最終)
	随時、業務マニュアル（フロー図）の改善を実施してまいりました。	100%
残った課題・来年度の取り組み		
今後も引き続き、マニュアルの改善や見直しを実施し、精度を高めてまいります。		

事業の概要・ 実施方針	職員一人ひとりが消耗費等の節約、光熱水費の節減に努めます。
----------------	-------------------------------

		実施方法・手段・スケジュール等	前期の実施状況(いつ・何を行ったか)
進行管理	前期	随時 PDF化や両面コピーによる 消耗品費の節減 随時 こまめな消灯等	随時 PDF化や両面コピーによる 消耗品費の節減 随時 こまめな消灯等
	後期	随時 PDF化や両面コピーによる 消耗品費の節減 随時 こまめな消灯等	随時 PDF化や両面コピーによる 消耗品費の節減 随時 こまめな消灯等

目標管理	成果目標・数値目標等	
	<ul style="list-style-type: none"> ・職員一人ひとりの節減意識の高揚 ・光熱水費の削減（需用費の対前年度比5%減） 	
	目標に対する前期までの成果	達成率(中間)
	議員全員や委員会委員等、複数人に発送する際における文書の写し添付時にはPDF化することを徹底するなど、節約意識を念頭に事務処理しております。	50%
	目標に対する最終成果	達成率(最終)
	今年度は特別委員会資料印刷に際し、コピー料金が増高してしまいましたが、通常業務においては節約意識を念頭に経費節減に努めてまいりました。	100%
残った課題・来年度の取り組み		
引き続き、節約意識をもって内部管理経費の低減に努めてまいります。		

事業の概要・ 実施方針	新たな委託の可能性について課題等を整理し、検討を行います。
----------------	-------------------------------

		実施方法・手段・スケジュール等	前期の実施状況(いつ・何をを行ったか)
進行管理	前期	随時 先進事例の調査・研究 定例会、臨時会后 会議録調製委託、本会議録画配信 5月・8月 「議会だより」印刷業務委託	随時 先進事例の調査・研究 定例会、臨時会后 会議録調製委託、本会議録画配信 5月・8月 「議会だより」印刷業務委託
	後期	随時 先進事例の調査・研究 定例会、臨時会后 会議録調製委託、本会議録画配信 11月・2月 「議会だより」印刷業務委託	随時 先進事例の調査・研究 定例会、臨時会后 会議録調製委託、本会議録画配信 11月・2月 「議会だより」印刷業務委託

目標管理	成果目標・数値目標等	
	現在委託を実施している業務に加え、新たに委託し得る業務を検討してまいります。	
	目標に対する前期までの成果	達成率(中間)
	会議録調製、本会議録画配信及び「議会だより」印刷業務を滞りなく委託しています。	50%
	目標に対する最終成果	達成率(最終)
会議録調製、本会議録画配信及び議会だより印刷業務を滞りなく委託しています。	100%	
残った課題・来年度の取り組み		
新たに委託できる業務を検討してまいります。		

事業の概要・ 実施方針	労働安全衛生法の趣旨である職員の健康保持と安全配慮義務を遵守するため、また職員の職業生活と家庭生活の両立を支援することにも留意し、時間外勤務の適正な運用を図ります。
----------------	--

		実施方法・手段・スケジュール等	前期の実施状況(いつ・何をを行ったか)
進行管理	前期	<ul style="list-style-type: none"> 毎週火曜日、木曜日の「ノー残業デー」の徹底(声かけ) 随時 事務効率化の検討実施 	<ul style="list-style-type: none"> 毎週火曜日、木曜日の「ノー残業デー」の徹底(声かけ) 随時 事務効率化の検討実施
	後期	<ul style="list-style-type: none"> 毎週火曜日、木曜日の「ノー残業デー」の徹底(声かけ) 随時 事務効率化の検討実施 	<ul style="list-style-type: none"> 毎週火曜日、木曜日の「ノー残業デー」の徹底(声かけ) 随時 事務効率化の検討実施

目標管理	成果目標・数値目標等	
	「ノー残業デー」や「ゆう活」等の取り組みを積極的に行い、職員の健康保持に努めます。	
	目標に対する前期までの成果	達成率(中間)
	事務処理マニュアルに則り計画的な業務遂行を行っており、時間外勤務はほとんど発生していません。	50%
	目標に対する最終成果	達成率(最終)
事務処理マニュアルに則り計画的な業務遂行を行っており、時間外勤務はほとんど発生していません。	100%	
残った課題・来年度の取り組み		
引き続き、時間外勤務の解消に努めてまいります。		

事業の概要・実施方針	<p>いつでも誰でも生涯にわたって学べるよう、町部局や他の機関との連携を進めながら町民講座の充実を図ります。また、若い世代の地域参画や生活の質の向上を目指し、主体的な生涯学習を推進します。</p> <p>町民のニーズを把握し、求められている講座を選定します。</p> <p>多世代の参加者にするために、働く世代でも参加しやすい日時や講座内容を実施します。</p> <p>各課との連携した事業や民間のノウハウを活用した事業を実施します。</p>
-------------------	---

進行管理	実施方法・手段・スケジュール等	前期の実施状況(いつ・何をを行ったか)	
	前期	<ul style="list-style-type: none"> ・6～9月 高校生セミナー・プログラミング教室 ・7月 こども囲碁将棋教室(3回) ・7・8月 親子ふれあい教室(料理) ・やぶき寺子屋(歴史)(2回) 	<p>4月～9月において、新型コロナウイルス感染拡大防止の為、講師及び関係団体と協議の結果、前期の事業においては中止・延期の決定。</p>
	後期	<ul style="list-style-type: none"> ・10～12月 高校生セミナー・プログラミング教室 ・12月 こども書き初め教室(1回) ・やぶき寺子屋(歴史)(2回) 	<ul style="list-style-type: none"> ・12月5日(土)・12日(土) 高校生セミナー実施(KOKOTTOマルチルーム) ・12月4日(金)・18日(金) プログラミング教室(基本編)実施(KOKOTTOマルチルーム) ・1月15日(金)・29日(金) プログラミング教室(発展編)実施(KOKOTTOマルチルーム) ・やぶき寺子屋は新型コロナウイルス感染拡大防止の為中止

目標管理	成果目標・数値目標等	
	<p>町民講座内容として、以下の事業を実施します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・親子ふれあい教室(家庭教育・親子参画事業)4回実施 ・やぶき寺子屋(歴史)4回実施 ・こども囲碁将棋教室夏休み3回実施 ・こども書き初め教室冬休み1回実施 ・プログラミング教室6回実施 ・高校生セミナー4回実施 	
	目標に対する前期までの成果	達成率(中間)
	<p>4月～9月の町民講座につきましては、新型コロナウイルス感染拡大防止の為、講師及び関係団体と協議し、前期の事業においては中止・延期の決定をしました。</p>	50%
	目標に対する最終成果	達成率(最終)
	<p>【高校生セミナー】14名参加 【プログラミング教室】基礎編6名、発展編5名参加 【こども囲碁将棋教室】・【書き初め教室】・【やぶき寺子屋(歴史)】は新型コロナウイルス感染拡大防止の為中止しました。</p>	100%
	残った課題・来年度の取り組み	
	<p>高齢者並びに若い世代に、積極的な中央公民館事業への参加を呼び掛けていく一方で、魅力的な講座の開設を検討します。</p> <p>令和2年度に多くの参加者から意見が交わされた「高校生セミナー」の成果を踏まえ、図書館等と連携をしながら講座内容の充実を図ります。</p>	

事業の概要・
実施方針

10月開館に向け整備が進められている「矢吹町複合施設」において、施設管理予約システムや図書貸出システム等の構築、中央公民館、図書館等既存施設からの荷物のスムーズな搬入を行い、開館に向けた準備を進めます。
また、昨年度策定した「矢吹町複合施設管理運営計画」に基づく施設運営を実施します。

進行管理

実施方法・手段・スケジュール等		前期の実施状況(いつ・何をを行ったか)
前期	<ul style="list-style-type: none"> ・4月…各委託業務の発注 ・5月…備品の発注 ・8月…引越し、備品搬入 ・9月…条例制定・改正 ・9月…システム操作研修 	<ul style="list-style-type: none"> ・4月…各委託業務の発注 ・5月…備品の発注 ・8月…引越し、備品搬入 ・9月…条例制定・改正、システム操作研修、システム保守等の委託契約締結
後期	<ul style="list-style-type: none"> ・10月…開館 ・10月～…施設の維持管理 ・1月…予算の確認 	<ul style="list-style-type: none"> ・10月…開館 ・10月～…施設の維持管理 ・12月…来年度の予算の確認

目標管理

成果目標・数値目標等	
<ul style="list-style-type: none"> ・施設予約システム等の各種システムの導入と備品の設置を行います。 ・開館後の施設の維持と備品の適正管理に努めます。 	
目標に対する前期までの成果	達成率(中間)
スケジュール通り施設開館に向けた準備を進めることができました。	50%
目標に対する最終成果	達成率(最終)
スケジュール通り開館し、その後多くの利用が図られました。	100%
残った課題・来年度の取り組み	
「矢吹町複合施設管理運営計画」に基づく施設運営を実施します。	

事業の概要・
実施方針

町民の文化・スポーツの充実と振興を図るため、矢吹町文化・スポーツ振興基金条例の規定に基づき基金の運用を図り、町民の文化・スポーツ活動を支援します。また、矢吹町文化・スポーツ振興基金助成事業に該当しない東北大会以上の大会に出場する個人及び団体に対しては激励金を支給し、町民の文化・スポーツの振興と町民個々の技術力の向上及び広く人材の育成を図ることにより、町民の文化・スポーツの振興に寄与します。多くの町民に活用してもらえよう、広報誌等を利用し周知していきます。【基金助成の対象者】1矢吹町に住所を有し活動しているもの。ただし、個人にあたっては町外在住の矢吹町出身者を含みます。2団体等にあたっては次の要件を有するものとします。・一定の規約を有すること・代表者及び所在地が明らかであること・会計経理が明確であること・一定の活動実績があること、またその見込みがあること【文化事業活動】①成果発表事業、②出場出品事業、③文化財の保護事業、④国際文化事業、⑤民間文化施設の整備事業【スポーツ事業活動】①各種大会出場事業、②スポーツ振興事業、③スポーツ大会開催事業、④スポーツ選手強化事業、⑤スポーツ研修事業

実施方法・手段・スケジュール等

前期の実施状況(いつ・何をを行ったか)

前期

*文化・スポーツ振興基金助成事業①助成金交付申請書の受付(随時)②基金運営委員会の開催1回・2回(審査)③教育委員会の議決(交付決定)④助成金交付決定通知⑤助成事業実績報告書の提出、助成金交付請求書の提出⑥助成金の確定(確定通知)⑦助成金の交付*激励金支給事業①東北大会以上大会出場選手情報②激励会の開催、激励金の支給※随時、助成事業の内容や文化スポーツ分野で活躍している方々を広報誌やホームページ等で紹介します。

6月：広報とHPにて事業案内を行いました。

進行管理

後期

*文化・スポーツ振興基金助成事業①助成金交付申請書の受付(随時)②基金運営委員会の開催3回・4回(審査)③教育委員会の議決(交付決定)④助成金交付決定通知⑤助成事業実績報告書の提出、助成金交付請求書の提出⑥助成金の確定(確定通知)⑦助成金の交付*激励金支給事業①東北大会以上選手の情報②激励会の開催、激励金支給※随時、助成事業の内容や文化スポーツ分野で活躍している方々を広報誌やホームページ等で紹介します。

9/10スポ少県大会出場報告並びに激励会(以下激励会)、9/25光南高校東北大会出場激励会、10/25スポ少県大会出場激励会、10/19第1回基金運営委員会、10/29ALL矢吹スポ少優勝報告会、11/18光南高校全国大会出場激励会、11/26矢吹サッカー少県大会出場激励会、11/22光南高校受賞報告会、1/21光南高校全国ステージ出場激励会※随時、広報とHPにて紹介しました。

成果目標・数値目標等

文化・スポーツ振興基金助成事業及び激励金支給事業について、申請内容や手続き、激励会の開催等について、町広報誌、ホームページ等により事業のPR及び文化、スポーツ面で活躍している方々の紹介を行い、前年度より多い助成支援に努めます。また、各種大会等の情報収集を行い、大会出場前に助成金、激励金を支給する日程調整に努めます。

目標に対する前期までの成果

達成率(中間)

コロナウイルス感染症の影響により、文化・スポーツ各種大会等が中止になったため、申請数はありませんでした。

30%

目標管理

目標に対する最終成果

達成率(最終)

コロナウイルス感染症の影響により、文化・スポーツ各種大会等が中止になったため、申請数は例年に比べ、少ない報告となりましたが、基金や激励金についてホームページや広報等で報告をし、町民や光南高校の活躍を広く周知できました。

100%

残った課題・来年度の取り組み

高校生の中には、住所地は矢吹町のままで、町外・県外へ下宿しているため、激励会への出席が困難であることを理由に申請しないという件についての対応を検討します。

事業の概要・実施方針	<p>三十三観音史跡をはじめとする町指定文化財(16箇所)を将来に継承していくため、適正な管理、保護に努めるとともに、資料の整理及び充実化を図ります。文化財保護管理における環境整備に協力していただいている各地区の老人クラブ等との連携を強化し、文化財の保護管理に努めます。東日本大震災で被災した県指定史跡である鬼穴古墳の指定文化財保存活用事業(県補助)に取り組み、鬼穴古墳用地取得業務や鬼穴古墳周辺整備基本設計業務を実施するとともに、昨年度に発生した台風災害の影響によって実施できなかった鬼穴古墳石室災害復旧工事を実施します。</p>
------------	--

実施方法・手段・スケジュール等		前期の実施状況(いつ・何をを行ったか)
進行管理	<p>前期</p> <ul style="list-style-type: none"> ●4月～6月 <ul style="list-style-type: none"> (1) 第1回文化財保護審議会を開催 各種重点事業の説明 (2) 鬼穴古墳石室災害復旧工事着手準備【町単費】 (3) 鬼穴古墳の用地取得に向け協議再開(用地交渉) ●7月～9月 <ul style="list-style-type: none"> (1) 鬼穴古墳周辺整備基本設計業務着手準備【県補助】 (2) 鬼穴古墳登記測量業務委託着手準備【県補助】 	<ul style="list-style-type: none"> ●6月 鬼穴古墳石室災害復旧工事を発注 ●7月 県教育庁文化財課との鬼穴古墳保存活用協議を実施 ●8月 所有者との鬼穴古墳用地取得協議を実施
	<ul style="list-style-type: none"> ●10月～12月 <ul style="list-style-type: none"> (1) 各種重点事業の進捗管理 ●1月～3月 <ul style="list-style-type: none"> (1) 文化財防火デー期間中における町指定文化財等の巡回を実施 (2) 第2回文化財保護審議会を開催 各種重点事業の報告 	<ul style="list-style-type: none"> ●10月～12月 <ul style="list-style-type: none"> (1) 所有者との鬼穴古墳用地取得協議を実施継続 (2) 鬼穴古墳石室災害復旧工事が完了 ●1月～3月 <ul style="list-style-type: none"> (1) 文化財防火デーに伴うホームページでの広報活動を実施 (2) 鬼穴1号墳範囲確認調査報告書印刷製本業務委託を実施(3月末まで)
	後期	

目標管理	成果目標・数値目標等	
	文化財案内看板の修正や更新を実施し、文化財保護管理における環境整備に努めるとともに、文化財保護に携わる各関係者と連携し事業推進を図ります。また、各重点事業について適宜進捗管理を行いながら進めます。	
	目標に対する前期までの成果	達成率(中間)
	鬼穴古墳石室災害復旧工事を6月に発注し年内完成を予定しています。また、鬼穴古墳保存活用に向け県教育庁文化財課との協議及び所有者との用地取得協議を実施しました。	20%
	目標に対する最終成果	達成率(最終)
	1月下旬に文化財防火デー事業を実施し、新型コロナウイルスの影響に伴い、町ホームページにて広報活動を行いました。鬼穴古墳については、12月末に石室災害復旧工事が完了し、3月末に調査委報告書印刷製本業務が完了しました。なお、用地取得協議は所有者の同意を得ることができなかったため、県教育庁文化財課と協議を行ったうえ事業を取り下げました。	80%
	残った課題・来年度の取り組み	
	鬼穴古墳用地取得協議・鬼穴古墳周辺整備基本設計業務について継続して協議してまいります。また、文化財案内看板について更新してまいります。	

事業の概要・
実施方針

地域の人が創り出す文化・芸術に触れ、作品の楽しさを共有します。文化芸術団体等による演芸発表や作品展示を行います。

実施方法・手段・スケジュール等

前期

- ・5月 運営委員会(委嘱状交付)、ポスター募集
- ・6月 開催式アトラクション、ポスター決定
- ・7月 ポスター作成、参加団体募集
- ・8月 ポスター配布(広報活動)
- ・9月 広報活動・開催式準備

開催式：9月27日(日)文化センター

前期の実施状況(いつ・何をを行ったか)

- ・5月 運営委員会(委嘱状交付)、ポスター募集
- ・6月 ポスター決定、令和2年度の方向性を決定

進行管理

後期

- ・展示期間：9月27日(日)～11月27日(金)
- ・音楽祭：11月3日(火・祝)文化センター
- ・12月 活動内容の反省
- ・2月 次年度テーマ募集
- ・3月 次年度テーマ選定

- ・11月10日(火)運営委員会(令和3年度あゆり祭事業について)
- ・2月25日(木)運営委員会(令和3年度の「開催式」「唄・琴・舞・華の祭典」について、あゆり祭展示について)

成果目標・数値目標等

①あゆり祭のテーマやポスターを町内小中学生と光南高校生等に募集を行い、町民みんなでつくる意識や雰囲気醸成します。②展示期間を短期集中型とし、参観者増を図ります。③集客力を高めるための広報(新聞社やホームページ等)などを通して、新規参加者の呼びかけを積極的に行っていきます。

目標に対する前期までの成果

達成率(中間)

運営委員が主体となり、テーマ・ポスター用イラストの選定、開催式の内容決定を行いました。
なお、令和2年度の開催式と唄・琴・舞・華の祭典ならびに音楽祭と、あゆり祭展示については、6月19日に開催された第2回あゆり祭運営委員会において、運営委員会より今年度のあゆり祭は中止とし、テーマやポスターは来年度に使用する方向性とするとの決定がされました。

50%

目標管理

目標に対する最終成果

達成率(最終)

運営委員が主体となり、テーマ・ポスター用イラストの選定、開催式の内容決定を行いました。

100%

残った課題・来年度の取り組み

令和2年度のテーマやポスターについては、令和3年度に使用する方向性とするとの決定がなされました。
開催式・音楽祭をはじめとした主催事業につきましては、複合施設を会場として開催します。

事業の概要・実施方針	<p>令和元年度に引き続き、矢吹町歴史民俗資料収蔵庫(矢吹中学校旧D棟)施設改修を行い、段階的な環境整備に取り組みます。</p> <p>また、記録保存・情報発信の手法としてデジタルアーカイブを取り入れ、貴重な歴史民俗資料の電子化に取り組みます。</p>
------------	--

	実施方法・手段・スケジュール等	前期の実施状況(いつ・何をを行ったか)
進行管理	<p>前期</p> <ul style="list-style-type: none"> ●4月～6月 (1)第1回文化財保護審議会を開催 事業説明 ●7月～9月 (1)矢吹町歴史民俗資料収蔵庫改修工事(水道工事)着手準備 (2)矢吹町歴史資料電子化業務(デジタルアーカイブ)着手準備 	<ul style="list-style-type: none"> ●7月～9月 矢吹町歴史民俗資料収蔵庫改修工事(水道工事)の実施に向けて現地確認を実施。 デジタルアーカイブ事業の実施に向けて資料の見直しを実施。
	<ul style="list-style-type: none"> ●10月～12月 (1)各種重点事業の進捗管理 ●1月～3月 (1)第2回文化財保護審議会を開催 事業報告 <p>後期</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●1月～3月 (1)デジタルアーカイブシステム導入業務委託を実施。関係者と打合せ協議を行い、矢吹町史をはじめとするデジタルコンテンツ作成及び導入作業を開始(3月末まで) (2)矢吹町歴史資料電子化業務委託を実施。主に矢吹町史資料所在目録や矢吹町文化財調査報告書等20点の電子化を実施(3月末まで) (3)矢吹町歴史民俗資料収蔵庫改修工事(下水道接続工事)を3月に実施(3月末まで)

目標管理	成果目標・数値目標等	
	令和元年度に引き続き、矢吹町歴史民俗資料収蔵庫改修事業及びデジタルアーカイブ事業を推進し、文化財保護審議会において協議しながら各種事業に取り組みます。	
	目標に対する前期までの成果	達成率(中間)
	矢吹町歴史民俗資料収蔵庫改修工事(水道工事)及びデジタルアーカイブ事業を後期発注に向けて進めました。	20%
目標に対する最終成果	達成率(最終)	
デジタルアーカイブシステム導入にあたり初期運用に向けデジタルコンテンツ作成及び導入作業を実施しました。また、歴史資料等の電子化を段階的に実施しました。3月には矢吹町歴史民俗資料収蔵庫改修工事(下水道接続工事)を実施しました。	100%	
残った課題・来年度の取り組み		
<ul style="list-style-type: none"> ・来年度の取り組み(デジタルアーカイブ事業) 令和3年度においても段階的な歴史資料等の電子化を実施し、歴史資料等の保全を図るとともに記録保存した電子データの順次デジタルアーカイブシステムへの登録作業及び情報発信に努めます。 ・来年度の取り組み(矢吹町歴史民俗資料収蔵庫改修工事) 段階的な施設改修(上水道接続工事)を行い、環境整備に努めます。 		

事業の概要・
実施方針

横浜DeNAベイスターズ前監督の中畑清氏の協力を得て、県内全域のスポーツ少年団ソフトボールチーム及び県南地域の中学生女子ソフトボールチームが日頃の練習の成果を競い合い、友情の輪を広げ、地域住民とのふれあいを大切に、健康で明るい子どもたちの健全育成に寄与することを目的として大会を実施します。

実施方法・手段・スケジュール等

前期の実施状況(いつ・何をを行ったか)

前期

- ・ 4月 役員会開催（第37回大会中止決定）
- ・ 4月 負担金申請

4月9日 役員会
4月16日 負担金申請

進行管理

後期

- ・ 12月 役員打合せ会及び実行委員会総会
- ・ 1月 次年度大会申込開始
- ・ 3月 組合せ抽選会

1月15日 役員会
2月8日 役員会
2月25日 実行委員会総会
2月26日 参加募集開始
3月15日 組合せ抽選会

成果目標・数値目標等

今年度については、熱中症対策として5月開催としましたが新型コロナウイルス感染症の影響により大会の中止が決定しました。次年度についても5月開催に向け昨年度の反省を生かし、事前準備を万全に行い盛大な大会を開催します。前大会と同規模（スポ少96チーム・3ブロック、中学生女子10チーム・1ブロック）で開催するため、課題となっている審判員の確保、大会会場周辺の交通整理について、ソフトボール協会及び参加するスポーツ少年団等と連携、協力しながら解決を図ります。

目標に対する前期までの成果

達成率(中間)

4月に役員会を開催し、今年度の大会は新型コロナウイルス感染症の感染リスクを勘案し中止が決定したため、申込者及び関係者に中止の連絡と参加費の返還を行いました。

50%

目標管理

目標に対する最終成果

達成率(最終)

1月、2月に役員会を開催し新型コロナウイルスの影響を考慮し、募集範囲を県南地域として第38回大会開催することを決定しました。参加チームはスポーツ少年団21チーム、中学女子11チームとなりました。

100%

残った課題・来年度の取り組み

来年度はコロナ禍での初の5月開催となります。なお、矢吹中学校ソフトボール部の廃部に伴い、来年度以降、中学女子の部について検討を行います。

事業の概要・
実施方針

子どもから高齢者まで、誰もが、いつでも・どこでも・いつまでも気軽にスポーツ活動や文化活動に親しめる事業支援及び、学校とのスポーツの連携について検討します。
また、引き続きスポーツ振興くじ助成金（toto）の申請を行い、財源確保に努めます。

実施方法・手段・スケジュール等

前期の実施状況(いつ・何をを行ったか)

前期

- ・4月 R1年度実績報告書作成提出
- ・7月 実施状況報告書作成提出
- ・随時
町民への周知・会員加入促進支援、教室・イベント等の開催の運営支援

5月26日 総会
6月1日 R1年度実績報告
8月6日 第1四半期状況報告

進行管理

後期

- ・10、12月 実施状況報告書作成提出
- ・12月 次年度補助金交付申請書作成提出
- ・随時
町民への周知・会員加入促進支援、教室・イベント等の開催の運営支援

10月、12月 実施状況報告提出
12月 次年度補助金交付申請

成果目標・数値目標等

子どもから高齢者、初心者からレベルの高い競技者まで、年齢や性別に関係なくそれぞれのニーズに合わせた、魅力ある教室やイベントを開催できるよう、矢吹スポーツクラブと協議・検討を行いながら事業展開について支援を図り、昨年度の課題として残る若年層の会員数の増加を目指します。

目標に対する前期までの成果

達成率(中間)

年間事業計画に基づき、スポーツ振興くじの状況報告及び定例のスポーツ教室を実施しました。7月に実施予定の野球教室は新型コロナウイルス感染症の影響により中止となりました。

50%

目標管理

目標に対する最終成果

達成率(最終)

新型コロナウイルスの影響により前年度に比べ活動回数は減少しました。会員数も令和元年度191名に対し令和2年度は146名と減少しました。

100%

残った課題・来年度の取り組み

新型コロナウイルス感染症の対策をしっかりと行い安全に活動出来ることをSNS等で発信し、会員数増に努めます。また、新しい教室やイベントを開催することができないか理事会等で話し合い、新たな事業展開に向け検討をしていきます。また、令和4年度で、スポーツ振興くじの助成対象期間が終了するため、新たな財源確保のため、会員数増への取り組みに向け情報収集を実施します。

事業の概要・実施方針

体育協会の組織強化へ向けた支援を行い協会の自主運営を促すとともに、県民スポーツ県南地域大会への参加を支援します。（壮年ソフトボール・ソフトテニス・バドミントン・家庭バレーボール・卓球）
さわやか健康マラソン大会をはじめとする各種町民体育祭を開催し、町民がスポーツを楽しむ機会を作り、各種競技力の強化を図るとともにスポーツ人口の拡大を促進します。

実施方法・手段・スケジュール等

前期の実施状況(いつ・何をを行ったか)

前期

- ・4月 体育協会書面総会
- ・5月 補助金申請
- ・6月～9月 常任理事会
- ・8月 県民スポーツ大会への参加
- ・随時 町民への周知・会員加入促進支援、教室・イベント等の開催の運営支援

4月 書面総会
5月 補助金申請
6月25日 役員会

進行管理

後期

- ・随時 役員会及び常任理事会
- ・10月 さわやか健康マラソン大会 開催
- ・12月12日 体育協会納会の開催
- ・3月 役員会(次年度事業計画協議)

10月 町民体育祭参加募集チラシ配布
9月～11月 町民体育祭実施
3月 補助金精算事務

成果目標・数値目標等

前年度の課題として残る町民体育祭の参加者数の減少及びさわやか健康マラソン大会の運営面の簡略化については、新たな情報発信ツールであるInstagramによる情報の発信や、マラソン大会運営の専門業者との業務委託を行うことで、参加しやすい大会、運営し易い大会となるように改善を図っていきます。（R1申込者587名、R2目標700名）

目標に対する前期までの成果

達成率(中間)

町民体育祭については、一大イベントであるさわやか健康マラソン大会が、新型コロナウイルス感染症の影響により中止となりました。他の大会においては新たに1つの競技を追加したが、4つの大会が中止となりました。

50%

目標管理

目標に対する最終成果

達成率(最終)

新型コロナウイルス感染症の影響によりさわやか健康マラソン大会及び令和2年度納会・表彰式は中止となりました。町民体育祭でも一部感染拡大防止のため中止となった大会もありましたが、9月から11月にかけて7つの大会を開催し約330名の方の参加をいただきました。

100%

残った課題・来年度の取り組み

次年度についても新型コロナウイルスの影響は少なからずあると思われるので、ガイドラインの作成等を行いながら安全に活動できるような取り組みを役員会で決定し、今年度中止になったさわやか健康マラソン大会を含め、町民体育祭、三鷹市交流会等を実施していきます。また、さわやか健康マラソン大会の運営面の簡略化・効率化について専門業者と意見交換を行いながら進めていきます。

事業の概要・
実施方針

スポーツによる青少年の健全育成と青少年スポーツの振興のため、町内各スポーツ少年団の代表者等で矢吹町スポーツ少年団本部を組織し、各団の活動支援と育成を図ります。

本部事業として、理事会、「結団式」「福島県荒川博杯ティーボール大会」「春蘭杯」「卒団式」等を開催します。また、チラシの印刷・配布など各団の団員確保支援を積極的に取り組んでいきます。

実施方法・手段・スケジュール等

前期の実施状況(いつ・何をを行ったか)

前期

- ・4/3「第1回理事会」R1事業報告・決算報告、R2事業計画・予算(案)、結団式について
- ・4/18「令和2年度矢吹町スポーツ少年団結団式」新型コロナウイルス感染症により中止
- ・5月中旬「県スポーツ少年団第1回評議委員会」「県スポーツ少年団県南支部委員会」
- ・5/30「第11回福島県荒川博杯ティーボール大会」延期
- ・9月「スタートコーチ(スポーツ少年団)育成講習会」

- ・4/3「第1回役員会」R1事業報告・決算報告、R2事業計画・予算(案)、結団式について
- ・4/18「令和2年度矢吹町スポーツ少年団結団式」中止
- ・5月中旬「県スポーツ少年団第1回評議委員会(書面開催)」
- ・6/25「県スポーツ少年団県南支部委員会」
- ・5/30「第11回福島県荒川博杯ティーボール大会」中止
- ・9月「スタートコーチ(スポーツ少年団)育成講習会」中止
- ・9/30「第2回理事会」

進行管理

後期

- ・10月「スタートコーチ(スポーツ少年団)育成講習会」
- ・11～12月頃「第8回春蘭杯」
- ・1月中旬～下旬「第2回理事会」卒団式開催・結団式について
- ・2月下旬「第3回理事会」卒団式開催・結団式について、R3事業計画(案)について、「県スポーツ少年団第2回評議委員会」
- ・2月下旬～3月上旬「令和2年度矢吹町スポーツ少年団卒団式」

10/17三神スポ少主催「募集チラシ配布・体験会」、12/6「第8回春蘭杯」三神スポ少準優勝、1/13「第3回理事会」卒団式・結団式について、2/17「第4回理事会」R3事業計画・卒団式・結団式について、3/6「令和2年度卒団式」中止

成果目標・数値目標等

- ・昨年度まで実施したスポーツ少年団祭りの開催に代わり、各団に勧誘会助成を贈呈し、募集チラシ作成や活動内容の周知について支援し、団員増に努めます。
- ・指導者の認定資格取得講習会について、各団に案内を行い、資格指導者の増に努めます。
- ・スポーツ少年団の長期的・継続的な活動ができるような体制・支援について検討します。

目標に対する前期までの成果

達成率(中間)

・新型コロナウイルス感染症の影響により、各団で募集チラシを作成したり、勧誘会を開催することはなかったが、本部としては、HPを更新したり、随時情報提供を各団に行いました。

・今年度の指導者資格講習会は中止となりましたが、昨年度と同様登録をいただいておりますので、指導者登録者数について横ばいです。

40%

目標管理

目標に対する最終成果

達成率(最終)

・単位団主催の勧誘会に対し、募集チラシの学校配布や、ホームページでの案内等、広報活動の支援を行いました。・県の補助支援により、感染症予防対策のためのアルコール消毒液、3密防止の用具類を支給しました。・感染症対策を講じた「春蘭杯」を実施し、単位団が主体的な活発な大会を行いました。・新規加入者増のため団紹介チラシを作成し、学校へ配布しました。

100%

残った課題・来年度の取り組み

今年からすべての競技で、町の中で単位団は1つずつとなったため、チームとしてのレベルアップはしましたが、団員数の減少が続いています。(低学年の減少が顕著です。)

少子化による児童数の減少が影響していると考えられますが、保護者及び指導者の負担が大きいことも原因になっています。

今後は、活動環境の充実を図り、指導者育成(金銭面の補助)により一層注力し、また、引き続きスポ少の活動をPRする広報活動を積極的に行います。(SNSの活用など)

事業の概要・
実施方針

スポーツの町『やぶき』の代表としてふるさとおこしに寄与し、町民の皆さんに元気を与える活躍ができる支援を行います。

- ・市町村対抗ゴルフ大会
- ・市町村対抗軟式野球大会
- ・市町村対抗ソフトボール大会
- ・ふくしま駅伝競走大会

実施方法・手段・スケジュール等

前期の実施状況(いつ・何をを行ったか)

前期

5月～11月 各チーム打合せ会
8月～11月 各チーム結団式
9月中旬 市町村対抗ゴルフ大会
9月中旬 市町村対抗軟式野球大会

- 6月17日(水)軟式野球打合せ
- 6月22日(土)ソフト打合せ
- 6月29日(月)駅伝第1回打合せ
- 7月20日(月)駅伝第2回打合せ
- 8月22日(土)軟式野球結団式
- 9月6日(日)軟式野球1回戦
対下郷町
- 9月9日(水)駅伝第3回打合せ
- 9月12日(土)ソフト結団式
- 9月20日(日)軟式野球2回戦
対大熊町
- 9月26日(土)軟式野球3回戦
対いわき市

後期

10月 市町村対抗ソフトボール大会
11月中旬 ふくしま駅伝競走大会

- 10月18日(日)ソフト2回戦
対郡山市
- 10月30日(金)駅伝結団式
- 11月 4日(水)駅伝激励会
- 11月 9日(月)軟式野球結果報告会
- 11月15日(水)ふくしま駅伝・解団式
- 11月18日(水)ソフト結果報告会

進行管理

成果目標・数値目標等

- ・市町村対抗ゴルフ大会 入賞(総合13位)
- ・市町村対抗軟式野球大会 優勝(3回戦敗退)
- ・市町村対抗ソフトボール大会 ベスト8進出(前回中止)
- ・ふくしま駅伝競走大会 町の部優勝(前回総合第10位、町の部第3位)

目標に対する前期までの成果

達成率(中間)

- ・市町村対抗ゴルフ大会中止
- ・市町村軟式野球3回戦敗退

50%

目標に対する最終成果

達成率(最終)

- ・ふくしま駅伝 総合8位 町の部2位
- ・軟式野球 3回戦敗退
- ・ソフトボール 2回戦敗退
- ・ゴルフ 中止

100%

目標管理

残った課題・来年度の取り組み

選手の技術向上やモチベーションの維持について、各チームを支援します。

事業の概要・ 実施方針	<p>青森県十和田市、宮崎県川南町との日本三大開拓を縁とした平成14年の共同宣言を踏まえ、子ども交流事業を3市町持ち回りで開催し、未来を担う子ども達に開拓の精神文化を広めます。</p> <p>場所：矢吹町</p> <p>日時：夏休み期間中（3泊4日）</p> <p>矢吹町・川南町・十和田市の小学生各20名を対象に、開拓地学習会や子ども交流会を実施します。</p>
----------------	--

実施方法・手段・スケジュール等		前期の実施状況(いつ・何をを行ったか)
進行管理	<p>前期</p> <ul style="list-style-type: none"> ・4月 交流担当者の報告 ・5月 実施要項作成・2市町に参加依頼・児童募集 ・7月 事業実施 ・8-9月 参加児童文集作成・送付 	<p>新型コロナウイルス感染対策のため、今年度の開催を中止し、次年度に延期します。</p>
	<p>後期</p> <ul style="list-style-type: none"> 8/3～6 開催地矢吹町 8/3 歓迎会 十和田市、川南町 (ホテルニュー日活宿泊) 8/4 開会式 矢吹町合流 羽鳥湖取水口見学 (ホテルニュー日活宿泊) 8/5 野口記念館見学 猪苗代湖 すいか割り (磐梯青年自然の家宿泊) 8/6 プレゼント交換 開会式 	<p>次年度矢吹町での開催に向けて準備を進めました。</p>

目標管理	成果目標・数値目標等	
	<p>友好都市や交流事業を広く町民へ周知し、町民の友好市町に対する理解や認識を深めます。</p> <p>開拓の歴史について紹介する活動や、各地域での体験活動を通じて、交流市町の友好推進を図ります。</p> <p>※今年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため開催を見送ります。</p>	
	目標に対する前期までの成果	達成率(中間)
	<p>新型コロナウイルス感染対策のため、交流市町と連絡をとり、今年度の開催を延期しました。</p>	50%
	目標に対する最終成果	達成率(最終)
	<p>次年度矢吹町での開催に向けて準備を進めました。</p>	100%
	残った課題・来年度の取り組み	
	<p>感染症対策に取り組み、本町での実施に向けて準備を進めます。</p>	

事業の概要・
実施方針

矢吹町と三鷹市の子どもたちが、共同作業や集団活動を体験することで、仲間作り・自然への気づき・新たな自分の発見などを学び、交流を通して矢吹町・三鷹市双方の地域活動やリーダー活動が活性化されることを目的に、姉妹都市である三鷹市との交流事業を実施します。三鷹市、矢吹町、矢吹町教育委員会、矢吹町子ども会育成会連絡協議会が主催となり子ども交流を深めます。
三鷹市民駅伝大会は三鷹市、三鷹市教育委員会、三鷹体育協会主催により開催され、各部門に矢吹町チームが毎年招待を受け、スポーツを通じた三鷹市並びに三鷹市民との交流の絆が深められています。

実施方法・手段・スケジュール等

前期の実施状況(いつ・何を行ったか)

前期

【子ども交流会】
8月18日～19日 子ども交流会
※新型コロナウイルス感染防止のため開催中止
【三鷹市民駅伝大会】
8月 選手選考
9月 申込み

【子ども交流会】
新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止
【三鷹市民駅伝大会】
新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止

進行管理

後期

【三鷹市民駅伝大会】
11月 三鷹市民駅伝大会参加

【子ども交流会】
次年度開催に向け協議
【三鷹市民駅伝大会】
新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止

成果目標・数値目標等

【子ども交流会】
新型コロナウイルス感染防止のため開催中止とし、次年度の開催へ向けて準備を進めていきます。
【三鷹市民駅伝大会】
招待を受けた一般男女・中学男女の部において上位入賞を目指すとともに、スポーツを通して三鷹市並びに三鷹市民との交流が図られるようサポートに努めます。

目標に対する前期までの成果

達成率(中間)

【子ども交流会】
新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止となりました。次年度は引き続き三鷹市での開催の予定です。
【三鷹市民駅伝】
三鷹市の担当者と連絡調整を行いました。

50%

目標管理

目標に対する最終成果

達成率(最終)

【子ども交流会】
次年度開催に向け三鷹市と協議を実施しました。
【三鷹市民駅伝】
新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止

100%

残った課題・来年度の取り組み

【子ども交流会】
次年度の開催へ向け引き続き協議を続けていきます。
【三鷹市民駅伝】
次年度、総合優勝を目指し練習に励みます。

事業の概要・
実施方針

高齢者が社会活動に積極的に取り組み、活力ある日常を過ごせるよう、趣味・教養・レクリエーション等に関する学習機会を提供し、現代生活に適応した高齢者の生きがいがづくりになる事業として、「高齢者学級 ことぶき大学」を実施します。

また、高齢者の生きがいがづくりの一環として、高齢者の持つ経験や知恵・技を失われつつある伝統行事や昔あそび(おはじき・お手玉・折り紙・コマまわし・だるま落とし)などの伝承を通じて子どもたちとの交流会を実施します。

実施方法・手段・スケジュール等

前期

【ことぶき大学】
・4月22日開講式 中止
・5月20日本講座 中止
・6月16日本講座 中止
・7月21日本講座
・8月18日納涼演芸発表会
・9月15日本講座
月1・2回の分科部の活動(各13分科部)
【伝承遊び交流会】小学校・児童クラブまたは公民館事業を連携し、年3回程実施する予定

前期の実施状況(いつ・何をを行ったか)

【ことぶき大学】
・4月22日開講式 中止
・5月～9日本講座 中止
・毎月、ことぶき大学学級委員長ならびに分科部講師による活動内容と複合施設への期待感をまとめた「ことぶき通信」を発行
月1回程度の学級委員会ならびに合同役員会議
・月1・2回の分科部の活動(各13分科部)

進行管理

後期

【ことぶき大学】
・10月ことぶき展
・10月20日(火)本講座
・11月17日(火)本講座
・12月15日(火)本講座
・1月19日(火)本講座
・2月16日(火)本講座
・3月下旬閉講式
月1・2回の分科部の活動(各13分科部)

【ことぶき大学】
・10月20日(火)「KOKOTTO見学会」(KOKOTTO)
・11月17日(火)「福島の民話」(文化センター)
・12月15日(火)「楽しく健活セミナー」実施(KOKOTTO)
・1月・2日本講座 中止
・3月16日(火)閉講式(KOKOTTO)
【伝承遊び交流会】
・11月2日昔あそび教室(矢吹小学校)

成果目標・数値目標等

【ことぶき大学】
町内在住の50歳以上の方を対象に、趣味・教養・レクリエーション等の活動を通して、生きがいが作りの場を提供します。
毎月1回の本講座と月1回から2回の分科部活動や館外研修などを通して、健康の増進や知識を深めることに教養の向上を図ります。
【伝承遊び交流会】
高齢者が小学生や園児とのふれあいを通じて、経験や知恵、技が役立ち喜ばれることで生きがいがづくりに図ります。

目標に対する前期までの成果

達成率(中間)

【ことぶき大学】4月22日に行われる開講式ならびに本講座は新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止となりました。その後、臨時の学級委員会や合同役員会議を実施し、コロナ禍での本講座・分科部活動の開催について協議をしました。13分科部については、6月より段階的に実施、学級生には毎月、学級委員長の言葉や分科部講師による複合施設への期待感をまとめた「ことぶき通信」の発行をしました。

50%

目標管理

目標に対する最終成果

達成率(最終)

【ことぶき大学】
新型コロナウイルス感染拡大防止のため、文化センターでの実施や、午前と午後の2回に分ける等、学級生の安全のための工夫をしました。
【伝承遊び交流会】
矢吹小学校の1年生を対象に、お手玉やおはじきなどの昔あそび教室を実施しました。

100%

残った課題・来年度の取り組み

【ことぶき大学】
学級生数は、年度途中での新規入講生もあり、微増傾向にありました。
次年度に向けて、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、本講座を2回に分ける等、学級生が安全に活動できるように努めます。

事業の概要・
実施方針

中学校2年生を対象に海外の人々との触れ合いや日本とは異なる文化の体験を通じて、国際的視野を持った心豊かな人材を育成するため、海外派遣事業を実施します。

ALT（英語助手）による英語の学習をはじめ、これまで学んできた英語を実践で活かせるよう、中学校2年生での海外派遣事業に系統的につなげる取り組みを実施します。

実施方法・手段・スケジュール等

前期

- ・4～5月 内容決定、中学校との協議※派遣先：オーストラリア、ケアンズ 期間：12/25～31 5泊7日（予定）
- ※派遣人数：32名（男女16名）
- ※派遣者研修会：事前8回（内5回英語研修含む）事後研修3回
- ・5月 募集チラシ配付・業者決定
- ・6月 応募説明会：中学校において1回
- ・7月末 団員決定
- ・9月 結団式

前期の実施状況（いつ・何をを行ったか）

新型コロナウイルス感染拡大により、海外の人々との交流や異文化体験を実施することは困難であるため、中止しました。

進行管理

後期

- ・9月～12月 ALTによる英会話研修
- ・1月下旬 解団式（文化センター小ホール18:30～20:00）
- ・2月 報告書作成・配布

新型コロナウイルス感染拡大により、海外の人々との交流や異文化体験を実施することは困難であるため、中止しました。

成果目標・数値目標等

より多くの生徒が参加する機会を得られるよう説明会を実施し、定員32名の派遣団員を確保します。

子どもたちの安全を確保した上で研修内容を十分に検討し、実りある研修となるよう努めます。

現地では有意義な体験・コミュニケーションが行えるよう、英会話やオーストラリアの文化について学ぶ事前研修を行い、また、事後研修を行い、解団式において研修の成果を発表します。

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため今年度は中止します。

目標に対する前期までの成果

達成率(中間)

開催中止としたため、関係機関に連絡調整を行いました。

50%

目標管理

目標に対する最終成果

達成率(最終)

開催中止としたため、関係機関に連絡調整を行いました。

100%

残った課題・来年度の取り組み

次年度は事業廃止となります。

事業の概要・実施方針	<p>各学校からの提案をもとに、学校やスポーツ、文化等の活動に対する助成を行い、地域の特性を生かした各学校の特色ある教育の推進に努めます。</p> <p>夏期講習会後に町内4小学校の6年生を対象に英語交流会を実施し、各小学校児童の交流、英語学習への意欲向上、コミュニケーション能力育成に努めます。</p>
------------	--

実施方法・手段・スケジュール等		前期の実施状況(いつ・何をを行ったか)
進行管理	<p>前期</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各校特色ある子ども教育推進事業計画書提出・検討 ・7月 小学校6年生を対象に英語交流会実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・5月～7月 全ての小中学校より事業計画書の提出を受け、交付金を交付しました。 ・小学校6年生を対象とした英語交流会は中止しました。
	<p>後期</p> <ul style="list-style-type: none"> ・前期活動の継続 ・3月 各校特色ある子ども教育推進事業実績報告 	<ul style="list-style-type: none"> ・2～3月 各校から実績報告を受け、成果を確認し、精算します。

目標管理	成果目標・数値目標等	
	<p>交付金助成事業は、各小中学校の事業内容について、申請前に協議を図り、事業実施後に事業効果について検証します。</p>	
	目標に対する前期までの成果	達成率(中間)
	<p>全ての小中学校で交付金を受け、それぞれ特色ある教育を実施しています。</p> <p>(主な事業内容) 矢吹小：大堀相馬焼の体験活動 善郷小：味噌づくり体験 中畑小：体力向上、俳句、語り部授業 三神小：タブレット用アプリ導入 矢吹中：プロジェクター導入</p>	50%
目標に対する最終成果	達成率(最終)	
<p>各小中学校で、体力向上や読書推進、地域交流等それぞれ特色ある教育を行いました。</p> <p>矢吹中：プロジェクター導入、部活動外部講師要請 矢吹小：大堀相馬焼きの体験活動 善郷小：大豆栽培から味噌づくり体験 中畑小：体力向上、表現力向上 三神小：ICT環境整備</p>	100%	
残った課題・来年度の取り組み		
<p>次年度は事業廃止となります。小学6年生の英語交流会は学力向上対策事業で継続します。</p>		

事業の概要・ 実施方針	<p>各小学校の6年生を対象に、議会活動の広報広聴をはじめ、総合的な学習時間として議場を利用した模擬議会を開催します。</p> <p>各学校には、代表議員の選出、一般質問の作成、報告書の作成、リハーサル等の参加など協力依頼し実施します。</p>
----------------	--

実施方法・手段・スケジュール等		前期の実施状況(いつ・何をを行ったか)
進行管理	<p>前期</p> <ul style="list-style-type: none"> ・6月 開催に伴い関係機関と連絡調整、実施要項の決定 ・7～8月 議会事務局と協議、要項にもとづく準備 ・9月 一般質問提出 	<p>臨時休校の影響により、授業時数を確保するため学校行事を精査し、今年度の開催を中止しました。</p>
	<p>後期</p> <ul style="list-style-type: none"> ・9月 リハーサル ・10月 議会開催 ・11月～12月上旬 報告書作成 ・12月中旬 報告書配付 	<p>次年度の開催に向け、日程調整を進めました。</p>

目標管理	成果目標・数値目標等	
	子ども議員としての活動を通じて、行政や町議会の仕組みを学び、身近な問題から自分たちが暮らす地域や将来のまちづくり等幅広い諸問題について、地域社会の一員として参画しようとする意識の醸成を目指します。	
	目標に対する前期までの成果	達成率(中間)
	開催中止としたため、関係機関に連絡調整を行いました。	50%
	目標に対する最終成果	達成率(最終)
	次年度の実施に向け、調整を進めました。	100%
	残った課題・来年度の取り組み	
	感染症対策を踏まえた子ども議会の開催に向けて、関係機関との調整と実施方法を検討します。	

事業の概要・
実施方針

学力向上推進会議により幼稚園・保育園・小学校・中学校及び光南高校との連携をもとに学力向上を図ります。
各学校とも子どもの心の安定を図るとともに、より分かる授業の展開等に資するため授業改善に努めます。
指導主事は学校等との連携を強化し、共通理解のもと職員の意識改革と指導力向上等が図れるよう教育現場の支援を推進します。

実施方法・手段・スケジュール等

前期

4月 学力向上推進会議で方針決定
・学校訪問（各校年間2回以上）
・学力向上推進会議（年2回）
・学力向上授業交流会（年2回）
・つなぐ教育推進部会（年3回）
・子ども読書活動推進委員会（年3回）
・7月小学6年生夏期講習会
・学級集団づくりhyper-QU（意欲や満足感を高めるためのツール）の実施（小中全学年）

前期の実施状況（いつ・何をを行ったか）

4月 学力向上推進会議（書面開催）で方針の決定
5月 第1回つなぐ教育部会（書面開催）
8月 第2回つなぐ教育部会
随時：学校訪問（各校1回）

進行管理

後期

前期継続
・つなぐ教育推進事業実施

9月 計画訪問（善郷小）
11月 学力向上授業交流会
12月 光南高校課題研究報告会
1月 第3回つなぐ教育部会
2月 第2回学力向上推進会議
随時：学校訪問（各校1回）

成果目標・数値目標等

基礎的・基本的な学習内容の習得と思考力・判断力・表現力等の活用力の育成に努め、確かな学力が身につく授業の充実を図ります。
事前指導、結果分析と対策を踏まえた事後指導、家庭学習の習慣化を図り、各種テストにおいて各自の実力が十分に発揮できるように努めます。特に算数・数学の学力向上を図ります。
つなぐ教育の取組みに力を入れて、矢吹の教育を考える会と連携した4つの提言について認識を高めるための啓発に力を入れて、家庭学習の習慣、望ましい生活習慣（メディアコントロール）読書習慣の確立を目指します。

目標に対する前期までの成果

達成率(中間)

今年度は新型コロナウイルス感染症の影響から、全国学力・学習状況調査が中止され、客観的なデータがない中での取り組みとなっておりますが、各校臨時休業による授業の遅れの解消と授業改善を図り、児童生徒の学力向上に努めています。つなぐ教育部会での情報共有と指導方針の見直しや矢吹の教育を考える会の取り組みにより、学校と家庭の接続やメディアコントロールの向上を図ることができました。

45%

目標管理

目標に対する最終成果

達成率(最終)

新型コロナウイルス感染症防止のための臨時休校の遅れを取り戻し、今年度の教育課程をおおむね実施することができました。
授業時数の関係から補充・深化の時間を十分に取ることが難しい中、標準学力調査の結果を見ると小学校で全国平均と同程度の学力を身に付けることができました。一方、中学校では数学において全国平均を下回りましたが、それ以外の教科では全国平均と同程度の学力を身に付けることができました。

90%

残った課題・来年度の取り組み

感染症対策により、ペアやグループでの活動が制限され、言語活動の充実や表現力の育成に課題が残りました。また、研修会をオンラインで実施するなど、工夫しながら教員の指導力の育成を進めましたが、研修会そのものを中止せざるを得ない状況もあり、十分な研修を実施することができませんでした。来年度も感染症の状況が劇的に好転することは見込めませんので、感染症対策の中、工夫して教師の指導力向上に向けた授業改善等、研修の充実に取り組みます。

事業の概要・
実施方針

平成31年4月から学校運営協議会を、すべての町立幼小中学校（9校園）に設置し、コミュニティ・スクール事業を展開しました。地域とともにある学校として、子どもたちのために地域住民と教員とが共によりよい学校づくりに取り組めます。

また、学校、家庭、地域の適切な役割分担を図り、学校を応援する体制づくりを明確化することによって、教職員が子どもたちと向き合う時間の確保につなげます。

進行管理

実施方法・手段・スケジュール等		前期の実施状況(いつ・何をを行ったか)
前期	6～9月 第1回学校運営協議全体会を開催 7～9月小学校区部会開催（1回） 7～9月中学校区部会開催（1回）	7月 学校（園）だより送付（学校評価資料）
後期	11月 第2回学校運営協議会全体会開催 2月 第3回学校運営協議会全体会開催 10～1月 小学校区部会開催（2.3.4回） 10～1月中学校区部会開催（2.3.4回）	10月14日 第1回全体会開催（書面開催） 2月 第2回全体会開催（書面開催）

成果目標・数値目標等

学校運営協議会を9校園に設置し、地域と学校が一体となって「地域とともにある学校」の実現に向けて、学校運営協議会の運営が軌道に乗るよう取り組みます。今年度はコミュニティ・スクール設置2年目となることから、地域住民・家庭への広報に努めるとともに、さらには地域学校協働本部と連携した運営を検討します。

目標に対する前期までの成果

達成率(中間)

新型コロナウイルス感染症予防のため、前期に計画をしていた全体会・部会の開催を見送ることとしました。その間の学校の運営状況等をお知らせするため、協議会委員に対して学校園だより等を送付し、学校評価につながる情報提供を実施しました。

50%

目標管理

目標に対する最終成果

達成率(最終)

新型コロナウイルス感染症予防のため、当初計画していた全体会を3回から2回に減らし、かつ書面で開催を行いました。また、各部会については5～6回を予定していましたが今年度に関しては開催を見送りました。会議については対面開催ができませんでしたが、書面により学校評価や学校運営の基本方針承認等の実施を行いました。

100%

残った課題・来年度の取り組み

新型コロナウイルス感染症予防対策を講じた上で、早期に対面での会議開催をできるよう取り組みを進めます。地域学校協働本部事業との連携も見据え、学校運営協議会により良い運営のための見直しも検討します。

事業の概要・
実施方針

悩みやストレスを抱える子どもたち、また知的・情緒的な障害を抱える子どもたちを支援するため、幼稚園・保育園・小学校・中学校へスクールカウンセラーを派遣し、心の内面からアプローチし心の安定を図ります。

いじめ、不登校、虐待など子どもたちを取り巻く諸問題に対し、スクールソーシャルワーカーを派遣することで、学校と家庭、行政を繋ぎ、子ども達と保護者の支援を図ります。

園及び学校生活で支援を必要とする園児、児童、生徒に、特別支援員を配置し、落ち着いた学習に取り組める教育環境を提供します。

保健師、スクールカウンセラー・スクールソーシャルワーカー、園、学校が連携し0歳から義務教育終了まで、支援を要する子どもたちを継続的にサポートできる体制づくりに努めます。

実施方法・手段・スケジュール等

前期

・4月～ 幼稚園、保育園、小学校・中学校へスクールカウンセラー（SC）、スクールソーシャルワーカー（SSW）を配置します。

・5月 児童生徒サポート連絡協議会

・スクールカウンセラー・スクールソーシャルワーカー研修会（年5回）

前期の実施状況（いつ・何をを行ったか）

5月 児童生徒サポート連絡協議会（中止）

4月～9月 スクールカウンセラー（SC）、スクールソーシャルワーカー（SSW）の配置

進行管理

後期

・前期継続

・2月 児童生徒サポート連絡協議会

・前期継続

・2月16日 第2回児童生徒サポート連絡協議会を书面開催

成果目標・数値目標等

スクールカウンセラーのカウンセリング（相談）、コンサルテーション（教職員との事後協議）等の機能を活かし、子ども、保護者の心の安定を図り、安定した園、学校生活を送れるよう支援します。

家庭環境のより良い改善のため、スクールソーシャルワーカーと町要保護児童対策協議会の機能を活かしながら生活環境改善を図ります。

目標に対する前期までの成果

子ども、保護者の心の安定を図り、安定した園、学校生活を送れるよう、学校、園、スクールカウンセラー（SC）、スクールソーシャルワーカー（SSW）との間に入り、調整する支援を行いました。

小中学校SC相談受付件数：363件（児童生徒：173件、保護者：51件、教師139件）

達成率(中間)

50%

目標管理

目標に対する最終成果

スクールカウンセラーを各小中学校に配置し、すぐに相談できる体制整備を図り、児童生徒・保護者・教員の心の安定につながる支援を行いました。

また、スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーが参加する研修会を年3回開催し専門性を高めるとともに、連携を図りました。児童生徒サポート連絡協議会を书面開催し、学校との連携強化に努めました。

達成率(最終)

90%

残った課題・来年度の取り組み

今年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため東京からのカウンセラーの訪問回数が少なくなってしまいました。引き続き感染症対策を徹底しながら、遠隔でのカウンセリングの可能性について検討します。

事業の概要・実施方針	<p>子どもたちの安心・安全な生活を確保するため地域住民協力のもと、各小学校学区ごとに「子ども見守り隊」の組織の充実を図ります。</p> <p>矢吹町安心安全ネットワークにおけるメール配信システムを活かし、不審者情報、台風情報など、子どもたちの安全を脅かす情報について、教育振興課より登録者に配信し、安全な環境整備に努めます。</p> <p>学校給食食材検査を町放射能測定センターで毎日給食食材検査を行い、県による月1回のモニタリング検査を実施し、子どもたちへ安全安心な給食を提供します。</p>
------------	--

実施方法・手段・スケジュール等		前期の実施状況(いつ・何を行ったか)
進行管理	<p>前期</p> <ul style="list-style-type: none"> ・4月より子ども安心安全ネットワークの登録開始 (事前に保護者へプリント配布) ・4~6月 子ども見守り隊と児童との対面式を各小学校で実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・4月 子ども安心安全ネットワークの登録開始 ・5月 第1回通学路安全推進会議開催(紙面開催) ・6月~7月 各学校においてPTAと連携して通学路の安全点検実施 ・7月 第2回通学路安全推進会議開催(現地確認) ・随時 子ども安心安全ネットワークによる不審者情報の発進(16件発信のうち町内1件)
	<p>後期</p> <ul style="list-style-type: none"> 随時 ・安心安全ネットワークの運用、交通安全週間にあわせ、街頭指導を実施 ・学校給食食材検査は毎日町放射能測定センターで実施、毎月県による検査を実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・安心安全ネットワークでは、計41件の不審者情報の提供を行いました。 ・安心安全ネットワークについては、令和3年度から学年・クラス単位のメール配信できるようシステム改修を行いました。これにより、よりきめ細やかなシステム運用が可能となりました。

目標管理	成果目標・数値目標等	
	「子ども見守り隊」「子ども110番の家」そして「安心安全ネットワーク」「町通学路安全推進会議」の4機能を活かし、子どもたちの安全安心を確保します。	
	目標に対する前期までの成果	達成率(中間)
	<p>「子ども見守り隊」「子ども110番の家」そして「町安心安全ネットワーク」「町通学路安全推進会議」の4機能を活かし、子ども達の安全安心の確保に努めました。</p> <p>その他、交通安全週間や警察からの防犯情報等について随時、各学校園に情報提供を実施しました。</p>	50%
	目標に対する最終成果	達成率(最終)
	<p>安心安全ネットワークについて、学校を通じ保護者に呼びかけ、小学校819件、中学校335件、幼稚園243件、計1,397件の登録を行い、加入率は77%でした。</p>	100%
	残った課題・来年度の取り組み	
	<p>子ども110番の家、子ども見守り隊、安心安全ネットワーク加入登録を各学校と協力推進し組織の充実を目指します。学校給食食材検査を引き続き実施し、毎日の食材検査による安全安心な給食の提供に努めます。</p>	

事業の概要・
実施方針

児童の安全を確保するため、危険箇所の早期発見に努めるとともに、各学校と連携を図り、施設(建築物・構造物・樹木等)の定期的な点検を実施します。
安全安心な施設で学び、生活できる学校づくりに向け、施設の維持管理、修繕等を行います。

実施方法・手段・スケジュール等

前期の実施状況(いつ・何をを行ったか)

前期

○トイレ改修工事(善郷小、中畑小、三神小)・・・設計業務委託(6月)、洋式化工事着工(8月)
○中畑小学校屋上防水工事・・・入札、着工(8月)
○随時 危険箇所の修繕、工事、防犯対策、環境改善

○中畑小学校屋上防水工事・・・入札、着工(9月)
○随時 危険箇所の修繕、工事、防犯対策、環境改善

進行管理

後期

○随時 危険箇所の修繕、工事、防犯対策、環境改善

○中畑小学校屋上防水工事完了(12月)
○トイレ改修工事設計委託完了(2月)
○トイレ改修工事発注(3月)

成果目標・数値目標等

善郷小学校、中畑小学校、三神小学校のトイレ洋式化改修工事を実施し、学校環境の改善を図ります。また、中畑小学校北校舎の屋上防水工事を実施し、現在生じている雨漏りを解消します。

目標に対する前期までの成果

達成率(中間)

中畑小学校屋上防水工事について、設計業務と工事発注を実施することができました。

40%

目標管理

目標に対する最終成果

達成率(最終)

中畑小学校屋上防水工事が完了しました。トイレ改修工事について、設計業務が完了し、工事発注を実施することができました。

90%

残った課題・来年度の取り組み

小中学校全てのトイレについて洋式化工事を実施します。

事業の概要・ 実施方針	平成28年度に策定された「矢吹町公共施設等総合管理計画」基本方針に基づき、平成29年度に策定した「矢吹町学校教育施設長寿命化計画」について、緊急度、優先度に基づき、各校個別計画を策定し、各施設の更新、維持管理に努め、教育環境の向上推進を図ります。
----------------	---

実施方法・手段・スケジュール等		前期の実施状況(いつ・何をを行ったか)
進行管理	前期 計画策定の業務委託(5月) 計画策定の中間打ち合わせ(7,9月)	<ul style="list-style-type: none"> ・7月…計画策定の業務委託の発注 ・7~8月…計画策定の中間打ち合わせ
	後期 計画策定(11月)	<ul style="list-style-type: none"> ・10~2月…随時、打合せ ・3月…計画の完成

目標管理	成果目標・数値目標等	
	「矢吹町学校教育施設長寿命化計画」を基に今年度については善郷小学校の個別計画を策定し、次年度以降計画に沿った改修ができるように準備を進めます。	
	目標に対する前期までの成果	達成率(中間)
	善郷小学校を含め、全ての小中学校における長寿命化計画の策定業務委託を発注しました。	50%
	目標に対する最終成果	達成率(最終)
	小中学校の長寿命化計画を策定しました。	100%
	残った課題・来年度の取り組み	
	長寿命化計画に基づき学校施設の改修・維持管理に努めます。	

事業の概要・
実施方針

町内小学校の適正規模・適正配置について、教育委員会として更なる議論を深めるとともに、町部局、小学校との協議を行います。
また、保護者や地域住民との合意形成を図るための説明会等を実施し、方針決定後の具体的なスケジュールを明確にするとともに、「矢吹町学校教育施設長寿命化計画」との整合性を図ります。

進行管理

実施方法・手段・スケジュール等		前期の実施状況(いつ・何を行ったか)
前期	<ul style="list-style-type: none"> ・5月～9月 定例・臨時教育委員会の開催時に方針及びスケジュールの協議 学校施設長寿命計画策定に合わせた調整、関連機関等との意見交換 	<ul style="list-style-type: none"> ・4月～9月 定例教育委員会にて意見交換
後期	<ul style="list-style-type: none"> ・10月～ 決定したスケジュールに基づく事務事業の推進 	町内小学校の適正規模・適正配置について、調査研究を行いました。

目標管理

成果目標・数値目標等	
町内小学校の適正規模・適正配置方針及びスケジュールを決定します。 方針を基にした保護者・地域住民へ丁寧な説明を行います。	
目標に対する前期までの成果	達成率(中間)
定例教育委員会にて町内小学校の適正規模・適正配置方針の共通理解を図りました。	40%
目標に対する最終成果	達成率(最終)
教育委員会における共通理解を得ました。	80%
残った課題・来年度の取り組み	
<p>教育委員会においての意見交換を行いました。少子化による統廃合の必要性は共通理解しているものの、地域コミュニティの保持の核となる学校を廃止するには地域住民の大多数の理解も必須であることから、行政主導ではなく、地域の意見を取り込んだ統廃合が実施できるよう、慎重、且つ丁寧な進捗を目指します。 令和3年度においては小学校統廃合調査研究に関する検討委員会設置を予定していることから、委員会設置に関して必要な事項を定めるための協議を図ります。</p>	

事業の概要・ 実施方針	給食施設の効率化や地産地消の推進、衛生管理の向上及び子育て世代の負担軽減を目的に、平成30年度に策定した「矢吹町学校給食センター整備基本計画」に基づき、給食施設の整備方法について検討を行います。
----------------	---

実施方法・手段・スケジュール等		前期の実施状況(いつ・何をを行ったか)
進行管理	前期	<ul style="list-style-type: none"> ・ 小学校の適正規模・適正配置及び幼稚園のあり方を検討します。 ・ 4、5月…小学校及び幼稚園の適正規模・適正配置について検討しました。
	後期	<ul style="list-style-type: none"> ・ 給食施設の整備方針について、小学校の適正規模・適正配置及び幼稚園のあり方と調整を図りながら、検討します。 ・ 3月…給食センター整備に係るインフラ整備費等の調査委託料を来年度予算に計上しました。

目標管理	成果目標・数値目標等	
	次年度以降に給食施設の整備を実施するために整備方針を決定します。	
	目標に対する前期までの成果	達成率(中間)
	小学校及び幼稚園の適正規模・適正配置について検討しました。	30%
	目標に対する最終成果	達成率(最終)
	給食施設の整備方針を決定することができませんでしたが、施設配置に必要な造成費やインフラ整備費に係る費用、開発許可等の諸手続きについて調査する費用を令和3年度予算に計上しました。	80%
残った課題・来年度の取り組み		
給食センターの整備候補地である旧総合運動公園跡地における造成費やインフラ整備費等及び開発許可等の諸手続きについて調査を行います。		

事業の概要・実施方針	<p>学校教育の諸活動の充実を図るべく、矢吹町内外にお住まいの方々が持つ様々な技能・特技を活かし、教育ボランティアとして登録していきます。</p> <p>幼稚園、保育園、小中学校の要請等に応じた、学力、文化、スポーツなどの学校、家庭生活等の向上を図り地域教育の推進を目指します。</p>
------------	---

実施方法・手段・スケジュール等		前期の実施状況(いつ・何をを行ったか)
進行管理	<p>前期</p> <ul style="list-style-type: none"> ・3月～4月 H30年度登録者へのボランティア活動参加確認。 (※ダイレクトメールを送付します。) ・4月下旬 各学校に本年度の学校教育ボランティア登録者一覧を提示。(※教育振興課で、各個人ボランティア保険へ加入し、活動における安全を保証します。) ・随時 読書ボランティア等の登録を進めます。 	<p>4月 本年度学校教育ボランティア登録者一覧を学校に提示</p> <p>随時 ボランティア協力者登録</p>
	<p>後期</p> <ul style="list-style-type: none"> ・10月 広報等を通じて新規ボランティアの募集を行います。 	<p>3月 ボランティア登録団体や各施設からの今年度活動の実績報告とりまとめ</p>

成果目標・数値目標等	
<p>各学校のニーズに応えられるように、より活用率をあげられるようにPRを進め、令和元年度延べ79件の活動を維持できるよう各園・校に引き続き働きかけます。</p> <p>より多くの町民の方に登録いただけるように新規教育ボランティアの募集に努めます。</p>	
<p>目標に対する前期までの成果</p> <p>中央幼稚園2回(スポーツ教室2回) 中畑幼稚園2回(スポーツ教室2回) 三神幼稚園3回(茶道教室1回、スポーツ教室2回) コロナ禍の中で、臨時休校があり、小中学校では活動が縮小しました。</p>	<p>達成率(中間)</p> <p style="font-size: 2em; text-align: center;">50%</p>
<p>目標に対する最終成果</p> <p>教育ボランティアとして登録した方々のご協力により、年間37回の活動が行われました。</p> <p>幼稚園10件 小学校16件 中学校11件 コロナ禍の中で、活動が縮小しましたが、出来る部分での活動が見られました。</p>	<p>達成率(最終)</p> <p style="font-size: 2em; text-align: center;">100%</p>
<p>残った課題・来年度の取り組み</p> <p>地域学校協働本部の立ち上げに向け、地域・学校双方のニーズを確認し、より多くの地域の方々にボランティア登録していただき、子どもたちの教育活動の一助となるよう努めます。</p>	

事業の概要・
実施方針

高等学校不登校生徒や高等学校中途退学者、中学校卒業後進路が決まっていない者、引きこもりなど、義務教育修了後の段階で問題を抱える子どもに対する課題解決のために、関係機関、地域の人々との協働のもと、学校復帰支援、進学支援、社会的自立支援を目指す活動を行います。

実施方法・手段・スケジュール等

前期の実施状況(いつ・何をを行ったか)

前期

8月26日 第1回矢吹町青少年サポート事業連絡協議会を開催

8月26日 第1回矢吹町青少年サポート事業連絡協議会を開催
随時：スクールソーシャルワーカーによる家庭訪問と関係機関との協働による支援

進行管理

後期

1月29日 第2回協議会を開催

1月29日 第2回矢吹町青少年サポート事業連絡協議会を開催
随時：スクールソーシャルワーカーによる家庭訪問と関係機関との協働による支援

成果目標・数値目標等

問題を抱える青少年に対して民生委員、警察署、NPO、中学校、生徒指導連絡協議会の協働により、義務教育修了後、様々な困難を抱える子供たちの社会的自立の支援を図ります。

目標に対する前期までの成果

達成率(中間)

民生委員、警察署、NPO、中学校、生徒指導連絡協議会の代表者が一堂に会し、義務教育終了後の段階で問題を抱える子供たちに関する情報交換を実施した。特にスクールソーシャルワーカーが精力的に問題解決に取り組んでおり、NPOとの更なる連携も図ることができました。

50%

目標管理

目標に対する最終成果

達成率(最終)

民生委員、警察署員、NPO(ビーンズふくしま)、中学校管理職、生徒指導連絡協議会長等、関係者との情報交換を実施し、義務教育終了後、様々な問題を抱える青少年に対する支援の在り方について十分に協議することができました。特にスクールソーシャルワーカーを中心にNPOとの連携を図りながら困難なケースの家庭に対して支援を推進することができました。

100%

残った課題・来年度の取り組み

サポートの対象が青少年ということで、何歳まで支援が必要か検討することとしました。
引きこもりなど非社会的なケースが増えており、支援の在り方を再検討する段階に入ってきています。これまで以上に情報を丁寧に収集し、対応策を協議していきます。

事業の概要・ 実施方針	旧総合運動公園用地利活用基本構想に基づく利活用策については、教育委員会所管の事業が多くあることから、庁内調整を図りながら利活用方法を検討します。
----------------	--

実施方法・手段・スケジュール等		前期の実施状況(いつ・何をを行ったか)
進行管理	前期 ・教育、社会教育施設等の配置計画策定に向けた確認及び協議（5～9月）	・8～9月…教育、社会教育施設等の配置計画策定の進め方を検討しました。
	後期 ・教育、社会教育施設等の配置計画策定に向けた確認及び協議（10～2月） ・事業化に向けた財源確保の検討（随時）	・3月…インフラ整備費等及び開発許可等の調査費について来年度予算へ計上しました。

目標管理	成果目標・数値目標等	
	・教育、社会教育施設等の配置計画（案）の策定	
	目標に対する前期までの成果	達成率(中間)
	教育、社会教育施設等の配置計画策定の進め方を検討しました。	30%
	目標に対する最終成果	達成率(最終)
	配置計画（案）は策定できませんでしたが、施設配置に必要となる造成費やインフラ整備費に係る費用、開発許可等の諸手続きについて調査する費用を令和3年度予算に計上しました。	80%
	残った課題・来年度の取り組み	
	施設配置に必要となる造成費やインフラ整備費等及び開発許可等の諸手続きについて調査を行います。	

事業の概要・ 実施方針	行事・イベントについて、マスコミ、広報誌、SNS、町ホームページ、防災無線など、様々な媒体を活用し、情報の発信に努めます。
----------------	---

実施方法・手段・スケジュール等		前期の実施状況(いつ・何をを行ったか)
進行管理	前期	<p>行事・イベントについて、マスコミ、広報誌、SNS、町ホームページ、防災無線など、様々な媒体を活用し、情報の発信に努めます。</p> <p>・各小中学校の出来事の記事を教育ポータルサイトに平均して毎日掲載 ・町ホームページ、町公式フェイスブックの活用(スポーツイベント結果、公民館事業などの紹介、各イベントへの参加者募集案内) ・「矢吹の教育を考える会」「学校運営協議会」での取り組みを町広報に奇数月掲載</p>
	後期	<p>行事・イベントについて、マスコミ、広報誌、SNS、町ホームページ、防災無線など、様々な媒体を活用し、情報の発信に努めます。</p> <p>・行事、イベントについて、マスコミ、広報誌、SNS、町ホームページ、防災無線など、様々な媒体を活用し、情報の発信</p>

目標管理	成果目標・数値目標等	
	行事・イベントの開催前、開催後の情報発信を随時行います。	
	目標に対する前期までの成果	達成率(中間)
	広報誌、SNS、町ホームページ、防災無線など、様々な媒体を活用し、情報の発信に努めました。	50%
	目標に対する最終成果	達成率(最終)
	広報誌、SNS、町ホームページ、防災無線など、様々な媒体を活用し、情報の発信に努めました。	100%
	残った課題・来年度の取り組み	
	新型コロナウイルスの影響により、行事・イベント等が中止、延期となっていたため、情報発信の内容について検討する必要があります。	

事業の概要・
実施方針

事務処理誤り等のリスクの軽減のほか、効率的な業務の運用により、サービス向上を目指します。

実施方法・手段・スケジュール等		前期の実施状況(いつ・何をを行ったか)
前期	<ul style="list-style-type: none"> ・事務事業ごとのマニュアルの検証 ・マニュアルの実行および見直し、新規作成 	9月：今年度作成予定のマニュアルの作成に着手
後期	<ul style="list-style-type: none"> ・事務事業ごとのマニュアルの検証 ・マニュアルの実行および見直し、新規作成 	・マニュアルの実行および見直し、新規作成

進行管理

成果目標・数値目標等

マニュアルに基づく管理によりリスクの低減を図ります。

目標に対する前期までの成果

達成率(中間)

10月末提出期日のマニュアルの作成に着手しています。

50%

目標管理

目標に対する最終成果

達成率(最終)

今年度作成予定のマニュアルが概ね完了しました。

95%

残った課題・来年度の取り組み

事務事業の追加、見直しが必要な案件が発生しているので、適宜修正を行う必要があります。

事業の概要・ 実施方針	<p>事務経費について、継続して削減に努めます。 また、「矢吹町地球温暖化対策実行計画」目標達成に向けた温室効果ガスの低減に努めます。</p>
----------------	---

実施方法・手段・スケジュール等		前期の実施状況(いつ・何をを行ったか)
進行管理	<p>前期</p> <p>消耗品、光熱水費の推移を管理し適宜指導します。</p>	<p>日常業務において下記の点について実施しました</p> <ul style="list-style-type: none"> ・資料のカラー印刷の抑制 ・インクジェットプリンタ使用の抑制 ・昼食時の消灯 ・不要機器の電源切断
	<p>後期</p> <p>消耗品、光熱水費の推移を管理し適宜指導します。</p>	<p>日常業務において下記の点について実施しました</p> <ul style="list-style-type: none"> ・資料のカラー印刷の抑制 ・インクジェットプリンタ使用の抑制 ・昼食時の消灯 ・不要機器の電源切断

目標管理	成果目標・数値目標等	
	前年度比1%の経費節減を目指します。	
	目標に対する前期までの成果	達成率(中間)
	インクジェットプリンタの使用を必要最小限に抑えました。	50%
	目標に対する最終成果	達成率(最終)
	不要なカラー印刷をモノクロにするなど、経費節減が図られました。	80%
	残った課題・来年度の取り組み	
	無駄な印刷の抑制を図ります。 トータルコストを考慮して機器を購入します。	

事業の概要・ 実施方針	奨学資金返還者のうち、返還が滞っている者や遅れている者に対し折衝、催告等を行い滞納額の縮小に努めます。
----------------	---

実施方法・手段・スケジュール等		前期の実施状況(いつ・何を行ったか)
進行管理	前期 ・毎月返済状況を確認し、遅れが生じたらすぐに臨戸、折衝、催告等を行います。	・長期滞納者の自宅への臨戸徴収(毎月) ・9月滞納者への催告(1件) ・電話連絡による返還促進
	後期 前期継続	・長期滞納者の自宅への臨戸徴収(毎月) ・電話連絡による返還促進

目標管理	成果目標・数値目標等	
	滞納者の早期滞納解消を進めます。	
	目標に対する前期までの成果	達成率(中間)
	長期滞納者の自宅への臨戸徴収(2回) 電話連絡による返還促進(1回) 返還が遅れている方と連絡をとり、返還を促すことが出来ました。	50%
	目標に対する最終成果	達成率(最終)
	長期滞納者の自宅への臨戸徴収(2回) 電話連絡による返還促進(1回) 返還が遅れている方と定期連絡をとることが出来ました。	80%
残った課題・来年度の取り組み		
催告を定期的に取り組み、返還促進を継続して行います。		

事業の概要・ 実施方針	<p>平成27年度に策定した「矢吹町公共施設等総合管理計画」の基本方針等を踏まえた施設類型ごとの「個別施設計画」について、順次策定を進め、効果的な施設配置と将来的な負担軽減等の推進を図ります。 あわせて、長寿命化及び統廃合等に係る財源措置の調査を行います。</p>
----------------	--

実施方法・手段・スケジュール等		前期の実施状況(いつ・何をを行ったか)
進行管理	<p>前期</p> <ul style="list-style-type: none"> 文化センター以外の社会教育施設について、長寿命化計画策定委託を発注します。 	<ul style="list-style-type: none"> 7月…社会教育施設・体育施設の長寿命化計画策定業務委託を発注
	<ul style="list-style-type: none"> 1月…社会教育施設長寿命化計画完成 	<ul style="list-style-type: none"> 3月…計画の完成
	<p>後期</p>	

目標管理	成果目標・数値目標等	
	長寿命化計画の完成	
	目標に対する前期までの成果	達成率(中間)
	<p>社会教育施設及び体育施設の長寿命化計画策定業務を発注しました。</p>	50%
	目標に対する最終成果	達成率(最終)
	<p>長寿命化計画を策定することができました。</p>	100%
残った課題・来年度の取り組み		
長寿命化計画に基づき施設の改修・維持管理に努めます。		

事業の概要・ 実施方針	事業・業務の適切な運営及び効果・効率的な管理を目指し民間委託の推進を図ります。特に、文化センター・ふるさとの森芸術村、複合施設については、将来を見据え優先的に検討を深めます。
----------------	---

進行管理	実施方法・手段・スケジュール等		前期の実施状況(いつ・何をを行ったか)
	前期	4月～9月 課題の整理、先進事例調査	4月～9月 運営状況の確認、先進事例の調査
	後期	10月～3月 課題解決策の検討	<ul style="list-style-type: none"> ・文化センター・ふるさとの森芸術村の運営状況検証 ・複合施設運営会議の開催

目標管理	成果目標・数値目標等	
	民間委託の更なる推進に向けて課題解決策を立案します。	
	目標に対する前期までの成果	達成率(中間)
	<ul style="list-style-type: none"> ・運営状況の把握 ・業務課題の把握 	50%
	目標に対する最終成果	達成率(最終)
	<ul style="list-style-type: none"> ・運営状況検証 	90%
残った課題・来年度の取り組み		
令和3年度は、文化センターが新型コロナウイルスワクチン接種会場となることから、令和2年度に続き通常時の運営状況や課題等の把握が困難となります。また、民間委託の受け皿も課題となるため検討を深める必要があります。		

事業の概要・ 実施方針	事務事業のスケジュール管理を徹底し、時間外勤務時間の抑制に努めます。
----------------	------------------------------------

実施方法・手段・スケジュール等		前期の実施状況(いつ・何をを行ったか)
進行管理	前期 係内会議によるスケジュール管理の徹底(月1回)	<ul style="list-style-type: none"> ・年度当初の課内会議において、早期の退庁徹底を申し合わせしました(4月) ・毎月の係内会議において、業務スケジュールの確認により効率的な業務進捗に努めました。(毎月)
	後期 係内会議によるスケジュール管理の徹底(月1回)	<ul style="list-style-type: none"> ・毎月の係内会議において、業務スケジュールの確認により効率的な業務進捗に努めました。(毎月)

目標管理	成果目標・数値目標等	
	職員の余暇時間の確保	
	目標に対する前期までの成果	達成率(中間)
	<ul style="list-style-type: none"> ・上半期における時間外勤務時間 ⇒昨年度比 482時間減 特にコロナウィルス感染症の影響による各種会合等の中止により時間外勤務時間が減少しました。 	50%
	目標に対する最終成果	達成率(最終)
	時間外勤務時間の大幅な減少及び、年次有給休暇取得率の向上が図られました。	100%
	残った課題・来年度の取り組み	
	<ul style="list-style-type: none"> 課、係で年間スケジュールを調整し、業務が集中しないよう努めます。 やらなくてはならない仕事、やらなくてもいい仕事を判断し、効率的な業務の進捗に努めます。 	

事業の概要・実施方針	<p>地域における子育て支援の充実を図るため、平成19年にファミリー・サポートセンターを設置し、子育ての援助をしてほしい方や援助したい方を会員として一時預かり等の援助を有料で行っています。</p> <p>また、平成21年度には地域子育て支援センターを設置し、親子の交流・子育て情報の提供・子育てサークルの支援や子育て中の親の悩みや不安等の相談に応じています。</p> <p>今年度は複合施設での子育て支援事業提供に向けて準備を進めます。</p>
-------------------	--

進行管理	実施方法・手段・スケジュール等	前期の実施状況(いつ・何をを行ったか)
	前期	<ul style="list-style-type: none"> ●複合施設での事業実施に向けた条例等の制定 ●各種業務の委託契約 ●随時 子育て相談、子育て中の親子の交流促進 ●随時 SNS(ソーシャルネットワークサービス)を活用した子育て情報の発信 ●随時 子育て講座(お話し会、ベビーマッサージ等)の開催 ●隔月(2ヶ月毎) 子育て情報誌の発行
	後期	<ul style="list-style-type: none"> ●複合施設での運営に向けた準備作業、委託先団体との協議 ●随時 子育て相談、子育て中の親子の交流促進 ●随時 SNS(ソーシャルネットワークサービス)を活用した子育て情報の発信 ●随時 子育て講座(お話し会、ベビーマッサージ等)の開催 ●隔月(2ヶ月毎) 子育て情報誌の発行

目標管理	成果目標・数値目標等	
	<p>地域子育て支援センター利用者数8,000名 (R元 7,944名) ファミリー・サポートセンター会員数20名 (R元 109名) ホームスタート、ファミリー・サポートセンターの複合施設での運営開始</p>	
	目標に対する前期までの成果	達成率(中間)
	<ul style="list-style-type: none"> ●地域子育て支援センター「にこにこひろば」利用者数 1,263名(8月末現在)【3,601名】 ※新型コロナウイルス感染拡大防止のため令和2年2月29日から5月31日は臨時休館。 ●子育てホームページ閲覧数 2,294回(9月末現在)【2,360回】 ●子育てアプリダウンロード数 累計 257回(H29年4月~9月末現在) ●複合施設KOKOTTO内に子育て世代活動支援機能「未来くるステーション」を設置 ※【 】内は前年同時期 	50%
目標に対する最終成果	達成率(最終)	
<ul style="list-style-type: none"> ●地域子育て支援センター 利用者数 5,395名(3月末見込)【7,944名】※新型コロナウイルス感染拡大防止のため2/29日~5/31は臨時休館。 ●ファミリー・サポートセンター会員数 20名(3月末見込)【109名】 ●子育てホームページ閲覧数 4,819回(3月末見込)【4,445回】 ●子育てアプリダウンロード数 累計 278回(H29年4月~R2年3月末見込) ※【 】内は前年度 ●コロナ対策として各種給付金を該当者に支給 	100%	
残った課題・来年度の取り組み		
<p>子育て家庭における子育て中の不安や悩みを緩和及び解消できるよう、安心して子育てできる支援拠点や機会の創出に努め、子育て支援の充実を図ります。</p>		

事業の概要・実施方針	0歳から18歳に達した後の最初の3月31日までの者の医療費を助成することにより、乳幼児・児童の疾病の早期発見及び早期治療を促進し健康の保持・増進を図ります。平成26年3月診療分より全国の医療機関で現物給付を実施しています。（一部医療機関、保険加入者を除く）
------------	--

実施方法・手段・スケジュール等		前期の実施状況(いつ・何をを行ったか)
進行管理	前期 ●随時 受給資格登録申請書の受理・審査・受給者証の発送（月2回） ●毎月 償還払分の支払	●随時 受給資格登録申請書の受理・審査・受給者証の発送 ●毎月 償還払い分の支払い
	後期 ●随時 受給資格登録申請書の受理・審査・受給者証の発送（月2回） ●毎月 償還払分の支払	●随時 受給資格登録申請書の受理・審査・受給者証の発送 ●毎月 償還払い分の支払い

目標管理	成果目標・数値目標等	
	医療費の助成により、子育て世代の保護者負担の軽減と乳幼児・児童の早期受診の促進を図り、子育てしやすい環境を整えます。	
	目標に対する前期までの成果	達成率(中間)
	●受給者数 2,562名【2,606名】 ●受給者証交付数 新規登録 89名【113名】 変更 111名【141名】 (9月末現在) ●支払額 26,713,958円【33,089,504円】 (9月末現在) ※【 】内は前年同時期	50%
目標に対する最終成果	達成率(最終)	
	【子ども医療費】 ●受給者数2,600名【2,671名】 ●受給者証交付数 新規登録 176名(3月末見込) 変更 205名(3月末見込) ●支払額52,308,326円【64,758,897円】 ※【 】内は前年度	100%
	残った課題・来年度の取り組み	
	健康の保持増進のため、対象となる乳幼児や児童が漏れなく助成を受けられるよう周知を図ります。 また、適切かつ速やかに資格登録、受給者証交付等を行い、医療費助成に努めます。	

事業の概要・実施方針

令和元年度10月より実施された「幼児教育・保育の無償化」により、3歳児から5歳児においては幼稚園保育料（預かり保育料含む）及び保育園保育料が無料化され、0歳児から2歳児においては非課税世帯の保育園保育料が無料化されました。この他、町独自に第3子以降の子どもの保育園保育料の無料化や3歳児から5歳児の給食費（副食費1人月額4,500円分）を無料化することにより、保護者の負担軽減を図り、子どもを産み育てやすい環境を創出します。

実施方法・手段・スケジュール等

前期の実施状況(いつ・何をを行ったか)

前期

- 4月 4～8月分幼稚園保育園保育料決定（対象者の無料化決定）、第3子以降無料化決定
- 6月 現況届
- 毎月 預かり保育利用日数集計
- 随時 途中入園対象者への事業周知
- 随時 途中入園対象者無料化決定
- 随時 各園等へ給食費（副食費分）相当額の支給

- 4月 4～8月分幼稚園保育園保育料決定（対象者の無料化決定）、第3子以降無料化決定、施設等利用費無料化決定
- 8月 4～6月分施設等利用費支給
- 9月 9月～3月分幼稚園保育園保育料決定（対象者の無料化決定）、第3子以降無料化決定
- 随時 途中入園無償化対象者の決定及び事業内容の周知

- 9月 副食費助成申請受付（4～8月分）

進行管理

後期

- 10月 10～3月分幼稚園保育園保育料決定（対象者の無料化決定）、第3子以降無料化決定
- 9月～10月 新年度入園募集に併せた事業周知
- 2月 新年度入園決定者へ無料化事業周知及び申請書配布、第3子以降無料化申請書配布
- 3月 新年度入園対象者無料化決定
- 毎月 預かり保育利用日数集計
- 随時 途中入園対象者無料化決定
- 随時 各園等へ給食費（副食費分）相当額の支給

- 10月 副食費助成決定（4～8月分）、7～9月分施設等利用費支給
- 1月 10～12月分施設等利用費支給
- 3月 副食費助成申請受付（9～3月分）

成果目標・数値目標等

幼稚園入園児及び3歳児、4歳児及び5歳児で預かり保育を利用する保護者、保育園入園児の3歳児、4歳児及び5歳児、第3子以降の園児の保護者に対する経済的な負担軽減を図り、子どもの育ちと子育て家庭を支援します。

- 【令和2年4月現在】
- ・幼稚園保育料無料化決定 275名
(町内幼稚園241名・認定こども園29名、町外幼稚園4名・認定こども園1名)
- ・幼稚園預かり保育料3歳児・4歳児・5歳児無料化決定 139名
(町内幼稚園116名・認定こども園20名、町外幼稚園3名)
- ・保育園保育料3歳児・4歳児・5歳児無料化決定 145名
(町内保育施設145名、町外保育施設0名)
- ・第3子以降無料化決定 42名
(申請園児34名、国制度該当8名)
- ・副食費無料対象 440名 (3歳児～5歳児)

目標に対する前期までの成果

達成率(中間)

幼稚園・保育園無料化対象者 9月末現在
 ・無償化対象者数158名 (9月末現在)
 ・施設等利用費支給額 (4～6月分)
 2,320,950円
 ・保育園 (第3子以降無料化)
 対象者30名
 保護者の負担軽減額3,520,200円

40%

目標管理

目標に対する最終成果

達成率(最終)

副食費助成見込 (3月現在)
 ・町立幼稚園 241名 6,744,000円
 ・町立以外 133名 6,817,000円
 施設等利用費総支給額見込 (3月現在)
 対象者 157名 11,132,410円
 ・保育園 (第3子以降無料化) (3月現在)
 対象者32名
 保護者の負担軽減額6,644,300円

100%

残った課題・来年度の取り組み

引き続き保護者に対する経済的な負担軽減を図り、子どもの育ちと子育て家庭を支援します。

事業の概要・
実施方針

就労等の理由により、小学校の下校時間後及び長期休業中の昼間に保護者が不在となる家庭の小学生に対し、集団生活や遊びを主とする活動を通じて児童の育成と保護者の就労を支援します。
放課後児童健全育成事業の一部業務を委託し、委託業者と連携しながら児童の健全育成やサービスの質の向上を図ります。
近年、児童クラブへの利用申込が増加傾向にあり、待機児童が生じていることから、今年度の待機児童受け入れのための対策を講じるほか、長期的な対応案の検討を進めます。

実施方法・手段・スケジュール等

前期

- 4月 開所、運営開始
 - 5月 避難訓練の実施
 - 毎月 年度途中の入退所手続き
- 委託業者との定例会議開催

前期の実施状況(いつ・何をを行ったか)

- 4月 開所、運営開始、(臨時)中畑公民館児童クラブ受入開始、育成料減免措置
- 4、5月 新型コロナウイルス感染症対策に伴う臨時休校時の開所
- 5月 新型コロナウイルスに伴う育成料の返還
- 7月 救命講習会実施
- 4～8月 待機児童解消に向けた協議、調整
- 毎月 委託業者との会議、入退所等の月例事務

進行管理

後期

- 9月 児童クラブ利用保護者へアンケート調査実施
- 10月 各小学校と教室配置について協議
- 11月 支援員認定資格研修等
- 2月 新規利用者全体説明会
- 毎月 年度途中の入退所手続き
- 毎月 委託業者との定例会議開催

- 11月 新年度入所申請受付
- 12月 待機児童解消に向けた条例改正、補正予算
- 2月 新年度入所決定通知
- 1-3月 待機児童解消に向けた工事、備品購入等の教室開所準備
- 毎月 委託業者との会議、入退所等の月例事務

成果目標・数値目標等

待機児童解消に向けた今後の対応方針を策定します。
利用者の安全性を考慮し、適切な人員の配置による運営に努めます。

【令和2年4月1日現在入所児童】※【】内前年度

矢吹小児童クラブ	67名	【71名】
善郷小児童クラブ	111名	【125名】
中畑小児童クラブ	42名	【34名】
三神小児童クラブ	41名	【35名】
臨時児童クラブ	12名	

目標に対する前期までの成果

達成率(中間)

- 各児童クラブ入所児童数(9.1現在)※【】前年度児童数
- 矢吹小 69名【63名】
- 善郷小 121名【115名】
- 中畑小 37名【34名】
- 三神小 40名【31名】
- 中畑公民館 8名
- 育成料返還合計(9月末現在)752,480円
- 育成料減免適用(9月末現在)
- ひとり親32名、多子同時21名
- (減免合計額 1,011,750円/年額)

40%

目標管理

目標に対する最終成果

達成率(最終)

- 新型コロナウイルス感染症対策に伴う臨時休校時に、感染予防対策を講じながら午前中より開所しました。
待機児童が生じている児童クラブについて、受け入れのための対策を講じました。
- 新年度入所児童数(4月1日時点)
 - 矢吹小 74名 善郷小 140名
 - 中畑小 46名 三神小 40名

100%

残った課題・来年度の取り組み

今後も委託業者と連携しながら新型コロナウイルス感染症等の予防や災害・怪我等の防止対策を行い、児童の安全・安心に努めます。
近年、児童クラブの利用申込が増加傾向にあることから、小学校のあり方を考慮しながら長期的な対応案の検討を進めます。

事業の概要・
実施方針

幼児や保護者が放射能の影響を気にせず安心して遊べる遊び場を提供するため、屋内外運動場「未来くるやぶき」を整備しました。未来くるやぶきは、「遊びを通じた子育て」をコンセプトに、乳幼児から小学3年生までの児童及びその保護者を対象に、子どもたちの運動量の確保と健全な発育発達を図ることを目的とした施設です。

本施設の施設運営、事業の実施状況や利用者の推移等を定期的に確認しながら進捗管理を行います。また、年間を通してイベント開催の充実や対象年齢を小学6年生まで拡大できる機会を創出します。

平成27年3月にオープンし、平成31年3月には来場者数20万人を達成しました。今後も、さらなる利用促進に取り組めます。

利用者が安心安全に利用できるよう管理運営に努めるとともに、指定管理者との協議検討を重ね、さらなる利用者数の増加に向けた運営や事業実施に取り組めます。

今年度は、現在の指定管理者の指定管理期間最終年度となるため、選定委員会を実施し、次期指定管理者の選定を行います。

実施方法・手段・スケジュール等

前期

- 毎月 指定管理者との定例連絡会による進捗管理
- 随時 SNS（ソーシャルネットワークサービス）を活用した日々の情報やイベント情報の発信

前期の実施状況（いつ・何をを行ったか）

- 毎月 指定管理者との定例連絡会を開催
- 毎月 対象年齢小学6年生まで拡大イベント開催
- 毎月 屋内運動場17時～19時開館イベント開催
- 随時 親子向けイベントの開催
- 随時 新型コロナウイルス感染拡大防止対策（検温、施設の消毒、利用制限等）
- 6月～ フットサルコート使用料金の値下げによる利用促進の取組み
- ※新型コロナウイルス感染拡大防止のため令和2年2月29日から5月31日は臨時休館

進行管理

後期

- 毎月 指定管理者との定例連絡会による進捗管理
- 随時 SNS（ソーシャルネットワークサービス）を活用した日々の情報やイベント情報の発信
- 次期指定管理者の選定
 - ・8月…指定管理者募集開始
 - ・9月…指定管理者選定委員会の開催
 - ・12月…指定管理者の指定について議案上程

- 毎月 指定管理者との定例連絡会を開催
- 毎月 対象年齢小学6年生まで拡大イベント開催
- 毎月 屋内運動場17時～19時開館イベント開催
- 随時 親子向けイベントの開催
- 随時 新型コロナウイルス感染拡大防止対策（検温、施設の消毒、利用制限等）
- 6月～ フットサルコート使用料金の値下げによる利用促進の取組み

成果目標・数値目標等

屋内外運動場 年間50,000人（R元 44,126人）
フットサルコート（有料） 年間2,000人（R元 2,015人）
※R元年度については、2月29日～3月31日まで、新型コロナウイルス感染予防対策として臨時休館とした。

目標に対する前期までの成果

- 屋内外運動場 累計来場者数 8,000人（4月～8月末）【22,358名】
- ※【 】内は前年同期
- 指定管理者によるイベント開催（0回）※新型コロナウイルス感染拡大防止のため8月までイベント開催自粛。
- フットサルコート（有料）の利用者数（4月～8月末）860名

達成率(中間)

50%

目標に対する最終成果

- 屋内外運動場 累計来場者数27,640人（3月末見込）【46,141名】※新型コロナウイルス感染対策のため、2/29～5月末まで臨時休館。
- ※【 】内は前年度
- 指定管理者によるイベント開催（計20回）「幼児運動遊び教室」他
- ※新型コロナウイルス感染拡大防止のため8月までイベント開催自粛。
- フットサルコート（有料）の利用者数 3,026名（3月末見込）【2,015名】

達成率(最終)

100%

目標管理

残った課題・来年度の取組み

利用者が安全安心に利用できるよう管理運営に努めるとともに、指定管理者との協議検討を重ね、さらなる利用者数の増加に向けた運営や事業実施に取り組めます。

事業の概要・実施方針

平成29年6月に国が策定した「子育て安心プラン」の実施方針に基づき、待機児童の解消に向けて、本町の保育ニーズに沿った受入・支援体制の整備を図ります。
今年度は、待機児童解消に向けた新たな対応策、事業所への支援策を検討します。

実施方法・手段・スケジュール等

前期

- 4月以降 保育士人材確保給付金及び保育士就職準備期貸付制度の周知（町ホームページ情報掲載、町内施設及び養成施設への情報提供）、人材確保給付金申請受付（随時）
- 町内の認可保育園等に保育士として勤務する保護者の保育施設利用に係る入所調整の際に調整提出を加点

前期の実施状況（いつ・何をを行ったか）

- 8月…待機児童解消のための施設改修を行う保育事業者に対する補助金の創設
- 9月…小規模保育事業者の募集（9/24～10/8）
- 保育士確保のための助成制度の周知（ホームページ掲載、町内施設への情報提供）

進行管理

後期

- 9月以降 保育士人材確保給付金及び保育士就職準備期貸付制度の周知（町ホームページ掲載、町内施設及び養成施設への情報提供）、人材確保給付金申請受付（随時）、就職準備金申請受付（2月末期限）
- 町内の認可保育園等に保育士として勤務する保護者の保育施設利用に係る入所調整の際に調整提出を加点

- 小規模保育事業所
10月…事業者決定
12月…県設計審査
1月…補助金交付決定、着工
3月…完成、認可
- 保育士人材確保給付金の申請受付（随時）
- 園長会で該当者への申請書提出勧奨依頼
- 2月末…就職準備金申請書提出期限
- 町内の認可保育園等に保育士として勤務する保護者の保育施設利用に係る入所調整の際に調整点数を加点

成果目標・数値目標等

保育士人材確保給付金及び保育士就職準備金貸付制度の周知や、町内の認可保育園等に保育士として勤務する保護者の保育施設利用に係る入所調整の際に調整点数の加点により、町内の認可保育園等の保育士確保に努め、待機児童解消を図ります。

目標に対する前期までの成果

達成率(中間)

- ・待機児童解消のための施設改修補助金の創設 1団体申請
- ・小規模保育事業者の募集実施（9/24～10/8）
- ・9月末現在（決定／申請）
保育士人材確保給付金：1人／1人
※保育士就職準備金は次年度内定者が対象のため0人

50%

目標管理

目標に対する最終成果

達成率(最終)

- ・待機児童解消のための施設改修による受入児童数の増（8～9月入所：2歳児3人、0歳児3人）
- ・小規模保育事業所（A型）R3.4月開所による定員の増（R2：297人→R3：316人）
- ・3月末現在（決定／申請）
保育士人材確保給付金：3人／3人
保育士就職準備金：3人／3人
・保育士宿舍借り上げ支援制度利用：1法人4人
・調整点数の加点による保育士確保：1人

100%

残った課題・来年度の取り組み

保育施設が増えたことにより、潜在的な保育ニーズが掘り起こされる可能性があるため、引き続き保育ニーズの変化を注視します。
令和3年度も継続して保育士確保を図るため、人材確保給付金、就職準備金、保育士宿舍借り上げ支援について、町ホームページや園長会を通じて広く周知します。また、町内施設へ保育士就職フェアや求人に関する情報提供と情報共有を行います。

事業の概要・
実施方針

次代を担う児童の確保のため、子育て支援策の充実と事業を実施します。

- ・出産祝金を第2子以降出産児一人につき50,000円を支給します。
- ・出産祝品を第1子出産児へ支給します。
- (プラスチック食器、積み木、おくるみ等の6品目から1品を選択)
- ・子育ての喜びや悩みを分かち合える環境づくりとして、親子交流や情報提供等を行うサークルに活動費の一部を助成します。
- ・出産したいと思っても妊娠できない、流産をしてしまうといった家庭を支援する事業に取り組みます。

実施方法・手段・スケジュール等

前期の実施状況(いつ・何をを行ったか)

前期

- 随時 申請書受付、審査、支給決定
- 随時 子育てサークル団体の活動状況を矢吹町ホームページへ掲載
- 6月 広報やぶき及び矢吹町ホームページへ掲載し周知

- 随時 申請書受付、審査、支給決定
- <コロナウイルス対策>
- 6月～ 子育て世帯への臨時特別給付金
- 8月～ ひとり親世帯臨時特別給付金
- 9月～ 新生児応援特別給付金

進行管理

後期

- 随時 申請書受付、審査、支給決定
- 随時 子育てサークル団体の活動状況を矢吹町ホームページへ掲載

- 随時 申請書受付、審査、支給決定
- <コロナウイルス対策>
- 6月～ 子育て世帯への臨時特別給付金
- 8月～ ひとり親世帯臨時特別給付金
- 9月～ 新生児応援特別給付金

成果目標・数値目標等

関係課並びに関係機関と連携し、子育て支援策の充実と対象となる全ての方へ支援が行えるよう周知を図ります。
また、申請書を受け付けてから遅延なく事務処理を行い支給・助成を行います。

目標に対する前期までの成果

達成率(中間)

- ・出産祝金支給(28件1,400,000円)【27件1,350,000円】
- ・出産祝品支給(21件127,402円)【36件213,471円】
- ・子育てサークル活動補助金申請受付(0件)【1件30,000円】
- ・不妊治療費助成金交付(3件214,380円)【2件150,000円】

※【】内は前年同期
<コロナウイルス対策>
子育て世帯への臨時特別給付金(2,300件、23,000,000円)
ひとり親世帯臨時特別給付金(67件)
新生児応援特別給付金(対象者へ通知送付開始)

50%

目標管理

目標に対する最終成果

達成率(最終)

- ・出産祝金支給53件(支給額2,650,000円)3月末見込【81件、4,050,000円】
- ・子育てサークル活動補助金申請受付0件(支給額0円)【1件30,000円】
- ・不妊治療費助成金交付6件(支給額373,380円)3月末見込【4件、300,000円】
- ・出産祝品支給35件(支給額223,938円)3月末見込【58件、350,000円】

※【】内は前年度
・今年度はコロナウイルス感染症対策として、各種給付金の支給を行い、子育て世帯を支援しました。

100%

残った課題・来年度の取り組み

対象となる全ての方へ支援策が行き渡るよう周知を図ります。
また、各種事業において、申請に基づき適切かつ速やかに助成を行います。

事業の概要・
実施方針

就学前児童の教育・保育を、一体的かつ町全体で取り組むための各種施策を計画的に行います。
幼稚園教育研究会をはじめとする各種幼稚園教育における研修・研究を深め、より魅力ある教育課程の形成を目指すとともに、運動会などの各種行事においては、地域住民の協力を仰ぐなど、地域と一体となった教育体系の形成を目指します。
また、幼稚園広域入所者負担金を負担します。

実施方法・手段・スケジュール等

前期の実施状況(いつ・何をを行ったか)

前期

- 随時 幼児教育研修・研究会参加
- 随時 各種園行事の開催
- 随時 学校運営協議会

- 随時 幼児教育研修・研究会参加
- 各種園行事の開催
(主な行事：4月入園式・始業式、5月避難訓練、6月スポーツ教室、7月保育参観、8月体験入園、9月運動会など)
- 各研修・研究会への参加
(紙面開催：西白幼稚園教育研究会総会・研修会、幼教研主題伝達講演会など)、(特別支援教育研修会、遊びを通じた学びの研修(中畑)、教育課程研究協議会(中畑)など)

進行管理

後期

- 随時 幼児教育研修・研究会参加
- 随時 各種園行事の開催
- 随時 学校運営協議会
- 3月 広域入所者負担金支払(町内→町外)、広域入所者負担金請求(町外→町内)

- 随時 各種行事の開催(10月～体験入園・給食体験、12月クリスマス会等)
- 3月 広域入所者負担金支払(町内→町外)、広域入所者負担金請求(町外→町内)

成果目標・数値目標等

矢吹町学校運営協議会により地域の力を幼稚園運営に生かすとともに、小学校、中学校と連携した「つなぐ教育」の推進により魅力的な園運営を行い、幼稚園利用ニーズを高めます。

目標に対する前期までの成果

達成率(中間)

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、例年行っている各種行事については、実施の可否・規模縮小について慎重な協議を重ねたうえで、感染防止対策を講じながら実施しました。

50%

目標管理

目標に対する最終成果

達成率(最終)

新型コロナウイルス感染症予防対策を講じながら、各種研修・研究を重ね、各行事を開催し、魅力ある幼稚園の創出に努めました。
・広域入所
(町内→町外) 泉崎幼稚園2人、中島幼稚園2人
(町外→町内) 須賀川市→三神幼稚園1人

100%

残った課題・来年度の取り組み

新型コロナウイルス感染症等の予防や災害・怪我等の防止対策を講じながら、各幼稚園の特色を活かし、教育活動の更なる充実を図ります。

事業の概要・実施方針	<p>就学前児童の教育・保育を、一体的かつ町全体で取り組むための各種施策を計画的に行います。</p> <p>子ども・子育て支援新制度では、「施設型給付」及び「地域型保育給付」が創設され、市町村の確認を受けた施設等に対して財政的に支援を行います。</p> <p>また、公立保育所の広域入所者負担金を負担します。</p>
------------	--

実施方法・手段・スケジュール等		前期の実施状況(いつ・何をを行ったか)
進行管理	前期	<ul style="list-style-type: none"> ●毎月 施設型給付費等の支払 ●随時 施設型給付に係る加算認定申請書、届出書の確認・認定(4月、変更月) ●5~6月 処遇改善等加算申請の受付・確認
	後期	<ul style="list-style-type: none"> ●毎月 施設型給付費等の支払 ●随時 施設型給付に係る加算認定申請書、届出書の確認・認定(12月、3月、変更月) ●3月 広域入所負担金の支払

目標管理	成果目標・数値目標等	
	<p>適正な財政的支援を行うことにより、町内の特定教育・保育施設の安定運営、ひいては受入数増加の動機付けを図ってまいります。</p> <p>【令和2年4月1日現在給付施設】(1・2・3号認定)</p> <p>町内：矢吹町ひかり保育園、認定こども園野のはな、認定こども園ポプラの木、イマジン・レインボー</p> <p>町外(広域入所)：認定こども園西こども園(1号認定)</p>	
	目標に対する前期までの成果	達成率(中間)
	<p>特定教育・保育施設に対し、施設型給付費等の財政支援を行い、安定的な運営の支援を図りました。</p> <p>●町内給付施設：矢吹町ひかり保育園、認定こども園野のはな、認定こども園ポプラの木、イマジン・レインボー</p> <p>●町外給付施設：認定こども園西こども園、岡ノ内保育園(6月分~)、おひさま保育園(7月分~)</p>	
	目標に対する最終成果	達成率(最終)
<p>特定教育・保育施設に対し、施設型給付費等の財政支援を行い、安定的な運営の支援を図りました。</p> <p>●町内給付施設：矢吹町ひかり保育園、認定こども園野のはな、認定こども園ポプラの木、イマジン・レインボー</p> <p>●町外給付施設：認定こども園西こども園、岡ノ内保育園(6月分~)、おひさま保育園(7月分~)</p> <p>●公立広域入所施設：中島保育所、たいしん保育園(4月分、9月分~)、あさかわこども園(8月分~)、ひがし保育園(10月分~)</p>		100%
残った課題・来年度の取り組み		
<p>令和3年度も公定価格の改正が予定されていることから、改正内容に関する国・県の情報や通知を町内施設へ適切に周知の上、給付費の算出・確認を行います。</p>		

事業の概要・実施方針

幼稚園運営に伴う新年度入園児募集や入園決定、年度途中の入退園及び幼稚園教諭雇用、幼稚園の環境整備に関する事務を行います。

成果目標・数値目標等

「第2期子ども・子育て支援事業計画」に基づき教育環境の整備・サービスの充実を図り、幼稚園利用ニーズを高めます。
 【令和2年4月1日現在入園児数】※【】内前年度
 矢吹幼稚園：39名【47名】
 中央幼稚園：109名【113名】
 中畑幼稚園：50名【60名（内広域1名）】
 三神幼稚園：43名【47名】
 認定こども園ポプラの木（1号認定）：16名【17名】
 認定こども園野のはな（1号認定）：12名【3名】
 広域（町外施設）：4名【5名】

目標に対する前期までの成果

達成率(中間)

●在園児数（9/1現在）【】は前年度
 矢吹幼稚園：39名【46名】
 中央幼稚園：109名【113名】
 中畑幼稚園：51名【60名（内広域1名）】
 三神幼稚園：43名【47名】
 ポプラの木（1号認定）：16名【17名】
 野のはな（1号認定）：15名【12名】
 広域（町外施設）：4名【5名】

50%

目標管理

目標に対する最終成果

達成率(最終)

●在園児数（3/1現在）【】は前年度
 矢吹幼稚園：39名【46名】
 中央幼稚園：109名【113名】
 中畑幼稚園：50名【60名（内広域1名）】
 三神幼稚園：43名【47名】
 ポプラの木（1号認定）：17名【16名】
 野のはな（1号認定）：19名【15名】
 広域（町外施設）：4名【3名】

100%

残った課題・来年度の取り組み

引き続き幼稚園の入退園や、無償化に係る事務作業の効率化に努めます。

実施方法・手段・スケジュール等

前期の実施状況(いつ・何をを行ったか)

前期

- 4月 新入園児入園
- 4月以降 通常保育、預かり保育の実施
- 毎月 年度途中の入退園手続き
- 随時 園環境や改善要望の確認、検討

- 4月 新入園児入園
- 4月以降 通常保育、預かり保育の実施
- 毎月 年度途中の入退園手続き
- 随時 園環境や改善要望の確認、検討
- 新型コロナウイルス感染症拡大防止のための休園措置
- 4月 9日～12日、22日～30日
- 5月 1日～18日

進行管理

後期

- 10月 新年度入園児募集
- 10月以降 通常保育、預かり保育の実施
- 2月 新入園児の決定
- 毎月 年度途中の入退園手続き
- 毎月 校長園長会の実施
- 随時 園環境や改善要望の確認、検討

- 10月 新年度入園児募集
- 10月以降 通常保育、預かり保育の実施
- 1月 新入園児の決定
- 2月 預かり保育・バス利用申込受付
- 3月 預かり保育利用承諾
- 毎月 年度途中の入退園手続き
- 随時 園長会、副園長会の実施
- 随時 園環境や改善要望の確認、検討

事業の概要・実施方針

子育てと就労の両面を支援するため、幼稚園での朝及び通常保育終了後と長期休業中（お盆期間を除く）に預かり保育を実施し、子育て環境の充実を図ります。

実施方法・手段・スケジュール等

前期の実施状況(いつ・何をを行ったか)

前期

- 通年 預かり保育の実施
 - ・ 早朝 7:30~8:30
 - ・ 夕方① 13:30~18:00
 - ・ 夕方② 18:00~18:30
- 随時 一時預かり保育の実施

- 通年 預かり保育の実施
 - ・ 早朝 7:30~8:30
 - ・ 夕方① 13:30~18:00
 - ・ 夕方② 18:00~18:30
- 随時 一時預かり保育の実施及び支援員の募集、追加雇用による安全な運営
- 新型コロナウイルス感染症拡大防止による休園中の預かり保育の実施

進行管理

後期

- 通年 預かり保育の実施
 - ・ 早朝 7:30~8:30
 - ・ 夕方① 13:30~18:00
 - ・ 夕方② 18:00~18:30
- 随時 一時預かり保育の実施
- 国制度の無償化開始にあたり内容の検討

- 通年 預かり保育の実施
 - ・ 早朝 7:30~8:30
 - ・ 夕方① 13:30~18:00
 - ・ 夕方② 18:00~18:30
- 11月 預かり保育料負担軽減のため料金制度の見直し、条例改正
- 随時 一時預かり保育の実施及び支援員の募集、追加雇用による安全な運営

目標管理

成果目標・数値目標等

預かり保育を実施することにより、保護者の就労支援を促進し、ひいては幼稚園の利用ニーズを高めます。

- 【令和2年4月1日現在預かり保育園児数】
- 矢吹幼稚園：13名／39名【16名／47名】
- 中央幼稚園：53名／109名【54名／113名】
- 中畑幼稚園：28名／50名【26名／59名（広域1名除く）】
- 三神幼稚園：9名／43名【16名／47名】
- 全体：116名／241名【112名／266名（広域1名除く）】

目標に対する前期までの成果

達成率(中間)

預かり保育を実施し、保護者の就労支援に努めました。

- 預かり保育園児数 (9/1現在)
- 矢吹幼稚園：11名【17名】
- 中央幼稚園：54名【58名】
- 中畑幼稚園：29名【33名】
- 三神幼稚園：22名【24名】
- 全体：116名【132名】
- 【】内は前年度

50%

目標に対する最終成果

達成率(最終)

預かり保育を実施し、保護者の就労支援に努めました。

- 預かり保育園児数 (3/1現在)
- 矢吹幼稚園：12名【11名】
- 中央幼稚園：56名【54名】
- 中畑幼稚園：29名【29名】
- 三神幼稚園：23名【22名】
- 全体：120名【116名】
- 【】内は前年度

100%

残った課題・来年度の取り組み

預かり保育料について、従来の月額料金制から日額料金制への改定により、基本的に保護者負担がなくなります。

預かり保育事業実施のための会計年度任用職員配置について、研修等受講により能力向上を図ります。

事業の概要・ 実施方針	<p>少子化に伴う園児数の減少、保育園のニーズの増加、施設の老朽化などを踏まえた町立幼稚園の今後のあり方について検討を深め、「第4次幼稚園・保育園に関する基本方針」及び「矢吹町立幼稚園・保育園民営化の実施方針」を策定します。</p>
----------------	--

		実施方法・手段・スケジュール等	前期の実施状況(いつ・何をを行ったか)
進行管理	前期	<ul style="list-style-type: none"> ・ 随時 検討のための分析、情報収集 ・ 随時 定例教育委員会での協議 ・ 随時 関係機関との調整 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 次期計画策定に向けて、町立幼稚園の今後のあり方の方向性を検討
	後期	<ul style="list-style-type: none"> ・ 12月 方針案策定 ・ 2月 総合教育会議において方針案協議 ・ 3月 方針決定 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 次期計画策定に向けて、町立幼稚園の今後のあり方の方向性を検討

目標管理	成果目標・数値目標等	
	令和2年度中に方針を策定します。	
	目標に対する前期までの成果	達成率(中間)
	検討のための分析、情報収集	50%
	目標に対する最終成果	達成率(最終)
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 次期計画策定に向けて、町立幼稚園の今後のあり方の方向性を検討 	80%
残った課題・来年度の取り組み		
<p>幼稚園の方向性については小学校統廃合と関連があるため、小学校とあわせた統廃合検討委員会を設置し、「第4次幼稚園・保育園に関する基本方針」及び「矢吹町立幼稚園・保育園民営化の実施方針」を策定します。</p>		

事業の概要・実施方針

行政は、事務作業の着実な遂行のみならず施策に関する町内外への積極的なPRが求められています。他市町村との差別化を図るためにも、所管する主な施策についてはホームページや広報、その他マスコミ媒体を通じ、これまで以上のPR強化に努める必要があります。

実施方法・手段・スケジュール等

前期の実施状況(いつ・何をを行ったか)

前期

- 随時 子育て施策やイベントの矢吹町ホームページ、広報やぶきへ掲載
- 随時 情報誌・フリーペーパー・web無料広告へ掲載
- 随時 SNS(ソーシャルネットワークサービス)を活用した子育て情報の発信
- 随時 新聞各社へ記事の提供

- 随時 子育て施策やイベントを矢吹町ホームページや広報やぶきへ掲載
- 随時 情報誌・フリーペーパー・web無料広告へ掲載
- 随時 SNS(ソーシャルネットワークサービス)を活用した子育て情報の発信

進行管理

後期

- 随時 子育て施策やイベントの矢吹町ホームページ、広報やぶきへ掲載
- 随時 情報誌・フリーペーパー・web無料広告へ掲載
- 随時 SNS(ソーシャルネットワークサービス)を活用した子育て情報の発信
- 随時 新聞各社へ記事の提供

- 随時 子育て施策やイベントを矢吹町ホームページや広報やぶきへ掲載
- 随時 情報誌・フリーペーパー・web無料広告へ掲載
- 随時 SNS(ソーシャルネットワークサービス)を活用した子育て情報の発信

成果目標・数値目標等

子育て支援施策の充実は、若年層人口低下抑制、増加の大きな要因であることを念頭に置き、さらなるPRに努めてまいります。

目標に対する前期までの成果

達成率(中間)

子育て施策やイベント情報を町ホームページ、広報やぶき、フリーペーパー等へ掲載しPRを行いました。
また、次年度に係る幼稚園・保育園の入園申請受付のホームページ掲載及び子育てアプリの活用を行いました。

50%

目標管理

目標に対する最終成果

達成率(最終)

子育て施策やイベント情報を町ホームページ、広報やぶき、フリーペーパー等へ掲載しPRを行いました。
また、次年度に係る幼稚園・保育園の入園申請受付のホームページ掲載及び子育てアプリの活用を行いました。

100%

残った課題・来年度の取り組み

ホームページや広報その他マスコミ媒体を通じ、PR強化に努めます。また、子育てホームページ及び子育てアプリの利用者視点に沿った情報提供を行います。さらに、子育て情報誌の作成については、子育て世代の意見を聴取しながら子育て支援策の情報提供に努めます。

事業の概要・
実施方針

基幹系システムの操作方法及び定型的な事務処理方法のマニュアル化を進めます。また、既にマニュアル化されている事務処理についても、定期的に見直しを行い、事務の標準化と効率化を図ります。

実施方法・手段・スケジュール等

前期の実施状況(いつ・何をを行ったか)

前期

●毎月 事務処理マニュアル作成(統一様式)、係内会議を通して改善点の洗い出しと見直しの検討

●毎月 事務処理マニュアル作成(統一様式)
●随時 各業務の事務処理手順の見直しと精査

進行管理

後期

●毎月 事務処理マニュアル作成(統一様式)、係内会議を通して改善点の洗い出しと見直しの検討

●11月 事務処理マニュアル(統一様式)作成・企画総務課提出
●随時 リスク管理モニタリングに基づき、リスク防止策をマニュアルに反映
●随時 各業務の事務処理手順の見直し

成果目標・数値目標等

だれが、どこで処理をしても、同じ内容、同じ質、同じ生産性が担保されるようなマニュアルの検討と作成を進め、事務の標準化と効率化により職員の生産性の向上を図り、業務の継続性の確保に努めます。

目標に対する前期までの成果

達成率(中間)

統一様式を用いたマニュアルの作成を進めました。幼児教育・保育の無償化及び町独自の副食費助成に係る事務処理について、効率化を図るため、手順を見直しました。町立幼稚園給食における異物混入対応マニュアルを作成しました。

50%

目標管理

目標に対する最終成果

達成率(最終)

統一様式を用いたマニュアルを作成したほか、リスク管理モニタリングに基づき、誤り、ミスへの対策をマニュアルに反映しました。

100%

残った課題・来年度の取り組み

既に作成したマニュアルについて、事務処理完了後に改善点の有無を確認するなど、定期的な見直しを行います。

事業の概要・ 実施方針	職員がコスト削減の意識を常に持ちながら各業務に従事し、用紙やトナー等の使用を最小限にするよう努めます。
----------------	---

実施方法・手段・スケジュール等		前期の実施状況(いつ・何をを行ったか)
前期	<ul style="list-style-type: none"> ● 随時 印刷時における両面・集約印刷、裏紙使用の敢行（ゴミ減量化）、印刷プレビューでの確認徹底、プリンターのトナーセーブの設定実施、消耗品の共同利用及び購入 ● パソコン及び周辺機器の電源オンオフの徹底 	<ul style="list-style-type: none"> ● 随時 印刷時における両面・集約印刷、裏紙使用の敢行（ゴミ減量化）、印刷プレビューでの確認徹底、プリンターのトナーセーブ設定の実施 ● 随時 消耗品の共同利用及び購入、フラットファイル・チューブファイルの再利用 ● 随時 パソコン及び周辺機器の電源オンオフの徹底 ● 使わない照明機器の消灯 ● ゆう活の活用により集中して業務を進める時間を確保、フレックス勤務の活用による時間外勤務の削減
後期	<ul style="list-style-type: none"> ● 随時 印刷時における両面・集約印刷、裏紙使用の敢行（ゴミ減量化）、印刷プレビューでの確認徹底、プリンターのトナーセーブの設定実施、消耗品の共同利用及び購入 ● パソコン及び周辺機器の電源オンオフの徹底 	<ul style="list-style-type: none"> ● 随時 印刷時における両面・集約印刷、裏紙使用の敢行（ゴミ減量化）、印刷プレビューでの確認徹底、プリンターのトナーセーブ設定の実施 ● 随時 消耗品の共同利用及び購入、フラットファイル・チューブファイルの再利用 ● 随時 パソコン及び周辺機器の電源オンオフの徹底 ● 使わない照明機器の消灯

目標管理	成果目標・数値目標等	
	事務経費の節減に努めます。 ※用紙や封筒の再利用化を徹底します。	
	目標に対する前期までの成果	達成率(中間)
	コスト削減の意識を持ち、印刷用紙やトナー等の使用を最小限にするよう努めました。	50%
目標に対する最終成果	達成率(最終)	
コスト削減の意識を持ち、印刷用紙やトナー等の使用を最小限にするよう努めました。	100%	
残った課題・来年度の取り組み		
消耗品や光熱水費に係る経費の削減だけでなく、業務手順やタスク管理の見直しを行い、業務処理時間の短縮化、効率化を図ります。		

事業の概要・実施方針

各種料金（※）の適正かつ円滑な収納を図り、収納率を高めます。
 保育料等の未納分について、児童手当からの申出徴収及び特別徴収の実施により、収納率の向上に努めます。
 ※対象料金…保育園保育料（矢吹町ひかり保育園）、幼稚園バス分担金、児童クラブ育成料、幼稚園保育料（過年度分）

実施方法・手段・スケジュール等

前期の実施状況(いつ・何をを行ったか)

前期

- 毎月20日 未納者へ督促状発送
- 5・8月 未納者へ催告書発送
- 6月 未納分について児童手当の申出徴収、特別徴収を実施
- 随時 未納者への利用制限（保育園：利用調整点数の減点調整、幼稚園：預かり保育利用制限、児童クラブ：入所制限）

- 毎月20日 当該月分未納へ督促状発送
- 6月 自宅へ臨戸訪問
- 6月 給食費・学校諸経費の滞納分について児童手当から徴収実施
- 8月 令和2年度分以前未納者へ催告書送付、自宅へ臨戸訪問
- 9月 町外転出者への催告
- 随時 未納者へ利用制限（保育園：利用調整点数の減点、幼稚園：預かり保育利用制限、児童クラブ：入所制限、児童手当の窓口現金払）

進行管理

後期

- 毎月20日 未納者へ督促状発送
- 10月・12月 未納分について児童手当の申出徴収、特別徴収を実施
- 12月 未納者へ催告書発送
- 1～3月卒園予定者の未納有無確認・督促
- 随時 未納者への利用制限（保育園：利用調整点数の減点調整、幼稚園：預かり保育利用制限、児童クラブ：入所制限）
- 随時 未納者への電話連絡・長期未納者へ家庭訪問

- 10、12月 収納確保委員会担当者会議、研修会
- 11、12月 保育園保育料滞納者に係る預金、勤務先等の財産調査
- 毎月20日 当該月分未納へ督促状発送
- 随時 催告書送付、電話催告、自宅へ臨戸訪問

成果目標・数値目標等

未納者に対し、在園（所）中の督促を強化します。

目標に対する前期までの成果

達成率(中間)

- 収納率（9月28日現在）
- ・保育園保育料 現年：39.1%
滞納繰越：0%
 - ・幼稚園保育料 現年：—（無償化）
滞納繰越：1.5%
 - ・バス分担金 現年：29.2%
滞納繰越：6.6%
 - ・児童クラブ育成料 現年：36.6%
滞納繰越：70.8%
- 児童手当申出徴収
 ・6月支払時 5件

40%

目標に対する最終成果

達成率(最終)

- 収納率（3月23日現在）※現年3月分未反映
- ・保育園保育料 現年：90.96%
滞納繰越：0%
 - ・幼稚園保育料（預かり分） 現年：93.14%
滞納繰越：1.58%
 - ・バス分担金 現年：88.54%
滞納繰越：6.66%
 - ・児童クラブ育成料 現年：90.56%
滞納繰越：75.00%

90%

残った課題・来年度の取り組み

未納者に対し、文書送付、電話、臨戸訪問等により督促及び催告の強化を進めます。保育園保育料については、国税徴収法の規定に基づき徴収を行い、それ以外の児童クラブ等料金は弁護士等への未収金回収業務の委託を進めます。

目標管理

事業の概要・
実施方針

矢吹町公共施設等総合管理計画の基本方針に基づき、施設の利用状況や老朽化状況、需要の変化を見据えながら、規模や配置を見直すとともに、施設の維持管理を計画的に行っていきます。
あわせて、国の動向や地域の実情を踏まえ、認定こども園への移行、園児数の減少に合わせた統合の可能性を検討します。

実施方法・手段・スケジュール等

前期の実施状況(いつ・何をを行ったか)

前期

- ・ 随時 検討のための分析、情報収集
- ・ 随時 定例教育委員会での協議
- ・ 随時 関係機関との調整

- ・ 次期計画策定に向けて、町立幼稚園の今後のあり方の方向性を検討

進行管理

後期

- ・ 12月 方針案策定
- ・ 2月 総合教育会議において方針案協議
- ・ 3月 方針決定

- ・ 次期計画策定に向けて、町立幼稚園の今後のあり方の方向性を検討

成果目標・数値目標等

令和2年度中に「第4次幼稚園・保育園に関する基本方針」及び「矢吹町立幼稚園・保育園民営化の実施方針」を策定します。

目標に対する前期までの成果

達成率(中間)

検討のための分析、情報収集

50%

目標管理

目標に対する最終成果

達成率(最終)

- ・ 次期計画策定に向けて、町立幼稚園の今後のあり方の方向性を検討

80%

残った課題・来年度の取り組み

幼稚園の方向性については小学校統廃合と関連があるため、小学校とあわせた統廃合検討委員会を設置し、「第4次幼稚園・保育園に関する基本方針」及び「矢吹町立幼稚園・保育園民営化の実施方針」を策定します。

事業の概要・実施方針	事務事業の必要性、町が直接実施する必要性、民間主体によるサービスの安全性・継続性の確保、コスト削減の視点から民間委託等が可能な業務の分析・検討を行います。
------------	---

実施方法・手段・スケジュール等		前期の実施状況(いつ・何をを行ったか)
進行管理	前期 ●4月 児童クラブ運営業務委託範囲の拡大(消耗品購入、おやつ代等の管理) ●随時 定型的な事務処理におけるアウトソーシングの検討・協議	●4月 児童クラブ運営業務委託範囲の拡大(消耗品購入、おやつ代等の管理) ●4月 ファミリーサポート事業の委託先を変更し契約締結 ●随時 定型的な事務処理におけるアウトソーシングの検討・協議
	後期 ●随時 定型的な事務処理におけるアウトソーシングの検討・協議	●10月 複合施設KOKOTTO内の未来くるステーションをNPO法人に業務委託。複合施設を拠点にファミリーサポートセンター事業、ホームスタート事業を実施 ●随時 定型的な事務処理におけるアウトソーシングの検討・協議

目標管理	成果目標・数値目標等	
	定型的な事務処理におけるアウトソーシングの検討・協議を進めます。 放課後児童クラブ運営業務委託について、円滑な運営がなされるよう受託者との連絡を密にし、適宜必要な調整を行います。	
	目標に対する前期までの成果	達成率(中間)
	●児童クラブ業務委託 毎月の運営連絡調整会議において、受託者である一般社団法人まちづくり矢吹と運営状況の確認や協議、情報共有を行いました。 ●ファミリーサポート事業とホームスタート事業を同じ団体に委託することで、コスト削減、サービスの向上を図りました。	
	50%	
	目標に対する最終成果	達成率(最終)
●児童クラブ業務委託 毎月の運営連絡調整会議において、受託者である一般社団法人まちづくり矢吹と運営状況の確認や協議、情報共有を行いました。 ●複合施設KOKOTTO内の未来くるステーションをNPO法人に業務委託しました。		
	100%	
	残った課題・来年度の取り組み	
児童クラブ及び未来くるステーションについて、引き続き適正な運営がなされるよう適宜指導及び監督を行います。		

事業の概要・
実施方針

子育て支援施策は全国的な課題となっており、業務量は増加の一途をたどっています。恒常的な時間外勤務、長時間の時間外勤務が職員の心身の健康に与える影響を考慮するとともに、職員の意識改革を行い、時間外勤務の縮減を図ります。

実施方法・手段・スケジュール等

前期

●毎週 係内会議での月間・週間スケジュール確認、事務の進捗や業務量の把握、スケジュール調整

前期の実施状況(いつ・何をを行ったか)

●毎週 係内会議での月間・週間スケジュール確認、事務の進捗や業務量の把握、スケジュール調整
●6～9月 ゆう活の活用により集中して業務を進める時間を確保、フレックスタイムの活用により時間外勤務を削減
●一部の申請書類の提出を返信用封筒にすることで、窓口で直接対応する時間を短縮
●随時 システム等のマニュアル化による事務の省力化
●随時 幼稚園・保育園・児童クラブのシステム処理におけるアウトソーシングの検討・協議

進行管理

後期

●毎週 係内会議での月間・週間スケジュール確認、事務の進捗や業務量の把握、スケジュール調整

●毎週 係内会議での月間・週間スケジュール確認、事務の進捗や業務量の把握、スケジュール調整
●随時 システム等のマニュアル化による事務の省力化
●随時 幼稚園・保育園・児童クラブのシステム処理におけるアウトソーシングの検討・協議

成果目標・数値目標等

職員の事務処理時間軽減のため、システム処理等におけるアウトソーシングについて検討・協議を進めるほか、会計年度任用職員の事務効率をさらに高める方法を検討します。

目標に対する前期までの成果

4～8月の時間外勤務は前年と比較し、約5%減少しました。
・4～8月1人当たり平均時間数
R2：32.7h(1ヶ月当たり6.5h)
R元：34.4h(1ヶ月当たり6.9h)
H30：123.5h(1ヶ月当たり24.7h)
上記のとおり毎年減少傾向にあり、効率化が図られています。
・フレックスタイムによる時間外勤務減
5月：1人利用、4h削減

達成率(中間)

50%

目標管理

目標に対する最終成果

4月～3月の時間外勤務は前年と比較し、約7%減少しました。
4月～3月1人当たりの平均時間数
R2：115h(1ヶ月当たり9.6h)見込
R元：154.6h(1ヶ月当たり12.9h)
上記のとおり毎年減少傾向にあり、効率化が図られています。

達成率(最終)

100%

残った課題・来年度の取り組み

引き続き時間外勤務の抑制に努めます。